

本村 希代

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・2時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

人間の歴史は、財貨の交換行為の展開史、つまり流通・商業の変容過程であったといえる。それゆえ現代社会のあり方を問うには、今日にいたるまで連綿と続く商業活動を明らかにする必要がある。

本講義では近世期（江戸時代）の商業活動を中心に検討を加え、それが基礎となり、近代以降の商業発展につながることを見ていく。

- - - 到達目標 - - -

経済社会状況を歴史的背景から説明できるようになる。(知識・理解)

歴史的現象が現在の流通・商業の在り方にどのようにつながっているかを考えるようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

歴史は得てして暗記するものだと思われがちだが、全体の大きな流れを理解することが大切である。それゆえ毎回の講義テーマごとに、なぜそのような姿にいたったのか、原因・結果など、歴史の流れを整理しておくこと(60分)。またそれが次回の講義の予習にもなる。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験80%と小テスト20%で評価する。

定期試験は、講義内で取り上げたテーマについて、きちんと歴史の流れとして把握できているか、またそれらを自分の言葉で説明できているかを評価の基準とする。

小テストは、Moodleを用い、授業内容を理解しているかどうかを確認する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。

- - - 参考書 - - -

廣田誠他『日本商業史』 ISBN 9784641165069

石井寛治『日本流通史』 ISBN 9784641161696

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 交換から売買へ
- 3 貨幣の鑄造
- 4 戦国大名と商品流通
- 5 幕藩制社会の成立
- 6 近世商家の経営
- 7 商人道とは何か
- 8 家訓の展開
- 9 開国と国内流通の変化
- 10 近代商業経営の成立
- 11 奉公人からサラリーマンへ
- 12 呉服商から百貨店へ
- 13 総合スーパーの発展
- 14 商業政策の広がり
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/wsh38uy9yoonw2u6uuiidzho4w0babih8>)

三井 雄一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

本講義では、マーケティングの意義や役割、基礎的な概念を理解し、マーケティングの基礎である顧客志向の考え方を体系的に理解することに重点を置きます。また、実際の企業事例や市場の情報をもとにマーケティング視点で分析する能力を養うことを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

マーケティングの意義や役割、基礎的な概念を理解する(知識・理解)

適切なマーケティング活動を行うための考え方と知識の基礎を身につける(知識・理解)

市場や企業の情報から自らマーケティング視点で分析ができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：身のまわりのマーケティング活動に日頃から関心を持ち、興味を持ったものをメモすること(60分)

復習：次の講義までに、教科書・指定図書等の該当箇所をふりかえり、自身の講義ノートを補完すること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

マーケティングについての基礎的な概念を十分理解し、市場における企業活動について、自ら分析し、論じることができるかを評価の基準とします。

定期試験により100%、成績評価を行います。

- - - テキスト - - -

特に指定しません。

- - - 参考書 - - -

マーケティング ISBN 9784595314315

マーケティング ISBN 9784532110444

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・自ら学ぶ姿勢を強く求める。
- ・講義中の私語、途中退室等、他の履修者への迷惑行為を厳しく禁じる。

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス、マーケティングとは (スタートアップ授業：)
- 2 マーケティングにおける価値と顧客満足
- 3 マーケティングの基礎
- 4 セグメンテーション
- 5 ターゲティング
- 6 ポジショニング
- 7 製品戦略(製品の分類と価値)
- 8 価格戦略(価格設定の方法と効果)
- 9 流通戦略(商業の役割)
- 10 プロモーション戦略 (プロモーション・ミックス)
- 11 プロモーション戦略 (広告戦略)
- 12 サービス・マーケティング
- 13 ブランド
- 14 グローバル化時代のマーケティング
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gfjotfkpszcilpw53hrfds93eeg72rc5>)

杉本 宏幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

普段小売店で何気なく買う商品がどのように流通してきたのか、それはどう製造されたのか、あなたは考えてみたことがあるでしょうか。私たちの生活が今日も滞りなく営めるのは、流通やマーケティングの仕組みが効率的、効果的に機能していることに支えられています。

商学は、流通、マーケティング、経営、会計、金融、交通、貿易、歴史等で構成されています。この授業では特にマーケティング戦略と流通システムに焦点をあて、これを初めて学ぶ学生を対象にしています。

商学という分野は実践的な知識として学んでいただく必要があります。実践的に学ぶために普段から現実を観察していただくこととなります。同時に、現実の動きは理論という知識体系によって裏づけられる必要もあります。みなさんが理論と現実を往復してくれることをこの授業では求めます。

商学の授業を起点に、同じ現実であっても多様な観察ができると理解してもらい、専門科目や他の科目でも学んでいただければと考えています。

- - - 到達目標 - - -

マーケティング戦略の枠組み(STP-4P)を用いて、現実の企業・組織の活動を整理し、具体的に説明できること。(知識・理解)

現実の企業・組織の活動をマーケティング戦略の枠組み(STP-4P)で整理し、それにはどのような課題があるか発見して具体的に説明できること。(技能)

現実の流通システムで、メーカー、流通業者等がどのような役割を持っているか具体的に説明でき、それらを理論的に説明できること。(知識・理解)

現実の流通システムで、業者間にどのような利害関係や利益(率)の違いが存在するか、それらは何故存在するのか、利害関係が一致しないことが何故あるのか具体的に説明できること。(知識・理解)

取引の在り方(制度)は時間をかけて形成されていることが理解でき、そのメリットとデメリットが誰にどのようにあるのか具体的に説明できること。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の授業の内容を各自で復習し、自分で整理してノートを作成してください(20分)。配布資料に記載されている参考文献・参考資料を各自で読んで勉強してください(20分)。授業で指示するニュース番組や経済番組等を毎週見て下さい(60分)。各授業内容にあわせた予習および復習を授業および授業の配布資料で指示します(20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(30%)および課題(70%)で評価します。定期試験および課題の評価基準は、上述の到達目標に準じます。定期試験およびレポートでは、第三者が読んで理解可能な日本語で矛盾無く回答できているか否かを重視します。

課題は授業で説明し、毎回実施する予定です。提出期限を過ぎた課題は理由に関わらず受理しません。

- - - テキスト - - -

指定しません。授業では資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

参考書は必要に応じて入手してください。
 崔容熏・原頼利・東伸一、『はじめての流通』、有斐閣、2014年、1,900円(税別)、ISBN 978-4-641-15010-2
 久保田進彦・澁谷覚・須永努、『はじめてのマーケティング』、有斐閣、2013年、1,800円(税別)、ISBN 978-4-641-15003-4

- - - 履修上の留意点 - - -

・毎回の授業の課題はオンラインで実施することを予定しています。インターネットに接続できる環境を用意してください。

・授業に関係ない私語、遅刻に対しては厳しく対処します。他者の学びを妨げる等、授業の進行を妨げる行為は、受講する意思がないものと判断し、退出を指示します。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 売場構成と消費者の購買行動
- 3 CVSの本部と加盟店
- 4 フランチャイズシステム
- 5 流通システムの発展
- 6 NB(ナショナルブランド)
- 7 PB(プライベートブランド)
- 8 NBとPBの利害関係
- 9 マーケティング戦略(1)
- 10 マーケティング戦略(2)
- 11 間接流通と直接流通(1)
- 12 間接流通と直接流通(2)
- 13 取引制度(1)
- 14 取引制度(2)
- 15 講義の整理

以上の講義進行予定は、受講生の理解度や新たに扱うべきテーマが生じた場合に応じて、順番等が変更されることがあります。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/ke8bu0x9yltqr2g4mdv0xqkn0jfe45x>

明神 実枝

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

私たちが日々の買い物を通じて接している流通（または商業）について学びます。日々買い物をする小売店にはスーパーやコンビニなど様々なタイプ（業態）があり、それを支える仕組み（仕入れ、物流、販売など）もタイプ（業態）によって異なります。それらが学びの対象です。

講義では、事例を手がかりに、小売業態を支える仕組み=流通システムを学びます。簡単なクイズ（演習課題）にも取り組み、理解を深めます。講義の後半で、実社会の事例について理論を用いて整理し、その課題を分析します。

*ドイツの企業でマーケティングに従事した実務経験を活かし、実務的に注目すべき事例を取りあげながら、商学の基礎を学ぶために必要な知識と実践について講義します。

- - - 到達目標 - - -

流通の基本概念を説明することができる。(知識・理解)

商業の始まりから小売業態の成立までの歴史を説明することができる。(知識・理解)

各小売業態の誕生プロセスとその革新的な仕組みについて、代表的な小売企業の事例を挙げて説明することができる。(知識・理解)

特定の小売企業の課題を、流通の基本概念を用いて分析することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：テキストの該当章を読み、重要だと思った箇所にマーカーを入れ、そう思った理由をまとめ、関連する事例を挙げる。(60分)

復習：講義中に示された課題（テキストの設問など）に取り組む。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験（70%）およびレポート（30%）で評価します。定期試験およびレポートにおける評価基準は、上述の到達目標に準じます。尚、講義中の発言、レポートの早期提出・報告に加点あり。

- - - テキスト - - -

崔相鐵・岸本徹也『1からの流通システム』碩学舎、2018年、本体2,400円＋税。
ISBN 9784502261916

- - - 履修上の留意点 - - -

講義中に、予習・復習内容の報告、簡単なクイズへの回答、レポートの報告を求められることがあります。理解の確認、新たな知見への到達を目指しています。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション（スタートアップ授業）：日本における小売業態の生成と進化
- 2 商業集積
- 3 呉服系百貨店
- 4 電鉄系百貨店
- 5 総合スーパー
- 6 食品スーパー
- 7 コンビニエンス・ストア
- 8 均一価格店
- 9 ドラッグストア
- 10 総合ディスカウントストア
- 11 家具量販店
- 12 紳士服量販店
- 13 早期提出優秀レポート報告*
- 14 衣料専門店
- 15 オンラインモール

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/ymvf262d0413k1u39a79lhmh0fsvjo4q7>

本村 希代

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

幕末の開講以降、欧米先進国の水準に追いつくことが、日本の国家的課題とされていた。そして会社企業の経営を成功させることで、この課題を達成しようとする意識が高まっていった。

新しい事業分野の開拓と市場創出に貢献した企業家たちの、経営理念や経営戦略を比較史的に検証することで、現代に通じる企業家精神を見出す。

- - - 到達目標 - - -

経済社会状況を歴史的背景から説明できるようになる。(知識・理解)

歴史的事象が現在の流通・商業の在り方にどのようにつながっているかを考えるようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

歴史は得てして暗記するものだと思われがちだが、全体の大きな流れを理解することが大切である。それゆえ毎回の講義テーマごとに、なぜそのような姿にいたったのか、原因・結果など、歴史の流れを整理しておくこと(60分)。またそれが次回の講義の予習にもなる。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験80%と小テスト20%で評価する。

定期試験は、講義内で取り上げたテーマについて、きちんと歴史の流れとして把握できているか、またそれらを自分の言葉で説明できているかを評価の基準とする。

小テストは、Moodleを用い、授業内容を理解しているかどうかを確認する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。

- - - 参考書 - - -

佐々木聡編『日本の企業家群像』 ISBN 9784621048856
 佐々木聡編『日本の企業家群像』 ISBN 9784621072301
 佐々木聡編『日本の企業家群像』 ISBN 9784621083499

- - - 履修上の留意点 - - -

この講義では視聴覚教材(DVDなど)を用いる。それゆえ遅刻など他の受講生の迷惑になる行為は厳禁とする。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 会社企業の成立(岩崎弥太郎・岩崎弥之助・渋沢栄一)
- 3 国産新製品の創製とマーケティング(長瀬富郎・二代鈴木三郎助)
- 4 健康と美に奉仕する産業のパイオニア(福原有信・小林富次郎)
- 5 伝統的商業経験から純国産品の創製へ(鳥井信治郎・石橋正二郎)
- 6 政府規制に対抗して革新を実現した反骨の経営者(松永安左衛門・出光佐三)
- 7 先端技術への挑戦(服部金太郎・早川徳次)
- 8 新事業群の形成(鮎川義介・豊田喜一郎)
- 9 都市型第三次産業の開拓者(小林一三・堤康次郎)
- 10 食と健康の覇者・逆転の発想(大塚正士・安藤百福)
- 11 技術志向型事業展開と市場志向型成長(小平浪平・松下幸之助)
- 12 戦後型企業家と高度成長(井深大・盛田昭夫・本田宗一郎・藤沢武夫)
- 13 経営戦略と流通革新(中内功と鈴木敏文)
- 14 高度経済成長期の革新的・創造的企業家(田口利八・飯田亮)
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/4p9wmk7g95zb0p3ysp3f51gazpi0j23q>)

三井 雄一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

本講義では、マーケティング戦略に関する諸理論について学習し、市場分析や戦略立案の視点思考を体系的に養っていく。そのうえで、実社会において企業がどのような戦略をとっているのか、事例をもとに分析・考察を行う。

- - - 到達目標 - - -

マーケティング戦略の基礎的な理論について理解する(知識・理解)

実際の企業活動を分析・考察することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：身のまわりのマーケティング活動に日頃から関心を持ち、興味を持ったものをメモすること(60分)

復習：次の講義までに、教科書・指定図書等の該当箇所をふりかえり、自身の講義ノートを補完すること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

マーケティング戦略に関する基礎的な概念を十分に理解し、事業や市場について明確に論じられるかを評価の基準とします。定期試験を100%として成績の評価を行います。

- - - テキスト - - -

特に指定なし

- - - 参考書 - - -

入門・マーケティング戦略 ISBN 464116486X
 1からの戦略論 ISBN 450216741X
 1からのマーケティング・デザイン ISBN 4502200212

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・自ら学ぶ姿勢を強く求めます
- ・講義中の私語、理由なき途中退室等、他の履修者への迷惑行為を厳しく禁じます

- - - 授業計画 - - -

- 1回目 ガイダンス、マーケティング戦略とは (スタートアップ授業)
- 2回目 マーケティング戦略の概要
- 3回目 事業ビジョンの構築
- 4回目 環境分析
- 5回目 マーケティング戦略形成
- 6回目 製品戦略 (製品差別化戦略)
- 7回目 製品戦略 (新製品戦略)
- 8回目 価格戦略
- 9回目 流通戦略 (チャネル戦略)
- 10回目 流通戦略 (物流戦略)
- 11回目 プロモーション戦略 (広告媒体戦略)
- 12回目 プロモーション戦略 (広告表現戦略)
- 13回目 ブランド戦略
- 14回目 サービス・マーケティング戦略
- 15回目 新たなマーケティング戦略の台頭と総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/di3vp9oy2i0ump6uvr54owob7ez6qjzq>)

笹川 洋平

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

わが国の商業は、過去30年間、事業所数を減少させつづけている。小売商店についてみると、1982年の172万店から2018年には99万店まで減少している。廃業する事業所の大半は個人が経営する個人商店である。

かつて中小商業問題として小売商店数の過剰が問題視された時代は遠い過去のものとなり、こんにちでは小売商店数の「過少」が買物弱者を生み、生活困難ひいては地域社会の存続にかかわる問題と認識され始めている。

加えて、個人商店数の減少は「商店街」の存続問題も絡んでおり、商店街と関連する地元中小事業者の業容に影響し、地域の就業機会を縮小させる。それだけではない。商店街の衰退は、地域に居住する人々が、「地域の文化的価値と接触する機会」を縮小させ、人々が集い賑わう「余暇空間」を街から消滅させる。概して個人商店の減少・消滅は地域社会の魅力を衰退させ、地元経済活動の域外流出にともなう居住人口の減少を結果することになる。

皮肉なことではあるが、今日の商店街の衰退は、これまで人々が単なる買物施設と考えていた商店街が地域社会を維持する様々な役割を果たしてきたことに気付かせている。例えば、近年、わが国で頻発する自然災害をうけて「災害に強い地域社会の強靱化」への関心が高まりつつある。発災から救援隊が到着するまでの期間(3~4日間)を、地域全体が自力で凌げる強靱性(弱者を含める被災者相互による共助)を備えなければならないことが強く認識され始めている。この観点からも、商店街は、単なる買物施設の収縮という経済問題だけではなく、防災、治安、防犯、衛生など安全・安心な地域づくりの面からも重要な拠点としての役割が注目されている。

講義では地域社会の一翼を担う商店街における構成する個別商店まで下降して、個別商店が直面している問題、零細商店の存立を説明する理論、商店街を維持する社会基盤、商店街の発展に求められる地域文化のあり方などについて、分析的なアプローチから考察する。

- - - 到達目標 - - -

市場と消費者についての基本的な知識を身につけている。(知識・理解)

市場と消費者に関する理論的・歴史的な知識を用いて、企業、産業、地域が置かれている経済社会状況(内外の環境与件)を説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義ノートを復習して前回の講義内容を理解し、「授業の流れ」を把握して授業に臨むこと。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(100%)で成績評価を行う。なお、目標達成度の評価基準は、15回(スタートアップ授業を含む)の授業全体の流れをどの程度まで理解できているかを問う形で出題する。

- - - テキスト - - -

なし

- - - 履修上の留意点 - - -

なし

- - - 授業計画 - - -

- 01.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 02.商業と地域社会
- 03.商業の効率指標と経営成果
- 04.市場スラック・モデル
- 05.買物行動適応モデル
- 06.過剰就業モデル
- 07.家族従業モデル
- 08.家業性の進化モデル
- 09.商業の集積モデル(1)
- 10.商業の集積モデル(2)
- 11.商業空間の体系
- 12.商業と地域指向性(地域経済発展の可能性)
- 13.商店街再生の取り組み(事例)
- 14.商店街再生の取り組み
- 15 復習

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/nfb74hls9cerkw1vw11wqdcueuqycpzg>)

明神 実枝

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

--- 概要 ---

マーケティングは社会の中でどのような役割を果たしているのか、マーケティングを上手に行うには理論がどのように役に立つのかを学びます。私たちが生活の中で手にしている製品の背後にある、製品の誕生から私たちの手もとに届くまでのプロセス、これが学びの対象です。

講義では、事例を手がかりに、マーケティングの理論を学びます。簡単なクイズ(演習課題)にも取り組み、理解を深めます。講義の後半で、実社会の事例について理論を用いて整理し、その課題を発見し、課題解決に向けたマーケティング・プランを作成します。

*ドイツの企業でマーケティングに従事した実務経験を活かし、実務的に注目すべき事例を取りあげながら、商学の基礎を学ぶために必要な知識と実践について講義します。

--- 到達目標 ---

マーケティングの役割を、販売との違いを明確にして説明することができる。(知識・理解)

実社会のマーケティング事例を挙げ、その基本戦略をSTP、4Pに基づいて説明することができる。(知識・理解)

実社会のマーケティング事例を挙げ、その基本戦略を関係、ブランド、顧客理解、社会責任の観点から説明することができる。(知識・理解)

実社会のマーケティング事例が抱える課題を、理論を用いて発見し、課題解決に向けたプランを作成することができる。(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

予習：テキストの該当章を読み、重要だと思った箇所にマーカーを入れ、そう思った理由をまとめ、関連する事例を挙げる。(60分)

復習：講義中に示された課題(テキストの設問など)に取り組む。(60分)

--- 成績評価基準および方法 ---

定期試験(70%)およびレポート(30%)で評価します。定期試験およびレポートにおける評価基準は、上述の到達目標に準じます。尚、講義中の発言・報告、レポートの早期提出・報告に加点あり。

--- テキスト ---

石井淳蔵・廣田章光・清水信年『1からのマーケティング第4版』碩学舎、2019年、本体2,400円+税。ISBN 4502327719

--- 履修上の留意点 ---

講義中に、予習・復習内容の報告、簡単なクイズへの回答、レポートの報告を求められることがあります。理解の確認、新たな知見への到達を目指しています。

--- 授業計画 ---

1. イントロダクション(スタートアップ授業)：マーケティングと販売の違い
2. マーケティング発想の経営
3. マーケティングの基本概念
4. 製品のマネジメント
5. 価格のマネジメント
6. 広告のマネジメント
7. チャンネルのマネジメント
8. サプライチェーンのマネジメント
9. 営業のマネジメント
10. 顧客関係のマネジメント
11. ビジネスモデルのマネジメント
12. 顧客理解のマネジメント
13. 早期提出優秀レポート報告*
14. ブランドのマネジメント
15. 社会責任のマネジメント

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/kzbs4snri5p99q1t32hy23a703w1k6l5)

磯田 則彦

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・1 時限 試験時間割：2021/07/24 1 時限

- - - 概要 - - -

本講義では、日本での外国人人口の増加や、世界各国の国境地帯をはじめとする異民族・異文化の接触地帯の現状と特徴について考察する。事例地域としては、日本をはじめ、アジア内陸部やシンガポール・香港、北アメリカ(ケベック・カリフォルニア)、オーストラリア・ニュージーランドなどである。

今年2021年は、57年ぶりに東京で夏季オリンピックが開催されるが、1964年当時の日本社会と現在では多くのことが異なる。外国人観光客の訪問や同居住者の顕著な増大は、私たちの日常に、文字どおり「異文化の接触地帯」を形成している。客観的な人口統計の分析と解釈からこの数十年間での社会の変貌ぶりが見えてくるであろう。

もちろん、異文化の接触地帯は多くの社会に見られる。典型的なそれは国境地帯である。概して、同地帯は異民族が接触する地帯であり、そこには文化的な摩擦や融合などが確認できる。本講義においては、アジア内陸部をはじめとする国境地帯を取りあげ考察を行う。

各国・社会の異文化の接触地帯の現状と特徴について理解し、説明できるようになることを目標とする。

- - - 到達目標 - - -

日本や各社会における異文化の接触地帯の現状と特徴について理解し説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください(講義1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習する。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験有。定期試験の結果(100%)により評価する。具体的には、日本の外国人人口数の推移や属性の変化、世界各国の異文化の接触地帯の特徴(民族・文化的背景など)に関する専門用語および重要統計などが理解できているかを重視する。

- - - テキスト - - -

なし。配布資料により講義を行う。

- - - 参考書 - - -

世界地図および各国要覧等

- - - 履修上の留意点 - - -

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に十分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、地理学Aを受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒につくりましょう。

- - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業) 1960年代の日本社会

外国人人口の推移と属性の変化

外国人コミュニティの形成と特徴

今後の展望と課題

「異文化の接触地帯」とは

U.S.「何でもあり」のカリフォルニア

多文化主義とカナダ - フレンチ・カナダ

多文化主義への転換とオーストラリア

移民社会・N.Z. - 「中立性」

移民社会・シンガポール - 人口増加の謎

東洋と西洋の接触 - 香港(ホンコン/シャンガン)

国境を見る - アジア内陸部

国境に行く - アジア内陸部

国境を考える - アジア内陸部

前期のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/61xh2klwsjuxdxawz0t84k0dyrgdp8i1)

[s/61xh2klwsjuxdxawz0t84k0dyrgdp8i1](https://fukuoka-u.box.com/s/61xh2klwsjuxdxawz0t84k0dyrgdp8i1))

磯田 則彦

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・2 時限 試験時間割：2021/07/24 1 時限

- - - 概要 - - -

本講義では、日本での外国人人口の増加や、世界各国の国境地帯をはじめとする異民族・異文化の接触地帯の現状と特徴について考察する。事例地域としては、日本をはじめ、アジア内陸部やシンガポール・香港、北アメリカ（ケベック・カリフォルニア）、オーストラリア・ニュージーランドなどである。

今年2021年は、57年ぶりに東京で夏季オリンピックが開催されるが、1964年当時の日本社会と現在では多くのことが異なる。外国人観光客の訪問や同居者の顕著な増大は、私たちの日常に、文字どおり「異文化の接触地帯」を形成している。客観的な人口統計の分析と解釈からこの数十年間での社会の変貌ぶりが見えてくるであろう。

もちろん、異文化の接触地帯は多くの社会に見られる。典型的なそれは国境地帯である。概して、同地帯は異民族が接触する地帯であり、そこには文化的な摩擦や融合などが確認できる。本講義においては、アジア内陸部をはじめとする国境地帯を取りあげ考察を行う。

各国・社会の異文化の接触地帯の現状と特徴について理解し、説明できるようになることを目標とする。

- - - 到達目標 - - -

日本や各社会における異文化の接触地帯の現状と特徴について理解し説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください(講義1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習する。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験有。定期試験の結果(100%)により評価する。具体的には、日本の外国人人口数の推移や属性の変化、世界各国の異文化の接触地帯の特徴(民族・文化的背景など)に関する専門用語および重要統計などが理解できているかを重視する。

- - - テキスト - - -

なし。配布資料により講義を行う。

- - - 参考書 - - -

世界地図および各国要覧等

- - - 履修上の留意点 - - -

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に十分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、地理学Aを受講する上での学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒につくりましょう。

- - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業) 1960年代の日本社会

外国人人口の推移と属性の変化

外国人コミュニティの形成と特徴

今後の展望と課題

「異文化の接触地帯」とは

U.S.「何でもあり」のカリフォルニア

多文化主義とカナダ - フレンチ・カナダ

多文化主義への転換とオーストラリア

移民社会・N.Z. - 「中立性」

移民社会・シンガポール - 人口増加の謎

東洋と西洋の接触 - 香港(ホンコン/シャンガン)

国境を見る - アジア内陸部

国境に行く - アジア内陸部

国境を考える - アジア内陸部

前期のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/uosfxbsfhdkzsklh2mvb0bt94ofqooz2>)

伊藤 千尋

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：火・5 時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地表面で展開している諸現象を地理空間との関係においてその構造や特徴を明らかにする学問です。大学における地理学は、高校までの「地理」とは異なります。「地理 = 暗記 = 苦手」と思ってきた方にも、この講義を通じて地理学の魅力に触れてみてほしいと思っています。

地理学で扱う研究対象は広く、その手法も様々です。本講義では、4つのトピック（自然と人間、都市、観光、災害）を軸として、地理学の基礎的な考え方や知識を身につけ、地理学的に考察する力を育むことを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

地理学に関する基本的な知識・考え方が理解できる(知識・理解)

地図や統計などから地域の特徴やその変化を読み取ることができる(技能)

身近な地域や日本が抱えている社会問題について、地理学的見地から考察しようとする事ができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料を読む(60分程度)
 復習：授業内容の整理・確認(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容を基礎とし、地理学の見方・考え方を理解できているか、地図・統計等の情報を分析的に読み解くことができるかを評価する

評価方法：理解度確認のための小テスト(計4回60%) + 期末レポート(40%)

小テストはMoodleを用いて各トピックの最終回に実施します。

本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しない。
 授業資料は毎回Moodleにアップロードします。必ず、授業前に各自で授業資料をダウンロードし、授業に持参すること。

- - - 参考書 - - -

授業中に適時紹介します

- - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業と関係ない行為、他学生に迷惑をかける行為は禁止する。注意しても改善されない場合は退出を命じる。小テストを実施する回では、Moodleを閲覧できるスマートフォンやタブレット端末、PC等を持参することが必要になります。

第1回授業において授業の進め方や評価に関するガイダンスを行うため、履修希望者は必ず受講すること。

- - - 授業計画 - - -

- 1) 地理学とは・授業のルール・方法の説明(スタートアップ授業)
- 2) 自然と人間の関係1(キーワード：生業、資源利用、コミュニティ、農山村、環境問題)
- 3) 自然と人間の関係2
- 4) 自然と人間の関係3
- 5) 自然と人間の関係4
- 6) グローバル化と都市1(キーワード：グローバル化、移民、メガイベント、買い物難民)
- 7) グローバル化と都市2
- 8) グローバル化と都市3
- 9) 観光化する世界1(キーワード：観光、場所イメージ、ツーリズムの多様化)
- 10) 観光化する世界2
- 11) 観光化する世界3
- 12) 自然災害に向き合う1(キーワード：地震、土砂災害、減災、地域社会)
- 13) 自然災害に向き合う2
- 14) 自然災害に向き合う3
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/k43gzxs46oe9zo8gkaiy34y9a613ozk>)

伊藤 千尋

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：水・1 時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地表面で展開している諸現象を地理空間との関係においてその構造や特徴を明らかにする学問です。大学における地理学は、高校までの「地理」とは異なります。「地理 = 暗記 = 苦手」と思ってきた方にも、この講義を通じて地理学の魅力に触れてみてほしいと思っています。
 地理学で扱う研究対象は広く、その手法も様々です。本講義では、4つのトピック（自然と人間、都市、観光、災害）を軸として、地理学の基礎的な考え方や知識を身につけ、地理学的に考察する力を育むことを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

地理学に関する基本的な知識・考え方が理解できる(知識・理解)

地図や統計などから地域の特徴やその変化を読み取ることができる(技能)

身近な地域や日本が抱えている社会問題について、地理学的見地から考察しようとすることができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料を読む(60分程度)
 復習：授業内容の整理・確認(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容を基礎とし、地理学の見方・考え方を理解できているか、地図・統計等の情報を分析的に読み解くことができるかを評価する
 評価方法：理解度確認のための小テスト(計4回60%) + 期末レポート(40%)
 小テストはMoodleを用いて各トピックの最終回に実施します。
 本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しない。
 授業資料は毎回Moodleにアップロードします。必ず、授業前に各自で授業資料をダウンロードし、授業に持参すること。

- - - 参考書 - - -

授業中に適時紹介します

- - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業と関係ない行為、他学生に迷惑をかける行為は禁止する。注意しても改善されない場合は退出を命じる。
 小テストを実施する回では、Moodleを閲覧できるスマートフォンやタブレット端末、PC等を持参することが必要になります。
 第1回授業において授業の進め方や評価に関するガイダンスを行うため、履修希望者は必ず受講すること。

- - - 授業計画 - - -

- 1) 地理学とは・授業のルール・方法の説明(スタートアップ授業)
- 2) 自然と人間の関係1(キーワード：生業、資源利用、コミュニティ、農山村、環境問題)
- 3) 自然と人間の関係2
- 4) 自然と人間の関係3
- 5) 自然と人間の関係4
- 6) グローバル化と都市1(キーワード：グローバル化、移民、メガイベント、買い物難民)
- 7) グローバル化と都市2
- 8) グローバル化と都市3
- 9) 観光化する世界1(キーワード：観光、場所イメージ、ツーリズムの多様化)
- 10) 観光化する世界2
- 11) 観光化する世界3
- 12) 自然災害に向き合う1(キーワード：地震、土砂災害、減災、地域社会)
- 13) 自然災害に向き合う2
- 14) 自然災害に向き合う3
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/78utm1tqzelvd0o4fh6ma3rf0njdf6p)

藤村 健一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・3 時限 試験時間割：2021/07/24 1 時限

- - - 概要 - - -

地理学は、概ね人文地理学・自然地理学・地誌学に分かれている。この授業では、まず地理学全体について説明をした後で、自然地理学の主要テーマである気候・地形について講じる。ついで、人文地理学の中でも自然地理学と特に関わりが深い農牧業の地理学について論じる。以上を通して、地理学の基礎的な知識と地理学的な考え方を修得することを目指す。

- - - 到達目標 - - -

地理学の考え方を理解し、自然と農牧業の地理学の基礎的な知識を修得する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100% (授業内容を理解し、地理学の基礎を把握できているかを確認する)

- - - テキスト - - -

なし(レジュメを配布する)

- - - 参考書 - - -

仁科淳司『やさしい気候学 第4版』 ISBN 9784772285117
 吉田英嗣『はじめての自然地理学 第2版』 ISBN 9784772271486
 西城潔ほか『地形でとらえる環境と暮らし』 ISBN 9784772253369

これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

後期の地理学Bも併せて受講することが望ましい。地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、地理学とは何か I (地理学の分類) (スタートアップ授業)
2. 地理学とは何か II (地理学の研究目的)
3. 地理学とは何か III (地理学の研究方法)
4. 地理学と地理教育
5. 環境論の盛衰
6. 気候 I (気候因子)
7. 気候 II (気候分布)
8. 気候 III (風と海流、異常気象)
9. 地形 I (大地形 1)
10. 地形 II (大地形 2)
11. 地形 III (小地形)
12. 世界の農牧業 I (農産物の原産地と栽培条件)
13. 世界の農牧業 II (農牧業の種類 1)
14. 世界の農牧業 III (農牧業の種類 2)
15. 世界の農牧業 IV (主な農畜産物の生産)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/5krmqhghg54c2clayio7va4wklg3pkfad>)

藤村 健一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5 時限 試験時間割：2021/07/24 1 時限

- - - 概要 - - -

地理学は、概ね人文地理学・自然地理学・地誌学に分かれている。この授業では、まず地理学全体について説明をした後で、自然地理学の主要テーマである気候・地形について講じる。ついで、人文地理学の中でも自然地理学と特に関わりが深い農牧業の地理学について論じる。以上を通して、地理学の基礎的な知識と地理学的な考え方を修得することを目指す。

- - - 到達目標 - - -

地理学の考え方を理解し、自然と農牧業の地理学の基礎的な知識を修得する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100% (授業内容を理解し、地理学の基礎を把握できているかを確認する)

- - - テキスト - - -

なし(レジュメを配布する)

- - - 参考書 - - -

仁科淳司『やさしい気候学 第4版』 ISBN 9784772285117
 吉田英嗣『はじめての自然地理学 第2版』 ISBN 9784772271486
 西城潔ほか『地形でとらえる環境と暮らし』 ISBN 9784772253369

これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

後期の地理学Bも併せて受講することが望ましい。地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、地理学とは何か I (地理学の分類) (スタートアップ授業)
2. 地理学とは何か II (地理学の研究目的)
3. 地理学とは何か III (地理学の研究方法)
4. 地理学と地理教育
5. 環境論の盛衰
6. 気候 I (気候因子)
7. 気候 II (気候分布)
8. 気候 III (風と海流、異常気象)
9. 地形 I (大地形 1)
10. 地形 II (大地形 2)
11. 地形 III (小地形)
12. 世界の農牧業 I (農産物の原産地と栽培条件)
13. 世界の農牧業 II (農牧業の種類 1)
14. 世界の農牧業 III (農牧業の種類 2)
15. 世界の農牧業 IV (主な農畜産物の生産)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/t52k1ml8m9kfvqyhmbd6b2nnnwme23u2>)

鴨川 武文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/24 1時限, 2021/07/24 1時限

- - - 概要 - - -

グローバル化と格差問題について講義が行われる。グローバルな視点といわれるが、それは、たとえば人口・食料・エネルギー・環境などの問題は地球規模で考えなければ解決の糸口は見つからないであろう。一方で、これらの問題は地域によって現れ方が異なっている。したがって初めに日本や身近な地域の問題としてとらえ、さらに世界的な問題としてとらえる。すなわちローカルな問題をグローバルな観点から考えていく。加えてグローバル化の進展によって、工業や農業における日本の優位性が失われつつあることも事実であり、このことが日本国内においてどのような地域格差をもたらしているかも合わせて考えていくこととする。

- - - 到達目標 - - -

グローバル化や格差問題について説明することができる。(知識・理解)

文献や統計資料の収集ができる。(知識・理解)

新聞記事などを読んで、グローバル化や格差問題について日常的に考えることができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業の予習・復習をしてもらいたい。その方法としては、教科書を熟読して、理解に努める。不明な箇所については講義時などを活用して疑問点・問題点を氷解させる。また、インターネットを活用してもよいであろう。ただし、その際、その情報が正確かどうかの精査を必ず行って欲しい。また、予習・復習には、講義時間に相当する90分程度をかけて欲しい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

グローバル化や格差問題についての文献や新聞記事を読み、また、統計資料などを参照して、自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とする。

評価方法

定期試験、小テスト(1回)、グローバル化や格差についてのショートクイズなどにより評価する。

割合

定期試験の成績を80%、小テストを10%、ショートクイズを10%とする。

なお、大学の判断により定期試験が中止された場合は、上記の評価方法・割合を変更する可能性がある。

- - - テキスト - - -

伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説 21世紀日本の地域問題』古今書院 2012年 2500円
 ISBN 978-4-7722-4124-3

- - - 履修上の留意点 - - -

教科書は必ず持参すること。また、授業中に地名などが出てくることもあるので、高校時代に使用したものでかまわないから地図帳や統計集を持参することが望ましい。ただし、地図帳や統計集がないからといって、あらためて購入する必要はない。また、日常的に新聞や雑誌を読んで、グローバル化や格差の意味についての基礎的な知識を有することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 地理学的な見方・考え方
- 2 世界都市の可能性と限界
- 3 外資系企業の集積と都心の再開発
- 4 居住・生活空間としての都心の再活性化
- 5 エネルギー資源の供給構造
- 6 食料輸入と安全性
- 7 観光立国日本の可能性
- 8 第7回までの振り返りと到達度の確認(中間フォローアップ授業)
- 9 人口構造の地域特性
- 10 大都市のインナーシティ問題
- 11 地方都市中心市街地の空洞化
- 12 産業の空洞化と大都市就業構造の変化
- 13 サービス経済化と都市の就業問題
- 14 産業立地の変化と農山漁村の就業問題
- 15 失業の地域特性

磯田 則彦

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：木・2 時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

本演習では、さまざまな国や地域を取り上げ、そこにみられる社会や文化などを考察することにより、現実世界の多様性について理解を深めたい。現在、世界には197の国と複数の地域が存在するが、そこには異なる人種、さまざまな民族が暮らしている。彼らが形成してきた社会や文化は多様であり、日本と諸外国では多くのことが異なっている。われわれは海外旅行により「非日常的な世界」への“トリップ”を期待するし、滞在先の外国で日本の常識が常識とはならないことも経験的に知っている。では、この差異を「当然存在するもの」としてどのように受け止め、どのように理解すればよいのであろうか。「外(外国)と内(日本)」を知ることで、国際社会に主体的に生きる人間としての教養を深めたい。なお、演習においては、受講者各自に特定の国や地域に関して、あるテーマを設けて分担発表をしていただく予定である。

- - - 到達目標 - - -

世界の国々や地域について、その特徴を理解し説明できる。(知識・理解)

演習で取り上げる国や地域について、適切なプレゼンテーションやレポートの作成などを行うことができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の演習内容の理解を進めるために、演習時間と同等以上の予習・復習を行ってください(演習1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、発表レジュメの見直しを行うほか、専門用語や各種統計などを復習する。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験無。分担発表(35%)、レポートの内容(35%)、平常点(出席状況・ゼミでの発言状況(質問・意見など)・建設的な議論への貢献度など)(30%)により評価する。具体的には、世界のさまざまな国や地域に関する各種事象や地理学的な専門用語を適切に理解できているかを重視する。

- - - テキスト - - -

なし。配布資料により演習を行う。

- - - 参考書 - - -

地図帳および各国要覧など

- - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業)
 世界の国々や地域 レジュメの作成と発表のしかたについて

- 分担発表(1)
- 分担発表(2)
- 分担発表(3)
- 分担発表(4)
- 分担発表(5)
- 分担発表(6)
- 分担発表(7)
- 分担発表(8)
- 分担発表(9)
- 分担発表(10)
- 分担発表(11)
- 分担発表(12)
- まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/j3vzqx1rdnsrbqp5ducpf8extlow343p>)

伊藤 千尋

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

本講義では、メディアで報道される画一的・否定的イメージをともなう「アフリカ」から距離を置き、アフリカの多様性や変化を学び、アフリカの可能性に目を向けることを目的としています。これを通じて、現代社会の課題を解決するヒントについて考え、議論することを目指します。

授業では、アフリカ諸国の自然・社会の多様性を知ることから始まります。そして、受講者の関心に応じてトピックを定め、調査や議論を行います。

前期は特にアフリカ諸国の歴史・文化・社会に関連したトピックを中心とします。

授業では、文献を読解する、特定のトピックに関する情報を収集し発表する、ディスカッションをするといった機会が多くあります。受講者には、関連する情報を収集し課題やグループワークに積極的に取り組むこと、価値の多様性に目を向ける姿勢、が求められます。

- - - 到達目標 - - -

現代アフリカに関心を持ち、特定地域の自然・社会について理解することができる(知識・理解)

関連するトピックに関する情報を収集・整理、分析的に提示することができる(技能)

異文化に対するバイアスを認識し、主体的・積極的に異文化理解に努めることができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料の読解、個別発表の準備等(60分程度)

復習：各授業の内容整理、コメント・質問等をオンラインで共有する、関連する情報(国内外の新聞記事等)の収集など(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：到達目標に照らし合わせ、現代アフリカへの理解および関連するトピックへの学術的意欲・関心、論理的思考力を評価基準とする

評価方法：授業への取り組み(発表、議論への参加、課題への取り組み)(70%)、期末レポート(30%)により総合的に評価する

- - - テキスト - - -

使用しない

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介する

- - - 履修上の留意点 - - -

アフリカに関する知識は全く必要ありませんが、異文化への興味・関心、異文化を理解しようとする態度、自分の関心を育てていく姿勢、が求められます。また、ゼミという性格上、個人発表・グループワークに積極的に参加することが前提となります。

- - - 授業計画 - - -

- 1) イントロダクション：「アフリカ」イメージと向き合う (スタートアップ授業)
- 2) アフリカの多様性を知る
- 3) 個別発表と討論
- 4) 個別発表と討論
- 5) 個別発表と討論
- 6) 個別発表と討論
- 7) 個別発表と討論
- 8) 個別発表と討論
- 9) 個別発表と討論
- 10) 個別発表と討論
- 11) 個別発表と討論
- 12) 個別発表と討論
- 13) 個別発表と討論
- 14) 個別発表と討論
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/jr4c05negrzyb27xpwp43v393phc8ep0>)

鴨川 武文

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・二部1時限 試験時間割：2021/07/30 夜1限, 2021/07/30 夜1限

- - - 概要 - - -

グローバル化と格差問題について講義が行われる。グローバルな視点といわれるが、それは、たとえば人口・食料・エネルギー・環境などの問題は地球規模で考えなければ解決の糸口は見つからないであろう。一方で、これらの問題は地域によって現れ方が異なっている。したがって初めに日本や身近な地域の問題としてとらえ、さらに世界的な問題としてとらえる。すなわちローカルな問題をグローバルな観点から考えていく。加えてグローバル化の進展によって、工業や農業における日本の優位性が失われつつあることも事実であり、このことが日本国内においてどのような地域格差をもたらしているかも合わせて考えていくこととする。

- - - 到達目標 - - -

グローバル化や格差問題について説明することができる。(知識・理解)

文献や統計資料の収集ができる。(知識・理解)

新聞記事などを読んで、グローバル化や格差問題について日常的に考えることができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業の予習・復習をしてもらいたい。その方法としては、教科書を熟読して、理解に努める。不明な箇所については講義時などを活用して疑問点・問題点を氷解させる。また、インターネットを活用してもよいであろう。ただし、その際、その情報が正確かどうかの精査を必ず行って欲しい。また、予習・復習には、講義時間に相当する90分程度をかけて欲しい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

グローバル化や格差問題についての文献や新聞記事を読み、また、統計資料などを参照して、自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とする。

評価方法

定期試験、小テスト(1回)、グローバル化や格差についてのショートクイズなどにより評価する。

割合

定期試験の成績を80%、小テストを10%、ショートクイズを10%とする。

なお、大学の判断により定期試験が中止された場合は、上記の評価方法・割合を変更する可能性がある。

- - - テキスト - - -

伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説 21世紀日本の地域問題』古今書院 2012年 2500円
 ISBN 978-4-7722-4124-3

- - - 履修上の留意点 - - -

教科書は必ず持参すること。また、授業中に地名などが出てくることがあるので、高校時代に使用したものでかまわないから地図帳や統計集を持参することが望ましい。ただし、地図帳や統計集がないからといって、あらためて購入する必要はない。また、日常的に新聞や雑誌を読んで、グローバル化や格差の意味についての基礎的な知識を有することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 地理学的な見方・考え方
- 2 世界都市の可能性と限界
- 3 外資系企業の集積と都心の再開発
- 4 居住・生活空間としての都心の活性化
- 5 エネルギー資源の供給構造
- 6 食料輸入と安全性
- 7 観光立国日本の可能性
- 8 第7回までの振り返りと到達度の確認(中間フォローアップ授業)
- 9 人口構造の地域特性
- 10 大都市のインナーシティ問題
- 11 地方都市中心市街地の空洞化
- 12 産業の空洞化と大都市就業構造の変化
- 13 サービス経済化と都市の就業問題
- 14 産業立地の変化と農山漁村の就業問題
- 15 失業の地域特性

磯田 則彦

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

本講義では、現代社会において大きな関心事となっている人口問題を取りあげる。国連によれば、世界人口は2011年10月末に70億人に到達し、昨年現在、77億人余りとなっている。世界人口は、この数十年間において、12年間で10億人ずつ増加しており、年間約8,000万人程度増えていることになる。

それでは、世界中のどの国や地域においても人口は急速に増加しているのでしょうか？人口統計はそのような傾向を示してはいない。すなわち、世界には、依然として高い出生率と死亡率の顕著な低下を背景に急速に人口が増加している社会がみられる一方で、価値観やライフスタイルの変化などを背景に少子・高齢化が進展している社会がみられる。前者はどのような国々で、後者にはどのようなそれらが含まれるのでしょうか。

各社会の人口動態と人口問題の特徴について理解し、説明できるようにすることを目標とする。

- - - 到達目標 - - -

世界の人口問題の現状と今後について、急速な人口増加および少子高齢・人口減少社会の面から理解し説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の講義内容の理解を進めるために、講義時間と同等以上の予習・復習を行ってください(講義1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、板書ノートや前記資料中の専門用語の意味や重要統計などを復習する。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験有。定期試験の結果(100%)により評価する。具体的には、急速な人口増加の問題や少子高齢・人口減少社会などに関する専門用語や重要統計が理解できているかを重視する。

- - - テキスト - - -

なし。配布資料により講義を行う。

- - - 参考書 - - -

世界各国の総人口や属性別人口に関する各種統計資料

- - - 履修上の留意点 - - -

クラスサイズが比較的大きいので、授業中に十分に理解できなかった点、確認しておきたい点、疑問点などはオフィス・アワーなどを利用して補うことをすすめます。もちろん、地理学Bを受講するうえでの学習上のアドバイスなどもできますので、遠慮なく相談してください。みなさんが主体的に勉強できる環境を一緒に作りましょう。

- - - 授業計画 - - -

イントロダクション(スタートアップ授業) 静態人口と人口統計

動態人口と人口統計

人口動態の段階

サハラ以南のアフリカ諸国における急速な人口増加

「発展途上国」の分類

人口急増社会における人口動態の特徴

高水準の出生率に影響を与える社会経済的要因

「国際的な人口会議」の開催とICPD

「少子化」と「高齢化」の考え方

出生力低下の動向

高齢化の進展

人口動態からみた「先進国」の分類

少子・高齢社会

人口減少社会

後期のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/8b94qrjlehtworgwfq7jvia7wkpptarq)

[s/8b94qrjlehtworgwfq7jvia7wkpptarq](https://fukuoka-u.box.com/s/8b94qrjlehtworgwfq7jvia7wkpptarq))

伊藤 千尋

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地表面で展開している諸現象を地理空間との関係においてその構造や特徴を明らかにする学問です。大学における地理学は、高校までの「地理」とは異なります。「地理 = 暗記 = 苦手」と思ってきた方にも、この講義を通じて地理学の魅力に触れてみてほしいと思っています。
 地理学で扱う研究対象は広く、その手法も様々です。本講義では、国内外の地域（中国地方、南アフリカ、中国、九州地方）に焦点をあて、地理学的視点から地域を理解し、地域の変化を読むことを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

地理学に関する基本的な知識・考え方が理解できる(知識・理解)

地図や統計などから地域の特徴やその変化を読み取ることができる(技能)

身近な地域や日本が抱えている社会問題について、地理学的見地から考察しようとする事ができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料を読む(60分程度)
 復習：授業内容の整理・確認(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容を基礎とし、地理学の見方・考え方を理解できているか、地図・統計等の情報を分析的に読み解くことができるかを評価する
 評価方法：理解度確認のための小テスト(計4回60%) + 期末レポート(40%)
 小テストはMoodleを用いて各トピックの最終回に実施します。
 本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しない。
 授業資料は毎回Moodleにアップロードします。必ず、授業前に各自で授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参すること。

- - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する

- - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業と関係ない行為、他学生に迷惑をかける行為は禁止する。注意しても改善されない場合は退出を命じる。
 小テストを実施する回では、Moodleを閲覧できるスマートフォンやタブレット端末、PC等を持参することが必要になります。
 第1回授業において授業の進め方や評価に関するガイダンスを行うため、履修希望者は必ず受講すること。

- - - 授業計画 - - -

- 1) 地理学とは・授業のルール・方法の説明 (スタートアップ授業)
- 2) 中国地方1 (キーワード：都市の変化、戦争と平和、産業と文化、環境)
- 3) 中国地方2
- 4) 中国地方3
- 5) 中国地方4
- 6) 南アフリカ1 (キーワード：アパルトヘイト、ラグビー、ゼノフォビア、グローバル化)
- 7) 南アフリカ2
- 8) 南アフリカ3
- 9) 中国1 (キーワード：経済成長、地域間格差、国際関係)
- 10) 中国2
- 11) 中国3
- 12) 九州地方1 (キーワード：アジアとの交流、都市の変化、地場産業)
- 13) 九州地方2
- 14) 九州地方3
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/ydepnw64bkb0ib3dnw3qbbf318mbq88m>

伊藤 千尋

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

地理学は、地表面で展開している諸現象を地理空間との関係においてその構造や特徴を明らかにする学問です。大学における地理学は、高校までの「地理」とは異なります。「地理 = 暗記 = 苦手」と思ってきた方にも、この講義を通じて地理学の魅力に触れてみてほしいと思っています。
 地理学で扱う研究対象は広く、その手法も様々です。本講義では、国内外の地域（中国地方、南アフリカ、中国、九州地方）に焦点をあて、地理学的視点から地域を理解し、地域の変化を読むことを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

地理学に関する基本的な知識・考え方が理解できる(知識・理解)

地図や統計などから地域の特徴やその変化を読み取ることができる(技能)

身近な地域や日本が抱えている社会問題について、地理学的見地から考察しようとする事ができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料を読む(60分程度)
 復習：授業内容の整理・確認(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：授業内容を基礎とし、地理学の見方・考え方を理解できているか、地図・統計等の情報を分析的に読み解くことができるかを評価する
 評価方法：理解度確認のための小テスト(計4回60%) + 期末レポート(40%)
 小テストはMoodleを用いて各トピックの最終回に実施します。
 本授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することができません。

- - - テキスト - - -

使用しない。
 授業資料は毎回Moodleにアップロードします。必ず、授業前に各自で授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参すること。

- - - 参考書 - - -

授業中に適宜紹介する

- - - 履修上の留意点 - - -

私語や授業と関係ない行為、他学生に迷惑をかける行為は禁止する。注意しても改善されない場合は退出を命じる。
 小テストを実施する回では、Moodleを閲覧できるスマートフォンやタブレット端末、PC等を持参することが必要になります。
 第1回授業において授業の進め方や評価に関するガイダンスを行うため、履修希望者は必ず受講すること。

- - - 授業計画 - - -

- 1) 地理学とは・授業のルール・方法の説明 (スタートアップ授業)
- 2) 中国地方1 (キーワード：都市の変化、戦争と平和、産業と文化、環境)
- 3) 中国地方2
- 4) 中国地方3
- 5) 中国地方4
- 6) 南アフリカ1 (キーワード：アパルトヘイト、ラグビー、ゼノフォビア、グローバル化)
- 7) 南アフリカ2
- 8) 南アフリカ3
- 9) 中国1 (キーワード：経済成長、地域間格差、国際関係)
- 10) 中国2
- 11) 中国3
- 12) 九州地方1 (キーワード：アジアとの交流、都市の変化、地場産業)
- 13) 九州地方2
- 14) 九州地方3
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/fcam1c6dljucukrgotn9nxhzdyci876d5>)

藤村 健一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・1時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

地理学は、概ね人文地理学・自然地理学・地誌学に分かれている。この授業では、人文地理学の主要テーマである経済と都市・村落の地理学について講じる。ついで、現代の社会問題・国際問題の要因にもなっている宗教・言語・民族・人口の地理学について論じる。さらに、地形図をはじめとしたさまざまな地図の種類と利用方法を教える。以上を通して、地理学の基礎的な知識と地理学的な考え方を修得することを目指す。

- - - 到達目標 - - -

地理学の考え方を理解し、人文地理学の基礎的な知識を修得する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100%（授業内容を理解し、地理学の基礎を把握できているかを確認する）

- - - テキスト - - -

なし（レジュメを配布する）

- - - 参考書 - - -

伊藤達也ほか編『経済地理学への招待』 ISBN 9784623086917
 岡橋秀典『現代農村の地理学』 ISBN 9784772231947
 稲垣稜『都市の人文地理学』 ISBN 9784772253253
 これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、経済Ⅰ（経済地理学とは何か）（スタートアップ授業）
2. 経済Ⅱ（工業の立地）
3. 経済Ⅲ（サービス産業の立地）
4. 経済Ⅳ（国民経済、貿易、国際分業）
5. 都市Ⅰ（都市の定義・特徴・機能）
6. 都市Ⅱ（都市の階層構造・内部構造）
7. 都市Ⅲ（都市化、都市問題）
8. 都市Ⅳ（都市の歴史的形態）
9. 村落Ⅰ（村落の定義・分類・歴史）
10. 村落Ⅱ（村落の社会構造、過疎問題）
11. 宗教Ⅰ（世界の宗教の分類）
12. 宗教Ⅱ（主な宗教の分布と特徴）
13. 言語（世界の言語分布）
14. 民族・人口（民族の定義、民族問題、世界の人口）
15. 地図（地図に必要な要素、地図の種類、電子地図とその利用）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/c2go2ywwj77kz6uuizpnfnlqz3lwpsj>)

藤村 健一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

地理学は、概ね人文地理学・自然地理学・地誌学に分かれている。この授業では、人文地理学の主要テーマである経済と都市・村落の地理学について講じる。ついで、現代の社会問題・国際問題の要因にもなっている宗教・言語・民族・人口の地理学について論じる。さらに、地形図をはじめとしたさまざまな地図の種類と利用方法を教える。以上を通して、地理学の基礎的な知識と地理学的な考え方を修得することを目指す。

- - - 到達目標 - - -

地理学の考え方を理解し、人文地理学の基礎的な知識を修得する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100%(授業内容を理解し、地理学の基礎を把握できているかを確認する)

- - - テキスト - - -

なし(レジュメを配布する)

- - - 参考書 - - -

伊藤達也ほか編『経済地理学への招待』 ISBN 9784623086917
 岡橋秀典『現代農村の地理学』 ISBN 9784772231947
 稲垣稜『都市の人文地理学』 ISBN 9784772253253
 これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、経済Ⅰ(経済地理学とは何か)(スタートアップ授業)
2. 経済Ⅱ(工業の立地)
3. 経済Ⅲ(サービス産業の立地)
4. 経済Ⅳ(国民経済、貿易、国際分業)
5. 都市Ⅰ(都市の定義・特徴・機能)
6. 都市Ⅱ(都市の階層構造・内部構造)
7. 都市Ⅲ(都市化、都市問題)
8. 都市Ⅳ(都市の歴史的形態)
9. 村落Ⅰ(村落の定義・分類・歴史)
10. 村落Ⅱ(村落の社会構造、過疎問題)
11. 宗教Ⅰ(世界の宗教の分類)
12. 宗教Ⅱ(主な宗教の分布と特徴)
13. 言語(世界の言語分布)
14. 民族・人口(民族の定義、民族問題、世界の人口)
15. 地図(地図に必要な要素、地図の種類、電子地図とその利用)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/1pgf8nakz5pkx0z9hm8uj5982isvobcl>)

藤村 健一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

地理学は、概ね人文地理学・自然地理学・地誌学に分かれている。この授業では、人文地理学の主要テーマである経済と都市・村落の地理学について講じる。ついで、現代の社会問題・国際問題の要因にもなっている宗教・言語・民族・人口の地理学について論じる。さらに、地形図をはじめとしたさまざまな地図の種類と利用方法を教える。以上を通して、地理学の基礎的な知識と地理学的な考え方を修得することを目指す。

- - - 到達目標 - - -

地理学の考え方を理解し、人文地理学の基礎的な知識を修得する。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100%(授業内容を理解し、地理学の基礎を把握できているかを確認する)

- - - テキスト - - -

なし(レジュメを配布する)

- - - 参考書 - - -

伊藤達也ほか編『経済地理学への招待』 ISBN 9784623086917
 岡橋秀典『現代農村の地理学』 ISBN 9784772231947
 稲垣稜『都市の人文地理学』 ISBN 9784772253253
 これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、経済Ⅰ(経済地理学とは何か)(スタートアップ授業)
2. 経済Ⅱ(工業の立地)
3. 経済Ⅲ(サービス産業の立地)
4. 経済Ⅳ(国民経済、貿易、国際分業)
5. 都市Ⅰ(都市の定義・特徴・機能)
6. 都市Ⅱ(都市の階層構造・内部構造)
7. 都市Ⅲ(都市化、都市問題)
8. 都市Ⅳ(都市の歴史的形態)
9. 村落Ⅰ(村落の定義・分類・歴史)
10. 村落Ⅱ(村落の社会構造、過疎問題)
11. 宗教Ⅰ(世界の宗教の分類)
12. 宗教Ⅱ(主な宗教の分布と特徴)
13. 言語(世界の言語分布)
14. 民族・人口(民族の定義、民族問題、世界の人口)
15. 地図(地図に必要な要素、地図の種類、電子地図とその利用)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/v2mfhz76fw09189gebxepekt223esgksi>)

鴨川 武文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/19 1時限

- - - 概要 - - -

環境問題と地域再構築について講義が行われる。環境問題の発生は、工業化にともなう大量生産・大量消費・大量廃棄に主たる背景があるといえる。今日の地球的規模での環境問題をふまえて、工業化・都市化による環境の劣化、環境保全活動の具体例について考えていく。加えて日々生活する人々にとって好ましい環境開発・環境整備とはどのようなものであるかを地域再構築の観点から考えていくこととする。

- - - 到達目標 - - -

環境問題や産業再生・コミュニティ再生について説明できる。(技能)

文献検索や統計資料の収集ができる。(技能)

新聞記事などを読んで、環境問題や産業再生・地域社会について日常的に考えることができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業の予習・復習をしてもらいたい。その方法としては、教科書を熟読して、理解に努める。不明な箇所については講義時などを活用して疑問点・問題点を氷解させる。また、インターネットを活用してもよいであろう。ただし、その際、その情報が正確かどうかの精査を必ず行って欲しい。また、予習・復習には、講義時間に相当する90分程度をかけて欲しい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

環境問題や産業再生・コミュニティ再生についての文献や新聞記事を読み、また、統計資料などを参照して、自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とする。

評価方法

定期試験、小テスト(1回)、環境問題や産業再生・コミュニティ再生についてのショートクイズなどにより評価する。

割合

定期試験の成績を80%、小テストを10%、ショートクイズを10%とする。

なお、大学の判断により定期試験が中止された場合は、上記の評価方法・割合を変更する可能性がある。

- - - テキスト - - -

伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説 21世紀日本の地域構造』古今書院 2012年 2500円
 ISBN 978-4-7722-4124-3

- - - 履修上の留意点 - - -

教科書は必ず持参すること。また、授業中に地名などが出てくることがあるので、高校時代に使用したものでかまわないから地図帳や統計集を持参することが望ましい。ただし、地図帳や統計集がないからといって、あらためて購入する必要はない。また、日常的に新聞や雑誌を読んで、環境問題や産業再生・コミュニティについての基礎的な知識を有することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 地理学的な見方・考え方
- 2 限界集落と廃村
- 3 林業の衰退と花粉症
- 4 環境の変化と獣害
- 5 大気汚染
- 6 ヒートアイランド
- 7 産業廃棄物
- 8 第7回までの振り返りと到達度の確認(中間フォローアップ授業)
- 9 環境運動の地域的展開
- 10 地球温暖化問題への対応
- 11 都市圏と生活圏
- 12 東京大都市圏の生活空間
- 13 都市問題と製造業 - 住工混在問題 -
- 14 コンパクトシティ
- 15 市町村合併

磯田 則彦

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

本演習では、前期に引き続き、さまざまな国や地域を取り上げ、そこにみられる社会や文化などを考察することにより、現実世界の多様性について理解を深めたい。今日、世界の国々や地域は、多かれ少なかれグローバル化やローカリゼーションの影響を受けて変容している。たとえば、中国は「世界の工場」として大きく成長してきたし、日本は輸送機械や情報通信機械工業などをはじめとして海外現地生産を展開している。各メーカーは、車や家電製品などを海外の市場で販売するにあたり、現地の人々の価値観や行動・生活様式などを詳細に分析しなければ売り上げを伸ばすことはできないであろう。この点において、まさに「異文化理解」が求められるのである。本演習では、21世紀前半の変貌する国々や地域をさまざまな角度から考察することにより、国際社会に主体的に生きる人間としての知識と教養を深めたい。なお、ゼミの形式としては、受講者各自に特定の国や地域に関して、あるテーマを設けて分担発表をしていただく予定である。

- - - 到達目標 - - -

世界の国々や地域について、その特徴を理解し説明できる。
 (知識・理解)

演習で取り上げる国や地域について、適切なプレゼンテーションやレポートの作成などを行うことができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の演習内容の理解を進めるために、演習時間と同等以上の予習・復習を行ってください(演習1時間あたり各90分以上)。具体的には、授業で使用する資料(専門用語等)について予め学習する。および、発表レジュメの見直しを行うほか、専門用語や各種統計などを復習する。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験無。分担発表(35%)、レポートの内容(35%)、平常点(出席状況・ゼミでの発言状況(質問・意見など)・建設的な議論への貢献度など)(30%)により評価する。具体的には、世界のさまざまな国や地域に関する注目すべきトピックスや地理学的な専門用語を適切に理解できているかを重視する。

- - - テキスト - - -

なし。配布資料により演習を行う。

- - - 参考書 - - -

地図帳および各国要覧など

- - - 授業計画 - - -

- イントロダクション(スタートアップ授業)世界の国々や地域
- レジュメの作成と発表のしかたについて
- 分担発表(1)
- 分担発表(2)
- 分担発表(3)
- 分担発表(4)
- 分担発表(5)
- 分担発表(6)
- 分担発表(7)
- 分担発表(8)
- 分担発表(9)
- 分担発表(10)
- 分担発表(11)
- 分担発表(12)
- まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/g2jm5lilozpso7zs3n992c91dznz7ttfq>)

伊藤 千尋

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

本講義では、メディアで報道される画一的・否定的イメージをともなう「アフリカ」から距離を置き、アフリカの多様性や変化を学び、アフリカの可能性に目を向けることを目的としています。これを通じて、現代社会の課題を解決するヒントについて考え、議論することを目指します。

授業では、アフリカ諸国の自然・社会の多様性を知ることから始まります。そして、受講者の関心に応じてトピックを定め、調査や議論を行います。

後期は特にアフリカ諸国の社会問題(自然保護、ジェンダー、開発等)に関連したトピックを中心とします。

授業では、文献を読解する、特定のトピックに関する情報を収集し発表する、ディスカッションをするといった機会が多くあります。受講者には、関連する情報を収集し課題やグループワークに積極的に取り組むこと、価値の多様性に目を向ける姿勢、が求められます。

- - - 到達目標 - - -

現代アフリカに関心を持ち、特定地域の自然・社会について理解することができる(知識・理解)

関連するトピックに関する情報を収集・整理、分析的に提示することができる(技能)

異文化に対するバイアスを認識し、主体的・積極的に異文化理解に努めることができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：配布資料の読解、個別発表の準備等(60分程度)

復習：各授業の内容整理、コメント・質問等をオンラインで共有する、関連する情報(国内外の新聞記事等)の収集など(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：到達目標に照らし合わせ、現代アフリカへの理解および関連するトピックへの学術的意欲・関心、論理的思考力を評価基準とする

評価方法：授業への取り組み(発表、議論への参加、課題への取り組み)(70%)、期末レポート(30%)により総合的に評価する

- - - テキスト - - -

使用しない

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介する

- - - 履修上の留意点 - - -

アフリカに関する知識は全く必要ありませんが、異文化への興味・関心、異文化を理解しようとする態度、自分の関心を育てていく姿勢、が求められます。

また、ゼミという性格上、個人発表・グループワークに積極的に参加することが前提となります。

- - - 授業計画 - - -

- 1) イントロダクション：「アフリカ」イメージと向き合う(スタートアップ授業)
- 2) アフリカの社会問題
- 3) 個別発表と討論
- 4) 個別発表と討論
- 5) 個別発表と討論
- 6) 個別発表と討論
- 7) 個別発表と討論
- 8) 個別発表と討論
- 9) 個別発表と討論
- 10) 個別発表と討論
- 11) 個別発表と討論
- 12) 個別発表と討論
- 13) 個別発表と討論
- 14) 個別発表と討論
- 15) 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/swranw8op1mrqfmyigw8o35mp8o8zcan>)

鴨川 武文

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/21 夜 1 限

- - - 概要 - - -

環境問題と地域再構築について講義が行われる。環境問題の発生は、工業化にともなう大量生産・大量消費・大量廃棄に主たる背景があるといえる。今日の地球的規模での環境問題をふまえて、工業化・都市化による環境の劣化、環境保全活動の具体例について考えていく。加えて日々生活する人々にとって好ましい環境開発・環境整備とはどのようなものであるかを地域再構築の観点から考えていくこととする。

- - - 到達目標 - - -

環境問題や産業再生・コミュニティ再生について説明できる。(技能)

文献検索や統計資料の収集ができる。(技能)

新聞記事などを読んで、環境問題や産業再生・地域社会について日常的に考えることができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業の予習・復習をしてもらいたい。その方法としては、教科書を熟読して、理解に努める。不明な箇所については講義時などを活用して疑問点・問題点を氷解させる。また、インターネットを活用してもよいであろう。ただし、その際、その情報が正確かどうかの精査を必ず行って欲しい。また、予習・復習には、講義時間に相当する90分程度をかけて欲しい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

環境問題や産業再生・コミュニティ再生についての文献や新聞記事を読み、また、統計資料などを参照して、自分の言葉で正確に説明できているかを評価の基準とする。

評価方法

定期試験、小テスト(1回)、環境問題や産業再生・コミュニティ再生についてのショートクイズなどにより評価する。

割合

定期試験の成績を80%、小テストを10%、ショートクイズを10%とする。

なお、大学の判断により定期試験が中止された場合は、上記の評価方法・割合を変更する可能性がある。

- - - テキスト - - -

伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説 21世紀日本の地域構造』古今書院 2012年 2500円
 ISBN 978-4-7722-4124-3

- - - 履修上の留意点 - - -

教科書は必ず持参すること。また、授業中に地名などが出てくることがあるので、高校時代に使用したものでかまわないから地図帳や統計集を持参することが望ましい。ただし、地図帳や統計集がないからといって、あらためて購入する必要はない。また、日常的に新聞や雑誌を読んで、環境問題や産業再生・コミュニティについての基礎的な知識を有することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 地理学的な見方・考え方
- 2 限界集落と廃村
- 3 林業の衰退と花粉症
- 4 環境の変化と獣害
- 5 大気汚染
- 6 ヒートアイランド
- 7 産業廃棄物
- 8 第7回までの振り返りと到達度の確認(中間フォローアップ授業)
- 9 環境運動の地域的展開
- 10 地球温暖化問題への対応
- 11 都市圏と生活圏
- 12 東京大都市圏の生活空間
- 13 都市問題と製造業 - 住工混在問題 -
- 14 コンパクトシティ
- 15 市町村合併

藤村 健一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/20 1時限

- - - 概要 - - -

いわゆる「土地柄」、「県民性」、「国民性」などのことを、学界では「地域性」と呼んでいる。地域性とは、それぞれの地域に備わっているとされる固有の性格のことである。地域性を理解するのは一般に考えられているほど容易ではなく、地域における自然環境や経済、文化など様々な要素を勘案し、総合的に考察する必要がある。では、地域性は具体的にどのような方法で把握できるのだろうか。そもそも、「地域」とは何なのだろうか。

地域や地域性に関する研究分野は、地理学では「地誌学」と呼ばれている。この授業では、地誌学による地域理解の方法を概観した上で、世界の諸地域の例としてアメリカと中国を取り上げ、それぞれの地域性を地誌学的に考察する。

このほか、地誌学と地理教育との関係についても言及する。

- - - 到達目標 - - -

地誌学の基礎を理解し、地域性を把握することができる。(知識・理解)

アメリカと中国の地誌を学び、これらの地域性を把握することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100%（授業内容を理解し、地誌学の基礎を把握できているか確認する）

- - - テキスト - - -

なし（レジュメを配布する）

- - - 参考書 - - -

村山祐司編『地域研究』 ISBN 9784254167122

矢ヶ崎典隆編『アメリカ』 ISBN 9784254168587

上野和彦編『中国』 ISBN 9784254168563

これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、地理学および地誌学とは何かⅠ（研究目的・研究方法）（スタートアップ授業）
2. 地理学および地誌学とは何かⅡ（研究例）、学校での「地理」教育と地誌学
3. 地域性の捉え方Ⅰ（自然環境と政治・経済の関係）
4. 地域性の捉え方Ⅱ（自然環境と文化の関係）
5. 地域性の捉え方Ⅲ（経済と文化の関係）
6. 地域性の捉え方Ⅳ（政治と文化の関係）
7. アメリカの地誌Ⅰ（自然環境）
8. アメリカの地誌Ⅱ（地域区分）
9. アメリカの地誌Ⅲ（歴史）
10. アメリカの地誌Ⅳ（国民経済、農牧業）
11. アメリカの地誌Ⅴ（主要都市）
12. アメリカの地誌Ⅵ（民族、宗教、政治）
13. 中国の地誌Ⅰ（地域区分、気候、農牧業）
14. 中国の地誌Ⅱ（工業、主要都市）
15. 中国の地誌Ⅲ（政治、民族、文化、香港・台湾）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/87wunk3mtq4u4wa567y7n7bdlnllyqa3)

[s/87wunk3mtq4u4wa567y7n7bdlnllyqa3](https://fukuoka-u.box.com/s/87wunk3mtq4u4wa567y7n7bdlnllyqa3))

藤村 健一

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・二部 1 時間 試験時間割：2021/07/26 夜 1 限

- - - 概要 - - -

いわゆる「土地柄」、「県民性」、「国民性」などのことを、学术界では「地域性」と呼んでいる。地域性とは、それぞれの地域に備わっているとされる固有の性格のことである。地域性を理解するのは一般に考えられているほど容易ではなく、地域における自然環境や経済、文化など様々な要素を勘案し、総合的に考察する必要がある。では、地域性は具体的にどのような方法で把握できるのだろうか。そもそも、「地域」とは何なのだろうか。

地域や地域性に関する研究分野は、地理学では「地誌学」と呼ばれている。この授業では、地誌学による地域理解の方法を概観した上で、世界の諸地域の例としてアメリカと中国を取り上げ、それぞれの地域性を地誌学的に考察する。

このほか、地誌学と地理教育との関係についても言及する。

- - - 到達目標 - - -

地誌学の基礎を理解し、地域性を把握することができる。(知識・理解)

アメリカと中国の地誌を学び、これらの地域性を把握することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回、授業前に各自で前回授業の内容を復習しておくこと(10~20分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験：100%（授業内容を理解し、地誌学の基礎を把握できているか確認する）

- - - テキスト - - -

なし（レジュメを配布する）

- - - 参考書 - - -

村山祐司編『地域研究』 ISBN 9784254167122
 矢ヶ崎典隆編『アメリカ』 ISBN 9784254168587
 上野和彦編『中国』 ISBN 9784254168563
 これ以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

地理の専門知識に乏しい初学者にも分かりやすい授業を心掛けるので、高校で「地理」を履修しなかった学生の受講も歓迎する。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション、地理学および地誌学とは何かⅠ（研究目的・研究方法）（スタートアップ授業）
2. 地理学および地誌学とは何かⅡ（研究例）、学校での「地理」教育と地誌学
3. 地域性の捉え方Ⅰ（自然環境と政治・経済の関係）
4. 地域性の捉え方Ⅱ（自然環境と文化の関係）
5. 地域性の捉え方Ⅲ（経済と文化の関係）
6. 地域性の捉え方Ⅳ（政治と文化の関係）
7. アメリカの地誌Ⅰ（自然環境）
8. アメリカの地誌Ⅱ（地域区分）
9. アメリカの地誌Ⅲ（歴史）
10. アメリカの地誌Ⅳ（国民経済、農牧業）
11. アメリカの地誌Ⅴ（主要都市）
12. アメリカの地誌Ⅵ（民族、宗教、政治）
13. 中国の地誌Ⅰ（地域区分、気候、農牧業）
14. 中国の地誌Ⅱ（工業、主要都市）
15. 中国の地誌Ⅲ（政治、民族、文化、香港・台湾）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/46p2f3979fxavpyi7yac29jbpxlp9zmv>)

大上 渉

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：月・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この講義では、視る、感じる、覚える・思い出す、考える・想像するなど、我々の心の基礎的な働きについて学ぶ。講義の最初に、心理学の歴史を取り上げ、どのような経緯で心が学問の研究対象となり、どのような形で現在まで引き継がれているかを説明する。

次に、感覚や知覚、学習、記憶など基礎的な心のはたらきに関する主要な知見・理論を順次取り上げ、これまでに明らかになっていることを説明する。その中で、我々の日常生活において心のはたらきがどのように関わっているかを写真や図などを用いて解説する。

この講義で取り上げる心の働きは、当たり前すぎて、「これが心理学なの？」と思われるかもしれない。しかしながら、心の入り口に相当する部分であり、後期の心理学Bで学ぶ発達やパーソナリティ形成、心の不適応などにも関わる、心の基盤的働きであることに留意して欲しい。

なお、講義資料はMoodle上にアップするので各自ダウンロード・印刷し持参すること。

- - - 到達目標 - - -

心理学における「心」の捉え方や基礎的な研究方法とその歴史などについて理解し、他者に説明できること(知識・理解)

心の働きの基盤となる「感覚」「知覚」「認知」「記憶」に関する知見や理論などについて理解し、それらを他者に説明できること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

1. 受講者はMoodle上にアップロードした講義資料を予めダウンロード・出力し、予習しておくこと(60分)。
2. 重要な箇所については講義中に強調して説明する。そのような箇所は重点的に復習しておくこと(60分)。
3. 小テストに備え、説明した理論や知見の理解、用語などを覚えておくこと(30分)

なお、講義資料は頁数が多い。印刷時には1枚の用紙に複数枚印刷する割り付け印刷を行うなど各自工夫すること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価は、期間内に実施する小テストの成績(90%)及び授業への積極的な取り組み(10%)で評価する。

期間内に実施する小テストについては、Moodleの小テスト機能を用い、教材ごとに小テスト(10問~20問)を実施する。期間内に5回程度実施する予定である。出題形式は、選択問題、正誤判断問題、及び記述問題である。成績は90点満点で点数化する。具体的には、90点を小テストの実施回数で除した値に(もし5回小テストを実施したのであれば18点となる)、正答率を乗じた値を小テストごとに算出し、その合計を成績とする。

評価基準については、授業で解説した用語や知見を理解できているか、またそれらが知識として定着しているかを基準にして評価する。また授業への積極的な取り組みについては、授業内における質問や発言などを評価対象とする。

- - - テキスト - - -

「心理学A to B改訂版」
 (佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久、培風館、2019年、2,167円、ISBN: 978-4563052539)

- - - 参考書 - - -

「心理学ビジュアル百科」 ISBN 978-4-422-11622-8
 「意識的な行動の無意識的な理由: 心理学ビジュアル百科 認知心理学編」 ISBN 978-4422116846
 「カラー版徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」 ISBN 978-4405106758

- - - 履修上の留意点 - - -

以下の点に十分留意した上で、履修登録を行うこと。
 : この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできない。

: 講義資料はMoodleにアップするので受講者は事前に出力し講義時に持参すること。

: 講義中、受講者を指名し、発言を求めることがある。

: 講義中の著しい私語、スマートフォンや携帯電話、音楽プレーヤー等の使用は厳禁。これらを行う者に対しては学生証を呈示させ厳しい処置をとる。また、筆記用具や講義資料など、なにも持たずに受講している者も同様の措置をとる。

: 不正な出席工作(いわゆる「ピ逃げ」)が発覚した場合、大幅な減点を行う。

: 担当教員の卒論生やゼミ生が行う心理学の調査や実験への協力者を募ることがある。調査や実験に参加することで、講義でも取り上げる心理学における「心」の捉え方や心理学の研究手法を体験的に理解できる。

- - - 授業計画 - - -

: インTRODクシヨン(スタートアップ授業)

: 心理学研究法1

: 心理学研究法2

: 心理学の歴史1

: 心理学の歴史2

: 心理学の歴史3

: 感覚・知覚・認知1

: 感覚・知覚・認知2

: 感覚・知覚・認知3

: 奥行き知覚1

: 奥行き知覚2

: 記憶1

: 記憶2

: 記憶3

: 心理学Aの振り返り

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/fvw4hyho2ixf70rzouk6geysc75f6n0n>)

大上 渉

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この講義では、視る、感じる、覚える・思い出す、考える・想像するなど、我々の心の基礎的な働きについて学ぶ。講義の最初に、心理学の歴史を取り上げ、どのような経緯で心が学問の研究対象となり、どのような形で現在まで引き継がれているかを説明する。

次に、感覚や知覚、学習、記憶など基礎的な心のはたらきに関する主要な知見・理論を順次取り上げ、これまでに明らかになっていることを説明する。その中で、我々の日常生活において心のはたらきがどのように関わっているかを写真や図などを用いて解説する。

この講義で取り上げる心の働きは、当たり前すぎて、「これが心理学なの？」と思われるかもしれない。しかしながら、心の入り口に相当する部分であり、後期の心理学Bで学ぶ発達やパーソナリティ形成、心の不応答などにも関わる、心の基盤的働きであることに留意して欲しい。

なお、講義資料はMoodle上にアップするので各自ダウンロード・印刷し持参すること。

- - - 到達目標 - - -

心理学における「心」の捉え方や基礎的な研究方法とその歴史などについて理解し、他者に説明できること(知識・理解)

心の働きの基盤となる「感覚」「知覚」「認知」「記憶」に関する知見や理論などについて理解し、それらを他者に説明できること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

1. 受講者はMoodle上にアップロードした講義資料を予めダウンロード・出力し、予習しておくこと(60分)。
2. 重要な箇所については講義中に強調して説明する。そのような箇所は重点的に復習しておくこと(60分)。
3. 小テストに備え、説明した理論や知見の理解、用語などを覚えておくこと(30分)

なお、講義資料は頁数が多い。印刷時には1枚の用紙に複数枚印刷する割り付け印刷を行うなど各自工夫すること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価は、期間内に実施する小テストの成績(90%)及び授業への積極的な取り組み(10%)で評価する。

期間内に実施する小テストについては、Moodleの小テスト機能を用い、教材ごとに小テスト(10問~20問)を実施する。期間内に5回程度実施する予定である。出題形式は、選択問題、正誤判断問題、及び記述問題である。成績は90点満点で点数化する。具体的には、90点を小テストの実施回数で除した値に(もし5回小テストを実施したのであれば18点となる)、正答率を乗じた値を小テストごとに算出し、その合計を成績とする。

評価基準については、授業で解説した用語や知見を理解できているか、またそれらが知識として定着しているかを基準にして評価する。また授業への積極的な取り組みについては、授業内における質問や発言などを評価対象とする。

- - - テキスト - - -

「心理学A to B改訂版」
 (佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久、培風館、2019年、2,167円、ISBN: 978-4563052539)

- - - 参考書 - - -

「心理学ビジュアル百科」 ISBN 978-4-422-11622-8
 「意識的な行動の無意識的な理由: 心理学ビジュアル百科 認知心理学編」 ISBN 978-4422116846
 「カラー版徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」 ISBN 978-4405106758

- - - 履修上の留意点 - - -

以下の点に十分留意した上で、履修登録を行うこと。
 : この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできない。
 : 講義資料はMoodleにアップするので受講者は事前に出力し講義時に持参すること。
 : 講義中、受講者を指名し、発言を求めることがある。
 : 講義中の著しい私語、スマートフォンや携帯電話、音楽プレーヤー等の使用は厳禁。これらを行う者に対しては学生証を呈示させ厳しい処置をとる。また、筆記用具や講義資料など、なにも持たずに受講している者も同様の措置をとる。
 : 不正な出席工作(いわゆる「ピ逃げ」)が発覚した場合、大幅な減点を行う。
 : 担当教員の卒論生やゼミ生が行う心理学の調査や実験への協力者を募ることがある。調査や実験に参加することで、講義でも取り上げる心理学における「心」の捉え方や心理学の研究手法を体験的に理解できる。

- - - 授業計画 - - -

: インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
 : 心理学研究法1
 : 心理学研究法2
 : 心理学の歴史1
 : 心理学の歴史2
 : 心理学の歴史3
 : 感覚・知覚・認知1
 : 感覚・知覚・認知2
 : 感覚・知覚・認知3
 : 奥行き知覚1
 : 奥行き知覚2
 : 記憶1
 : 記憶2
 : 記憶3
 : 心理学Aの振り返り

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/
 xxvvpk7jaz8jdfkonlexgwhymmdrgj0s)

佐藤 基治

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

最初に「心理学とは何か」において心理学の研究領域、歴史、方法、考え方などを講義します。科学的心理学の範囲がわかります。

次に、様々な心理学の領域の中から、誰もが日常生活の中で経験している「感覚と知覚」、「記憶」、「学習」の領域の授業を行います。それによって、対象の分離、距離知覚、運動知覚の原理などの知覚の仕組み、感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いなどの記憶の特徴、古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習など種々の学習の型がわかるようになります。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験すること、教員との簡単な質疑応答を行なうことによって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

科学としての心理学の範囲がわかる(知識・理解)

対象の分離、距離知覚、運動知覚の原理がわかる(知識・理解)

感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いを理解することができる(知識・理解)

古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習などの学習の型を使用できる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。

定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 心理学とは何か：科学としての心理学
- 3 心理学とは何か：心理学史
- 4 心理学研究法：
- 5 心理学研究法：
- 6 感覚と知覚：感覚
- 7 感覚と知覚：知覚
- 8 感覚と知覚：感覚と知覚のまとめ
- 9 記憶：記憶のプロセス
- 10 記憶：記憶の種類
- 11 記憶：短期記憶と長期記憶
- 12 学習：古典的条件づけの理論
- 13 学習：道具的条件づけ
- 14 学習：思考錯誤説と洞察学習説
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/3a64bdi6czv5vhsaxztw3t7txf3xmswz>)

大上 渉

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：月・4時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この教養ゼミでは、警察の科学捜査研究所において、犯罪に関する事物・人の検査・鑑定などに従事してきた担当教員の経験を活かし、犯罪・非行を行う少年はどのような心理的問題を抱えているのか、なぜそうした心理的問題を抱えるに至ったのか、またどのような心理・教育的治療やサポートで改善に向かうのかについて、理解することを目的としている。

テキストとして新潮新書「ケーキを切れない非行少年達」(宮口幸治著)を用い、アクティブ・ラーニング「話し合い学習」法に準じた形式で授業を進める。メンバー全員は毎回テキストを読み込んで授業に臨む。授業ではグループに分かれ、メンバーが筆者の主張やそれに関連する各自の知識・経験などを述べ合い、議論を交えることで、理解をより深めていく。

教養ゼミでは定期試験こそないものの、毎回予習(例、テキストの熟読や骨子の抽出など)が必要となり、受講生には相応の負担がある。したがって、その旨を理解した上で履修登録すること。

- - - 到達目標 - - -

犯罪心理学及びそれに関連する心理学の基礎的な理論や知見について解説できる。(知識・理解)

主張とそれを支える客観的根拠を交えた発表が行える。(技能)

犯罪の原因や犯罪者の処遇などを、犯罪・事件に関する報道などから日常的に考えられる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎週、指定されたテキストの範囲を読み込み、未知の用語や語彙、著者の主張とその根拠、著者の主張と受講生自身の知識や経験との関連性をレポート1~2枚(A4判用紙、見出し必要、英数字は必ず半角)にまとめ、Moodleを通じて提出すること(60分)

なお、については、箇条書きで3行でまとめること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価に際しては、予習レポートの内容と提出状況(70%)、受講態度・取組み姿勢(30%)などによって評価する。評価に際しては、「到達目標」欄に記載した3点を満たしているかを基準にする。

- - - テキスト - - -

宮口幸治著「ケーキの切れない非行少年たち」(ISBN:978-4106108204; 税別792円)新潮新書

- - - 参考書 - - -

森 丈弓(著)「犯罪心理学 再犯防止とリスクアセスメントの科学」 ISBN 978-4779511516

松浦直己(著)「非行・犯罪心理学 学際的視座からの犯罪理解」 ISBN 978-4750341880

日本犯罪心理学会(編)「犯罪心理学事典」 ISBN 978-4621089552

- - - 履修上の留意点 - - -

このゼミでは以下のとおり、毎回予習(例、テキストの熟読や骨子の抽出など)が必要となり、相応の負担がある旨を理解した上で履修登録すること

毎回、予習内容をレポートとしてまとめて提出する。

無断の遅刻や欠席は、大幅に減点する。止むを得ず欠席する場合はメールで連絡すること。

毎回出席したとしても発言など積極的な姿勢がみられない場合は減点する。

- - - 授業計画 - - -

: イントロダクション(スタートアップ授業)

: 他己紹介

: 話し合い学習法について

: 第1章「反省以前」の子どもたち

: 第2章「僕はやさしい人間です」と答える殺人少年

: 第1章と第2章の振り返り

: 第3章 非行少年に共通する特徴

: 第4章 気づかれない子どもたち

: 第3章と第4章の振り返り

: 第5章 忘れられた人々

: 第6章 褒める教育だけでは問題は解決しない

: 第5章と第6章の振り返り

: 第7章ではどうすれば?

: 第7章の振り返り

: ゼミ全体の振り返り

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/v0tj0v9fdl65c84ul7nvv9vd09vp9qti>)

佐藤 基治

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

最初に「心理学とは何か」において心理学の研究領域、歴史、方法、考え方などを講義します。科学的心理学の範囲がわかります。

次に、様々な心理学の領域の中から、誰もが日常生活の中で経験している「感覚と知覚」、「記憶」、「学習」の領域の授業を行います。それによって、対象の分離、距離知覚、運動知覚の原理などの知覚の仕組み、感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いなどの記憶の特徴、古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習など種々の学習の型がわかるようになります。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験すること、教員との簡単な質疑応答を行なうことによって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

科学としての心理学の範囲がわかる(知識・理解)

対象の分離、距離知覚、運動知覚原理がわかる(知識・理解)

感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いを理解することができる(知識・理解)

古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習などの学習の型を使用できる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。

定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 心理学とは何か：科学としての心理学
- 3 心理学とは何か：心理学史
- 4 心理学研究法：
- 5 心理学研究法：
- 6 感覚と知覚：感覚
- 7 感覚と知覚：知覚
- 8 感覚と知覚：感覚と知覚のまとめ
- 9 記憶：記憶のプロセス
- 10 記憶：記憶の種類
- 11 記憶：短期記憶と長期記憶
- 12 学習：古典的条件づけの理論
- 13 学習：道具的条件づけ
- 14 学習：思考錯誤説と洞察学習説
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/cyp783f1inhzy3nkwrwgzrk19dz3umsj>)

佐藤 基治

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・4 時限 試験時間割：2021/07/28 1 時限

- - - 概要 - - -

最初に「心理学とは何か」において心理学の研究領域、歴史、方法、考え方などを講義します。科学的心理学の範囲がわかります。

次に、様々な心理学の領域の中から、誰もが日常生活の中で経験している「感覚と知覚」、「記憶」、「学習」の領域の授業を行います。それによって、対象の分離、距離知覚、運動知覚の原理などの知覚の仕組み、感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いなどの記憶の特徴、古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習など種々の学習の型がわかるようになります。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験すること、教員との簡単な質疑応答を行なうことによって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

科学としての心理学の範囲がわかる(知識・理解)

対象の分離、距離知覚、運動知覚原理がわかる(知識・理解)

感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いを理解することができる(知識・理解)

古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習などの学習の型を使用できる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。

定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 心理学とは何か：科学としての心理学
- 3 心理学とは何か：心理学史
- 4 心理学研究法：
- 5 心理学研究法：
- 6 感覚と知覚：感覚
- 7 感覚と知覚：知覚
- 8 感覚と知覚：感覚と知覚のまとめ
- 9 記憶：記憶のプロセス
- 10 記憶：記憶の種類
- 11 記憶：短期記憶と長期記憶
- 12 学習：古典的条件づけの理論
- 13 学習：道具的条件づけ
- 14 学習：思考錯誤説と洞察学習説
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/5bg7zej4pv8kybp7lsfquducabt5fmsx>)

佐藤 基治

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

最初に「心理学とは何か」において心理学の研究領域、歴史、方法、考え方などを講義します。科学的心理学の範囲がわかります。

次に、様々な心理学の領域の中から、誰もが日常生活の中で経験している「感覚と知覚」、「記憶」、「学習」の領域の授業を行います。それによって、対象の分離、距離知覚、運動知覚の原理などの知覚の仕組み、感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いなどの記憶の特徴、古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習など種々の学習の型がわかるようになります。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験すること、教員との簡単な質疑応答を行なうことによって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

科学としての心理学の範囲がわかる(知識・理解)

対象の分離、距離知覚、運動知覚原理がわかる(知識・理解)

感覚記憶、作業記憶、そして長期記憶の違いを理解することができる(知識・理解)

古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習などの学習の型を使用できる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。

定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 心理学とは何か：科学としての心理学
- 3 心理学とは何か：心理学史
- 4 心理学研究法：
- 5 心理学研究法：
- 6 感覚と知覚：感覚
- 7 感覚と知覚：知覚
- 8 感覚と知覚：感覚と知覚のまとめ
- 9 記憶：記憶のプロセス
- 10 記憶：記憶の種類
- 11 記憶：短期記憶と長期記憶
- 12 学習：古典的条件づけの理論
- 13 学習：道具的条件づけ
- 14 学習：思考錯誤説と洞察学習説
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/tfaekkaxzm8l0cgzl8f8mqjlmjdj84dec>)

錢 昆

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・3時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Aの授業では、心理学の歴史を振り返る上で、感覚、知覚、認知など、こころの基礎的な部分について学ぶ。これらを通し、まず心理学の成り立ちと個体としての人間の心理を理解し、心理学Bの学習のための知識基盤を作る。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
(知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)

授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作や消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業

第2回 こころと心理学

第3回 心理学の歴史

第4回 感覚と知覚

第5回 感覚と知覚

第6回 注意

第7回 感情と情動

第8回 感情と情動

第9回 記憶

第10回 思考と学習

第11回 思考と学習

第12回 発達と進化

第13回 発達と進化

第14回 心理学研究法A

第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/2dnjj2noih2kc5gmdy0j07bplw9378l>)

錢 昆

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・1時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Aの授業では、心理学の歴史を振り返る上で、感覚、知覚、認知など、こころの基礎的な部分について学ぶ。これらを通し、まず心理学の成り立ちと個体としての人間の心理を理解し、心理学Bの学習のための知識基盤を作る。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)

授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作や消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業

第2回 こころと心理学

第3回 心理学の歴史

第4回 感覚と知覚

第5回 感覚と知覚

第6回 注意

第7回 感情と情動

第8回 感情と情動

第9回 記憶

第10回 思考と学習

第11回 思考と学習

第12回 発達と進化

第13回 発達と進化

第14回 心理学研究法A

第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/d966ram2zbbjlhhabi8kvtccqnx5ldma>)

錢 昆

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Aの授業では、心理学の歴史を振り返る上で、感覚、知覚、認知など、こころの基礎的な部分について学ぶ。これらを通し、まず心理学の成り立ちと個体としての人間の心理を理解し、心理学Bの学習のための知識基盤を作る。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)

授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作或消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業

第2回 こころと心理学

第3回 心理学の歴史

第4回 感覚と知覚

第5回 感覚と知覚

第6回 注意

第7回 感情と情動

第8回 感情と情動

第9回 記憶

第10回 思考と学習

第11回 思考と学習

第12回 発達と進化

第13回 発達と進化

第14回 心理学研究法A

第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/m6dijfjol7km0f8d2zy7lqz2fpvlx00o>)

錢 昆

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・2時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Aの授業では、心理学の歴史を振り返る上で、感覚、知覚、認知など、こころの基礎的な部分について学ぶ。これらを通し、まず心理学の成り立ちと個体としての人間の心理を理解し、心理学Bの学習のための知識基盤を作る。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)

授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作或消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業

第2回 こころと心理学

第3回 心理学の歴史

第4回 感覚と知覚

第5回 感覚と知覚

第6回 注意

第7回 感情と情動

第8回 感情と情動

第9回 記憶

第10回 思考と学習

第11回 思考と学習

第12回 発達と進化

第13回 発達と進化

第14回 心理学研究法A

第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/34ue2yt1ho0xzm3vntd5i255tp9s9mqc>)

縄田 健悟

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・3時限 試験時間割：2021/07/28 1時限

- - - 概要 - - -

心理学とは、人間の心理過程と行動に関する学問領域である。本講義では、主に基礎過程を中心に、心理学の主要な領域の概観を行う。

心は誰もが持っているものであり、身近に感じやすい一方で、ちょっとした思い込みから勘違いが生まれることも多い。この講義では、実証科学としての視点から、受講者自身が身近に感じられる日常的な例を解説する形で授業を行っていく。

- - - 到達目標 - - -

人間の心理に関する基礎的な知識の理解を深めること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は主に教科書と配布資料を元に行うために、予習のみならず、しっかりと復習を行い、知識を定着させること。(各60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業内容の心理学知識が的確に理解できていることを基準にして、授業中の課題(30%)+定期試験の成績(70%)で評価を行う。

- - - テキスト - - -

心理学A to B (改訂版)
978-4-563-05253-9

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・当然ながら、講義中の私語や、不正な出席工作は厳禁であり、大幅な減点などの厳しい処置を行う。
- ・単位習得は容易ではない。十分な予習・復習が必要となる。
- ・「心理学A」と「心理学B」とは密接に関連しているため、あわせて履修することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業
- 2 心理学とは
- 3 知覚
- 4 注意・記憶
- 5 思考・推論1
- 6 思考・推論2
- 7 思考・推論3
- 8 学習
- 9 発達
- 10 性格
- 11 教育
- 12 知能
- 13 感情
- 14 臨床
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/zrcqi0wr8k756nzqv2phqaomcxbs353v>

縄田 健悟

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この教養ゼミでは、人の心の仕組みに関する心理学研究を理解することを目的としている。

この目的の下、この教養ゼミでは、学生に"教師役"として心理学の個別テーマに基づく"授業"を行ってもらおう。

自分自身で教科書を読み、まとめ、さらに自分と同じ大学生に解説する中で学びを深めてもらう。重要となるのは、内容の正確さもさることながら、できる限り分かりやすい"授業"を行うことである。これによって、心理学の知識を深めるとともにプレゼンテーション能力の向上を目指す。また、他者が行う"授業"への質問も積極的に行ってもらいたい。

学生による"授業"では、1コマで3名程度で20分の授業解説を行ってもらおう。授業解説では、パワーポイントにまとめ、発表し、出てきた質問に答えることが求められる。パワーポイントで作られた資料自体、また、プレゼン自体の質も評価の対象である。

発表テーマ自体は、心理学の枠の中から、各自が興味のあるトピックを挙げてもらう予定である。

- - - 到達目標 - - -

心理学の基礎的な理論や知見について解説できる。(知識・理解)

主張とそれを支える客観的根拠を交えた発表が行える。(技能)

人間の心理と行動に関して、現実社会や日常的な体験と結びつけて考えられる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

上述の通り、繰り返し自分の発表授業の番が回ってくるため、その準備に多大な時間(平均して60分以上)は必要になるだろう。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価に際しては、最終レポートの内容(30%)、授業資料とプレゼンの出来栄(50%)、受講態度・課題への取り組み姿勢(20%)などによって評価する。

- - - テキスト - - -

特になし。適宜、図書館や教員所蔵の書籍を利用する。

- - - 履修上の留意点 - - -

教養ゼミでは、授業の準備が求められ、受講生には相応の負担がある。試験が無いからといって、単位を取りやすいわけでは決して無い。その旨を理解した上で履修登録をしていただきたい。

- - - 授業計画 - - -

第1回 インTRODクシヨン、テーマの決定
 第2回 教員による授業資料作りとプレゼン方法の解説
 第3-14回 学生による授業
 第15回 まとめと総合討議

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/u3twzgpjjxtaqu0ul80nab4q2savkxmj>)

縄田 健悟

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・二部2時限 試験時間割：2021/07/30 夜2限

- - - 概要 - - -

心理学とは、人間の心理過程と行動に関する学問領域である。本講義では、主に基礎過程を中心に、心理学の主要な領域の概観を行う。

心は誰もが持っているものであり、身近に感じやすい一方で、ちょっとした思い込みから勘違いが生まれることも多い。この講義では、実証科学としての視点から、受講者自身が身近に感じられる日常的な例を解説する形で授業を行っていく。

- - - 到達目標 - - -

人間の心理に関する基礎的な知識の理解を深めること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は主に教科書と配布資料を元に行うために、予習のみならず、しっかりと復習を行い、知識を定着させること。(各60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業内容の心理学知識が的確に理解できていることを基準にして、授業中の課題(30%)+定期試験の成績(70%)で評価を行う。

- - - テキスト - - -

心理学A to B (改訂版)
978-4-563-05253-9

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・当然ながら、講義中の私語や、不正な出席工作は厳禁であり、大幅な減点などの厳しい処置を行う。
- ・単位習得は容易ではない。十分な予習・復習が必要となる。
- ・「心理学A」と「心理学B」とは密接に関連しているため、あわせて履修することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イン트로ダクション：スタートアップ授業
- 2 心理学とは
- 3 知覚
- 4 注意・記憶
- 5 思考・推論1
- 6 思考・推論2
- 7 思考・推論3
- 8 学習
- 9 発達
- 10 性格
- 11 教育
- 12 知能
- 13 感情
- 14 臨床
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/afi3vjw99qlgrxseb6t0aqpsyehiovc9>

大上 渉

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この講義では、我々を取り巻く社会・集団が心に及ぼす影響や、個性を規定する要因などについて学ぶ。全15回のうち、前半は、「社会」における心の働きに焦点をあて、対人場面における心理的現象や、所属する集団・組織内において、心の働きがどのように変化するのか、また理想のリーダーシップやリーダー像などについて、日常的事例を交えながら解説する。

後半では、性格・パーソナリティを取りあげ、性格を分類・記述するための理論や、教育、産業、医療の分野で利用されている性格検査について説明する。

なお、講義資料は福岡大学のMoodle上にアップするので各自ダウンロード・印刷し持参すること。

- - - 到達目標 - - -

社会心理学やパーソナリティ心理学などに関する基礎的な知見や理論などについて理解し、他者に説明できること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

1. 受講者はMoodle上にアップロードした講義資料を予めダウンロード・出力し、予習しておくこと(60分)。
2. 重要な箇所については講義中に強調して説明する。そのような箇所は重点的に復習しておくこと(60分)。
3. 小テストに備え、説明した理論や知見の理解、用語などを覚えておくこと(30分)

なお、講義資料は頁数が多い。印刷時には1枚の用紙に複数枚印刷する割り付け印刷を行うなど各自工夫すること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価は、期間内に実施する小テストの成績(90%)及び授業への積極的な取り組み(10%)で評価する。

期間内に実施する小テストについては、Moodleの小テスト機能を用い、教材ごとに小テスト(10問~20問)を実施する。期間内に5回程度実施する予定である。出題形式は、選択問題、正誤判断問題、及び記述問題である。成績は90点満点で点数化する。具体的には、90点を小テストの実施回数で除した値に(もし5回小テストを実施したのであれば18点となる)、正答率を乗じた値を小テストごとに算出し、その合計を成績とする。

評価基準については、授業で解説した用語や知見を理解できているか、またそれらが知識として定着しているかを基準にして評価する。また授業への積極的な取り組みについては、授業内における質問や発言などを評価対象とする。

- - - テキスト - - -

「心理学 A to B改訂版」
 (佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久、培風館、2019年、2,167円、ISBN: 978-4563052539)

- - - 参考書 - - -

「心理学ビジュアル百科」 ISBN 978-4-422-11622-8
 「意識的な行動の無意識的な理由: 心理学ビジュアル百科 認知心理学編」 ISBN 978-4422116846
 「カラー版徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」 ISBN 978-4405106758

- - - 履修上の留意点 - - -

以下の点に十分留意した上で、履修登録を行うこと。
 : この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできない。
 : 講義資料はMoodleにアップするので受講者は事前に出だし講義時に持参すること。
 : 講義中、受講者を指名し、発言を求めることがある。
 : 講義中の著しい私語、スマートフォンや携帯電話、音楽プレーヤー等の使用は厳禁。これらを行う者に対しては学生証を呈示させ厳しい処置をとる。また、筆記用具や講義資料など、なにも持たずに受講している者も同様の措置をとる。
 : 不正な出席工作(いわゆる「ピ逃げ」)が発覚した場合、大幅な減点を行う。
 : 担当教員の卒論生やゼミ生が行う心理学の調査や実験への協力者を募ることがある。調査や実験に参加することで、講義でも取り上げる心理学における「心」の捉え方や心理学の研究手法を体験的に理解できる。

- - - 授業計画 - - -

: インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
 : 社会心理学1-1(対人認知と印象形成)
 : 社会心理学1-2(対人認知における歪み)
 : 社会心理学1-3(バランス理論, 対人魅力)
 : 社会心理学2-1(身体的魅力, 美しい顔の正体)
 : 社会心理学2-2(説得と態度変容)
 : 社会心理学2-3(集団の特徴と構造)
 : 社会心理学2-4(同調と少数派の影響)
 : 社会心理学2-5(リーダーシップとPM理論)
 : パーソナリティ1-1(パーソナリティの捉え方)
 : パーソナリティ1-2(パーソナリティと様々な変数の関連性)
 : パーソナリティ1-3(パーソナリティの成熟と障害)
 : パーソナリティ2-1(性格検査の目的・種類)
 : パーソナリティ2-2(さまざまな性格検査の特徴)
 : パーソナリティ2-3(しぐさ, 表情から「心」を読む)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/
 q6imknu9p1pin0bxyt5t19lc31ublppq)

大上 渉

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この講義では、我々を取り巻く社会・集団が心に及ぼす影響や、個性を規定する要因などについて学ぶ。全15回のうち、前半は、「社会」における心の働きに焦点をあて、対人場面における心理的現象や、所属する集団・組織内において、心の働きがどのように変化するのか、また理想のリーダーシップやリーダー像などについて、日常的事例を交えながら解説する。

後半では、性格・パーソナリティを取りあげ、性格を分類・記述するための理論や、教育、産業、医療の分野で利用されている性格検査について説明する。

なお、講義資料は福岡大学のMoodle上にアップするので各自ダウンロード・印刷し持参すること。

- - - 到達目標 - - -

社会心理学やパーソナリティ心理学などに関する基礎的な知見や理論などについて理解し、他者に説明できること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

1. 受講者はMoodle上にアップロードした講義資料を予めダウンロード・出力し、予習しておくこと(60分)。
2. 重要な箇所については講義中に強調して説明する。そのような箇所は重点的に復習しておくこと(60分)。
3. 小テストに備え、説明した理論や知見の理解、用語などを覚えておくこと(30分)

なお、講義資料は頁数が多い。印刷時には1枚の用紙に複数枚印刷する割り付け印刷を行うなど各自工夫すること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

成績評価は、期間内に実施する小テストの成績(90%)及び授業への積極的な取り組み(10%)で評価する。

期間内に実施する小テストについては、Moodleの小テスト機能を用い、教材ごとに小テスト(10問~20問)を実施する。期間内に5回程度実施する予定である。出題形式は、選択問題、正誤判断問題、及び記述問題である。成績は90点満点で点数化する。具体的には、90点を小テストの実施回数で除した値に(もし5回小テストを実施したのであれば18点となる)、正答率を乗じた値を小テストごとに算出し、その合計を成績とする。

評価基準については、授業で解説した用語や知見を理解できているか、またそれらが知識として定着しているかを基準にして評価する。また授業への積極的な取り組みについては、授業内における質問や発言などを評価対象とする。

- - - テキスト - - -

「心理学 A to B改訂版」
 (佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久、培風館、2019年、2,167円、ISBN: 978-4563052539)

- - - 参考書 - - -

「心理学ビジュアル百科」 ISBN 978-4-422-11622-8
 「意識的な行動の無意識的な理由: 心理学ビジュアル百科 認知心理学編」 ISBN 978-4422116846
 「カラー版徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」 ISBN 978-4405106758

- - - 履修上の留意点 - - -

以下の点に十分留意した上で、履修登録を行うこと。
 : この授業は定期試験を実施しないため、再試験を受験することはできない。

: 講義資料はMoodleにアップするので受講者は事前に出だし講義時に持参すること。

: 講義中、受講者を指名し、発言を求めることがある。

: 講義中の著しい私語、スマートフォンや携帯電話、音楽プレーヤー等の使用は厳禁。これらを行う者に対しては学生証を呈示させ厳しい処置をとる。また、筆記用具や講義資料など、なにも持たずに受講している者も同様の措置をとる。

: 不正な出席工作(いわゆる「ピ逃げ」)が発覚した場合、大幅な減点を行う。

: 担当教員の卒論生やゼミ生が行う心理学の調査や実験への協力者を募ることがある。調査や実験に参加することで、講義でも取り上げる心理学における「心」の捉え方や心理学の研究手法を体験的に理解できる。

- - - 授業計画 - - -

- : インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
- : 社会心理学1-1(対人認知と印象形成)
- : 社会心理学1-2(対人認知における歪み)
- : 社会心理学1-3(バランス理論, 対人魅力)
- : 社会心理学2-1(身体的魅力, 美しい顔の正体)
- : 社会心理学2-2(説得と態度変容)
- : 社会心理学2-3(集団の特徴と構造)
- : 社会心理学2-4(同調と少数派の影響)
- : 社会心理学2-5(リーダーシップとPM理論)
- : パーソナリティ1-1(パーソナリティの捉え方)
- : パーソナリティ1-2(パーソナリティと様々な変数の関連性)
- : パーソナリティ1-3(パーソナリティの成熟と障害)
- : パーソナリティ2-1(性格検査の目的・種類)
- : パーソナリティ2-2(さまざまな性格検査の特徴)
- : パーソナリティ2-3(しぐさ, 表情から「心」を読む)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/
 uue3mx2lj1vxje24y7qm84feznoum7le)

佐藤 基治

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、「心の動き」に関連した領域を取り扱います。『感情』では感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを学習します。『モチベーション』では学習や認知との関連の中で動機づけを説明します。『パーソナリティ』では人格に関するいくつかのアプローチを説明します。『発達』では遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかを学習します。『社会』の領域では、他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討します。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験することや教員との簡単な質疑応答によって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを説明することができる(知識・理解)

人格に関するいくつかのアプローチを説明することができる(知識・理解)

遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかわかる(知識・理解)

他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 履修上の留意点 - - -

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 感情：感情の表出
- 3 感情：感情の理論
- 4 感情：感情の認知
- 5 発達：発達の原理
- 6 発達：発達理論
- 7 発達：発達段階
- 8 パーソナリティ：階層性
- 9 パーソナリティ：類型論
- 10 パーソナリティ：特性論
- 11 社会：社会的認知
- 12 社会：社会的影響
- 13 社会：対人関係
- 14 文化
- 15 犯罪

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/72x0kzomjy0ay3flzcirobk2jpzbslvt>

大上 渉

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この教養ゼミでは、警察の科学捜査研究所において、犯罪に関する事物・人の検査・鑑定などに従事してきた担当教員の経験を活かし、街の景色に目を向けて、犯罪が起こりやすい場所や状況、環境の特徴を学び、犯罪が発生する予測とそれを踏まえた防止策について、理解することを目的としている。

テキストとして新潮新書「犯罪は予測できる」(小宮信夫著)を用い、アクティブ・ラーニング「話し合い学習」法に準じた形式で授業を進める。メンバー全員は毎回テキストを読み込んで授業に臨む。授業ではグループに分かれ、メンバーが筆者の主張やそれに関連する各自の知識・経験などを述べ合い、議論を交えることで、理解をより深めていく。

教養ゼミでは定期試験こそないものの、毎回予習(例、テキストの熟読や骨子の抽出など)が必要となり、受講生には相応の負担がある。したがって、その旨を理解した上で履修登録すること。

- - - 到達目標 - - -

犯罪心理学及びそれに関連する心理学の基礎的な理論や知見について解説できる。(知識・理解)

主張とそれを支える客観的根拠を交えた発表が行える。(技能)

犯罪の未然防止の工夫や犯罪発生の予測などを、事件に関する報道や街並みやなどから日常的に考えられる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎週、指定されたテキストの範囲を読み込み、未知の用語や語彙、著者の主張とその根拠、著者の主張と受講生自身の知識や経験との関連性をレポート1~2枚(A4判用紙、見出し必要、英数字は必ず半角)にまとめ、Moodleを通じて提出すること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価に際しては、予習レポートの内容と提出状況(70%)、受講態度・取組み姿勢(30%)などによって評価する。評価に際しては、「到達目標」欄に記載した3点を満たしているかを基準にする。

- - - テキスト - - -

小宮信夫 著 「犯罪は予測できる」(700円+税)新潮社
ISBN 978-4106105371

- - - 参考書 - - -

「テキスト 司法・犯罪心理学」(越智啓太・桐生正幸編著) ISBN 978-4762829758

「犯罪心理学事典」(日本犯罪心理学会編) ISBN 978-4621089552

司法・犯罪心理学入門 捜査場面を踏まえた理論と実務(桐生正幸・板山昂・入山茂(編著)) ISBN 978-4571250538

- - - 履修上の留意点 - - -

このゼミでは以下のとおり、毎回予習(例、テキストの熟読や骨子の抽出など)が必要となり、相応の負担がある旨を理解した上で履修登録すること

毎回、予習内容をレポートとしてまとめて提出する。無断の遅刻や欠席は、大幅に減点する。止むを得ず欠席する場合はメールで連絡すること。

毎回出席したとしても発言など積極的な姿勢がみられない場合は減点する。

- - - 授業計画 - - -

：イントロダクション(スタートアップ授業)
 ：他己紹介
 ：話し合い学習法について
 ：I-1事件の九割は未解決 & I-2「地域安全マップ」は偽物ばかり"
 ：I-3防犯ブザーは鳴らせない & I-4住民パトロールは弱点を突かれる"
 ：I-5街灯は犯罪者を呼び寄せる & I-6監視カメラに死角あり
 ：I-7「いつも気をつけて」は無理な注文 & I-8「人通りの多い道は安全」ではない
 ：I-9日本の公園とトイレは犯罪者好み
 ：I章の振り返り
 ：II-1人はなぜ恐ろしい罪を犯すのか & II-2：こんな私にだれがした"
 ：II-3スキを与えると人は魔がさす & II-4：デザインが犯行を押しとどめる"
 ：II-5犯罪者はゴミが好き、花が嫌い & II-6：死体は雄弁に語る
 ：II-7最先端テクノロジーで未来を守る
 ：II章の振り返り
 ：ゼミ全体の振り返り

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/eceq0sohv1dadqe9qb07yg9nda4a5edy>

佐藤 基治

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、「心の動き」に関連した領域を取り扱います。『感情』では感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを学習します。『モチベーション』では学習や認知との関連の中で動機づけを説明します。『パーソナリティ』では人格に関するいくつかのアプローチを説明します。『発達』では遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかを学習します。『社会』の領域では、他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討します。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験することや教員との簡単な質疑応答によって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを説明することができる(知識・理解)

人格に関するいくつかのアプローチを説明することができる(知識・理解)

遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかわかる(知識・理解)

他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 履修上の留意点 - - -

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 感情：感情の表出
- 3 感情：感情の理論
- 4 感情：感情の認知
- 5 発達：発達の原理
- 6 発達：発達理論
- 7 発達：発達段階
- 8 パーソナリティ：階層性
- 9 パーソナリティ：類型論
- 10 パーソナリティ：特性論
- 11 社会：社会的認知
- 12 社会：社会的影響
- 13 社会：対人関係
- 14 文化
- 15 犯罪

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/lq2lfo96m68p11r9bitcblj6y25t8bzb>

佐藤 基治

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・4時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、「心の動き」に関連した領域を取り扱います。『感情』では感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを学習します。『モチベーション』では学習や認知との関連の中で動機づけを説明します。『パーソナリティ』では人格に関するいくつかのアプローチを説明します。『発達』では遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかを学習します。『社会』の領域では、他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討します。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験することや教員との簡単な質疑応答によって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを説明することができる(知識・理解)

人格に関するいくつかのアプローチを説明することができる(知識・理解)

遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかわかる(知識・理解)

他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 履修上の留意点 - - -

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 感情：感情の表出
- 3 感情：感情の理論
- 4 感情：感情の認知
- 5 発達：発達の原理
- 6 発達：発達理論
- 7 発達：発達段階
- 8 パーソナリティ：階層性
- 9 パーソナリティ：類型論
- 10 パーソナリティ：特性論
- 11 社会：社会的認知
- 12 社会：社会的影響
- 13 社会：対人関係
- 14 文化
- 15 犯罪

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/0v6iop7ia6jswr7025jwsi5alyrdzd1g>

佐藤 基治

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

この講義では、「心の動き」に関連した領域を取り扱います。『感情』では感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを学習します。『モチベーション』では学習や認知との関連の中で動機づけを説明します。『パーソナリティ』では人格に関するいくつかのアプローチを説明します。『発達』では遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかを学習します。『社会』の領域では、他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討します。

授業は、講義形式でおこないますが、デモンストレーションや簡単な実験を体験することや教員との簡単な質疑応答によって理解を深めていきます。

- - - 到達目標 - - -

感情が人々の思考や行動にどのように影響するかを説明することができる(知識・理解)

人格に関するいくつかのアプローチを説明することができる(知識・理解)

遺伝と環境の相互作用がどのように人間の発達を決定づけるかわかる(知識・理解)

他者の存在が人々の行動にどう影響するかを検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前に教科書に目を通してください。わからない言葉があったら、書物やインターネットで調べてください。

教科書に添付されたCD-ROMにデモンストレーションがある場合には必ず実行してください。

事後には、興味を持った事柄を図書館の資料などを使って調べてください。

事前学習と事後学習を合わせて90分の時間外の学習を想定しています。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義で取り上げた概念や専門用語を理解し、正しい説明や正しい文脈での使用が可能かを評価基準とします。定期試験で評価します。

- - - テキスト - - -

佐藤基治・大上渉・他 「心理学A to B (改訂版)」、培風館、2019年、¥1970 ISBN: 978-4-563-0523-9

- - - 参考書 - - -

新・心理学の基礎知識 ISBN 4641183112
 心理学辞典 ISBN 4641002592
 ヒルガードの心理学 ISBN 4892428191

- - - 履修上の留意点 - - -

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス(スタートアップ授業)
- 2 感情：感情の表出
- 3 感情：感情の理論
- 4 感情：感情の認知
- 5 発達：発達の原理
- 6 発達：発達理論
- 7 発達：発達段階
- 8 パーソナリティ：階層性
- 9 パーソナリティ：類型論
- 10 パーソナリティ：特性論
- 11 社会：社会的認知
- 12 社会：社会的影響
- 13 社会：対人関係
- 14 文化
- 15 犯罪

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/hubpmgnk1frca4ncerswlein7m5up25q>

錢 昆

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・3時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Bの授業では、心理学Aで学んだ人間の心理的基盤を踏まえ、集団、社会、文化のスケールで起きる心理学の事例事象を紹介する。さらに、心理学の実社会への活用と貢献について、応用心理学（教育・健康・臨床など）の観点から学ぶ。これらを通し、心理学の全体像を把握し、様々なレベルや場面における人間の心理と行動の全般的・総合的理解を目指す。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)
 授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作や消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業
- 第2回 性格とパーソナリティ
- 第3回 対人と集団
- 第4回 対人と集団
- 第5回 社会と文化
- 第6回 社会と文化
- 第7回 教育
- 第8回 教育
- 第9回 健康
- 第10回 臨床
- 第11回 組織と産業
- 第12回 災害
- 第13回 犯罪
- 第14回 心理学研究法B
- 第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/fidn6x169k545vyh4s1wac9uupnt4ed4>)

錢 昆

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Bの授業では、心理学Aで学んだ人間の心理的基盤を踏まえ、集団、社会、文化のスケールで起きる心理学の事例事象を紹介する。さらに、心理学の実社会への活用と貢献について、応用心理学（教育・健康・臨床など）の観点から学ぶ。これらを通し、心理学の全体像を把握し、様々なレベルや場面における人間の心理と行動の全般的・総合的理解を目指す。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)
 授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作或消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業
- 第2回 性格とパーソナリティ
- 第3回 対人と集団
- 第4回 対人と集団
- 第5回 社会と文化
- 第6回 社会と文化
- 第7回 教育
- 第8回 教育
- 第9回 健康
- 第10回 臨床
- 第11回 組織と産業
- 第12回 災害
- 第13回 犯罪
- 第14回 心理学研究法B
- 第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/q6dynam0aaloeegce24qmo52j080c931>)

錢 昆

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Bの授業では、心理学Aで学んだ人間の心理的基盤を踏まえ、集団、社会、文化のスケールで起きる心理学の事例事象を紹介する。さらに、心理学の実社会への活用と貢献について、応用心理学（教育・健康・臨床など）の観点から学ぶ。これらを通し、心理学の全体像を把握し、様々なレベルや場面における人間の心理と行動の全般的・総合的理解を目指す。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)

授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作或消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業
- 第2回 性格とパーソナリティ
- 第3回 対人と集団
- 第4回 対人と集団
- 第5回 社会と文化
- 第6回 社会と文化
- 第7回 教育
- 第8回 教育
- 第9回 健康
- 第10回 臨床
- 第11回 組織と産業
- 第12回 災害
- 第13回 犯罪
- 第14回 心理学研究法B
- 第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/mubpcaz66paa36zowgrb4nh7qzdcms22>)

銭 昆

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

心理学は、「こころ」の解明を目指す科学である。こころとは何なのか、なんでこころがもやもやしたり、どきどきしたりするのか、自分自身のこころでさえ、よくわからない人は多くいるだろう。さらに、人間はそれぞれに違うこころの持ち主であり、自分のことがよくわかったとしても、相手の気分や感情がわからない、相手の考え方と行動が理解できない場面が多くあるだろう。

本授業では、心理学の各分野を紹介し、これまで行われてきたこころの仕組みを解明する研究や理論、基本的な考え方と方法論について学ぶ。「これも心理学なのか」と思われるほど、心理学は誰もが関わる身近な科学であること、そして、人間心理に関して様々な誤解や勘違いがあることを、この授業を通じて理解してもらいたい。

本授業は講義形式で開講するが、授業中にデモンストレーションや簡単な実験・調査も行うため、こころの不思議を実際に体験することができる。

心理学Bの授業では、心理学Aで学んだ人間の心理的基盤を踏まえ、集団、社会、文化のスケールで起きる心理学の事例事象を紹介する。さらに、心理学の実社会への活用と貢献について、応用心理学（教育・健康・臨床など）の観点から学ぶ。これらを通し、心理学の全体像を把握し、様々なレベルや場面における人間の心理と行動の全般的・総合的理解を目指す。

- - - 到達目標 - - -

こころの科学としての心理学の研究対象と範疇を理解する。
 (知識・理解)

感覚・知覚・認知など、人間の基礎的な心的過程について理解する。(知識・理解)

日常生活の中にある心理学事象を積極的に探り出し、心理学が身近な科学であることを理解する。(態度・志向性)

心理学は人間社会にどう貢献できるのか、実社会での応用と問題解決を考える。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業前は指定サイトから講義資料をダウンロードし、テキストと一緒に予習しておくこと(60分)
 授業後は講義資料、特に講義中に強調された重要な箇所について重点的に復習し、知識を定着させること(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

下記基準で成績評価を行う：

- ・定期試験の成績(80%)
- ・授業中の課題やミニテスト(20%)
- ・授業への積極的な参加による加点
- ・授業の無断欠席、不正な出席工作或消極的な参加による減点(不合格になる可能性あり)

<評価基準>

定期試験や、授業中の課題とミニテストは、上記4つの到達目標を評価基準とする。

- - - テキスト - - -

心理学 A to B (改訂版), 佐藤基治・大上渉・一言英文・縄田健悟・箕浦有希久著, ISBN 978-4563052539

- - - 履修上の留意点 - - -

・心理学は面白い学問なので、楽しく学ぼう。授業に積極的に参加し、疑問と議論をよくする、そして、授業外にも日常生活の中で心理学を常に考え、学んだ知識をしっかりと定着させると、自然と成績・評価が良くなる。

・一方で、無断欠席や頻繁な欠席、講義中の私語、スマホ・音楽プレイヤーなどの授業と関係ない電子端末の使用、不正な出席工作など、授業の態度が著しく悪い場合は、大幅な減点などの厳しい措置の対象になる。

・心理学Aと心理学Bの内容は関連性が高いため、あわせて履修することを推奨する。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業
- 第2回 性格とパーソナリティ
- 第3回 対人と集団
- 第4回 対人と集団
- 第5回 社会と文化
- 第6回 社会と文化
- 第7回 教育
- 第8回 教育
- 第9回 健康
- 第10回 臨床
- 第11回 組織と産業
- 第12回 災害
- 第13回 犯罪
- 第14回 心理学研究法B
- 第15回 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/i2vxpjy0d0jqqsxhqmed21sn8em6kst>)

縄田 健悟

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/24 1時限

- - - 概要 - - -

心理学とは、人間の心理過程と行動に関する学問領域である。本講義では、主に応用を中心に、心理学の主要な領域の概観を行う。

心は誰もが持っているものであり、身近に感じやすい一方で、ちょっとした思い込みから勘違いが生まれることも多い。この講義では、実証科学としての視点から、受講者自身が身近に感じられる日常的な例を解説する形で授業を行っていく。

- - - 到達目標 - - -

人間の心理に関する基礎的な知識の理解を深めること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は主に教科書と配布資料を元に行うために、予習のみならず、しっかりと復習を行い、知識を定着させること。(各60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業内容の心理学知識が的確に理解できていることを基準にして、授業中の課題(30%)+定期試験の成績(70%)で評価を行う。

- - - テキスト - - -

心理学A to B (改訂版)
978-4-563-05253-9

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・当然ながら、講義中の私語や、不正な出席工作は厳禁であり、大幅な減点などの厳しい処置を行う。
- ・単位習得は容易ではない。十分な予習・復習が必要となる。
- ・「心理学A」と「心理学B」とは密接に関連しているため、あわせて履修することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業
- 2 心理学とは
- 3 健康
- 4 対人1
- 5 対人2
- 6 対人3
- 7 集団1
- 8 集団2
- 9 産業
- 10 災害
- 11 組織1
- 12 組織2
- 13 文化
- 14 犯罪
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/ist5hkd0vkxvv6pfjc53mvggu6t6cz1n>

縄田 健悟

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：水・2時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

この教養ゼミでは、人の心の仕組みに関する心理学研究を理解することを目的としている。

この目的の下、この教養ゼミでは、学生に"教師役"として心理学の個別テーマに基づく"授業"を行ってもらおう。

自分自身で教科書を読み、まとめ、さらに自分と同じ大学生に解説する中で学びを深めてもらう。重要となるのは、内容の正確さもさることながら、できる限り分かりやすい"授業"を行うことである。これによって、心理学の知識を深めるとともにプレゼンテーション能力の向上を目指す。また、他者が行う"授業"への質問も積極的に行ってもらいたい。

学生による"授業"では、1コマで3名程度で20分の授業解説を行ってもらおう。授業解説では、パワーポイントにまとめ、発表し、出てきた質問に答えることが求められる。パワーポイントで作られた資料自体、また、プレゼン自体の質も評価の対象である。

今年は意思決定に関する下記の2冊

「その部屋のなかで最も賢い人 洞察力を鍛えるための社会心理学」

「賢く決めるリスク思考：ビジネス・投資から、恋愛・健康・買い物まで」

から1冊を選択してもらい、そこから発表する内容を各自で選択してもらう予定である。

- - - 到達目標 - - -

心理学の基礎的な理論や知見について解説できる。(知識・理解)

主張とそれを支える客観的根拠を交えた発表が行える。(技能)

人間の心理と行動に関して、現実社会や日常的な体験と結びつけて考えられる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

上述の通り、繰り返し自分の発表授業の番が回ってくるため、その準備に多大な時間(平均して60分以上)は必要になるだろう。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価に際しては、最終レポートの内容(30%)、授業資料とプレゼンの出来栄(50%)、受講態度・課題への取組み姿勢(20%)などによって評価する。

- - - テキスト - - -

「その部屋のなかで最も賢い人 洞察力を鍛えるための社会心理学」

ISBN-13：978-4791771325

「賢く決めるリスク思考：ビジネス・投資から、恋愛・健康・買い物まで」

ISBN-13：978-4772695459

から自分が発表する1冊を購入してもらおうことが求められる。

- - - 履修上の留意点 - - -

教養ゼミでは、授業の準備が求められ、受講生には相応の負担がある。試験が無いからといって、単位を取りやすいわけでは決して無い。その旨を理解した上で履修登録をしていただきたい。

- - - 授業計画 - - -

第1回 インTRODククション：スタートアップ授業
 第2回 テーマの決定と相談
 第3回 教員による授業資料作りとプレゼン方法の解説
 第4-14回 学生による授業
 第15回 まとめと総合討議

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/f2xmm67kyibl9u4k1jvgickrh4y9ww1g>

縄田 健悟

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・二部2時限 試験時間割：2022/01/21 夜2限

- - - 概要 - - -

心理学とは、人間の心理過程と行動に関する学問領域である。本講義では、主に応用を中心に、心理学の主要な領域の概観を行う。

心は誰もが持っているものであり、身近に感じやすい一方で、ちょっとした思い込みから勘違いが生まれることも多い。この講義では、実証科学としての視点から、受講者自身が身近に感じられる日常的な例を解説する形で授業を行っていく。

- - - 到達目標 - - -

人間の心理に関する基礎的な知識の理解を深めること(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は主に教科書と配布資料を元に行うために、予習のみならず、しっかりと復習を行い、知識を定着させること。(各60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業内容の心理学知識が的確に理解できていることを基準にして、授業中の課題(30%)+定期試験の成績(70%)で評価を行う。

- - - テキスト - - -

心理学A to B (改訂版)
978-4-563-05253-9

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・当然ながら、講義中の私語や、不正な出席工作是厳禁であり、大幅な減点などの厳しい処置を行う。
- ・単位習得は容易ではない。十分な予習・復習が必要となる。
- ・「心理学A」と「心理学B」とは密接に関連しているため、あわせて履修することが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 インTRODクシヨン：スタートアップ授業
- 2 心理学とは
- 3 健康
- 4 対人1
- 5 対人2
- 6 対人3
- 7 集団1
- 8 集団2
- 9 産業
- 10 災害
- 11 組織1
- 12 組織2
- 13 文化
- 14 犯罪
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/dl1ozgb38x827jwufhs3pvr9rw2rsgo>

東原 正明

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5時限 試験時間割：2021/07/31 3時限

- - - 概要 - - -

19世紀以降、世界の政治は国民国家を中心として動いてきました。しかし近年、統合を一層深めつつあるEUをはじめとして、国家を超える組織の重要性が高まっています。それと同時に、国家内において存在する、あるいは国境をまたいで結びつきを強める地域の動向も注目されるようになり、国民国家概念の相対化ともいえる事態が進行しています。

このような現状認識に立つとはいえ、二度の世界大戦を経て現在に至るまで、依然として国家が政治の中心的なアクターの一つとして存在し続けていることも事実です。また、ヨーロッパには統合の進展に対する懐疑や反対の動きも見られます。本講義ではまず、政治とは何かについて考えたのち、私たちの生活に今なお欠くことのできない現代の国家に関して様々な角度から検討します。その際には、担当者が在オーストリア日本大使館の専門調査員として勤務した経験を活かし、ヨーロッパを中心に国家に関わる様々なテーマを提示しつつ内容を深め、講義します。

- - - 到達目標 - - -

政治とは何かということについて理解することができる(知識・理解)

国民国家について、その歴史や問題点も含めて学習することを通じて、現代世界の政治的動向について自己の見解を持つことができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習としては、日ごろから新聞等の報道に目を通し、日本や世界の政治の動向に関心を持っておくことが求められます。復習としては、講義の内容を整理して疑問点や問題点を確認し、次回授業に臨む準備をすることが必要です(90分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義内容をふまえ、政治とは何か、国家とは何かについて理解できているかを評価の基準とします。
 定期試験により評価します。

- - - テキスト - - -

山本佐門『現代国家と民主政治(改訂版)』(北樹出版、2010年) ISBN978-4779302459(1800円+税)

- - - 参考書 - - -

政治学の第一歩 ISBN 978-4-641-15025-6
 連邦制入門 ISBN 978-4862830722
 政治学をつかむ ISBN 978-4641177154

- - - 履修上の留意点 - - -

日ごろから政治への関心を持ち、積極的に学習して下さい。

私語など他の受講生の学習を妨害する行為、携帯電話、スマートフォン等の使用は禁止し、それらの行為に対しては、学生証を提示させ、退出を命じる等の措置を含めて厳正に対処します。携帯電話、スマートフォン等は講義には不要ですので、カバンの中に収納し、机上には出さないこと。

各回の配布資料はFUポータルに掲載するので、各自で印刷して講義時に持参してください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 政治現象とは
- 3 政治の定義
- 4 国家とは(1)
- 5 国家とは(2)
- 6 国家権力(1)
- 7 国家権力(2)
- 8 ナショナリズムと国家(1)
- 9 ナショナリズムと国家(2)
- 10 民族と国家
- 11 変動する国家(1)
- 12 変動する国家(2)
- 13 政治体制
- 14 新しい国のかたち
- 15 おわりに

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/mgt96bbn3n3zzniw8pa9nunzzcpwfqa2>

東原 正明

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5 時限 試験時間割：2022/01/27 3 時限

- - - 概要 - - -

民主主義国家において、国民は主権者として様々な形で政治に参加しています。この参加は、選挙における投票という形で表現されるだけではありません。デモや集会への参加、利益集団を通じての積極的な政治活動など、議会外の直接行動も含めた幅広いものとしてとらえることが重要です。こうした広範な政治参加をより意義のあるものにするためにも、私たちには民主主義についての理解を十分なものとしておくことが必要となります。

本講義では、検討の対象を代表制民主主義に絞りつつ、議会や政党、行政府などの現実政治における様々なアクターの活動や特質について説明するとともに、地方自治の現状や、政治へのマスメディアの影響についても検討します。その上で、代表制民主主義が抱える諸問題を分析し、民主主義への理解を深めます。その際には、担当者が在オーストリア日本大使館の専門調査員として勤務した経験を活かし、ヨーロッパにおける代表制民主主義の実態についても解説します。

- - - 到達目標 - - -

代表制民主主義の理念と現実に関して理解することができる (知識・理解)

現在の民主主義が抱える課題や問題点について考える上で必要な知識の取得し、大学での講義にとどまることなく、社会に出てからも主権者として主体的に行動できるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習としては、日ごろから新聞等の報道に目を通し、日本や世界の政治の動向に関心を持っておくことが求められます。復習としては、講義の内容を整理して疑問点や問題点を確認し、次回授業に臨む準備をすることが必要です (90分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

講義内容をふまえ、代表制民主主義の理念と現実について理解できているか、現在の民主主義が抱える課題や問題点について考える上で必要な知識の取得しているかを評価の基準とします。

定期試験により評価します。

- - - テキスト - - -

山本佐門『現代国家と民主政治(改訂版)』(北樹出版、2010年) ISBN978-4779302459 (1800円+税)

- - - 参考書 - - -

民主主義対民主主義 多数決型とコンセンサス型の36カ国比較研究(原著第2版) ISBN 978-4326302338

- - - 履修上の留意点 - - -

日ごろから政治への関心を持ち、積極的に学習して下さい。

私語など他の受講生の学習を妨害する行為、携帯電話、スマートフォン等の使用は禁止し、それらの行為に対しては、学生証を提示させ、退出を命じる等の措置を含めて厳正に対処します。携帯電話、スマートフォン等は講義には不要ですので、カバンの中に収納し、机上には出さないこと。

各回の配布資料はFUポータルに掲載するので、各自で印刷して講義時に持参してください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 政治集団
- 3 代表制民主主義
- 4 独裁体制
- 5 議会制民主主義の歴史
- 6 日本における議会制と政党制
- 7 議会制民主主義の基本要素
- 8 議会と行政府
- 9 政党と利益集団
- 10 選挙
- 11 地方自治
- 12 マスメディアと政治
- 13 国民の政治意識
- 14 代表制民主主義の現実
- 15 おわりに

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/uqhntddy8jg2fci3v7iie8p7x2ay2oog>

施 光恒

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・1 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

・代表的な政治理論・思想の概要を説明したうえで、それが現代の日本政治を理解する上でどのように関係してくるかについて、論じていく。

・おもに英米圏の現代の政治理論を幅広く扱う。また、その考え方や語彙を用いて、日本政治の現状の検討も行う。

・基本的に講義形式で進める。パワーポイントのスライドを用いる。

- - - 到達目標 - - -

リベラリズムとは何かについて基礎的な説明を述べるができる(知識・理解)

民主主義とは何かについて基礎的な説明を述べるができる(知識・理解)

保守主義の政治観について述べるができる(知識・理解)

マルクス主義の現代的意義について述べるができる(知識・理解)

市場経済の利点について、特にハイエクに即して述べるができる(知識・理解)

グローバル化によって市場経済がどのような影響を被ったかについて基本的な事柄を指摘できる(知識・理解)

時事的な政治問題について政治理論の基礎的な用語を用いて議論することができる(技能)

時事的な政治問題について、新聞やネット上のニュースなどを踏まえて日常的に考えるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：授業中に指示する参考文献の該当箇所を読んでくること(30分程度)。

事後学習：毎回、配布されるプリントに目を通し、授業を整理し、各単元の理解を深める。各単元の終わりにFUポータル上で小テストを行う予定なので、それに解答できるかを理解の目安(復習の必要性の目安)にしてほしい(30分程度)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

現代の代表的な政治理論の知識を身に付け、日本を取りまく政治の現状をそれとの関連で説明できるようになっているかを評価の基準とする。期末試験(80%)、レポート(20%)という配分である。「到達目標」のうち、最初の6つは試験で、残りの二つをレポートで判断する。

- - - テキスト - - -

ミラー『はじめての政治哲学』岩波書店、2019年、1,188円
ISBN 4006004036

- - - 参考書 - - -

中野、柴山、施『まともな日本再生会議 グローバリズムの虚妄を撃つ』、972円 ISBN 4757222572
柴山、佐伯編『現代社会論のキーワード』、2,700円
ISBN 44779503604

一冊目は主に、授業の後半の回の市場経済やグローバル化に関係します。二冊目は、私が執筆している「リベラル・デモクラシー」の章が授業の参考になると思います。

- - - 履修上の留意点 - - -

・授業中に紹介する参考文献に興味をもち、できる限り目を通すようにしてください。

・政治に対する興味と知識を得るために、新聞、ニュース、書籍、インターネット、雑誌などを駆使して、一つの問題に関して複数の視点から情報を得るように日々心がけてください。たとえば新聞を例にとるとすれば、特定の一紙の論説や記事をそのまま信用するのではなく、それをほかの新聞や雑誌、書籍、インターネットのサイト(さまざまなブログや各種掲示板など)を参照しつつ、多角的に評価する習慣を養ってください。

・政治学Bと合わせて受講することが望ましいが(できればそうしてください)、政治学Aのみの受講もできます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 授業の概要説明(スタートアップ授業)
- 2 自由民主主義(1)
- 3 自由民主主義(2)
- 4 自由民主主義(3)
- 5 保守主義(1)
- 6 保守主義(2)
- 7 保守主義(3)
- 8 マルクス主義(1)
- 9 マルクス主義(2)
- 10 市場経済の思想(1)
- 11 市場経済の思想(2)
- 12 市場経済の思想(3)
- 13 グローバル化と市場経済(1) カール・ポランニーの議論を手がかりに
- 14 グローバル化と市場経済の思想(2) 日本社会への影響
- 15 全体まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/j6rom2bfqzs2mwulghaxj9ypvkb74n8e>

朝倉 拓郎

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

現在、日本の社会は様々な困難な問題に直面している。これらの問題を解決して住みやすい社会を実現するか、あるいは問題の解決に失敗して住みにくい社会になるかは、民主政治の担い手である私たち市民の力量にかかっている。本講義の目的は、市民としての力量を高めるために必要不可欠な政治的教養（知識、ものの見方、態度等）を身につけることである。

前期開講の「政治学A」では、政治に関わる基礎的な諸概念と、民主政治を運営するための政治制度について学ぶ。その際、概念や制度の歴史的、思想的背景を含めて説明するので、単に表面的な知識を覚えるのではなく、「ものの見方」や「考え方」を理解するように心がけてほしい。

- - - 到達目標 - - -

政治に関わる基礎的な諸概念と政治制度の特徴を理解し、説明できる。(知識・理解)

上記の知識を用いて、政治について考えたり議論できる。(技能)

現在の政治や社会のあり方について関心を持つようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・新聞、テレビ等を通じて、政治に関する報道に日常的に接すること。(60分)
- ・講義で学んだことを参考にして、自分なりの意見を考え、他者と議論すること。(随時)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

- ・定期試験によって、到達目標 の達成度を評価する。(90%)
- ・課題レポートによって、到達目標 、 について評価する。(10%)

- - - テキスト - - -

使用しない。資料を配付する。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

後期開講の「政治学B」をあわせて受講すると理解が深まる。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション(スタートアップ授業)
- 第2回 政治の概念(1): 国家
- 第3回 政治の概念(2): 公共性、法
- 第4回 政治の概念(3): 民主主義
- 第5回 政治の概念(4): 権力、立憲主義
- 第6回 政治の概念(5): 自由主義
- 第7回 政治の概念(6): 社会主義
- 第8回 政治の概念(7): 正義
- 第9回 政治の制度(1): 大統領制、議院内閣制
- 第10回 政治の制度(2): 国会
- 第11回 政治の制度(3): 内閣
- 第12回 政治の制度(4): 選挙制度
- 第13回 政治の制度(5): 政党
- 第14回 政治の制度(6): 地方自治
- 第15回 政治の制度(7): 国際政治

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/91eicpf0uls1ahl8qlw0r5x0p56qioc7)

李 鍾成

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・2 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

現代の国際社会はグローバル社会と呼ばれており、世界各国の相互依存度が高くなっているように見えます。しかし、国家間には政治外交・安全保障・経済・環境などの諸問題をめぐって、協力と対立が現れたりしており、それらの問題は私たちの生活に直接・間接的に影響を与えている。本講義では、国際政治に対する学問的理解を身につけることを目標とし、そのために国際社会における諸問題と諸イシューを歴史的、実証的なアプローチで概説する。その際に、具体的な事例を取り上げて、その「背景と歴史」や「現状」を検討するために必要な「理論」について学んでいく。

授業の方法は講師による講義を基本とするが、授業中に小テスト(クイズや質疑応答)を行うことがある。また、各回の講義について、履修学生の意見・感想・質問等をミニッツペーパーに作成してもらい、次週にそれに対するコメントや意見交換などを行う。この授業は後期の政治学B(国際政治史と日本)につながっている。

- - - 到達目標 - - -

国家間の政治・外交の相互作用を分析する国際政治学を理解し、現実の国際政治を読み解くための知識を身につける。(知識・理解)

問題を多様な視覚で分析し考察して能動的に解決するために必要な専門的な社会科学の手法を学び、その活用方法を身につける。(技能)

国際社会についての知見を深め、学生各自がそれぞれの国際観を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

テレビ、新聞などで国際政治と国際事情に関する情報に常に接する。(30分)

授業中に指定される文献を読んで予習をしておく。(60分)

毎回、配布される授業レジュメに目を通し、用語や略語の意味を中心に授業を整理しておく。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%

授業貢献度(ミニッツペーパー+小テスト):40%

・定期試験では到達目標 と を中心に評価する。

- - - テキスト - - -

指定教科書はないが、毎回の授業でプリントを配布し、場合によって1次資料などを紹介する。

- - - 参考書 - - -

国際政治学 (New Liberal Arts Selection) ISBN 4641177228
 国際関係論 (第3版) ISBN 4335002335
 大国政治の悲劇 ISBN 4909542175

- - - 履修上の留意点 - - -

授業マナーを必ず守る。(私語など、講義の進行や他の学生の受講を妨げる行為を慎む。)

- - - 授業計画 - - -

オリエンテーション(スタートアップ授業)
 国際政治学の誕生と発展
 国際政治を見る眼1:リアリズム
 国際政治を見る眼2:リベラリズム
 国際政治を見る眼3:ゲーム理論
 国際政治を見る眼4:コンストラクティビズム
 一極体制1:ポスト冷戦期の国際秩序
 一極体制2:アメリカの対外政策
 一極体制3:9.11米同時多発テロと国際関係
 国際政治イシュー:同盟の理論と実態
 国際政治イシュー:宗教・戦争・テロ
 国際政治イシュー:資源・エネルギー
 国際政治イシュー:平和構築と国際連合
 国際政治イシュー:国際政治経済
 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ffulyyt8mtu3ch8c1sctyu5e2ofqd1pb>)

廣澤 孝之

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・3 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

現代日本政治の形成過程について、政党システムの変容、主要な政策課題の変遷、日本を取りまく相互作用などに着目して講義する。共通教育科目であることを考慮し、高校と大学の橋渡しになるよう、政治・経済・日本史などの基礎知識の確認にも留意して講義を進める。

講義では戦後改革以後の現代日本政治外交史全般を対象とするが、今年度はとくに高度経済成長期以後の日本政治を取りまく諸問題と今後の政策課題について詳述する。なかでも現在焦点の課題となっている福祉政策など具体的政策課題への取り組みを中心に、できるだけわかりやすく講義することにしたい。講義テキストだけでなく、幅広く参考文献にあたり偏らない知識の習得に努めてほしい。

- - - 到達目標 - - -

現代日本の政治について基礎的な理解をもつ。(知識・理解)

日本社会の政策課題について、合理的に議論することができる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習よりも事後の学習の整理が大切である。しっかりとノートを見直し要点を把握すること(30分)。もし不明確な点があれば自分で調べるあるいは教員に質問して確認しておくこと。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%と平常点40%(平常点は小テスト・レポート提出等による)との総合評価とし、到達目標にある、自分の言葉で日本政治について説明できるかどうかを重要な評価の基準とする。

- - - テキスト - - -

廣澤孝之著『日本政治の政策課題』晃洋書房、2012年、2800円,ISBN978-4-7710-2385-7

- - - 参考書 - - -

講義のなかで適宜指示する。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに [スタートアップ授業]
- 2 現代日本社会の抱える諸課題
- 3 戦後日本政治の基本的枠組み
- 4 戦後改革から「55年体制」の成立へ
- 5 自民党支配体制の確立と変容
- 6 「政治改革」と政党システムの再編(1)
- 7 「政治改革」と政党システムの再編(2)
- 8 日本における「企業社会」の成立
- 9 日本における福祉政策の特質
- 10 新しい社会的危機と教育政策の課題
- 11 日米安保体制の成立と未完の戦後処理
- 12 国際環境の変化と新しい地域秩序の模索
- 13 新しい福祉社会の展望 企業社会を超えて
- 14 現代日本政治の政策課題
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/t5yhj8jep36ibknwu2l20hiype192znj>)

菅原 和行

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・1時限 試験時間割：2021/07/31 3時限

- - - 概要 - - -

現代では社会の複雑化と多様化を反映し、行政府とその主体となる官僚機構の役割がますます増大している。行政国家化や福祉国家化は、日本に限らず、世界各国に共通した傾向である。とりわけ、日本では多くの法律の原案は官僚によって作成され、紛争の予防的解決にも行政権が用いられるなど、官僚機構の影響力は至るところで確認できる。こうした行政や官僚機構については政治（立法府や執政部）との関係がつねに問題となり、政治学においても継続的に議論されてきた。本講義では、現代日本の行政をおもな対象として、官僚機構の機能や特徴、また立法府・執政部と官僚機構の関係について考察する。

- - - 到達目標 - - -

現代日本の行政に関して、その基本的な特徴を自分の言葉で説明できる。(知識・理解)

現代日本の行政における諸課題や行政改革のおもな手法について理解し、自ら改善策を提示できる。(技能)

国や自治体の行政活動に関心を持ち、自ら課題を見つけ、改善策を提示する主体的な姿勢が身につく。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の授業の後、レジュメやノートを見返し、きちんと復習しておくこと(毎回60分)。また、授業中に紹介する参考文献も積極的に読むこと(毎日30分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：各到達目標の観点から、概念の定義や理論・学説等を正しく理解し、定期試験、ミニットペーパー、小テストにおいて自分の言葉で適切に説明できているかどうかを評価基準とする。

評価方法：定期試験70%と平常点(ミニットペーパー、小テスト)30%により、総合的に評価する。

- - - テキスト - - -

使用しない。

- - - 参考書 - - -

森田朗『新版 現代の行政』(第一法規、2017年)
ISBN 9784474057197

- - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語は授業の妨げになり、他の受講者にも迷惑をかけるため、厳に慎むこと。

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス、政治とは何か、行政とは何か(スタートアップ授業)
- 2 議会と行政府の関係
- 3 日本における行政府・内閣の歴史の変遷
- 4 行政学発展の歴史
- 5 現代の行政改革
- 6 官僚制の諸理論
- 7 マックス・ウェーバーの官僚制論
- 8 官僚制の逆機能
- 9 現代組織論
- 10 行政祖期の管理運営
- 11 欧米諸国の公務員制度
- 12 日本の公務員制度
- 13 行政責任と行政統制
- 14 情報公開
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/339ihp2l33a7eazqr5gtrwdwjjglyltr>

施 光恒

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

・代表的な政治理論・思想の概要を説明したうえで、それが現代の日本政治を理解する上でどのように関係してくるのかについて、論じていく。
 ・この授業では、特に、グローバル化の進展、およびその反動がみられる現在の政治状況のもとで、国民国家や「ナショナルなもの」(国民意識や国民の連帯、愛国心など)の役割を検討していく。
 ・前半では、主に「ナショナルなもの」と自由民主主義との関連を考える。
 ・後半(第11回以降あたりから)は、主に、日本のナショナル・アイデンティティについて、いくつかの観点から考察する。
 基本的に講義形式で進める。
 ・パワーポイントのスライドを用いる。

- - - 到達目標 - - -

ネイションの起源に対する代表的な見方を、「近代」との関わりで説明できる。(知識・理解)

グローバル化が進むとなぜ格差拡大が生じるのかを説明できる。(知識・理解)

グローバル化が進むとなぜ民主主義が機能不全に陥るのかを説明できる。(知識・理解)

自由、平等、民主主義、少数者の保護といった自由民主主義の理念と、安定したネイションとの結びつきについて説明できる。(知識・理解)

日本のナショナル・アイデンティティについて、複数の見方から説明することができる。(知識・理解)

日本のナショナル・アイデンティティについて、自由民主主義との関わりという観点から議論できる。(知識・理解)

現在進められているグローバル化の政策について、政治理論の代表的な語彙や考え方をういつつ、説明し、評価できる。(知識・理解)

グローバル化以後(ポストグローバル化)の世界秩序のあり方についていくつかの可能性を検討できる(技能)

グローバル化やナショナリズムの問題について、新聞やネット上のニュースなどを踏まえて日常的に考えるようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：次の授業で用いるテキストや参考文献の該当箇所を目を通す(毎回30分程度)。

事後学習：毎回の授業で配布するプリントを熟読し、理解できたかどうか確認する。頭の中で、話の流れが再現できるようになることを目指す(30分程度)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

現在、進められているグローバル化の現象を、ナショナリズムやグローバル化に関する理論の基礎的な語彙や考え方をういながら説明し、評価することができるかを評価の基準とする。おおよそ期末試験(論述式)(80%)、レポート(20%)の配分である。上記の九つ「到達目標」のうち、最初の7つは主に試験で、残りの二つは主にレポートでその達成度を見る。

- - - テキスト - - -

施光恒『英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる』(集英社新書、2015年)

- - - 参考書 - - -

本当に日本人は流されやすいのか ISBN 4040820290
 ナショナリズムの政治学 ISBN 4779503264

原理から考える政治学 ISBN 4589037262
 うえで上げたもの以外の参考書については、授業中に適宜指示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

・授業中に紹介する参考文献に興味をもち、できる限り目を通すようにしてください。

・政治に対する興味と知識を得るために、新聞、ニュース、書籍、インターネット、雑誌などを駆使して、一つの問題に関して複数の視点から情報を得るように日々心がけてください。たとえば新聞を例にとるとすれば、特定の一紙の論説や記事をそのまま信用するのではなく、それをほかの新聞や雑誌、書籍、インターネットのサイト(さまざまなブログや各種掲示板など)を参照しつつ、多角的に評価する習慣を養ってください。

・政治学Aと合わせて受講することが望ましいが(できればそうしてください)、政治学Bのみの受講もできます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 授業の概要説明(スタートアップ授業)
- 2 ネ이션の起源
- 3 ネ이션の起源
- 4 グローバル化の問題点 格差拡大はなぜ生じるのか
- 5 グローバル化の問題点 民主主義の機能不全
- 6 グローバル化の問題点 エリートの劣化と国民の分断
- 7 ナショナリティと自由民主主義
- 8 ナショナリティと自由民主主義
- 9 ナショナリティと自由民主主義
- 10 「ポスト・グローバル化」の世界をいかに構想するか
- 11 海洋国家論と移民問題 日本のナショナル・アイデンティティ
- 12 海洋国家論と移民問題 日本のナショナル・アイデンティティ
- 13 日本人の道徳意識 日本のナショナル・アイデンティティ
- 14 日本人の道徳意識 日本のナショナル・アイデンティティ
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/9lbpysyvpb9kr4mhy6la39q21g6sw49e>

朝倉 拓郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

現在、日本の社会は様々な困難な問題に直面している。これらの問題を解決して住みやすい社会を実現するか、あるいは問題の解決に失敗して住みにくい社会になるかは、民主政治の担い手である私たち市民の力量にかかっている。本講義の目的は、市民としての力量を高めるために必要不可欠な政治的教養（知識、ものの見方、態度等）を身につけることである。

後期開講の「政治学B」では、日本の政治の歴史を振り返り、その上で現在の日本が抱えている政治問題について学ぶ。前期の「政治学A」と比べて、より具体的かつ喫緊の課題を取り上げていくので、単に表面的な知識を覚えるのではなく、一人の市民として当事者意識をもって能動的な学習を心がけてほしい。

- - - 到達目標 - - -

日本の政治が抱えている諸問題を歴史的文脈の中で理解し、説明できる。(知識・理解)

上記の知識を用いて、政治について考えたり議論できる。(技能)

現在の政治や社会のあり方について関心を持つようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・新聞、テレビ等を通じて、政治に関する報道に日常的に接すること。(60分)
- ・講義で学んだことを参考にして、自分なりの意見を考え、他者と議論すること。(随時)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

- ・定期試験によって、到達目標 の達成度を評価する。(90%)
- ・課題レポートによって、到達目標 、 について評価する。(10%)

- - - テキスト - - -

使用しない。資料を配付する。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

前期開講の「政治学A」をあわせて受講すると理解が深まる。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回 イン트로ダクション(スタートアップ授業)
- 第2回 日本政治の歴史(1): 明治憲法体制
- 第3回 日本政治の歴史(2): 戦前の政党政治
- 第4回 日本政治の歴史(3): 戦争への道
- 第5回 日本政治の歴史(4): 占領期の日本
- 第6回 日本政治の歴史(5): 安保改定と高度成長
- 第7回 日本政治の歴史(6): 沖縄返還
- 第8回 日本政治の歴史(7): 55年体制の崩壊～現在
- 第9回 現代政治の諸問題(1): 安全保障問題
- 第10回 現代政治の諸問題(2): 国際社会の中の日本
- 第11回 現代政治の諸問題(3): 格差問題
- 第12回 現代政治の諸問題(4): メディアと世論
- 第13回 現代政治の諸問題(5): 科学と政治
- 第14回 現代政治の諸問題(6): 合意形成の方法
- 第15回 現代政治の諸問題(7): 市民自治の可能性

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/0cd6244om0qggjqgq5k87onh9i51kp5l>)

李 鍾成

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・2時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

本講義は、主に欧米と東アジアを空間的対象にして、第1次世界大戦の勃発から現在までの国際秩序の形成過程を、戦争と平和という国際政治史の観点で概観することで、我々が住んでいる今日の国際社会の姿をより深く理解することを目標としている。その際、理論的道具と概念として、世界システム論、帝国主義、近代国家、ナショナリズム、力の均衡といった概念を取り入れていく。本講義で取り上げられる内容は、大きく6つの部分で構成される。つまり、国際政治学と国際政治史の基本的な概念、第1次世界大戦前後の国際秩序の変化、第2次世界大戦と終戦後の国際社会、冷戦時代の国際政治、ポスト冷戦期と21世紀の国際秩序、そして日本の外交史の一部である。

また、授業の方法は講師による講義を基本とするが、授業中に小テスト（クイズや質疑応答）を行うことがある。また、各回の講義について、履修学生の意見・感想・質問等をミニッツペーパーに作成してもらい、次週にそれに対するコメントや意見交換などを行う。

- - - 到達目標 - - -

国際社会が形成されていく過程を戦争と平和の観点で理解できる。(知識・理解)

国際関係史の分析理論を利用して国際社会の出来事を説明できる。(技能)

現在の国際社会の姿と国際事情について、自らの考えを述べることができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

テレビ、新聞などで国際政治と国際事情に関する情報に常に接する。(30分)

授業中に指定される文献を読んでくる。(60分)

毎回、配布される授業レジュメに目を通し、用語や略語の意味を中心に授業を整理しておく。(60分)

授業内容に関する質問、相談に関しては、Eメールで随時受け付ける。また、本講義以外に面談や学習上の質問などを希望する場合もメールを利用すること。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%

授業貢献度（ミニッツペーパー+小テスト）：40%

・定期試験では到達目標 と を中心に評価する。

- - - テキスト - - -

指定教科書はないが、毎回の授業でプリントを配布し、場合によって1次資料などを紹介する。

- - - 参考書 - - -

国際政治史 - 世界戦争の時代から21世紀へ - ISBN 4815806713

東アジア国際政治史 ISBN 481580561X

オリバー・ストーンが語る もうひとつのアメリカ史 1・2・3 ISBN 4150504393

- - - 履修上の留意点 - - -

授業マナーを必ず守る。(私語など、講義の進行や他の学生の受講を妨げる行為を慎む。)

- - - 授業計画 - - -

プロログ：戦争と平和による国際政治史とは何か
 （スタートアップ授業）

地政学と国際政治史

30年戦争と帝国主義

第1次世界大戦と国際政治学の誕生

第1次世界大戦と思想の発展と大英帝国

第1次世界大戦の戦後処理

20世紀前後の東アジアの事情

第2次世界大戦への道

第2次世界大戦と国際政治

戦争はなぜ起きたのか。

日米はなぜ戦ったのか。

国連の誕生と冷戦

日米同盟の形成と展開

21世紀の国際社会

エピログ：未来の国際関係を語る

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/0c0j3ksnv77bwkppu08rel3l37nbjvk6)

[s/0c0j3ksnv77bwkppu08rel3l37nbjvk6](https://fukuoka-u.box.com/s/0c0j3ksnv77bwkppu08rel3l37nbjvk6))

廣澤 孝之

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

現代世界における民主政(デモクラシー)の諸課題について講義する。現代世界における民主政はファシズムなどさまざまな反民主政治の潮流を乗り越えて、これまで発展してきたと考えられるが、各国における選挙の投票率の低下、政治的無関心の増大に示されているように、自分たちが政治の主人公であるという意識は薄れ、いくつかの国では再び独裁政治を讃美する動きすら見られようとしている。

こうした状況のなかで、現代世界におけるデモクラシーの諸原理とは何か、グローバル化しつつ世界のなかで現代のデモクラシーにどのような構造的変化が起こりつつあるかについて考察していく。

具体的な講義内容としては現代世界が抱える地球的規模の諸課題に対して、デモクラシーを諸原理とする政治制度は有効な解決策を示しうるのか、国民国家を基本的単位としてきた近代デモクラシーの諸原理とグローバル化した世界との関わり、変貌の激しい家族や共同体と政治空間との関係などについて順次考えていく。

さまざまな分野を専攻する学生が履修する全学共通科目であることに配慮し、政治や経済・社会などに関する基礎的知識を補いつつ、わかりやすい講義となるよう努める。

- - - 到達目標 - - -

現代政治の基本原則について正確な知識を持つ。(知識・理解)

デモクラシーの諸原理をさまざまな場面で活用し、自分の考えを表現できるようになる。(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の受講に当たっては事前に配布したプリントに目を通しておくことが極めて重要です。また事後には概念・用語等をしっかりと確認し理解を深めるために再度自分がとったノートを見直すことが望まれるでしょう(30分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%と平常点40%(平常点は小テスト・レポート等による)との総合評価とし、到達目標にある、自分の言葉で政治について考え、表現できることを最も重視して評価する。

- - - テキスト - - -

「現代デモクラシー論」講義プリントを配布する予定 変更がある場合は別途掲示する。

- - - 参考書 - - -

講義のなかで適宜指示する。

- - - 授業計画 - - -

第1部 20世紀民主政の展開

- 1 はじめに 問題提起{スタートアップ授業}
- 2 20世紀民主政の基本構造
- 3 ファシズムの挑戦と総力戦
- 4 冷戦と福祉国家の建設
- 5 豊かな社会と1968年の反乱

第2部 20世紀末の構造転換

- 6 新自由主義革命
- 7 政府の失敗と民営化路線
- 8 グローバリゼーションと多文化主義
- 9 家族の変貌と個人主義の亢進
- 10 グローバルな貧困と環境問題

第3部 21世紀民主政の課題

- 11 現代世界における政治構造の転換過程(1)
- 12 現代世界における政治構造の転換過程(2)
- 13 諸改革のグランドデザイン(1)
- 14 諸改革のグランドデザイン(2)
- 15 むすび 現代デモクラシーの諸課題

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/c2ujhl8ye8c3dydhg6yq0xe5lh01guhx>)

菅原 和行

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

政治学はその性格上、網羅的・体系的に論じることが困難な学問分野である。政治学の中には、政治思想、行政学、国際政治、比較政治など、さらに細分化された領域が含まれ、それぞれ研究手法も異なる。また、政治学という分野自体が、法学、経済学、社会学、心理学などの隣接分野の研究成果を取り込みながら発達してきたため、学問的外延は非常に広範かつ曖昧である。こうした政治学の学問的性格もあり、本講義においても政治学を網羅的・体系的に議論することは困難である。そのため、本講義では、現代政治の主要なテーマを取り上げ、政治学を学ぶうえで、また現実の政治を考察するうえで、最低限必要となる基礎知識を中心に学習する。

- - - 到達目標 - - -

現代政治の基礎概念について、それぞれの特徴を自分自身の言葉で説明できる。(知識・理解)

現代政治の主要な問題について、それぞれの性格を明らかにしたうえで、解決に向けた方策を提示できる。(技能)

現代の政治問題を解決するため、自ら主体的に考え、行動する姿勢が身につく。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回の授業の後、レジュメやノートを見返し、きちんと復習しておくこと(毎回60分)。また、授業中に紹介する参考文献も積極的に読むこと(毎日30分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：各到達目標の観点から、概念の定義や理論・学説等を正しく理解し、定期試験、ミニットペーパー、小テストにおいて自分の言葉で適切に説明できているかどうかを評価基準とする。

評価方法：定期試験70%と平常点(ミニットペーパー、小テスト)30%により、総合的に評価する。

- - - テキスト - - -

使用しない。

- - - 参考書 - - -

加茂利男、大西仁、石田徹、伊藤恭彦『現代政治学[第4版]』(有斐閣、2012年) ISBN 9784641124554
 坂本治也、石橋章市朗編『ポリティカル・サイエンス入門』(法律文化社、2020年) ISBN 9784589041005

- - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語は授業の妨げになり、他の受講者にも迷惑をかけるため、厳に慎むこと。

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス、政治とは何か(スタートアップ授業)
- 2 政治学の基礎概念
- 3 政治体制
- 4 政治制度、統治機構
- 5 政党、利益集団
- 6 政策過程
- 7 中央・地方関係
- 8 日本の地方自治
- 9 コミュニティの役割
- 10 市民による政治参加
- 11 政治意識
- 12 国際政治(1):近代の国際政治
- 13 国際政治(2):現代の国際政治
- 14 国際政治(3):現代の国際問題
- 15 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/tsl4vlk0nkkqny9co1rcq69882u6irf>)

山岸 賢一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

私たちが生まれ社会的な存在としての「人」になるには、教育が不可欠である。しかしながら、その一方で教育は不確実性を伴うきわめて困難な営みであり、教育について理解するには、その理念や歴史、思想、方法、制度等から幅広く捉えていく必要がある。本授業では、教育とは何かを考えるための基礎概念、教育の歴史的発展、教育の方法や組織、教育制度などについての基本的な知識を概観する。そのうえで、学校が直面する今日の教育課題の具体的な取り組みや成果についての理解を深めていきたい。

- - - 到達目標 - - -

教育や学校に関する基礎的な知識（教育の理念、教育に関する思想・歴史、教育課程の意義と編成方法、等）を備えている。（知識・理解）

教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考しようとしている。（技能）

教育に携わる者・教育に関わる者に求められる、必要最低限の倫理観と責任感とを備えている。（態度・志向性）

教育に関する基礎的な知識を活用しつつ、教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考することができる。（技能）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義の際に指示する事前学習課題は必ず行うこと（毎回60分程度）。講義後は、講義資料や各自でとった講義ノートを用いて、学習した内容を復習しておくこと（毎回60分程度）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標に照らして、次の2点にもとづき評価する。

- ・授業時に課す課題（小レポート等） 30%
 授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。
- ・定期試験 70%
 論述問題については、授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。

ただし、次の2点については、加点・減点を行う。

- ・講義への積極的な参加（発言、各種のワークへの積極的な参加、等）については、加点する。
- ・講義への不参加をあからさまに示す態度が見られた場合や、他の受講者の学習の権利を奪いかねない行為が見られた場合、減点する（遅刻、私語、各種のワークへの不参加、等）。

- - - テキスト - - -

テキストは特に指定しない。毎回資料を配付する。

- - - 参考書 - - -

- ・安彦忠彦・石堂常世編著（2010）『最新教育原理』勁草書房
- ・汐見稔幸・伊東毅・高田史子・東宏行・増田修治編著（2011）『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房
- ・早川操・伊藤彰浩編著（2015）『教育と学びの原理』名古屋大学出版会
- ・文部科学省『中学校学習指導要領』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領』

- - - 履修上の留意点 - - -

教育に関わる講義に相応しい受講態度を期待する。本講義は個人で行うワークやグループワークを含んでいる（ただし新型コロナウイルスをめぐる状況によりグループワークの実施方法については検討する）。また、講義中、発言を求めることもある。授業計画等は、学習状況や理解度に応じて調整・変更することがある。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：オリエンテーション、「子ども」とは：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回：「子ども」を歴史的に問い直す
- 第3回：「学校」はどこからやってきた？（西洋）
- 第4回：「学校」はどこからやってきた？（日本）
- 第5回：戦争と学校教育
- 第6回：政治と学校教育
- 第7回：「学校」に通う意味
- 第8回：「家庭の教育力」は衰退したか？
- 第9回：日本の大学生をどう見るか？
- 第10回：教育課程編成と学習指導要領 学習指導要領とは
- 第11回：教育課程編成と学習指導要領 これからの教育課程
- 第12回：ジェンダー・セクシャリティと教育の深い関係
- 第13回：いま、学校の先生であること
- 第14回：まとめ1 教育・学校教育の課題
- 第15回：まとめ2 教育・学校教育のこれから

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/2alkqgw8b0wusm5iwuprljyhxwpxif6>

山岸 賢一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

概要

私たちが生まれ社会的な存在としての「人」になるには、教育が不可欠である。しかしながら、その一方で教育は不確実性を伴うきわめて困難な営みであり、教育について理解するには、その理念や歴史、思想、方法、制度等から幅広く捉えていく必要がある。本授業では、教育とは何かを考えるための基礎概念、教育の歴史的発展、教育の方法や組織、教育制度などについての基本的な知識を概観する。そのうえで、学校が直面する今日の教育課題の具体的な取り組みや成果についての理解を深めていきたい。

到達目標

教育や学校に関する基礎的な知識（教育の理念、教育に関する思想・歴史、教育課程の意義と編成方法、等）を備えている。（知識・理解）

教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考しようとしている。（技能）

教育に携わる者・教育に関わる者に求められる、必要最低限の倫理観と責任感とを備えている。（態度・志向性）

教育に関する基礎的な知識を活用しつつ、教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考することができる。（技能）

授業時間外の学習(予習・復習)

講義の際に指示する事前学習課題は必ず行うこと（毎回60分程度）。講義後は、講義資料や各自でとった講義ノートを用いて、学習した内容を復習しておくこと（毎回60分程度）。

成績評価基準および方法

到達目標に照らして、次の2点にもとづき評価する。
 ・授業時に課す課題（小レポート等） 30%
 授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。
 ・定期試験 70%
 論述問題については、授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。

ただし、次の2点については、加点・減点を行う。
 ・講義への積極的な参加（発言、各種のワークへの積極的な参加、等）については、加点する。
 ・講義への不参加をあからさまに示す態度が見られた場合や、他の受講者の学習の権利を奪いかねない行為が見られた場合、減点する（遅刻、私語、各種のワークへの不参加、等）。

テキスト

テキストは特に指定しない。毎回資料を配付する。

参考書

- ・安彦忠彦・石堂常世編著（2010）『最新教育原理』勁草書房
- ・汐見稔幸・伊東毅・高田史子・東宏行・増田修治編著（2011）『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房
- ・早川操・伊藤彰浩編著（2015）『教育と学びの原理』名古屋大学出版会
- ・文部科学省『中学校学習指導要領』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領』

履修上の留意点

教育に関わる講義に相応しい受講態度を期待する。本講義は個人で行うワークやグループワークを含んでいる（ただし新型コロナウイルスをめぐる状況によりグループワークの実施方法については検討する）。また、講義中、発言を求めることもある。授業計画等は、学習状況や理解度に応じて調整・変更することがある。

授業計画

- 第1回：オリエンテーション、「子ども」とは：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回：「子ども」を歴史的に問い直す
- 第3回：「学校」はどこからやってきた？（西洋）
- 第4回：「学校」はどこからやってきた？（日本）
- 第5回：戦争と学校教育
- 第6回：政治と学校教育
- 第7回：「学校」に通う意味
- 第8回：「家庭の教育力」は衰退したか？
- 第9回：日本の大学生をどう見るか？
- 第10回：教育課程編成と学習指導要領 学習指導要領とは
- 第11回：教育課程編成と学習指導要領 これからの教育課程
- 第12回：ジェンダー・セクシャリティと教育の深い関係
- 第13回：いま、学校の先生であること
- 第14回：まとめ1 教育・学校教育の課題
- 第15回：まとめ2 教育・学校教育のこれから

スタートアップ授業

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/slincmxuf4khaekwolg05oeviopa423>)

勝山 吉章

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

学習指導要領の教育課程の意義や編成の方法について学びながら、経験主義教育（開発主義）と系統主義教育（注入主義）が歴史的に交互に繰り返されてきたことを知る。経験主義とは、児童生徒の興味関心や体験・経験を重視する児童中心主義教育であり、系統主義とはそれぞれの教科の科学性や知の構成を重視する科学中心主義を指す。日本でも西洋でも、この両者は常に教育実践や教育思想のなかで論じられてきたものである。本講義は、これら両者のメリット・デメリットを理解しながら、学校のあり方や教育課程の編成のあり方を考える。そしてカリキュラム・マネジメントの方法原理を考察していく。

- - - 到達目標 - - -

教育の理念ならびに教育に関する思想および方法について理解する(知識・理解)

教育課程の意義について理解する(知識・理解)

教育課程編成の方法（カリキュラムマネジメントを含む）について具体的に考える(技能)

学校や教育の在り方について考える(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと（300分）
- ・ 授業計画に即して事前に専門用語等を調べ理解しておくこと（300分）
- ・ 講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと（300分）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

「知識・理解」としては、教育の理念や教育課程の編成について理解しているかどうかを定期試験で評価し、「技能」「態度・志向性」については授業中に課す課題において評価する。評価の方法は、定期試験の結果（70%）、授業中の課題等（30%）で総合的に評価する。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定にあたっては厳しい姿勢で臨む所存である。

- - - テキスト - - -

勝山他『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版
 ISBN978-4-901903-47-9定価2000円＋税
 また適宜プリントを配布する。

- - - 参考書 - - -

安彦他『カリキュラム研究入門』勁草書房 ISBN
 978-4-326-29815-0

- - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語、居眠り、携帯等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由ともなりえる。
 テキストを中心に授業を行う。従って、テキストを持参しない学生の受講は認められない。
 本講義は、西洋教育史の授業とリンクしているので、両者の受講を勧める。
 なお担当者は、視覚に障害をもっているため、学生の理解をお願いする。

- - - 授業計画 - - -

- 1：ガイダンス（スタートアップ授業）
- 2：学習指導要領からみる教育課程の意義
- 3：学習指導要領からみる教育課程編成の方法
- 4：教育の基本的概念と近代教育学
- 5：教育の歴史と思想 - コメニウス
- 6：教育の歴史と思想 - ルソー
- 7：教育の歴史と思想 - ベスタロッチ
- 8：教育の歴史と思想 - フレーベル
- 9：教育の歴史と思想 - デューイ
- 10：教育の歴史と思想 - 沢柳政太郎と大正自由教育
- 11：戦後教育の教育課程論争 - 経験主義か系統主義か
- 12：スプートニックショックと発見学習
- 13：教科カリキュラムと経験カリキュラムの編成方法と特色
- 14：相関カリキュラム、融合カリキュラム、コア・カリキュラムの編成方法と特色
- 15：まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/yvf3kcu0bh13r0fm2jrlu5ftkzakc9oi>)

橋場 論

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・5 時間 試験時間割：2022/01/26 6 時間

- - - 概要 - - -

現在学校で行われている教育は、皆さんにとってどのように見えているでしょうか。うまくいっているように見えるでしょうか。それとも、失敗しているように見えるでしょうか。もしも改善の余地があるとすれば、それはどのような点で、どのような方向に変えていけばよいのでしょうか。

教育という営みは捉えどころがなく、とても複雑なものです。それは、様々な歴史的経緯や思想に基づいて形作られてきたものです。そのため、そうした経緯や思想を知らなければ、現在や将来の教育のあり方について考えることはできません。また、教育というと「親と子ども」や「教師と児童・生徒」のみの関係に焦点化されて考えられがちであり、時には、無条件に「善いもの」として、美化されることすらあります。しかし、実際には、教育はその時々での社会の影響を受けつつ、政治や経済の手段として用いられているという側面もあります。そのような意味で、教育を巡る問題は、社会や国家のあり方とも密接な関係を持つものなのです。

そこで、本講義では、こうした教育の性質を踏まえつつ、教育の理念や歴史、思想から教育課程に至るまで網羅的に取り上げ、解説していきます。その際には、単に歴史的、思想的な話を行うのではなく、それらを通じて、現代の教育課題に対する視野を広げられるよう、議論を展開していく予定です。

講義を通じて、受講生の皆さんには社会を支える構成員として、さらには、教育者として求められる「教育を見る眼」を養ってもらいたいと考えています。

- - - 到達目標 - - -

近代以降に公教育が発展した背景について、国民国家の成立という観点から、説明することができる。(知識・理解)

近代以降における公教育の意義や課題について、近代以降の社会の特徴を踏まえつつ、説明することができる。(知識・理解)

教育課程それ自体や教育課程の必要性について、公教育との関係から、説明することができる。(知識・理解)

学習指導要領の歴史的変遷について、その背景にある社会の状況や学力観の変化を踏まえつつ、説明することができる。(知識・理解)

公教育や教育課程に関する様々な出来事について、日常的に関心を持つことができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の内容については、授業後に見直したうえで、ノートに自分自身の言葉でまとめなおしてください(復習=90分程度)。また、授業の内容に関連する資料や動画などを予め講読、視聴しておくよう指示をする場合があります(予習=60分程度)。それ以外に、普段、テレビや新聞、インターネット等の媒体に接するときは、授業で取り扱ったテーマに関する情報を逃さないよう心がけてください(予習又は復習=30分)。

なお、本授業科目の内容を理解する上では、高校までに学習した歴史や公民に関する知識が役立ちます。授業中に十分理解できない事項が出てきた場合には、自分自身で復習することをおすすめします。もちろん、担当教員に質問をしていただくことも歓迎します。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

「到達目標」において示した5つの具体的な目標について、以下に掲げる成績評価方法を用いながら、それぞれの到達度を測ることとします。

授業中に提出するワークシート：40%

毎回の授業において、複数問いを提示します。問いに対する自身や他者の考えをワークシートにまとめ、毎回提出してもらいます。

定期試験：60%

なお、遅刻・欠席をすると に関する課題を提出できないことがあり、減点の対象になりますので、注意してください。また、上記のほかに、私語や遅刻等の授業態度については、評価の際に適宜考慮します。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

大規模授業となることが予想されますが、一方的な講義ではなく、グループでのディスカッション等も交えながら進行します。積極的な参加を期待します。特に、教育について、他の学生と一緒に議論し、考えたい、という学生の履修を歓迎します。

テキストは指定しないので、授業時の配布資料等をこまめにファイリングするようにしてください。

なお、本講義は、教職科目でもあるため、それを踏まえつつ授業を進めます。新たな発見や知的刺激のある「楽しい」授業となるよう努めますが、授業に対する積極的な参加という形でのご協力をお願いします。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業：動画配信)
- 2.教育とは何か：教育の本質と意義
- 3.近代国家の成立と公教育の展開(教育の歴史と思想：西洋)
- 4.近代国家の成立と公教育の展開(教育の歴史と思想：日本)
- 5.教育の歴史的展開と教育思想(公教育を巡る思想を中心に)
- 6.公教育を巡る現代的課題(アーミッシュを事例として)
- 7.公教育を巡る現代的課題(教師の役割に注目して)
- 8.中間まとめ
- 9.教育課程編成と学習指導要領
- 10.教育課程編成に関する原理
- 11.学習指導要領の歴史的変遷
- 12.学力低下論争と教育課程
- 13.新たな学習観と教育課程
- 14.カリキュラム・マネジメント
- 15.全体まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/a476b9w7zg937xw386t3m31dcy0o71y3>)

藤田 由美子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

概要

本授業では、教職を目指す学生が、教育の思想、歴史、そして現代の教育課題について理解を深め、教育とは何かについて考察を行うとともに、教育課程および教育実践について考えることを目指す。

内容は、次の通りである。第一に、教育の理念・教育の思想・教育の歴史・教育課程について基礎的理解を深める。第二に、教育の理念にかかる具体的な問題として、子どもの権利、教育の公共性および機会均等について、理解を深める。第三に、子どもの貧困、社会的養護の子ども、ダイバーシティと教育、といった現代の学校教育が直面する問題について、歴史を踏まえつつ理解を深め、教育課程および教育実践へと関連づけていく。

各授業回においては、具体的な事例をとりあげ、ワークシートを用いる学習やグループ・ディスカッション等によって、受講生ひとりひとりが主体的に学び考えることができる工夫を行う。

到達目標

教育学の諸概念、教育の本質及び目標を理解できる。(知識・理解)

近代教育制度の成立等教育の歴史について理解できる。(知識・理解)

教育に関するさまざまな思想、代表的な教育家の思想について理解できる(知識・理解)

身近な教育事象について、教育の理念および思想に関する学習内容を活用して説明することができる。(技能)

現代社会における教育課題を、歴史との関わりで説明することができる。(技能)

教育の理念・歴史・思想について、積極的に学ぶ姿勢をもっている。(態度・志向性)

教育の諸事象について、多角的に考える姿勢をもっている。(態度・志向性)

グループ学習などで、他者の考えを受け入れる姿勢をもっている。(態度・志向性)

授業時間外の学習(予習・復習)

事前学習：テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおく。(60分程度)
 事後学習：講義内容について、ウェブや図書館資料などでさらに理解を深める。(60分程度)

成績評価基準および方法

1. 成績評価基準：

(1) 定期試験によって、教育学の諸概念・教育の本質及び目標、近代教育制度の成立等教育の歴史、教育に関するさまざまな思想や代表的な教育化の思想について理解し記述できているかを評価する。

(2) 中間レポートおよびMoodle課題の提出状況によって、身近な教育事象について説明できているか、現代社会における教育課題について考察ができているか、を評価する。あわせて、レポート作成ルールを遵守できているかを評価する。

(3) 授業ごとに行う個別活動や、グループ・ディスカッションなどの集団活動によって、授業への参加度および身近な教育事象についての理解や考察について評価する。

2. 成績評価方法：

(1) 定期試験(上記到達目標について、基本的な内容の理解度を評価する)：40%

(2) 中間レポート(レポート作成ルールの遵守、身近な教育事象や現代社会における教育課題についての考察力を評価する)：20%

(3) Moodle課題の提出状況：20%

(4) グループ・ディスカッションなど授業への参加状況：20%

テキスト

藤田由美子・谷田川ルミ編『ダイバーシティ時代の教育の原理 多様性と新たなつながりの地平へ』学文社、2018年、ISBN：978-4762028311

参考書

講義時間内に適宜提示する。

履修上の留意点

1. 遅刻をしないこと
 2. 私語など、他の受講生の妨げになる行為をしないこと
 3. グループ・ディスカッションなどの学習活動に、主体的に参加するよう努めること
- * 下記授業計画は、変更の可能性もある

授業計画

第1回：オリエンテーション(スタートアップ授業：オンデマンド動画配信)

第2回：教育の理念 教育とは何か

第3回：教育の思想 先人の教育思想に学ぶ

第4回：学校教育の成立 西洋における教育の歴史より学ぶ

第5回：日本における教育の歴史(1) 近代における学校教育の普及を中心に

第6回：日本における教育の歴史(2) 戦後教育改革以降現代に至るまで

第7回：教育課程 学習指導要領、カリキュラム・マネジメント、隠れたカリキュラム

第8回：子どもの権利 子どもの権利条約に学ぶ

第9回：教育の公共性 公教育とシティズンシップ教育について考える

第10回：教育の機会均等 その理念および現代的課題

第11回：子どもの貧困 歴史、現状および課題

第12回：社会的養護に生きる子ども 教育と福祉をつなぐ

第13回：ダイバーシティと教育(1) 外国につながる子ども

第14回：ダイバーシティと教育(2) 多様な性を生きる子ども

第15回：総括 「教育について考えること」とは何か

定期試験

スタートアップ授業

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/ylvj9thzagj3tgoluf56zeo928xrr0ip>)

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識及び理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

- - - 到達目標 - - -

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について、自分の意見や考えを述べることができるか。

- - - テキスト - - -

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

- - - 参考書 - - -

- 『教師教育講座第6巻教育課程論 ISBN 9784319106752
- 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
- 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
- (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
- (2) 文部科学省
- (3) 文部科学省

- - - 履修上の留意点 - - -

携帯電話・スマホの使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
- 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
- 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
- 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
- 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
- 第7回：学校教育制度の変遷
- 第8回：教育課程の定義及び意義
- 第9回：教育課程の歴史
- 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
- 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
- 第12回：教育課程の編成原理
- 第13回：教育課程編成の考え方と手法
- 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
- 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/0d2o6riylcfdz5trit0ls66xc613oup>)

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

--- 概要 ---

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識や理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

--- 到達目標 ---

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

--- 成績評価基準および方法 ---

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について自分の意見や考えを述べるか

--- テキスト ---

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

--- 参考書 ---

- 『教師教育講座第6巻教育課程論』 ISBN 978-4-319-10675-2
- 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
- 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
- (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
- (2) 文部科学省
- (3) 文部科学省

--- 履修上の留意点 ---

携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

--- 授業計画 ---

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
- 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
- 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
- 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
- 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
- 第7回：学校教育制度の変遷
- 第8回：教育課程の定義及び意義
- 第9回：教育課程の歴史
- 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
- 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
- 第12回：教育課程の編成原理
- 第13回：教育課程編成の考え方と手法
- 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
- 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/zrxk2wjookff0guq3w36ay07j8jkrpqz)

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/21 夜 1 限

- - - 概要 - - -

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的な概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識や理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

- - - 到達目標 - - -

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について自分の意見や考えを述べるることができるか

- - - テキスト - - -

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

- - - 参考書 - - -

- 『教師教育講座第6巻教育課程論』 ISBN 978-4-319-10675-2
- 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
- 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
- (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
- (2) 文部科学省
- (3) 文部科学省

- - - 履修上の留意点 - - -

携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
- 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
- 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
- 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
- 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
- 第7回：学校教育制度の変遷
- 第8回：教育課程の定義及び意義
- 第9回：教育課程の歴史
- 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
- 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
- 第12回：教育課程の編成原理
- 第13回：教育課程編成の考え方と手法
- 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
- 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/8cth8ix5gil8i6gl71llxplwvm3tf9x4>

山岸 賢一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・1時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

私たちが生まれ社会的な存在としての「人」になるには、教育が不可欠である。しかしながら、その一方で教育は不確実性を伴うきわめて困難な営みであり、教育について理解するには、その理念や歴史、思想、方法、制度等から幅広く捉えていく必要がある。本授業では、教育とは何かを考えるための基礎概念、教育の歴史的発展、教育の方法や組織、教育制度などについての基本的な知識を概観する。そのうえで、学校が直面する今日の教育課題の具体的な取り組みや成果についての理解を深めていきたい。

- - - 到達目標 - - -

教育や学校に関する基礎的な知識（教育の理念、教育に関する思想・歴史、教育課程の意義と編成方法、等）を備えている。（知識・理解）

教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考しようとしている。（技能）

教育に携わる者・教育に関わる者に求められる、必要最低限の倫理観と責任感とを備えている。（態度・志向性）

教育に関する基礎的な知識を活用しつつ、教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考することができる。（技能）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義の際に指示する事前学習課題は必ず行うこと（毎回60分程度）。講義後は、講義資料や各自でとった講義ノートを用いて、学習した内容を復習しておくこと（毎回60分程度）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標に照らして、次の2点にもとづき評価する。

- ・授業時に課す課題（小レポート等） 30%
 授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。
- ・定期試験 70%
 論述問題については、授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。

ただし、次の2点については、加点・減点を行う。

- ・講義への積極的な参加（発言、各種のワークへの積極的な参加、等）については、加点する。
- ・講義への不参加をあからさまに示す態度が見られた場合や、他の受講者の学習の権利を奪いかねない行為が見られた場合、減点する（遅刻、私語、各種のワークへの不参加、等）。

- - - テキスト - - -

テキストは特に指定しない。毎回資料を配付する。

- - - 参考書 - - -

- ・安彦忠彦・石堂常世編著（2010）『最新教育原理』勁草書房
- ・汐見稔幸・伊東毅・高田史子・東宏行・増田修治編著（2011）『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房
- ・早川操・伊藤彰浩編著（2015）『教育と学びの原理』名古屋大学出版会
- ・文部科学省『中学校学習指導要領』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領』

- - - 履修上の留意点 - - -

教育に関わる講義に相応しい受講態度を期待する。本講義は個人で行うワークやグループワークを含んでいる（ただし新型コロナウイルスをめぐる状況によりグループワークの実施方法については検討する）。また、講義中、発言を求めることもある。授業計画等は、学習状況や理解度に応じて調整・変更することがある。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：オリエンテーション、「子ども」とは：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回：「子ども」を歴史的に問い直す
- 第3回：「学校」はどこからやってきた？（西洋）
- 第4回：「学校」はどこからやってきた？（日本）
- 第5回：戦争と学校教育
- 第6回：政治と学校教育
- 第7回：「学校」に通う意味
- 第8回：「家庭の教育力」は衰退したか？
- 第9回：日本の大学生をどう見るか？
- 第10回：教育課程編成と学習指導要領 学習指導要領とは
- 第11回：教育課程編成と学習指導要領 これからの教育課程
- 第12回：ジェンダー・セクシャリティと教育の深い関係
- 第13回：いま、学校の先生であること
- 第14回：まとめ1 教育・学校教育の課題
- 第15回：まとめ2 教育・学校教育のこれから

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/znrohfi0ke7nnrqdv71mnkybz41ckhen>

山岸 賢一郎

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

私たちが生まれ社会的な存在としての「人」になるには、教育が不可欠である。しかしながら、その一方で教育は不確実性を伴うきわめて困難な営みであり、教育について理解するには、その理念や歴史、思想、方法、制度等から幅広く捉えていく必要がある。本授業では、教育とは何かを考えるための基礎概念、教育の歴史的発展、教育の方法や組織、教育制度などについての基本的な知識を概観する。そのうえで、学校が直面する今日の教育課題の具体的な取り組みや成果についての理解を深めていきたい。

- - - 到達目標 - - -

教育や学校に関する基礎的な知識（教育の理念、教育に関する思想・歴史、教育課程の意義と編成方法、等）を備えている。（知識・理解）

教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考しようとしている。（技能）

教育に携わる者・教育に関わる者に求められる、必要最低限の倫理観と責任感とを備えている。（態度・志向性）

教育に関する基礎的な知識を活用しつつ、教育や学校の在り方について、主体的かつ多面的・多角的に思考することができる。（技能）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義の際に指示する事前学習課題は必ず行うこと（毎回60分程度）。講義後は、講義資料や各自でとった講義ノートを用いて、学習した内容を復習しておくこと（毎回60分程度）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標に照らして、次の2点にもとづき評価する。

- ・授業時に課す課題（小レポート等） 30%
 授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。
- ・定期試験 70%
 論述問題については、授業の内容を踏まえた上で、根拠を大切に説得的に論を展開できているか否か、を評価の基準とする。

ただし、次の2点については、加点・減点を行う。

- ・講義への積極的な参加（発言、各種のワークへの積極的な参加、等）については、加点する。
- ・講義への不参加をあからさまに示す態度が見られた場合や、他の受講者の学習の権利を奪いかねない行為が見られた場合、減点する（遅刻、私語、各種のワークへの不参加、等）。

- - - テキスト - - -

テキストは特に指定しない。毎回資料を配付する。

- - - 参考書 - - -

- ・安彦忠彦・石堂常世編著（2010）『最新教育原理』勁草書房
- ・汐見稔幸・伊東毅・高田史子・東宏行・増田修治編著（2011）『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房
- ・早川操・伊藤彰浩編著（2015）『教育と学びの原理』名古屋大学出版会
- ・文部科学省『中学校学習指導要領』
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領』

- - - 履修上の留意点 - - -

教育に関わる講義に相応しい受講態度を期待する。本講義は個人で行うワークやグループワークを含んでいる（ただし新型コロナウイルスをめぐる状況によりグループワークの実施方法については検討する）。また、講義中、発言を求めることもある。授業計画等は、学習状況や理解度に応じて調整・変更することがある。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：オリエンテーション、「子ども」とは：スタートアップ授業（動画配信）
- 第2回：「子ども」を歴史的に問い直す
- 第3回：「学校」はどこからやってきた？（西洋）
- 第4回：「学校」はどこからやってきた？（日本）
- 第5回：戦争と学校教育
- 第6回：政治と学校教育
- 第7回：「学校」に通う意味
- 第8回：「家庭の教育力」は衰退したか？
- 第9回：日本の大学生をどう見るか？
- 第10回：教育課程編成と学習指導要領 学習指導要領とは
- 第11回：教育課程編成と学習指導要領 これからの教育課程
- 第12回：ジェンダー・セクシャリティと教育の深い関係
- 第13回：いま、学校の先生であること
- 第14回：まとめ1 教育・学校教育の課題
- 第15回：まとめ2 教育・学校教育のこれから

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/50rkrd84drntk1exp8tvh4f7uww0acyo>

勝山 吉章

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

学習指導要領の教育課程の意義や編成の方法について学びながら、経験主義教育（開発主義）と系統主義教育（注入主義）が歴史的に交互に繰り返されてきたことを知る。経験主義とは、児童生徒の興味関心や体験・経験を重視する児童中心主義教育であり、系統主義とはそれぞれの教科の科学性や知の構成を重視する科学中心主義を指す。日本でも西洋でも、この両者は常に教育実践や教育思想のなかで論じられてきたものである。本講義は、これら両者のメリット・デメリットを理解しながら、学校のあり方や教育課程の編成のあり方を考える。そしてカリキュラム・マネジメントの方法原理を考察していく。

- - - 到達目標 - - -

教育の理念ならびに教育に関する思想および方法について理解する(知識・理解)

教育課程の意義について理解する(知識・理解)

教育課程編成の方法（カリキュラムマネジメントを含む）について具体的に考える(技能)

学校や教育の在り方について考える(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・ 授業計画に即して指定したテキストの授業相応内容を事前に読んでおくこと（30分）
- ・ 授業計画に即して事前に専門用語等を調べ理解しておくこと（30分）
- ・ 講義終了後に授業内容をノートに整理しておくこと（30分）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

「知識・理解」としては、教育の理念や教育課程の編成について理解しているかどうかを定期試験で評価し、「技能」「態度・志向性」については授業中に課す課題において評価する。評価の方法は、定期試験の結果（70%）、授業中の課題等（30%）で総合的に評価する。なお、近年の成績評価の厳格化の動向もあり、単位認定にあたっては厳しい姿勢で臨む所存である。

- - - テキスト - - -

勝山他『西洋の教育の歴史を知る』あいり出版
 ISBN978-4-901903-47-9定価2000円＋税
 また適宜プリントを配布する。

- - - 参考書 - - -

安彦他『カリキュラム研究入門』勁草書房 ISBN
 978-4-326-29815-0

- - - 履修上の留意点 - - -

授業中の私語、居眠り、携帯等の遊戯は減点の対象となり、不合格の理由ともなりえる。
 テキストを中心に授業を行う。従って、テキストを持参しない学生の受講は認められない。
 本講義は、西洋教育史の授業とリンクしているので、両者の受講を勧める。
 なお担当者は、視覚に障害をもっているため、学生の理解をお願いする。

- - - 授業計画 - - -

- 1：ガイダンス（スタートアップ授業）
- 2：学習指導要領からみる教育課程の意義
- 3：学習指導要領からみる教育課程編成の方法
- 4：教育の基本的概念と近代教育学
- 5：教育の歴史と思想 - コメニウス
- 6：教育の歴史と思想 - ルソー
- 7：教育の歴史と思想 - ベスタロッチ
- 8：教育の歴史と思想 - フレーベル
- 9：教育の歴史と思想 - デューイ
- 10：教育の歴史と思想 - 沢柳政太郎と大正自由教育
- 11：戦後教育の教育課程論争 - 経験主義か系統主義か
- 12：スプートニックショックと発見学習
- 13：教科カリキュラムと経験カリキュラムの編成方法と特色
- 14：相関カリキュラム、融合カリキュラム、コア・カリキュラムの編成方法と特色
- 15：まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/kmfqs5nuwmahp1gub30wta6ddfvet8yx>)

橋場 論

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・5 時間 試験時間割：2022/01/26 6 時間

- - - 概要 - - -

現在学校で行われている教育は、皆さんにとってどのように見えているでしょうか。うまくいっているように見えるでしょうか。それとも、失敗しているように見えるでしょうか。もしも改善の余地があるとすれば、それはどのような点で、どのような方向に変えていけばよいのでしょうか。

教育という営みは捉えどころがなく、とても複雑なものです。それは、様々な歴史的経緯や思想に基づいて形作られてきたものです。そのため、そうした経緯や思想を知らなければ、現在や将来の教育のあり方について考えることはできません。また、教育というと「親と子ども」や「教師と児童・生徒」のみの関係に焦点化されて考えられがちであり、時には、無条件に「善いもの」として、美化されることすらあります。しかし、実際には、教育はその時々での社会の影響を受けつつ、政治や経済の手段として用いられているという側面もあります。そのような意味で、教育を巡る問題は、社会や国家のあり方とも密接な関係を持つものなのです。

そこで、本講義では、こうした教育の性質を踏まえつつ、教育の理念や歴史、思想から教育課程に至るまで網羅的に取り上げ、解説していきます。その際には、単に歴史的、思想的な話を行うのではなく、それらを通じて、現代の教育課題に対する視野を広げられるよう、議論を展開していく予定です。

講義を通じて、受講生の皆さんには社会を支える構成員として、さらには、教育者として求められる「教育を見る眼」を養ってもらいたいと考えています。

- - - 到達目標 - - -

近代以降に公教育が発展した背景について、国民国家の成立という観点から、説明することができる。（知識・理解）

近代以降における公教育の意義や課題について、近代以降の社会の特徴を踏まえつつ、説明することができる。（知識・理解）

教育課程それ自体や教育課程の必要性について、公教育との関係から、説明することができる。（知識・理解）

学習指導要領の歴史的変遷について、その背景にある社会の状況や学力観の変化を踏まえつつ、説明することができる。（知識・理解）

公教育や教育課程に関する様々な出来事について、日常的に関心を持つことができる。（態度・志向性）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の内容については、授業後に見直したうえで、ノートに自分自身の言葉でまとめなおしてください（復習＝90分程度）。また、授業の内容に関連する資料や動画などを予め講読、視聴しておくよう指示をすることがあります（予習＝60分程度）。それ以外に、普段、テレビや新聞、インターネット等の媒体に接するときは、授業で取り扱ったテーマに関する情報を逃さないよう心がけてください（予習又は復習＝30分）。

なお、本授業科目の内容を理解する上では、高校までに学習した歴史や公民に関する知識が役立ちます。授業中に十分理解できない事項が出てきた場合には、自分自身で復習することをおすすめします。もちろん、担当教員に質問をしていただくことも歓迎します。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

「到達目標」において示した5つの具体的な目標について、以下に掲げる成績評価方法を用いながら、それぞれの到達度を測ることとします。

授業中に提出するワークシート：40%

毎回の授業において、複数回の問いを提示します。問いに対する自身や他者の考えをワークシートにまとめ、毎回提出してもらいます。

定期試験：60%

なお、遅刻・欠席をすると に関する課題を提出できないことがあり、減点の対象になりますので、注意してください。また、上記のほかに、私語や遅刻等の授業態度については、評価の際に適宜考慮します。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

大規模授業となることが予想されますが、一方的な講義ではなく、グループでのディスカッション等も交えながら進行します。（ただし、コロナの状況に配慮しながら進めます。）積極的な参加を期待します。特に、教育について、他の学生と一緒に議論し、考えたい、という学生の履修を歓迎します。

テキストは指定しないので、授業時の配布資料等をこまめにファイリングするようにしてください。

なお、本講義は、教職科目でもあるため、それを踏まえつつ授業を進めます。新たな発見や知的刺激のある「楽しい」授業となるよう努めますが、授業に対する積極的な参加という形でのご協力をお願いします。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業：動画配信）
- 2.教育とは何か：教育の本質と意義
- 3.近代国家の成立と公教育の展開（教育の歴史と思想：西洋）
- 4.近代国家の成立と公教育の展開（教育の歴史と思想：日本）
- 5.教育の歴史的展開と教育思想（公教育を巡る思想を中心に）
- 6.公教育を巡る現代的課題（アーミッシュを事例として）
- 7.公教育を巡る現代的課題（教師の役割に注目して）
- 8.中間まとめ
- 9.教育課程編成と学習指導要領
- 10.教育課程編成に関する原理
- 11.学習指導要領の歴史的変遷
- 12.学力低下論争と教育課程
- 13.新たな学習観と教育課程
- 14.カリキュラム・マネジメント
- 15.全体まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/y1x1df5u0ulhwput91rz1vd6kfht14h>)

藤田 由美子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

本授業では、教職を目指す学生が、教育の思想、歴史、そして現代の教育課題について理解を深め、教育とは何かについて考察を行うとともに、教育課程および教育実践について考えることを目指す。

内容は、次の通りである。第一に、教育の理念・教育の思想・教育の歴史・教育課程について基礎的理解を深める。第二に、教育の理念にかかる具体的な問題として、子どもの権利、教育の公共性および機会均等について、理解を深める。第三に、子どもの貧困、社会的養護の子ども、ダイバーシティと教育、といった現代の学校教育が直面する問題について、歴史を踏まえつつ理解を深め、教育課程および教育実践へと関連づけていく。

各授業回においては、具体的な事例をとりあげ、ワークシートを用いる学習やグループ・ディスカッション等によって、受講生ひとりひとりが主体的に学び考えることができる工夫を行う。

- - - 到達目標 - - -

教育学の諸概念、教育の本質及び目標を理解できる。(知識・理解)

近代教育制度の成立等教育の歴史について理解できる。(知識・理解)

教育に関するさまざまな思想、代表的な教育家の思想について理解できる(知識・理解)

身近な教育事象について、教育の理念および思想に関する学習内容を活用して説明することができる。(技能)

現代社会における教育課題を、歴史との関わりで説明することができる。(技能)

教育の理念・歴史・思想について、積極的に学ぶ姿勢をもっている。(態度・志向性)

教育の諸事象について、多角的に考える姿勢をもっている。(態度・志向性)

グループ学習などで、他者の考えを受け入れる姿勢をもっている。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおく。(60分程度)
 事後学習：講義内容について、ウェブや図書館資料などでさらに理解を深める。(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

1. 成績評価基準：

(1) 定期試験によって、教育学の諸概念・教育の本質及び目標、近代教育制度の成立等教育の歴史、教育に関するさまざまな思想や代表的な教育化の思想について理解し記述できているかを評価する。

(2) 中間レポートおよびMoodle課題の提出状況によって、身近な教育事象について説明できているか、現代社会における教育課題について考察ができているか、を評価する。あわせて、レポート作成ルールを遵守できているかを評価する。

(3) 授業ごとに行う個別活動や、グループ・ディスカッションなどの集団活動によって、授業への参加度および身近な教育事象についての理解や考察について評価する。

2. 成績評価方法：

(1) 定期試験(上記到達目標について、基本的な内容の理解度を評価する)：40%

(2) 中間レポート(レポート作成ルールの遵守、身近な教育事象や現代社会における教育課題についての考察力を評価する)：20%

(3) Moodle課題の提出状況：20%

(4) グループ・ディスカッションなど授業への参加状況：20%

- - - テキスト - - -

藤田由美子・谷田川ルミ編『ダイバーシティ時代の教育の原理 多様性と新たなつながりの地平へ』学文社、2018年、ISBN：978-4762028311

- - - 参考書 - - -

講義時間内に適宜提示する。

- - - 履修上の留意点 - - -

1. 遅刻をしないこと
 2. 私語など、他の受講生の妨げになる行為をしないこと
 3. グループ・ディスカッションなどの学習活動に、主体的に参加するよう努めること
- * 下記授業計画は、変更の可能性もある

- - - 授業計画 - - -

第1回：オリエンテーション(スタートアップ授業：オンデマンド動画配信)

第2回：教育の理念 教育とは何か

第3回：教育の思想 先人の教育思想に学ぶ

第4回：学校教育の成立 西洋における教育の歴史より学ぶ

第5回：日本における教育の歴史(1) 近代における学校教育の普及を中心に

第6回：日本における教育の歴史(2) 戦後教育改革以降現代に至るまで

第7回：教育課程 学習指導要領、カリキュラム・マネジメント、隠れたカリキュラム

第8回：子どもの権利 子どもの権利条約に学ぶ

第9回：教育の公共性 公教育とシティズンシップ教育について考える

第10回：教育の機会均等 その理念および現代的課題

第11回：子どもの貧困 歴史、現状および課題

第12回：社会的養護に生きる子ども 教育と福祉をつなぐ

第13回：ダイバーシティと教育(1) 外国につながる子ども

第14回：ダイバーシティと教育(2) 多様な性を生きる子ども

第15回：総括 「教育について考えること」とは何か

定期試験

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/nfgvkdhtl8wdbsuc26a6dok9cg90xyvf>)

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識及び理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

- - - 到達目標 - - -

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について、自分の意見や考えを述べることができるか。

- - - テキスト - - -

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

- - - 参考書 - - -

- 『教師教育講座第6巻教育課程論 ISBN 9784319106752
- 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
- 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
- (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
- (2) 文部科学省
- (3) 文部科学省

- - - 履修上の留意点 - - -

携帯電話・スマホの使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
- 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
- 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
- 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
- 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
- 第7回：学校教育制度の変遷
- 第8回：教育課程の定義及び意義
- 第9回：教育課程の歴史
- 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
- 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
- 第12回：教育課程の編成原理
- 第13回：教育課程編成の考え方と手法
- 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
- 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/7sa84gt080uz9zbtka311h3piig2t26>

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/26 6時限

- - - 概要 - - -

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識及び理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

- - - 到達目標 - - -

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について、自分の意見や考えを述べることができるか。

- - - テキスト - - -

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

- - - 参考書 - - -

- 『教師教育講座第6巻教育課程論 ISBN 9784319106752
- 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
- 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
- (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
- (2) 文部科学省
- (3) 文部科学省

- - - 履修上の留意点 - - -

携帯電話・スマホの使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
- 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
- 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
- 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
- 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
- 第7回：学校教育制度の変遷
- 第8回：教育課程の定義及び意義
- 第9回：教育課程の歴史
- 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
- 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
- 第12回：教育課程の編成原理
- 第13回：教育課程編成の考え方と手法
- 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
- 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/vdyodaplwj2wj00plaoy9dfylsxeos7>

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/21 夜 1 限

- - - 概要 - - -

教育に関する基礎的概念や思想及び学校における教育活動の全体計画としての教育課程とその編成に関する基本的概念や原理を学ぶことによって、教育実践において必要となる基礎的な知識や理論を習得することを目的とする。

そこで、本講義では教育の本質に関する理解を基盤とし、教育の場としての学校における教育課程とその編成に関して理論・歴史・実践という多様な観点を取り入れて授業を進める。マルチメディア教材を活用して子どもや地域社会、学校、保護者の現状をとらえ、それらをふまえたこれからの学びのあり方について特色ある教育課程の事例をもとに考察を深める。

- - - 到達目標 - - -

教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができる(知識・理解)

学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができる(知識・理解)

教育課程の意義及び学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができる(知識・理解)

教育に関する諸問題について関心を持ち、自分の意見や考えを持つ姿勢を身につける。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・講義終了時に次回講義のテキストの範囲を連絡するので、必ず読むこと(30分)
- ・講義後は、講義で取り上げた事項について各自ノートに自分の意見をまとめることで復習の一端とすること(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

- 以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。
- ・教育の本質と目的、構造及び教育思想について説明することができるか
 - ・学校教育制度の変遷をふまえて学校の意義と役割について説明することができるか
 - ・教育課程の意義と編成する際の基礎的知識や方法について説明することができるか
 - ・学習指導要領にもとづいた教育課程の編成・実施・評価・改善のあり方について説明することができるか
 - ・教育に関する諸問題について自分の意見や考えを述べるることができるか

- - - テキスト - - -

小川哲哉・勝山吉章・井上豊久編『現代教育の論究』青簡舎、2014年(2200円+税)
 ISBN978-4-903996-54-7

- - - 参考書 - - -

- 『教師教育講座第6巻教育課程論』 ISBN 978-4-319-10675-2
 『中学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815405
 『高等学校学習指導要領』 ISBN 978-4-827815412
 (1) 鈴木由美子他、協同出版、2018年
 (2) 文部科学省
 (3) 文部科学省

- - - 履修上の留意点 - - -

携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

- 第1回：イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
 第2回：教育の本質 - 教育の機能と構造 -
 第3回：教育の歴史と思想 ルソー
 第4回：教育の歴史と思想 ペスタロッチー
 第5回：教育の歴史と思想 デューイ
 第6回：学校の役割と意義(学校教育が抱える諸問題を通して)
 第7回：学校教育制度の変遷
 第8回：教育課程の定義及び意義
 第9回：教育課程の歴史
 第10回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -経験主義と系統主義-
 第11回：学習指導要領からみる教育課程の変遷 -ゆとり教育-
 第12回：教育課程の編成原理
 第13回：教育課程編成の考え方と手法
 第14回：特色ある教育課程編成のあり方とカリキュラム・マネジメント
 第15回：学校・家庭・地域社会の連携にもとづくこれからの学び

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/51pwxst360wri2ywif6q5qtzjo2km8>

佐喜本 愛

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

--- 概要 ---

私たちの社会にとって「子ども」とはどんな存在なのだろうか。そもそも「子ども」とは何か、いつから「大人」になったというのだろうか。みなさん（大学生）はまだ「子ども」だろうか、それとも「大人」だといえるのだろうか。

本講義ではそうした「子ども」についての素朴な疑問に目を向けることから始めたい。次にそうした私たちがイメージする「子ども」について本質的に考えるべく、近代の「子ども」と社会の関係について概観する。本年度は特に「子ども」を取り巻く環境として「家族」「母」「女性」、特に日本の女子教育への考察を深める予定である。そうした基礎作業を通して「子ども」への視点を広げた上で、現在の日本の「子ども」たちを取り巻く社会的事象について検討する。

本講義では数回レポートを提出してもらい、これは出席確認のためではなく、各講義で何を学び、考えたのか、受講生の理解度を確認するものであり、各自が論理的に文章をまとめる練習でもある。毎回、講義の課題に即して新しい発見をすること、考えること、まとめること、他人が読みやすい文字で記述すること、それぞれの力をつけてほしいと考えている。

--- 到達目標 ---

「教育」についての基本的概念について説明できる(知識・理解)

近代の「子ども」観についての基本的な学説について説明できる(知識・理解)

近代家族についての基本的な学説について説明できる(知識・理解)

日本における「女子教育」についての基本的知識を理解する(態度・志向性)

現代の「子ども」をめぐる諸問題について、客観的な分析ができるようになる(態度・志向性)

多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習として前回の授業（第1回オリエンテーションをのぞく）で示した課題（次回の予告）について「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめる（毎回1時間程度）。事後学習として、配付プリントとノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと（毎回1時間程度）。

--- 成績評価基準および方法 ---

受講態度とミニレポート/レポート40%、学期末試験60%とする。

15回の中で数回レポートを提出してもらい、講義の理解度および上記到達目標「態度・志向性」の達成度を主に確認する。定期試験は上記到達目標「知識・理解」の達成度を評価する。基本的な知識を問う問題（用語記入など）と論述問題とする。論述問題は、講義中に説明した歴史的・思想的文脈を理解した上で考察・論述ができているかどうかを基準に評価する。

--- テキスト ---

指定テキストはありません。配布プリント集については初回で案内します。

--- 参考書 ---

子どもの教育の歴史 その生活と社会背景をみつめて
 ISBN 4815805865
 近代子ども史年表 ISBN 4309223761
 「子供」の誕生：アンシャン・レジ - ム期の子供と家族生活
 ISBN 4622018322

--- 履修上の留意点 ---

「教育」、「子ども」に興味・関心をもつ学生を歓迎する。積極的に自分で考え、更なる課題を見つける視点で臨んで欲しい。

よって理由なき遅刻、教室の出入り、携帯電話（スマホ）の使用、私語、イヤホンを聞きながらの受講、「内職」（他の授業で課された課題や検定試験等の勉強）などの授業態度は、上記意識がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生がいる一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながらいる。他者の学習権を侵害する者には厳しく対処し、本年度は状況によっては座席指定を実施する。なお、出席を確認することはしない。

授業は「生もの」であり、学生のみなさんとの対話で進行していくものである。よってシラバスの内容に若干の変更（順番の変更）が生じることがあることを了承の上受講してほしい。本講義は、総じて「歴史」を多く用いた分析を行う。高校まで歴史が苦手であったも内容理解に問題はないが、歴史という方法を用いた内容になることを納得した上で受講していただきたい。

--- 授業計画 ---

- 1 オリエンテーション（スタートアップ授業）
教育学の課題と方法
- 2 「教育」とは何か
- 3 大学生は「子ども」か「大人」か
- 4 子ども観の変遷 中世の「子ども」
- 5 子ども観の変遷 近代の「子ども」
- 6 近代家族の中の「子ども」
- 7 「母」像と「子ども」
- 8 「女子」の教育 江戸時代の女性観
- 9 「女子」の教育 「理想的」女子教育

- 10 「女子」の教育 高等女学校での教度
- 11 「女子」の教育 女子の高等教育
- 12 少年法を理解する
- 13 子どもの権利とその課題
- 14 世界のこどもたち
- 15 講義のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/vksm9i6ad96op85qvxx8f1bzyaxl5hc7>

佐喜本 愛

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

--- 概要 ---

私たちの社会にとって「子ども」とはどんな存在なのだろうか。そもそも「子ども」とは何か、いつから「大人」になったというのだろうか。みなさん（大学生）はまだ「子ども」だろうか、それとも「大人」だといえるのだろうか。

本講義ではそうした「子ども」についての素朴な疑問に目を向けることから始めたい。次にそうした私たちがイメージする「子ども」について本質的に考えるべく、近代の「子ども」と社会の関係について概観する。本年度は特に「子ども」を取り巻く環境として「家族」「母」「女性」、特に日本の女子教育への考察を深める予定である。そうした基礎作業を通して「子ども」への視点を広げた上で、現在の日本の「子ども」たちを取り巻く社会的事象について検討する。

本講義では数回レポートを提出してもらい、これは出席確認のためではなく、各講義で何を学び、考えたのか、受講生の理解度を確かめるものであり、各自が論理的に文章をまとめる練習でもある。毎回、講義の課題に即して新しい発見をすること、考えること、まとめること、他人が読みやすい文字で記述すること、それぞれの力をつけてほしいと考えている。

--- 到達目標 ---

「教育」についての基本的概念について説明できる(知識・理解)

近代の「子ども」観についての基本的な学説について説明できる(知識・理解)

近代家族についての基本的な学説について説明できる(知識・理解)

日本における「女子教育」についての基本的知識を理解する(知識・理解)

現代の「子ども」をめぐる諸問題について、客観的な分析ができるようになる(態度・志向性)

多様な文献資料から、教育の歴史について知ることが出来る。(技能)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習として前回の授業（第1回オリエンテーションをのぞく）で示した課題（次回の予告）について「何を知りたいか」「何を考えたいか」といった視点で興味関心をまとめる（毎回1時間程度）。事後学習として、配付プリントとノートをもとに内容を整理するとともに、「何が深められたか」を各自で確認し、次の課題へとつなげていくこと（毎回1時間程度）。

--- 成績評価基準および方法 ---

受講態度とミニレポート/レポート40%、学期末試験60%とする。

15回の中で数回レポートを提出してもらい、講義の理解度および上記到達目標「態度・志向性」の達成度を主に確認する。定期試験は上記到達目標「知識・理解」の達成度を評価する。基本的な知識を問う問題（用語記入など）と論述問題とする。論述問題は、講義中に説明した歴史的・思想的文脈を理解した上で考察・論述ができているかどうかを基準に評価する。

--- テキスト ---

指定テキストはありません。配布プリント集については初回で案内します。

--- 参考書 ---

子どもの教育の歴史 その生活と社会背景をみつめて
 ISBN 4815805865
 近代子ども史年表 ISBN 4309223761
 「子供」の誕生：アンシャン・レジ - ム期の子供と家族生活
 ISBN 4622018322

--- 履修上の留意点 ---

「教育」、「子ども」に興味・関心をもつ学生を歓迎する。積極的に自分で考え、更なる課題を見つける視点で臨んで欲しい。

よって理由なき遅刻、教室の出入り、携帯電話（スマホ）の使用、私語、イヤホンを聞きながらの受講、「内職」（他の授業で課された課題や検定試験等の勉強）などの授業態度は、上記意識がないものとして厳しく対応する。例年、多くの学生が受講してくれており、熱心な学生がいる一方で、福岡大学の学生として恥ずかしい態度で受講する学生が残念ながらいる。他者の学習権を侵害する者には厳しく対処し、本年度は状況によっては座席指定を実施する。なお、出席を確認することはしない。

授業は「生もの」であり、学生のみなさんとの対話で進行していくものである。よってシラバスの内容に若干の変更（順番の変更）が生じることがあることを了承の上受講してほしい。本講義は、総じて「歴史」を多く用いた分析を行う。高校まで歴史が苦手であったも内容理解に問題はないが、歴史という方法を用いた内容になることを納得した上で受講していただきたい。

--- 授業計画 ---

- 1 オリエンテーション（スタートアップ授業）
教育学の課題と方法
- 2 「教育」とは何か
- 3 大学生は「子ども」か「大人」か
- 4 子ども観の変遷 中世の「子ども」
- 5 子ども観の変遷 近代の「子ども」
- 6 近代家族の中の「子ども」
- 7 「母」像と「子ども」
- 8 「女子」の教育 江戸時代の女性観
- 9 「女子」の教育 「理想的」女子教育

- 10 「女子」の教育 高等女学校での教度
- 11 「女子」の教育 女子の高等教育
- 12 少年法を理解する
- 13 子どもの権利とその課題
- 14 世界のこどもたち
- 15 講義のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/be5ssci1gijkei61p13jbx4q2sklhtcg>

江玉 睦美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・1 時限 試験時間割：2021/07/24 4 時限

- - - 概要 - - -

近年、幼児期の教育に関する話題が様々取り上げられている。幼児期の教育は、人間教育における出発点ともいう重要なものであり、OECDも各国の「幼稚園・保育園の質」に関する調査を実施するなど、これまで以上にその重要性が認識されている。

学生にとっては将来、親として、地域社会の一員として、中には教師や保育士として子どもにかかわる者として、何かしらの形ですべての学生が幼児期の教育に携わる存在であるといえる。しかし、大学での教育内容をみると資格取得のための専門科目以外では、幼児教育について学ぶ機会があまりないのが現状である。

そこで、本講義では幼児教育の歴史や思想といった基礎的な学習に基づいた幼児教育への理解と関心を育てることを目的とする。講義では、メディア教材を活用しながら幼稚園や保育園での教育・保育や子どもの姿を実際にとらえながら進めていく。

- - - 到達目標 - - -

幼児教育の重要性について述べることができる(知識・理解)

フレーベルの幼児教育思想について説明することができる(知識・理解)

わが国における子育て支援の現状と課題について理解し、子育てや幼児教育の今後のあり方について考えることができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・次回の講義テーマを発表するので、それに関する新聞記事や文献などを探し、目を通しておくこと。(30分)

・講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること(試験に向けても重要となる)(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

以下の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

- ・幼児教育の重要性について述べるができるか
- ・フレーベルの幼児教育思想について説明することができるか
- ・わが国における子育て支援の現状と課題について理解し、子育てや幼児教育の今後のあり方について述べるができるか

- - - テキスト - - -

特定のテキストはしません。毎時間資料を配布します

- - - 参考書 - - -

『家庭教育の隘路』 ISBN 978-4-326-65333-1

『森のようちえん』 ISBN 978-4-7592-6746-4

『保育臨床相談』 ISBN 9784762826580

(1) 本田由紀、勁草書房、2008年

(2) 今村光章編著、解放出版社、2013年

(3) 小田豊他、北大路書房、2009年

- - - 履修上の留意点 - - -

毎時間、質問カードを配布します。

携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業(動画配信)

第2回 幼児教育の歴史 Kindergarten創設以前

第3回 幼児教育の歴史 Kindergarten

第4回 幼児教育の歴史 森のようちえん

第5回 幼児教育の歴史 日本における幼児教育

第6回 フレーベルの幼児教育思想 幼児期の子ども

第7回 フレーベルの幼児教育思想 遊び

第8回 フレーベルの幼児教育思想 環境

第9回 幼児教育の構造

第10回 幼児理解の重要性

第11回 幼児教育がかかえる問題 園を取り巻く環境

第12回 幼児教育がかかえる問題 待機児童

第13回 幼児教育がかかえる問題 虐待

第14回 幼児期における家庭教育

第15回 子育て支援の現状と課題

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/oxrdgnd3p8lerfut9sjcaxekizgwoh7>)

橋場 論

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

大学は、今や18歳人口の50%以上が進学する教育機関となりました。一昔前は限られた人々だけが進学していた大学も、現在では多くの人々に対して開かれた教育機関へと発展を遂げたのです。ほぼ全ての人々が入学するようになって久しい小学校・中学校・高等学校と比べれば、大学は、社会における位置づけや役割が最も急激に変化した(変化している)教育機関であるとも言えます。

他方で、社会や大学のなかには様々な「大学論(大学に関する見解)」が存在しています。大学に関する様々な価値観を持った多様な人々があり、社会(大学の外)から大学を批判したり、大学の中で異なる価値観に基づいた主張が衝突したり、という状況がしばしば起こります。こうした状況は、実のところ多くの人々が大学についてよく知らないことによって生じるものと考えられます。

皆さんは、現在、大学に所属して学んでいます。大学に入学して、少なくとも半年以上を過ごしているはずですが、自身が籍を置いている大学という教育機関についてどの程度理解しているのでしょうか。また、様々な価値観に基づいて表明される「大学論」について、どれが妥当で、どれが妥当でないのか、判断できるのでしょうか。

本講義では、世の中に存在する様々な「大学論」を想定しながら、大学に関する複数の問いを設定します。そのうえで、歴史や海外との比較、制度上の位置付けなどの観点から掘り下げて検討していくことを通じて、皆さんが所属する教育機関である大学について理解を深めていきたいと思います。

なお、昨年度は、コロナ禍によって大学教育のあり方が大きく変わりました。加えて、大学教育の意味や大学の存在意義が改めて問い直されました。コロナ禍において提起された論点なども踏まえつつ授業を進行していく予定です。

大学を通じて教育について学んでいただくと同時に、皆さんが今後の大学生活においてより良く学ぶきっかけとなればと考えています。

- - - 到達目標 - - -

大学という教育機関に関して、歴史的・比較的・制度的視点から、その特徴を説明することができる。(知識・理解)

世の中にあふれる「大学論」について、授業を通じて得た知識を用いながら、その内容の妥当性を検討することができる。(技能)

自らが学ぶ大学という教育機関について、常に関心や疑問を持ちつつ、大学生活を送ることができる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

【予習について】

各回において設定されているテーマに関して、簡単な調べ物や文献の読解などを予習として課すことがあります。(60分~120分程度)

【復習について】

毎回の授業の内容について、自分の言葉でノートなどにまとめなおしてください。(60分~120分程度)アウトプットしなければ、本当に理解できているかどうか確認できませんので、必ずやるように心がけてください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標として掲げた3つの目標について、以下の成績評価方法をとることによって、どの程度達成できているかを評価します。

【成績評価方法】

- A) 授業で課した課題への取り組み状況(授業態度を含む): 30%
 (到達目標の ~ について評価を行なう)
 B) 定期試験: 70%
 (到達目標の ~ について評価を行なう)

遅刻・欠席をすると課題を提出できないことがあり、結果として減点の対象となりますので、注意してください。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 履修上の留意点 - - -

一方的なレクチャーだけでなく、ペア又はグループでのディスカッション等も交えながら進行する予定です。そうした活動への積極的な参加をよろしくお願いいたします。大学(教育)について、「他の学生と一緒に議論し考えたい!」という学生の履修を歓迎します。

なお、テキストは指定しないので、授業時の配布資料等をこまめにファイリングしてください。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業: 動画配信)
2. なぜ、コロナ禍の学生は課題に追われたのか? ()
3. なぜ、コロナ禍の学生は課題に追われたのか? ()
4. 大学教育は社会に出てから役立つものであるべきか? ()
5. 大学教育は社会に出てから役立つものであるべきか? ()
6. 共通教育とは何のためにあるのか? ()
7. 共通教育とは何のためにあるのか? ()
8. 大学教育は何のためにあるのか?
9. 中間まとめ
10. 「公平」「公正」な大学入試制度とはどのようなものか? ()
11. 「公平」「公正」な大学入試制度とはどのようなものか? ()
12. 学費はどのように使われているのか?
13. 誰が学費(教育費)を負担すべきか?
14. 大学は多くなりすぎたのか?
15. まとめ(結局、何を学んだのか?)

授業の初回に、受講者の皆さんの関心や疑問を確認します。その内容によっては、各回で取り扱うテーマについて変更を行なう可能性があります。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/x77ndjn7y6yahc19ljruntj7gqy0y2w1>

野口 徹

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

現在、科学や文化は加速度的に発展しそれに伴って私たちを取り巻く社会も加速度的に変容し続けています。10年後の社会はどうなっているのか、予想不可能だとも言えます。

「2011年度入学児童(小学校1年生)の就職先の65%は現在ない職業に就く。」「近い将来、10人中9人は今と違う仕事をしている。」「20年以内に、今の仕事の47%は機械が行う。」と言われます。その時代を生き抜く子どもたちを育てるにはどのような教育をしたらよいか、今行われている教育が抱える問題はどのようなものがあるかを、協議や演習を取り入れながら考えていきます。例えば教職に就かないとしても、子どもの将来を考えることは、自分の将来にもつながり、社会人になった時にきっと役に立つと確信します。

また、近年「教職はブラックである」という声を聞きます。モンスターペアレンツ対応や学級事務など確かに以前に比べ仕事量が多くなっているのは事実ですが、情報共有や効率よく仕事を進めることによって負担を少なくできることも事実です。担当者の経験からすると教師ほどすばらしい職業はありません。学校での実務経験や教育委員会での経験を踏まえ、学校現場が抱える問題についてグループワークや討論を取り入れながら、具体的に楽しく学習を進めていきます。

- - - 到達目標 - - -

将来に生きる子どもや自分の姿を想定し、そこで必要とされる資質や能力を理解することができる。(知識・理解)

「生き抜く力」を獲得するために、今できることを考えながら日々努力することができる。(態度・志向性)

将来、自分が教壇に立った時、将来を生き抜く子どもたちを育てるための姿勢を身に付けることができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

日常に起こる教育(特に学校教育)に関する社会問題(オリエンテーション時に説明する)に関心をもち、新聞記事などの資料収集をしておく。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

出席と時おり課すレポート(50%)と定期試験の結果(50%)。欠席は減点の対象となる。

評価基準

・レポート：講義の内容を理解した上で協議、演習に参加できたか。

・将来を生き抜くために育てる資質や能力について理解できたか。

・学校教育が抱える問題点を理解し、解決策を考えることができたか。

以上を評価基準としてレポートや定期試験を評価する。

- - - テキスト - - -

特になし

- - - 参考書 - - -

必要に応じて適宜資料を配付する

- - - 履修上の留意点 - - -

・配付された資料を良く読み取り、ファイルに保存しておく。

・学習中は飲食、私語はしない。

・スマホ等は指示された時以外は使用しない。

- - - 授業計画 - - -

第1回：ガイダンス(スタートアップ授業)

第2回：学校の使命

第3回：教育の使命

第4回：学校が抱える問題点について考える

第5回：「考える」ことを考える

第6回：思考ツールを使って

第7回：主体的・対話的で深い学び

第8回：楽しくなければ学習ではない

第9回：コミュニケーション能力を育てる

第10回：将来を生き抜くために身に付けたい(身に付けさせたい)能力

第11回：目標をもって

第12回：考える力を育む(演習)

第13回：自己の内面に潜む偏見

第14回：私が目指す教師像

第15回：まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/42zo3wlhs81tmy9iq74swvlayufqi0kv>)

江玉 睦美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

近年、子どもたちがみせる様々な姿が教育問題として取り上げられる。それらは、今という時代の中で学校、家庭、地域社会といった子どもたちを取り囲む環境とのかかわりで語られ、「最近の子どもは昔とは違う」という言葉がよく使われる。こうした状況の中で、昔に比べて子どもたちはどれだけ変わったのだろうか、その結果、どのような問題が起きているのだろうか、なぜ子どもたちは変わったのだろうか、いくつもの問いが出てくる。これらの問いをときほぐし、教育の対象である子どもの今ある姿をとらえることが教育において重要なことなのである。

そこで本講義では、子どもたちが発達するうえでみられる問題について取り上げ、その背景にあるもの、問題のメカニズム、これからの社会や教育において必要なことについて考えていくことを目的とする。講義内容は、近年の子どもたちの姿を視聴覚教材や統計資料などを用いて実態把握する、発達上の問題を明確にし、要因について考える、改善のために必要なことについて考える、この3点をポイントとする。

- - - 到達目標 - - -

子どもの発達過程と各発達段階にみられる特徴を説明することができる(知識・理解)

近年の子どもたちにみられる発達上の問題について背景や要因を理解し、今後のあり方について講義内容をふまえて考えることができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

・ 次回の講義テーマを発表するので、それに関する新聞記事や文献などを探し、目を通しておくこと。(30分)
 ・ 講義後は、講義で取り上げた事柄について各自ノート等に自分の意見をまとめることで、復習とすること(試験に向けても重要となる)。(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験 100%

・ 子どもの発達過程と各発達段階にみられる特徴を正確に述べることができるか
 ・ 近年の子どもたちにみられる発達上の問題について背景や要因を理解し、今後のあり方までを講義内容をふまえて自分の考えとしてまとめることができるか

以上の点を評価基準として、定期試験によって評価する。

- - - テキスト - - -

吉田直子著『はじめて学ぶ発達心理学』みらい、2016年
 ISBN978-4-86015-376-2 (1500円+税)

- - - 参考書 - - -

図説教育の論点 ISBN 978-4-8451-1151-0

子どもが見えない ISBN 978-4-591-085509

家庭教育の隘路 ISBN 978-4-326-65333-1

(1) 久富善之・長谷川祐・山崎鎮親編、旬報社、2010年

(2) NHKスペシャル「子どもが見えない」取材班、ポプラ社、2005年

(3) 本田由紀著、勁草書房、2008年

- - - 履修上の留意点 - - -

毎時間、質問カードを配布します。遅刻、携帯電話・スマホ等の使用、私語については厳しく対応します。

- - - 授業計画 - - -

第1回 イン트로ダクション：スタートアップ授業(動画配信)

第2回 身体の発達

第3回 認知の発達

第4回 言葉の発達と読書行動

第5回 社会性の発達と子どもの仲間関係

第6回 子どもと遊び 遊びの要素

第7回 子どもと遊び 遊びの教育的意義

第8回 乳児期における人格の発達

第9回 幼児期における人格の発達

第10回 児童期における人格の発達

第11回 青年期における人格の発達

第12回 子どもの生活リズム 生活習慣の形成

第13回 子ども理解 (幼児期)

第14回 子ども理解 (児童期～青年期)

第15回 これからの社会と子どもの発達

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/rfh3ofuafi12dqkxywhblsazrcmkj1pej>)

白川 琢磨

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

- - - 概要 - - -

文化 (culture) とは何か? 定義を探すと限りないが、初心者には比喩で考えると分かりやすい。皆さんが使っているパーソナルコンピュータである。コンピュータは、ハードウェアとソフトウェアに分かれる。ハードとは、機械の部分であり、製品名をもつが、これを人間に例えると、我々の「身体 (body)」の側面に当たる。人類学ではその側面を「ヒト」とカタカナで表す。コンピュータがソフトをインストールしないと使えないように、ヒトもソフトがインストールされて初めて「人間 (human being)」として活動できる。このソフトウェアが文化 (culture) と言われるものである。分かりやすくソフトと言い換えるが、人間には3大ソフトが内蔵されている。言語・分類ソフト、親族ソフト、宗教ソフトの3つである。本講義は、を中心に進める。

さて、ハードの側面であるヒトについて、現生人類はコンゴイド・コーカソイド・モンゴロイドの3種類に分かれる。これが「人種 (race)」であるが、ソフトの共有である「民族 (ethnic group)」と混用されることで大きな混乱をもたらしている。20世紀後半に生物学的人類学は、ミトコンドリアDNAの発見によって大きく進歩し、我々ヒトの起源はそれまでの「多地域進化説」から「アフリカ単一起源説」へと書き換えられた。次にソフトの違いによって生じるカルチャー・ショックの具体的事例を導入として、「食 (diet)」と「言語 (language)」を並行して論じていき、「食材 - 料理 - テーブルマナー」と「音素 (音節) - シンタクス (文法) - コンテクスト (文脈)」の3次元を総合し、レヴィ＝ストロースの「料理の三角形」を考える。

そして言語を用いた「分類 classification」の問題に移る。まず「知覚 perception」次いで「認識 cognition」の問題に入り、言語相対性理論とされる「サピア・ウォーフの仮説」を検討し、米国ではこうした日常的分類を主な研究対象としてエスノサイエンスという領域が展開したのに対し、英国では「象徴的分類」という抽象度の高い研究が進展した。中でも日本の研究に大きな影響を与えたエドモンド・リーチの「境界理論」を概説し、柳田国男の「妖怪談義」などの事例を検討してみたい。

- - - 到達目標 - - -

文化の成り立ちと言語の重要性について説明できる(知識・理解)

人種主義 (レイシズム) の誤りについて説明できる(知識・理解)

海外旅行を異文化経験として理解できるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、前回までの授業の要点を整理し、次回の授業テーマに関して疑問点を明らかにしておく必要がある。(60分)
 毎回の講義をノートによって復習し、要点を整理しておくことが必要である。(30分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

到達目標を達成するための基本的知識を授業でどの程度習得できたかを判定・評価する。
 定期試験で85%の評価を決定する。
 15%は、授業中に数回提出していただくミニッツペーパーや講義内容に対する質問で評価する。

- - - テキスト - - -

テキストは用いない。
 授業中、配布する資料と各自がとるノートが基本である。

- - - 参考書 - - -

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』中公新書560
 ロドニー・ニーダム/吉田禎吾・白川琢磨訳『象徴的分類』みすず書房
 エドモンド・リーチ/青木保・宮坂敬三訳『文化とコミュニケーション 構造人類学入門』紀伊国屋書店
 クロード・レヴィ＝ストロース/早水洋太郎訳『生のものと火を通したもの(神話論理)』みすず書房
 山口昌男『文化と両義性』岩波書店
 柳田国男『妖怪談義』講談社学術文庫

- - - 履修上の留意点 - - -

出席は当然の原則である。
 ノートを取りながら講義を聞くということを習慣化して欲しい。
 DVD等の視聴覚教材を何回か用いるが、その際にミニッツペーパーの提出を求めることもある。

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：文化とは何か？(スタートアップ授業)
- 2 サルからヒトへ：Planet of the Apes 1968
- 3 人種と民族
- 4 多地域進化説からアフリカ単一起源説
- 5 アラン・ウィルソンの「イヴ仮説」
- 6 カルチャー・ショック 食・对人的距離
- 7 カルチャー・ショック 身体・医療・衛生
- 8 食と言語 食材・料理・テーブルマナー
- 9 食と言語 音素・音節・シンタクス・コンテクスト
- 10 原初的母音(子音)の三角形と料理の三角形
- 11 「サピア・ウォーフの仮説」
- 12 日常的分類と象徴的分類
- 13 分類と境界 身体と境界
- 14 分類と境界 時間と境界
- 15 分類と境界 空間と境界

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/zr26rw71buo09w8f7jxuwmydt5h8twvy>

中村 亮

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・2 時限 試験時間割：2021/07/31 6 時限

- - - 概要 - - -

文化人類学とは、自文化とは異なる文化において現地調査（フィールドワーク）をおこない、現地の人びとの視点から異文化を理解してゆく学問です。異文化理解をつうじて、人間の生活様式の固有性、多様性、普遍性について考察することで「人間とは何か」を探究することが文化人類学の目的です。

急激に国際化がすすむ現代社会では、自文化を理解したうえで、異文化をきちんと理解することが重要となってきます。自文化を知るためには「当たり前」を問い直す批判的思考が必要です。そのような批判的思考を養うことができるのが文化人類学です。

本授業では文化人類学の方法・理論・学説史・事例をつうじて、多様な文化的価値観について学習します。「授業資料」を使用して授業をすすめます。理解を助けるために、講師が作成した写真・映像資料（日本、タンザニア、スーダンなど）をもちいます。

- - - 到達目標 - - -

世界各地の事例から、文化の多様性と文化相対主義の考え方を理解したうえで、文化人類学の基礎的な方法・理論・学説史について説明することができる。（知識・理解）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各授業前に、Moodleから「授業資料」を各自でダウンロード（Moodle使用法は第1回目のスタートアップ授業で説明）

- ・「授業資料」をもちいて予習（30分）
- ・「授業資料」「参考文献」をもちいて復習（60分）
- *「参考文献」は授業中に紹介

個別に質問のある学生は「オフィスアワー」を利用してください。オフィスアワー時間帯と連絡先は第1回目の授業でお知らせします（メールでの事前面会予約必要）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験（100％）：文化人類学に関する基礎的な方法・理論・学説史を理解し、自分の言葉で説明しながら論じることができるかを評価基準とします。

- - - テキスト - - -

テキストは、Moodleから各自でダウンロードした「授業資料」を使用します。必ず、事前に授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参してください。

- - - 参考書 - - -

波平恵美子編『文化人類学 [カレッジ版]』医学書院、2011年 ISBN 978-260-01317-8

綾部恒雄編『文化人類学20の理論』弘文堂、2006年 ISBN 4-335-56112-1

- ・その他の参考書は授業中に適宜紹介
- ・参考書を購入する必要はない

- - - 履修上の留意点 - - -

・大学は主体的に学ぶ場であることを認識し、授業中の私語、電子機器（スマートフォンなど）の使用、無断の出入りを慎むこと。

・コロナの状況に応じて「授業計画や成績評価の方法」を変更する可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1．スタートアップ授業（動画配信）：シラバス確認・授業資料の取得方法・講師紹介など

- 2．文化人類学とは何か？
- 3．人間と文化
- 4．フィールドワーク
- 5．個人と家族
- 6．婚姻制度
- 7．人生と通過儀礼
- 8．儀礼論の展開
- 9．中間まとめ
- 10．さまざまな宗教と信仰
- 11．宗教と世界観・自然観
- 12．健康・病気・医療
- 13．人間と死
- 14．21世紀の文化人類学
- 15．講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gtp5ikx3ow7jyhcbxp8g2xn0ekabtnf2>)

秋保 さやか

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・3時限 試験時間割：2021/07/31 6時限

- - - 概要 - - -

異文化や他者をどのように理解することができるか。本講義では、この問いに対し、文化人類学の理論を学ぶことによって、現代世界における異文化を捉えるための多様な視点を習得することを旨とする。

文化人類学は、国内外における現地調査（フィールドワーク）を行い、具体的な事象をもとに社会や文化の固有性や普遍性について考察することで、人間とは何かということを探求しようとしてきた。

多様な社会や文化のあり様を学び、自分の常識の外に出てみると、「当たり前」のようにとらえていた世界が、別の角度から見るようになる。このように異文化、自文化を捉える新たな視点を提供してくれるのが、文化人類学である。

本講義では、家族やエスニシティ、儀礼、開発、経済といったテーマについて具体的な事例を文化人類学の概念や理論と関連付けながら学んでゆく。

- - - 到達目標 - - -

文化人類学の基本的な概念と理論について知識を習得し、具体的な現象と関連付け説明できるようになる。（知識・理解）

単なる知識に留まらず、現代社会に生起している様々な現象を文化の側面から捉え、自分なりに考えることができるようになる。（態度・志向性）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

【予習】Moodleにアップロードされた授業資料を各自でダウンロードし、読み込み、わからない箇所は調べておくこと（60分）

【復習】講義内容をノートや資料をもとに振り返り、理解を定着させる。日頃からニュースや新聞などを見聞きし、出来事を多角的に捉える視点を養うこと（60分）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

中間まとめテスト20%（11回目に実施予定）、定期試験80%
 11回目授業時に「中間まとめテスト」を実施します。

定期試験では、文化人類学の基本的な概念や理論について理解度を測り評価します。単に概念や理論を覚えるだけでなく、その意味や背景を問い、講義内容を理解できているかを測ります。

- - - テキスト - - -

・特定のテキストは使用しない。
 ・各授業で使用するテキストは、Moodleにデータをアップロードしますので、そこからダウンロードし、授業に持ってくることを。

- - - 参考書 - - -

桑山敬己、綾部真雄編（2018）『詳論文化人類学 基本と最新のトピックを深く学ぶ』ミネルヴァ書房。ISBN 9784623082711

綾部恒雄編『文化人類学20の理論』弘文堂、2006年 ISBN 978-4335561122

波平恵美子編（2011）『文化人類学 [カレッジ版]』医学書院。ISBN 978-260-0131

・講義内容に関する参考書は、適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

・各回の授業内容は異なりますが、相互に関連あるものとなっており、前回の内容を踏まえて進めていきます。そのため、欠席には注意し、復習を行ってください。質問がある場合、授業中でも、授業後個別でも受け付けます。

・他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。
 ・コロナの状況や授業進行具合によって授業方法・計画を変更することがあります。

・第1回目スタートアップ授業で、講義の進め方や評価方法等について説明するのできちんと視聴してください。
 ・授業への積極的参加を期待します。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業（動画配信）：シラバス確認、資料取得方法の説明、講師紹介、文化人類学とは何か？
- 2 文化的他者とは誰か 文化相対主義
- 3 異文化とフィールドワーク
- 4 医療と文化
- 5 家族と親族
- 6 ジェンダーとセクシャリティ
- 7 文化とエスニシティ
- 8 グローバリゼーションと移動
- 9 開発と文化
- 10 観光と文化
- 11 中間まとめ
- 12 人生と通過儀礼
- 13 儀礼論の展開
- 14 人間と死
- 15 講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/bkqywe68gg0mz1ne5b1bj9t97pl1f5of>)

中村 亮

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・5 時限 試験時間割：2021/07/31 6 時限

- - - 概要 - - -

文化人類学とは、自文化とは異なる文化において現地調査（フィールドワーク）をおこない、現地の人びとの視点から異文化を理解してゆく学問です。異文化理解をつうじて、人間の生活様式の固有性、多様性、普遍性について考察することで「人間とは何か」を探求することが文化人類学の目的です。

急激に国際化がすすむ現代社会では、自文化を理解したうえで、異文化をきちんと理解することが重要となってきます。自文化を知るためには「当たり前」を問い直す批判的思考が必要です。そのような批判的思考を養うことができるのが文化人類学です。

本授業では文化人類学の方法・理論・学説史・事例をつうじて、多様な文化的価値観について学習します。「授業資料」を使用して授業をすすめます。理解を助けるために、講師が作成した写真・映像資料（日本、タンザニア、スーダンなど）をもちいます。

- - - 到達目標 - - -

世界各地の事例から、文化の多様性と文化相対主義の考え方を理解したうえで、文化人類学の基礎的な方法・理論・学説史について説明することができる。（知識・理解）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各授業前に、Moodleから「授業資料」を各自でダウンロード（Moodle使用法は第1回目のスタートアップ授業で説明）

- ・「授業資料」をもちいて予習（30分）
- ・「授業資料」「参考文献」をもちいて復習（60分）
- *「参考文献」は授業中に紹介

個別に質問のある学生は「オフィスアワー」を利用してください。オフィスアワー時間帯と連絡先は第1回目の授業でお知らせします（メールでの事前面会予約必要）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験（100％）：文化人類学に関する基礎的な方法・理論・学説史を理解し、自分の言葉で説明しながら論じることができるかを評価基準とします。

- - - テキスト - - -

テキストは、Moodleから各自でダウンロードした「授業資料」を使用します。必ず、事前に授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参してください。

- - - 参考書 - - -

波平恵美子編『文化人類学 [カレッジ版]』医学書院、2011年 ISBN 978-260-01317-8

綾部恒雄編『文化人類学20の理論』弘文堂、2006年 ISBN 4-335-56112-1

- ・その他の参考書は授業中に適宜紹介
- ・参考書を購入する必要はない

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・大学は主体的に学ぶ場であることを認識し、授業中の私語、電子機器（スマートフォンなど）の使用、無断の出入りを慎むこと。
- ・コロナの状況に応じて「授業計画や成績評価の方法」を変更する可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業（動画配信）：シラバス確認・授業資料の取得方法・講師紹介など
2. 文化人類学とは何か？
3. 人間と文化
4. フィールドワーク
5. 個人と家族
6. 婚姻制度
7. 人生と通過儀礼
8. 儀礼論の展開
9. 中間まとめ
10. さまざまな宗教と信仰
11. 宗教と世界観・自然観
12. 健康・病気・医療
13. 人間と死
14. 21世紀の文化人類学
15. 講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/k15qh9lh0ks7y4guydrh7fwe8b2t8m3t>

中村 亮

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・二部 2 時間 試験時間割：2021/07/26 夜 2 限

- - - 概要 - - -

文化人類学とは、自文化とは異なる文化において現地調査（フィールドワーク）をおこない、現地の人びとの視点から異文化を理解してゆく学問です。異文化理解をつうじて、人間の生活様式の固有性、多様性、普遍性について考察することで「人間とは何か」を探求することが文化人類学の目的です。

急激に国際化がすすむ現代社会では、自文化を理解したうえで、異文化をきちんと理解することが重要となってきます。自文化を知るためには「当たり前」を問い直す批判的思考が必要です。そのような批判的思考を養うことができるのが文化人類学です。

本授業では文化人類学の方法・理論・学説史・事例をつうじて、多様な文化的価値観について学習します。「授業資料」を使用して授業をすすめます。理解を助けるために、講師が作成した写真・映像資料（日本、タンザニア、スーダンなど）をもちいます。

- - - 到達目標 - - -

世界各地の事例から、文化の多様性と文化相対主義の考え方を理解したうえで、文化人類学の基礎的な方法・理論・学説史について説明することができる。（知識・理解）

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各授業前に、Moodleから「授業資料」を各自でダウンロード（Moodle使用法は第1回目のスタートアップ授業で説明）

- ・「授業資料」をもちいて予習（30分）
- ・「授業資料」「参考文献」をもちいて復習（60分）
- *「参考文献」は授業中に紹介

個別に質問のある学生は「オフィスアワー」を利用してください。オフィスアワー時間帯と連絡先は第1回目の授業でお知らせします（メールでの事前面会予約必要）

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験（100％）：文化人類学に関する基礎的な方法・理論・学説史を理解し、自分の言葉で説明しながら論じることができるかを評価基準とします。

- - - テキスト - - -

テキストは、Moodleから各自でダウンロードした「授業資料」を使用します。必ず、事前に授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参してください。

- - - 参考書 - - -

波平恵美子編『文化人類学 [カレッジ版]』医学書院、2011年 ISBN 978-260-01317-8

綾部恒雄編『文化人類学20の理論』弘文堂、2006年 ISBN 4-335-56112-1

- ・その他の参考書は授業中に適宜紹介
- ・参考書を購入する必要はない

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・大学は主体的に学ぶ場であることを認識し、授業中の私語、電子機器（スマートフォンなど）の使用、無断の出入りを慎むこと。
- ・コロナの状況に応じて「授業計画や成績評価の方法」を変更する可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1．スタートアップ授業（動画配信）：シラバス確認・授業資料の取得方法・講師紹介など

- 2．文化人類学とは何か？
- 3．人間と文化
- 4．フィールドワーク
- 5．個人と家族
- 6．婚姻制度
- 7．人生と通過儀礼
- 8．儀礼論の展開
- 9．中間まとめ
- 10．さまざまな宗教と信仰
- 11．宗教と世界観・自然観
- 12．健康・病気・医療
- 13．人間と死
- 14．21世紀の文化人類学
- 15．講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/s0c6e0d8ua1dltpgjhjarv908on03tj>)

宮岡 真央子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・2時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

- - - 概要 - - -

近代以降、今日までの人の移動にともなう文化的他者との出会いに焦点を当てて講じ、多様な文化の共存のあり方について考察する。

人類は大航海時代以来、大洋を越えた移動により、従来その存在すら知ることのなかった文化的他者との出会いを経験するようになった。今日、それはわたしたちの日常生活のなかでも進行している。ある集団や個人が文化的他者と出会うとき、衝突や排除のみならず、交渉や交流も展開する。そこにおいては、新たな文化やアイデンティティが生まれることもある。

本講義では、このような世界史的展開と現代社会の動向について、文化人類学的に考察するものである。そのために、まず人と土地との結びつきについて確認したうえで、近代の植民地主義、そこで行われた同化政策、そして植民地状況下での文化の構築について学ぶ。続いて、異なる文化的背景を抱える諸集団が隣接して暮らす状況で生成するエスニシティについて、先住民、少数民族などを例に概説する。さらに、移民や難民について当事者の日常的な視点から知ったうえで、日本において行政を中心に謳われる「多文化共生」の課題や可能性について考察する。また、私たちが他者と出会う最も身近な場としての観光についても取り上げたい。

以上をふまえ、多様な他者ととも暮らし、多様な文化が共生するあり方について、受講生自身の問題として考える機会とする。

- - - 到達目標 - - -

近現代における人の移動、文化的他者との出会いに関する文化人類学の基本的理論、知識を習得する。(知識・理解)

身近な文化的他者への関心を持ち、理解しようとする意欲をもつ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、指定された資料を読み、わからない語句などを調べておく(30分)。

復習として、ノートや資料をもとに学習内容を確認し、さらに興味・関心を抱いた事項について参考書等を用いて理解・考察を深める(60分)。

日頃から国内外の多様なニュース、情報に積極的に接し、物事を複数の視点から多角的にとらえ思考する力を養うよう心がける。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験により評価する。(100%)

定期試験では、多様な人の移動のあり方とそこでの文化的他者との出会いをめぐる諸問題について、文化人類学における基礎的知識、基本的なものの見方や考え方についての理解度を測るとともに、具体的事例についてこれらを用いて説明・論述する能力の有無を問う。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。

- - - 参考書 - - -

東アジアで学ぶ文化人類学 ISBN 9784812216125
 「先住民」とはだれか ISBN 9784790714385
 綾部恒雄監修『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 第1-10巻』明石書店、2005-8年
 その他、授業中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業で用いる資料は、moodleを通じて事前に配付するので、プリントアウトして持参すること。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 人と土地との結びつき
3. 近代植民地の誕生
4. 人種概念と同化政策
5. 植民地状況における文化の構築
6. 先住民の誕生
7. エスニシティの覚醒
8. アイデンティティの複数性
9. マイノリティと国家
10. 移民、難民
11. 国境を越えたつながり
12. 「多文化共生」の課題
13. 「多文化共生」の可能性
14. 観光における他者との出会い
15. 講義のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/nhz6msc6ozeo186znc58rheu2054rj85>)

宮岡 真央子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・3時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

- - - 概要 - - -

近代以降、今日までの人の移動にともなう文化的他者との出会いに焦点を当てて講じ、多様な文化の共存のあり方について考察する。

人類は大航海時代以来、大洋を越えた移動により、従来その存在すら知ることのなかった文化的他者との出会いを経験するようになった。今日、それはわたしたちの日常生活のなかでも進行している。ある集団や個人が文化的他者と出会うとき、衝突や排除のみならず、交渉や交流も展開する。そこにおいては、新たな文化やアイデンティティが生まれることもある。

本講義では、このような世界史的展開と現代社会の動向について、文化人類学的に考察するものである。そのために、まず人と土地との結びつきについて確認したうえで、近代の植民地主義、そこで行われた同化政策、そして植民地状況下での文化の構築について学ぶ。続いて、異なる文化的背景を抱える諸集団が隣接して暮らす状況で生成するエスニシティについて、先住民、少数民族などを例に概説する。さらに、移民や難民について当事者の日常的な視点から知ったうえで、日本において行政を中心に謳われる「多文化共生」の課題や可能性について考察する。また、私たちが他者と出会う最も身近な場としての観光についても取り上げたい。

以上をふまえ、多様な他者ととも暮らし、多様な文化が共生するあり方について、受講生自身の問題として考える機会とする。

- - - 到達目標 - - -

近現代における人の移動、文化的他者との出会いに関する文化人類学の基本的理論、知識を習得する。(知識・理解)

身近な文化的他者への関心を持ち、理解しようとする意欲をもつ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、指定された資料を読み、わからない語句などを調べておく(30分)。

復習として、ノートや資料をもとに学習内容を確認し、さらに興味・関心を抱いた事項について参考書等を用いて理解・考察を深める(60分)。

日頃から国内外の多様なニュース、情報に積極的に接し、物事を複数の視点から多角的にとらえ思考する力を養うよう心がける。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験により評価する。(100%)

定期試験では、多様な人の移動のあり方とそこでの文化的他者との出会いをめぐる諸問題について、文化人類学における基礎的知識、基本的なものの見方や考え方についての理解度を測るとともに、具体的事例についてこれらを用いて説明・論述する能力の有無を問う。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。

- - - 参考書 - - -

東アジアで学ぶ文化人類学 ISBN 9784812216125
 「先住民」とはだれか ISBN 9784790714385
 綾部恒雄監修『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 第1-10巻』明石書店、2005-8年
 その他、授業中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業で用いる資料は、moodleを通じて事前に配付するので、プリントアウトして持参すること。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 人と土地との結びつき
3. 近代植民地の誕生
4. 人種概念と同化政策
5. 植民地状況における文化の構築
6. 先住民の誕生
7. エスニシティの覚醒
8. アイデンティティの複数性
9. マイノリティと国家
10. 移民、難民
11. 国境を越えたつながり
12. 「多文化共生」の課題
13. 「多文化共生」の可能性
14. 観光における他者との出会い
15. 講義のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/5ezijljaeooyqfg6a5m0m789buytaumy>

宮岡 真央子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・4時限 試験時間割：2022/01/27 6時限

- - - 概要 - - -

近代以降、今日までの人の移動にともなう文化的他者との出会いに焦点を当てて講じ、多様な文化の共存のあり方について考察する。

人類は大航海時代以来、大洋を越えた移動により、従来その存在すら知ることのなかった文化的他者との出会いを経験するようになった。今日、それはわたしたちの日常生活のなかでも進行している。ある集団や個人が文化的他者と出会うとき、衝突や排除のみならず、交渉や交流も展開する。そこにおいては、新たな文化やアイデンティティが生まれることもある。

本講義では、このような世界史的展開と現代社会の動向について、文化人類学的に考察するものである。そのために、まず人と土地との結びつきについて確認したうえで、近代の植民地主義、そこで行われた同化政策、そして植民地状況下での文化の構築について学ぶ。続いて、異なる文化的背景を抱える諸集団が隣接して暮らす状況で生成するエスニシティについて、先住民、少数民族などを例に概説する。さらに、移民や難民について当事者の日常的な視点から知ったうえで、日本において行政を中心に謳われる「多文化共生」の課題や可能性について考察する。また、私たちが他者と出会う最も身近な場としての観光についても取り上げたい。

以上をふまえ、多様な他者ととも暮らし、多様な文化が共生するあり方について、受講生自身の問題として考える機会とする。

- - - 到達目標 - - -

近現代における人の移動、文化的他者との出会いに関する文化人類学の基本的理論、知識を習得する。(知識・理解)

身近な文化的他者への関心を持ち、理解しようとする意欲をもつ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習として、指定された資料を読み、わからない語句などを調べておく(30分)。

復習として、ノートや資料をもとに学習内容を確認し、さらに興味・関心を抱いた事項について参考書等を用いて理解・考察を深める(60分)。

日頃から国内外の多様なニュース、情報に積極的に接し、物事を複数の視点から多角的にとらえ思考する力を養うよう心がける。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験により評価する。(100%)

定期試験では、多様な人の移動のあり方とそこでの文化的他者との出会いをめぐる諸問題について、文化人類学における基礎的知識、基本的なものの見方や考え方についての理解度を測るとともに、具体的事例についてこれらを用いて説明・論述する能力の有無を問う。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。

- - - 参考書 - - -

東アジアで学ぶ文化人類学 ISBN 9784812216125
 「先住民」とはだれか ISBN 9784790714385
 綾部恒雄監修『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 第1-10巻』明石書店、2005-8年
 その他、授業中に適宜紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業で用いる資料は、moodleを通じて事前に配付するので、プリントアウトして持参すること。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業)
2. 人と土地との結びつき
3. 近代植民地の誕生
4. 人種概念と同化政策
5. 植民地状況における文化の構築
6. 先住民の誕生
7. エスニシティの覚醒
8. アイデンティティの複数性
9. マイノリティと国家
10. 移民、難民
11. 国境を越えたつながり
12. 「多文化共生」の課題
13. 「多文化共生」の可能性
14. 観光における他者との出会い
15. 講義のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/mrw04en3vkbm1ckbwdrndt8axmvgqtq69>)

中村 亮

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・5 時限 試験時間割：2022/01/27 6 時限

- - - 概要 - - -

21世紀人類は地球規模の環境問題に直面しています。限りある資源を持続的に管理し賢く利用してゆくことが世界共通の課題です。地球規模（グローバル）での環境や開発の問題解決のためには何よりもまず、地域（ローカル）での資源利用・管理の知識（知恵）や技術について知る必要があります。そのためには、住民の視点に立って地域の生活文化を理解することができる文化人類学の方法が効果的です。

本授業では「環境と開発」をめぐる諸問題について文化人類学の観点から学習します。日本の里山や里海の事例とともに、海外の事例も学ぶことで、比較文化の視点を養います。これによって、現代の国際・多文化共生社会を生きる際に、なぜ「グローバル」な視点が必要かについて考えてゆきます。

授業資料を使用して授業をすすめます。理解を助けるために、講師が作成した写真・映像資料（日本、タンザニア、スーダンなど）をもちいます。

- - - 到達目標 - - -

グローバル/ローカルに展開する環境や開発に関する基礎的な問題について理解し、文化人類学の観点から説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各授業前に、Moodleから「授業資料」を各自でダウンロード(Moodle使用法は第1回目のスタートアップ授業で説明)

- ・「授業資料」をもちいて予習(30分)
- ・「授業資料」「参考文献」などもちいて復習(60分)
- *「参考文献」は授業中に紹介

個別に質問のある学生は「オフィスアワー」を利用してください。オフィスアワー時間帯と連絡先は第1回目の授業でお知らせします(メールでの事前面会予約必要)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(100%)：環境と開発の文化人類学に関する基礎的な理論と学説史を理解し、自分の言葉で説明しながら論じることができるかを評価基準とします。

- - - テキスト - - -

テキストは、Moodleから各自でダウンロードした「授業資料」を使用します。必ず、事前に授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参してください。

- - - 参考書 - - -

池谷和信編『地球環境問題の人類学』世界思想社、2003年 ISBN 978-4-7907-1018-9

リオール・ノラン『開発人類学：基本と実践』古今書院、2013年 ISBN 978-4-7722-3112-1

- ・その他の参考書は授業中に適宜紹介
- ・参考書の購入の必要はない

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・文化人類学の基礎的な知識を習得していると理解が深まるので「文化人類学A」を受講していることが望ましい。
- ・大学は主体的に学ぶ場であることを認識し、授業中の私語、電子機器(スマートフォンなど)の使用、無断の出入りを慎むこと。
- ・コロナの状況に応じて「授業計画や成績評価の方法」を変更する可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画配信)：シラバス確認・授業資料の取得方法・講師紹介など
2. 文化人類学の方法
3. 環境の人類学
4. 開発の人類学
5. 持続可能な開発(ESDとSDGs)
6. 日本と西洋の自然観
7. 里山里海の文化人類学1
8. 里山里海の文化人類学2
9. 中間まとめ
10. 環境保全と観光開発1(タンザニア)
11. 環境保全と観光開発2(スーダン)
12. 開発と信仰(精霊信仰)
13. 環境と信仰(男子割礼)
14. アフリカ漁民社会の近年の動向
15. 講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/dur9tx27g9y53dumevtrrz5vjqpncq9>)

中村 亮

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・二部 2 時間 試験時間割：2022/01/24 夜 2 限

- - - 概要 - - -

21世紀人類は地球規模の環境問題に直面しています。限りある資源を持続的に管理し賢く利用してゆくことが世界共通の課題です。地球規模（グローバル）での環境や開発の問題解決のためには何よりもまず、地域（ローカル）での資源利用・管理の知識（知恵）や技術について知る必要があります。そのためには、住民の視点に立って地域の生活文化を理解することができる文化人類学の方法が効果的です。

本授業では「環境と開発」をめぐる諸問題について文化人類学の観点から学習します。日本の里山や里海の事例とともに、海外の事例も学ぶことで、比較文化の視点を養います。これによって、現代の国際・多文化共生社会を生きる際に、なぜ「グローバル」な視点が必要かについて考えてゆきます。

授業資料を使用して授業をすすめます。理解を助けるために、講師が作成した写真・映像資料（日本、タンザニア、スーダンなど）をもちいます。

- - - 到達目標 - - -

グローバル/ローカルに展開する環境や開発に関する基礎的な問題について理解し、文化人類学の観点から説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各授業前に、Moodleから「授業資料」を各自でダウンロード (Moodle使用法は第1回目のスタートアップ授業で説明)

- ・「授業資料」をもちいて予習(30分)
- ・「授業資料」「参考文献」などを持ちいて復習(60分)
- *「参考文献」は授業中に紹介

個別に質問のある学生は「オフィスアワー」を利用してください。オフィスアワー時間帯と連絡先は第1回目の授業でお知らせします(メールでの事前面会予約必要)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(100%)：環境と開発の文化人類学に関する基礎的な理論と学説史を理解し、自分の言葉で説明しながら論じることができるかを評価基準とします。

- - - テキスト - - -

テキストは、Moodleから各自でダウンロードした「授業資料」を使用します。必ず、事前に授業資料をダウンロードし印刷して授業に持参してください。

- - - 参考書 - - -

池谷和信編『地球環境問題の人類学』世界思想社、2003年 ISBN 978-4-7907-1018-9

リオール・ノラン『開発人類学：基本と実践』古今書院、2013年 ISBN 978-4-7722-3112-1

- ・その他の参考書は授業中に適宜紹介
- ・参考書の購入の必要はない

- - - 履修上の留意点 - - -

- ・文化人類学の基礎的な知識を習得していると理解が深まるので「文化人類学A」を受講していることが望ましい。
- ・大学は主体的に学ぶ場であることを認識し、授業中の私語、電子機器(スマートフォンなど)の使用、無断の出入りを慎むこと。
- ・コロナの状況に応じて「授業計画や成績評価の方法」を変更する可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画配信)：シラバス確認・授業資料の取得方法・講師紹介など
2. 文化人類学の方法
3. 環境の人類学
4. 開発の人類学
5. 持続可能な開発(ESDとSDGs)
6. 日本と西洋の自然観
7. 里山里海の文化人類学1
8. 里山里海の文化人類学2
9. 中間まとめ
10. 環境保全と観光開発1(タンザニア)
11. 環境保全と観光開発2(スーダン)
12. 開発と信仰(精霊信仰)
13. 環境と信仰(男子割礼)
14. アフリカ漁民社会の近年の動向
15. 講義まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/pm0w7n8ehmubtu0poia4aiuxnr4y3t5u>)

守谷 賢輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：2022/01/20 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/x97f1x00j44sejnslvauw92zbsfj065>)

守谷 賢輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・3時限 試験時間割：2022/01/20 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/gv7v1c4js9rkknyc8cbustaxbj8yv41m>)

守谷 賢輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/20 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいます。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/540gv8t68uyoby5q1i49gsn53om5x7hh)

[s/540gv8t68uyoby5q1i49gsn53om5x7hh](https://fukuoka-u.box.com/s/540gv8t68uyoby5q1i49gsn53om5x7hh))

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：2021/07/26 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/6pcz1b7wl2c3goiky0a2lsi9trusemz0>)

守谷 賢輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・5時限 試験時間割：2022/01/20 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/bfdnhjs0p99sgf9me8rnbewtk54pkt1s>)

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・3時限 試験時間割：2021/07/26 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/hmb6k7qfv7aqkrlfqcqgt7iq8dxgz9al>)

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・5時限 試験時間割：2021/07/26 6時限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている！？日本国憲法〔第3版〕』（法律文化社、2016年）

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション（スタートアップ授業）
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/lbuf3rhmimrlqrh12uiqh150ptfrsj5l>)

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・二部 1 時間 試験時間割：2021/07/28 夜 1 限

- - - 概要 - - -

日本国憲法の三大原理とは、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」である、と学んだ記憶のある人は多いでしょう。けれども、それぞれの意味内容や意義を問われたとき、明確に答えることのできる人は、どれほどいるのでしょうか。また、私たちの生活が憲法とどのように関係しているかを具体的に感じたことのある人は、あまりいないのかもしれませんが。他方で、新型コロナウイルスに関する政府の対応を見る中で、憲法との関係を考えて人もいるでしょう。

いずれにしても、私たちが「人間らしい生活」を営むことができることは、憲法と密接に関係しており、切り離すことのできないものです。憲法を学ぶということは、私たち一人ひとりが幸せに生きるためには、どのような社会や国家が望ましいのかを考えることでもあります。そして憲法の学習は、社会の担い手である私たち一人ひとりが、将来世代により良い社会や国家を継承するために不可欠であると言えます。

望ましい社会や国家のあり方は、1つではありません。ここには「正しい答え」は存在しません。したがって、条文や用語の暗記はまったく無意味です。暗記することが憲法の勉強だと思っている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

この講義では、第1回目の授業(スタートアップ授業)で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。これを踏まえて、憲法は何のために存在する法なのか、法律との違いは何かといった基本的な論点について学んでいきます。これらの基本的な知識を習得したことを前提に、その後の講義を進めていきます。

毎回の講義は、それぞれ別個独立したものではなく、相互に関連しています。各論点のつながりを意識し、主体的に考えていくことを心がけて受講するようにしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

私たちの生活と憲法は密接な関係にあることを、具体例を挙げながら説明することができること。(知識・理解)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースが憲法とどのように関係しているかを考えることができること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、望ましい国家や社会のあり方を主体的に考えることができること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに記載している教科書の該当箇所を予習・復習の際に読んでください。復習の際には、各論点の関連性を意識し学習することに努めてください。また、レジュメの「学習のポイント」の解答を文章化して理解度を確認することをお勧めします。

講義前に新聞記事を配布することがあります。必ず事前に読んでおいてください。

新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる憲法問題や社会問題が生じているのかを考え、私たち一人ひとりにとって、どのような社会や国家が望ましいのかを考えてみてください。

以上の授業時間外の学習は、予習・復習を合わせて60分程度を目途にし、実施してください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法に関する基本的知識を習得していることを評価の基準とします。

授業後やオフィスアワーなどでの質問の内容によって、1回につき1～3点を付与し、それを定期試験の点数に加点します。講義に積極的に取り組む姿勢を評価します。

- - - テキスト - - -

播磨信義・木下智史・渡辺洋・脇田吉隆・上脇博之『新・どうなっている!?日本国憲法〔第3版〕』(法律文化社、2016年)

ISBN:4589037513

価格：¥2,530

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

- - - 参考書 - - -

憲法の時間 ISBN 464122711X

憲法主義 ISBN 9784335000911

日本国憲法を考える〔第3版〕 ISBN 4569819133

レジュメを掲げている参考図書

- - - 履修上の留意点 - - -

「法学A」「法学B」「法律学概論」などの他の法律学の一般教養科目を履修済み、または履修中であるほうが、より良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人や単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2.憲法とは何か
- 3.立憲主義の成立と展開
- 4.日本憲法史
- 5.平和主義
- 6.個人の尊重と幸福追求権
- 7.法の下での平等
- 8.精神的自由権
- 9.経済的自由権
- 10.社会権
- 11.人身の自由と刑事手続き上の権利
- 12.国会
- 13.内閣
- 14.裁判所
- 15.違憲審査制と憲法訴訟

授業計画は一応の目安であり、順番どおりに各論点を講義するわけではありません。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/fhh9t7p063jrne91r0i4gog07zd75ru>)

田中 孝和

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・3時限 試験時間割：2021/07/23 3時限

- - - 概要 - - -

毎日の生活を送るうえで、行政と私たちの関わりを意識することはあまりないかもしれませんが。しかし、様々な形で行政は、秩序の維持、安全などの形で私たちの生活と密接なかかわりをもっています。

たとえば、車を運転するには運転免許を取得する必要がありますし、皆さんが普段から利用するレストランやカフェも、そのオーナーは行政による許可を得たうえで営業することとなっています（無許可で営業することはできない）。これらのひとつの理由として、「規制」をすることにより公共の安全や衛生を確保するという目的があります。

本講義では、行政活動と法の関係やどのような方法を用いて行政の目的を実現するのか、行政と私たちとの法的な関係（例えば、上記の例では、道路交通、食品衛生に関して、一つの方法として、根拠となる法律に基づいて、行政が私たちに対して、運転することや、レストランの営業をすることを許可するという共通する部分が見られます。これは許可制という形をとることによって安全というひとつの行政目的を実現するための方法の一つです）を学習していくこととします。

ただし、授業の最初数回は、行政活動と法の授業の理解を助けるため、法学の基本的な知識を理解してもらうための授業を行うこととします。

- - - 到達目標 - - -

行政法に関する初歩的な知識を理解することができる。(知識・理解)

行政と私たち国民との関係を理解することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：毎授業時間の最後に次回の講義箇所をあらかじめ伝える（もしくは各自シラバスを参照したうえで）ので、教科書に目を通し、理解が十分でないと思われる箇所につき、線を引くなどしておいてください（120分）。また、講義で学習した箇所につき、教科書をもう一度読んでおいてください（120分）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末の試験による：行政活動と法について、基本的な知識が理解できているかどうかを問う。授業の進行状況により、受講者の理解を確認するため授業時間内外に評価（いわゆる小テスト）を行う場合がある。正解の場合、成績評価に加点する。

- - - テキスト - - -

宇賀克也編『ブリッジブック行政法〔第3版〕』（信山社、2017年）ISBN:9784797223576
 最新版が出る場合はそれによる。

- - - 参考書 - - -

吉田利宏『つかむ・つかえる行政法』 ISBN 978-4589038777
 高橋・佐藤・佐伯・北村『行政法の基本〔第7版〕』 ISBN 978-4-589-03992-7

- - - 履修上の留意点 - - -

理解を助けるため、教科書を適宜使用することにより、授業を展開する。このため、教科書は必ず入手、持参していただきたい。
 教養科目の中で同時に履修できる法律科目があれば、同時に履修していることが望ましい。

- - - 授業計画 - - -

- 1 本授業の説明および本授業を受講する際に必要な法学の基本的知識の説明：スタートアップ授業（動画配信）
- 2 行政はどのような活動をしているのか
- 3 行政は法に従って活動する 法治主義
- 4 行政活動を行うためにどのような組織が作られているか 行政組織法
- 5、6 行政が国民の権利を制限をしたり義務を課したりする手法 行政行為
- 7 行政による協力の要請 行政指導
- 8 行政が法を作る？ 行政立法
- 9 行政と契約する場合がある 行政契約
- 10 もし私たちが行政が課した義務に従わなかった場合には 行政上の強制執行
- 11 行政活動に必要な手続 行政手続法
- 12 行政の活動に納得がいけない場合 行政に不服を申し立てる
- 13 行政の活動に納得がいけない場合 裁判所に訴える
- 14 行政の活動に納得がいけない場合 裁判所に訴える
- 15 行政の活動にて損害が発生した場合 国家賠償

受講者の理解に応じて、または授業の進行状況により、一部授業計画を変更する場合がある。その場合は、受講者に事前に伝える。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/ssw4gxzraakrnc1t9oeplqyqae0lj1p1>)

城野 一憲

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・1時限 試験時間割：2021/07/23 3時限

- - - 概要 - - -

この講義では、日本国憲法による基本的人権の保障について学ぶことを通じて、現代社会における憲法や法律の機能についての皆さんの理解を深めてもらいたいと思います。

中学校の社会科や高校の公民科での憲法の勉強は、日本国憲法が保障している権利や自由にはどのようなものがあるのかを知ることが中心であったと思います。大学での憲法の学習では、憲法による基本的人権の保障が、実際にはどのようにして実現されているのかを理解することが大切になります。また、そもそも人権はなぜ保障されるのか、人権はどこまで保障されるべきなのか、といったことを考えることも重要です。

憲法は、他の法分野や社会科学の学問分野とも深いかわりを持っています。人権思想を理解する上では、過去の人権侵害の歴史を真摯に見つめ、理解する必要があります。憲法訴訟では、民法や刑法などの法令の違憲性が争点になるため、そうした法令の意義や機能もふまえる必要があります。憲法が保障している様々な権利は、国会の作る法律や政府の政策によっても実現されているため、国や地方の政治過程の知識もあつた方がいいでしょう。この点については、講義担当者の中央省庁での法制執務の経験もふまえて解説します。ニュースや報道を通じて、社会ではどのような憲法問題や人権問題が提起されているのかにも関心を持ってほしいと思います。

授業では、日本国憲法の第三章が保障している様々な権利や自由、平等について、その内容や歴史的な沿革、関連する判例や立法、社会問題もふまえて講義します。

- - - 到達目標 - - -

日本国憲法が保障する基本的人権の意義や内容について理解し、説明することができる。(知識・理解)

基本的人権と関連する現代社会の諸問題について自己の意見を述べ、文章で表現することができる。(技能)

人権保障の観点から、現代社会の諸問題を解決しようとする姿勢を持っている。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：テキストのあらかじめ指定された範囲を読み、理解できないところや疑問があるところがあればノートなどに書き出す(60分)

復習：授業中に記入したレジュメやノートを、授業後に担当教員がアップロードする講義資料と照らし合わせながら授業内容を確認する(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験100%

定期試験では、憲法の基礎的な用語について問う選択式の問題と、現代社会における憲法問題の具体的な事例について論じる記述式の問題を出題する。

- - - テキスト - - -

斎藤一久・堀口悟郎編『図録 日本国憲法』（弘文堂、2018年）

ISBN:9784335357619

- - - 参考書 - - -

吉田仁美・渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』（ナカニシヤ出版、2016年） ISBN 9784779509704

- - - 履修上の留意点 - - -

私語やスマートフォンの通話など、授業の妨害となる行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス、憲法と近代立憲主義とは何か（スタートアップ授業）
- 2 日本の憲法の歴史
- 3 基本的人権の保障の基礎
- 4 思想・良心の自由
- 5 信教の自由と政教分離
- 6 表現の自由
- 7 メディアの自由
- 8 学問の自由
- 9 職業選択・居住移転の自由
- 10 財産権
- 11 人身の自由
- 12 包括的基本権・新しい人権
- 13 平等原則
- 14 社会権と生存権
- 15 教育についての権利

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/twym1ztm1su6uxyssfwmk417xc4t6oa>)

三宮 希

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・1時限 試験時間割：2021/07/23 3時限

- - - 概要 - - -

大学生活はこれまでよりも自由に行動できることと思いますが、さまざまなトラブルも発生します。これらのトラブルの中には法律にかかわるものがあります。

この講義では、まず皆さんが遭遇するかもしれない法律問題を具体的に紹介します。例えば、交通事故、アルバイト、アパートやマンションの賃貸借などです。

次にそのような問題が、どのような法律にかかわるのかを示します。そしてその法律問題についての裁判所の判断や学説を勉強していきます。

できるだけ法律用語を使わず、わかりやすい授業をしますので、毎回出席してください。

この講義で勉強したことはいつかどこかで役に立つことと思います。

- - - 到達目標 - - -

民法を中心とする法律学の基礎知識を身につけ、大学生活を送るうえで発生する法律問題について、問題を把握し、正しい判断をすることができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

一週間前に、次回の講義のテーマを予告しますので、そのテーマについてインターネットや新聞などを使って下調べをし、問題意識を持ってください(120分)。講義後は、講義内容についてノートを整理し、内容を確認してください(120分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験100%

講義で取り上げた問題について、内容を理解しているか、法律学の基礎知識を習得しているか、そして、法律問題について正しい法的判断ができるかを評価します。

- - - テキスト - - -

テキストは使用しません。
 講義資料(プリント)を毎回配布します。

- - - 参考書 - - -

編集代表 佐伯仁志 大村敦志『ポケット六法 令和3年版』 ISBN 978-4-641-00921-9

- - - 履修上の留意点 - - -

遅刻・早退はお控えください。
 授業中の私語、スマートフォンの使用はお控えください。

- - - 授業計画 - - -

- 1.イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2.交通事故の法律問題1(事故処理・保険過失割合など)
- 3.交通事故の法律問題2(示談交渉・後遺症・示談後の追加請求など)
- 4.アルバイトの法律問題1(労働条件・賃金・ペナルティ)
- 5.アルバイトの法律問題2(労災)
- 6.アパート・マンションの賃貸借の法律問題(原状回復義務・敷引きなど)
- 7.クーリングオフの法律問題
- 8.未成年者の法律問題
- 9.寄託(物を預ける・預かる)の法律問題
- 10.代理の法律問題と銀行預金トラブル
- 11.保証の法律問題(連帯保証・奨学金など)
- 12.弁護士とその周辺にかかる法律問題
- 13.婚姻の法律問題
- 14.婚姻成立の法律問題
- 15.離婚の法律問題

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/5fua4yd23iyucxd24iq6zdx66mfgrpzl>)

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2021/07/23 3時限

- - - 概要 - - -

人権という言葉を知らない人は、おそらくいないでしょう。人権は尊重されなければならない「大切なもの」だといわれますが、人権とは何か、人権を尊重されるのは誰か、尊重しなければならないのは誰かを正確に答えることはできるでしょうか。また、尊重されなければならない人権が、私たちの生活とどのように関わっているのかを具体的に説明できるでしょうか。

日常生活での何気ない会話やインターネットを自由に閲覧すること、アルバイトをしてお金を稼ぐといった当たり前に行っていることは、実のところ人権と切り離して考えることはできないものです。新型コロナウイルスをめぐる政府の対応をみて、人権問題を身近に感じた人もいるかと思えます。

この講義では、憲法が保障する人権の内容や限界などを判例を考察することを通じて、人権保障の現状を把握し、人権が「人間らしい生活」をするために不可欠であることを理解するとともに、人権保障の現代的課題について検討します。

第1回目の授業（スタートアップ授業）で、導入部に位置づけられる内容の講義を行います。こうした基本的知識を習得したことを前提に、それぞれの人権がどのような状況のもとで問題となるのか、そうした問題をいかに解決すべきなのかを検討していきます。過去および現在の人権問題は社会や国家のあり方を映し出しています。どのような社会や国家が望ましいのかを主体的に考えながら、人権保障のあり方考えてください。

憲法や人権の勉強は、条文や関連する用語の暗記だと思っている人がいるかもしれませんが、暗記はまったく無意味です。条文の文言の解釈は多様であり、人権問題をいかに解決するかを考える方も様々あります。また、社会や国家のあるべき姿は、人によって異なります。暗記することが憲法の勉強と考えている人は、早急に勉強の姿勢を改めてください。

- - - 到達目標 - - -

人権に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

判例の内容と問題点を理解していること。(知識・理解)

日常生活をおくることと人権保障の関係を、具体例を挙げて説明し、人権の現代的課題を説明できること。(技能)

習得した基本的知識を用いて、日々のニュースから、どのような人権問題が生じているかを考えることができること。(態度・志向性)

過去および現在の人権問題の考察を通じて、社会や国家のあり方を考えることができること。(態度・志向性)(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジュメに予習・復習しておくべき教科書の該当箇所や押さえておくべきポイントを記載しておきます。特に復習の際には、各論点の関連性を意識して学習して下さい。

また、新聞やテレビなどで毎日ニュースをみて、いかなる人権問題が生じているのかを主体的に考えてください。

上記の課題は60分を目途に取り組んでください。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験の成績で評価します。憲法が保障する人権に関する基本的知識を身につけ、人権保障の意義を自分の言葉で説明することができるかを評価の基準とします。

授業時間外に、FUポータルを通じて問題を解いてもらうことがあります。正答数によって、定期試験の成績に1～5点を加点します（定期的に行うわけではなく、授業の進捗状況などを勘案して実施します）。

また、授業後やオフィスアワー等での質問の内容によって、1回につき1～3点を付与します。

いずれの加點方式も、講義に積極的に取り組む姿勢を評価するためのものです。

- - - テキスト - - -

君塚正臣編『大学生のための憲法』（法律文化社、2018年）

ISBN：4589039079

価格：¥2,750

講義内容に沿ったレジュメを用います。レジュメは、授業の2日前の17時までにFU BoxにUPしますので、各自でそれをダウンロードしプリントアウトして持参して下さい。

日本国憲法と大日本帝国憲法の条文が掲載された「資料」を必ず持ってきてください（「資料」は初回の授業で配布します）。

- - - 参考書 - - -

基本的人権の事件簿〔第6版〕 ISBN 4641281475

事例問題から考える憲法 ISBN 4641227020

「憲法上の権利」入門 ISBN 4589040166

- - - 履修上の留意点 - - -

憲法や法学の科目を履修済みまたは履修中であるほうが、授業をより良く理解できます。

真剣に勉強する気がない人、単位を取るためだけに履修を考えている人は、この授業の講義の登録を遠慮してください。

私語、携帯電話の使用等、授業妨害とみなされる行為を行う者には、退出を命じ、また大幅に減点します。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション（スタートアップ授業）
2. 思想・良心の自由
3. 信教の自由と政教分離
4. 学問の自由
5. 表現の自由
6. 集会・結社の自由
7. 職業選択の自由
8. 財産権
9. 人身の自由と刑事手続き上の権利
10. 国務請求権と参政権
11. 社会権
12. 幸福追求権
13. 法の下での平等
14. 人権の享有主体
15. 人権の限界

授業計画は一応の目安であり、講義の進捗状況等により、テーマや順番を変更することがあります。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/jag4gmplrh0i00p76urf3b4g649d3hbn>)

松山 祐平

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・二部 1 時限 試験時間割：2021/07/30 夜 1 限

- - - 概要 - - -

本講義では、裁判所の「判例」を通じて日常生活で生じる諸問題を分析し、さまざまな法分野の理解を深めることを目的とする。本講義で取り扱うのは、憲法、民法、労働法、刑法、国際法である。

「判例」とは、裁判所による過去の判断の中で、先例として事実上拘束力を有する重要なものをいう。講義では、各法分野においてとりわけ重要な判例を取り上げ、判例の具体的な解説を通じて、各テーマの学習を行う。加えて、判例を分析する際に必要な知識や法律などについての基本的事項の修得も行う。さらに、新聞記事などを用いて、時事問題にも焦点を当て、法的に解説するつもりである。

法学に初めて触れる学生が、本講義での判例および基本事項の解説を通じて、各法分野の理解を深め、学習することを目標としている。

- - - 到達目標 - - -

法学の基礎を学んだ上で、裁判所においてどのようなことが問題となり、どのような判断が下されたのかを理解することができる。(知識・理解)

判例を通じて、それぞれの法分野の理解を深め、日常生活で生じる諸問題を法的観点から考察できる能力を身に着ける。(技能)

なぜこのようなことが問題となるのかを理解し、法的な観点から問題を捉えようとする意識を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：次回の講義で扱うテーマの教科書の範囲を熟読し、疑問点や興味深い

ところをまとめておく。(60分)

復習：教科書やノート、レジュメを読み返し、自分で説明できるよう整理して

おく。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験6割、小テスト4割。

定期試験は、講義で学んだ概念や考え方を十分に理解しており、それらを文章で説明することができるかを評価の基準とする。

また、講義の進捗状況に応じて、適宜小テストを行う。小テストは、講義内容の理解度を確認するために行い、裁判所の立場を適切に把握しているかを評価基準とするものである。

- - - テキスト - - -

西村健一郎・西井正弘・初宿正典『判例法学』(第5版)
 (有斐閣、2012年)、定価2,860円(税込)
 ISBN：978-4-641-18404-6

- - - 参考書 - - -

上記教科書内で紹介されている参考文献を参考としてもらいたい。

- - - 履修上の留意点 - - -

授業は、教科書、レジュメ、板書で進めていく。きちんとノートをとることを目標に、授業に臨んでもらいたい。教科書は必ず購入しておくこと。また、最新の判例がある場合には、適宜、資料として担当教員が準備する。法律の条文については、授業で必要な箇所を担当教員が準備する。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(動画配信)
 ガイダンス、導入授業(法学の基礎：法とは何か、法源、法の種類、解釈、裁判制度)
2. 基本的人権と法 日本国憲法と人権
3. 基本的人権と法 法の下での平等
4. 基本的人権と法 自由権・社会権
5. 基本的人権と法 人身の自由・裁判手続の保障
6. 家族関係と法 夫婦間の法律問題
7. 家族関係と法 親子の法律関係
8. 家族関係と法 相続と遺言
9. 財産関係と法 契約に基づく権利・義務
10. 財産関係と法 権利侵害と損害賠償
11. 労働関係と法
12. 犯罪と法
13. 国家と法
14. 国際関係と法
15. 現代社会の課題と法

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/kkj22f57m3ch3g341uop2ssjlorcj7f0>

守谷 賢輔

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

このゼミでは、憲法学に関する基本的な論点を、判例を素材に検討することを目的としています。専門科目の憲法でも共通教育科目の法学や憲法でも、同様の論点が扱われますが、時間の制約などから詳細に解説することは困難であり、受講生においても一つの判例をじっくり検討する機会はあまりありません。

そこで、この授業ではゼミという特質を活かし、主として人権総論と統治機構に関する諸問題を詳しく検討し、憲法学の論点をより深く理解する機会とします。第1回目の授業(スタートアップ授業)で、扱う判例のリスト、事前に読んでおくべき文献やレジユメの作成の仕方を提示します。課題文献を読んだうえで、報告の候補とする判例を複数考えておいてください。

2人または3人を1つのグループとし、1つの判例を報告してもらいます。担当者は判例の原文を読むことはもちろん、当該判例に関係する資料を丁寧に読み、グループ内で報告の内容や方法などを検討したうえで、レジユメを作成してください。レジユメは授業実施日の3日前までに提出してください。報告担当者以外の人は授業実施日までにレジユメを読み、最低限1つの質問を出来るように準備してください。

資料を読み、内容をまとめ、他の人に分かりやすく報告をし、質疑応答をする作業は、報告内容の理解を深め、今まで気づけなかった問題を発見できる非常に貴重な機会です。

皆の前で話すことが得意な人も苦手な人も、それぞれの個性を活かしながら積極的に参加し、チャレンジしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

Wordを用いて分かりやすいレジユメを作成できること。(技能)

質疑・討論に積極的に参加すること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

報告を担当する人は、最低1週間かけて報告準備をしてください。分かりやすいレジユメを作成し、論点を明確に報告できるようにしてください。

報告を担当しない人は、報告テーマに関係する資料を読み、事前に質問したいことを考えておいてください(30分)。

授業後は報告の質疑応答を踏まえ、より深く理解するために新たに資料を読んでください(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

担当した報告の内容、質疑・討論での発言、建設的な議論への貢献等を総合的に判断して評価します(70点)。出席は単位取得の前提であるので、欠席の回数により減点および不可の対象となります。

担当した判例を解説したレポートを学期末に提出してもらいます。報告した内容より水準の高いレポートを提出することを最低限の基準とし、成績評価します(30点)。

- - - テキスト - - -

大久保卓治ほか編『憲法入門! 市民講座』(法律文化社、2020年)

ISBN-10: 4589040689

価格: 2,420円

- - - 参考書 - - -

憲法判例プラクティス〔増補版〕 ISBN 4797226366

憲法判例百選〔第7版〕 ISBN 4641115451

憲法判例百選〔第7版〕 ISBN 464111546X

- - - 履修上の留意点 - - -

出席さえしていれば単位を取得できるだろう、という安易で勉強意欲のない人は、履修を遠慮してください。履修をしても単位を修得できないでしょう。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業): 判例報告に必要な知識を提供します。

2~14. 報告と討論

15. 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/amqw1vasae38wcwybztfq01z8m2sznm5>)

石川 友佳子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・5時限 試験時間割：2022/01/18 3時限

- - - 概要 - - -

この講義は、法学についての概論を説明した上で、医療をめぐる諸問題を法的観点から検討する講義です。

医療技術は、多くの人々を救っている。しかし、その反面、さまざまな問題も存在する。

例えば、生命維持技術が進歩したことにより、一定の時間であれば脳死状態でも心肺機能を維持することが可能になった。このことは、脳死臓器移植により心臓移植などを可能にしたが、脳死移植を行うためには「人の死期はいつか」を考えなくてはならない。また、生命維持技術の進歩は、尊厳死や安楽死という「死のあり方」についても問題を提起した。

この講義では、臓器移植、安楽死、生殖医療、精神医療などの医療技術を中心に、医療上の諸問題を法的観点から検討していく。刑法、民法、臓器移植法、医療観察法、各種ガイドラインなどを適時参照しながら、講義を進めていきたいと思いません。

- - - 到達目標 - - -

医療の現状や法規定に関して、不十分な点や良い点を見つけ、説明できるようになる。(知識・理解)

医療の現状や法規定に関して、その不十分な点をどのように解決するかを、自分の言葉で考えられるようになる。(技能)

判例など、実際に起こった事件について、法的知識を用いて、自分なりの考えが示せるようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジメやノートを再読し、理解を深めること(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

上記到達目標の達成度を、定期試験の成績により評価する。及び、必要に応じて、小テストを行い、評価に含める場合がある。

- - - テキスト - - -

教科書の指定はありません。講義ではレジメを配布します。

- - - 参考書 - - -

必要に応じて、講義時に紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

配布資料を毎回持参すること。

- - - 授業計画 - - -

1. 法とは
2. 法の目的
3. 法の分類
4. 実体法と手続法
5. 手続法～刑事手続を例として～
6. 医療と法 臓器移植法、人の死期
7. 医療と法 脳死臓器移植
8. 医療と法 安楽死
9. 医療と法 尊厳死、治療行為の中止
10. 第1回～第9回の振り返り：中間フォローアップ授業(動画配信)
11. 医療と法 生殖医療と親子関係概論
12. 医療と法 代理母、死後生殖
13. 医療と法 精神障害と責任能力
14. 医療と法 精神障害と処遇
15. まとめ

芳賀 真一

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・4時限 試験時間割：2022/01/18 3時限

- - - 概要 - - -

この講義では、様々な法律の目的を確認し、様々な法律の課題について考えながら、法学の基本的な考え方を身につけましょう。民法や憲法といった基礎となる法から、会社法・労働法といったビジネスに関わる法、税法・知的財産法といった時代に合わせて大きく変化する法まで見ていきましょう。また、法と経済学の視点も取り入れ、法が社会にもたらす影響についても考えてみましょう。

シートベルトを着用すると事故が増えるって本当でしょうか。アメリカの先住民には所有権制度のある部族と所有権制度を持たない部族があったのは、なぜでしょうか。どのような事故物件ならば家の売買契約を解除できるのでしょうか。ゲームセンターの両替機を自分でゆすって倒してケガをした少年の損害賠償請求が認められたのは、なぜでしょうか。会社は株主のものでしょうか、従業員のものでしょうか。18世紀のイギリスで特許制度がなかったために何百万人の赤ちゃんの救える命が失われたとは、どういうことでしょうか。最低賃金は、もっと上げるべきでしょうか。生活保護の金額はもっと増やすべきでしょうか。お金持ちはもっと税金を払うべきでしょうか。シングルマザーとシングルファザーで税金が違ふのは法の下に平等に違反しないのでしょうか。選挙のたびに「有権者がよく考えて投票しないからこんな結果になった」という人がいるけれども、本当に有権者の判断は間違っているのでしょうか。不公平に思える法律が意外と憲法違反にならないのはなぜでしょうか。公平とは何でしょうか。公平以外にも大事なことはあるのでしょうか。

国内外の様々な事例やエピソードに触れながら、様々な法の目的を見つけ、法の課題を理解し、その課題の解決策を考えていきましょう。

- - - 到達目標 - - -

法学の基本的な考え方について、分かりやすく説明できる。(知識・理解)

法の抱えている問題について、法学の基本的な考え方に結び付けて説明し、自分の意見を述べるができる。(技能)

法の抱えている問題について、関心を持ち、解決策を探る意欲を持っている。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習について

毎回の講義時に指示します。レジュメを読んで、簡単な選択問題を解いて、FUポータルを使って提出してもらいます。(1時間)

復習について

毎回の講義時に指示します。講義で学んだ内容を使う記述問題に取り組み、FUポータルを使って提出してもらいます。(1時間)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験60%

「法学の基本的な考え方を理解できていること」、「法の抱えている問題点を説明できること、自分の意見を述べるができること」を、論述試験により評価する。

提出物(毎回の予習と復習)40%

内容や提出状況等から、授業に対する意欲を評価する。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。(講義で参考書を紹介します。各自、自分にあったものを使ってください。)レジュメをFUポータルにアップします。

- - - 履修上の留意点 - - -

前提知識は、不要です。一から勉強していくので、辛抱強く取り組んでください。

グループワークをするつもりでしたが、今回は難しそうです。

- - - 授業計画 - - -

1. ガイダンス(スタートアップ授業(動画配信))
2. 法学とは何か
3. 「法と経済学」の視点
4. 民法 所有権
5. 民法 契約
6. 民法 不法行為
7. 刑法
8. 会社法
9. 知的財産法
10. 独占禁止法
11. 社会保障法
12. 税法
13. 労働法
14. 憲法 統治
15. 憲法 人権

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/1a2qlvqv58w562nbf52mqhggbpvrlyly>)

石川 友佳子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・5時限 試験時間割：2022/01/18 3時限

- - - 概要 - - -

この講義は、法学についての概論を説明した上で、医療をめぐる諸問題を法的観点から検討する講義です。

医療技術は、多くの人々を救っている。しかし、その反面、さまざまな問題も存在する。

例えば、生命維持技術が進歩したことにより、一定の時間であれば脳死状態でも心肺機能を維持することが可能になった。このことは、脳死臓器移植により心臓移植などを可能にしたが、脳死移植を行うためには「人の死期はいつか」を考えなくてはならない。また、生命維持技術の進歩は、尊厳死や安楽死という「死のあり方」についても問題を提起した。

この講義では、臓器移植、安楽死、生殖医療、精神医療などの医療技術を中心に、医療上の諸問題を法的観点から検討していく。刑法、民法、臓器移植法、医療観察法、各種ガイドラインなどを適時参照しながら、講義を進めていきたいと思いません。

- - - 到達目標 - - -

医療の現状や法規定に関して、不十分な点や良い点を見つけ、説明できるようになる。(知識・理解)

医療の現状や法規定に関して、その不十分な点をどのように解決するかを、自分の言葉で考えられるようになる。(技能)

判例など、実際に起こった事件について、法的知識を用いて、自分なりの考えが示せるようになる。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

レジメやノートを再読し、理解を深めること(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

上記到達目標の達成度を、定期試験の成績により評価する。及び、必要に応じて、小テストを行い、評価に含める場合がある。

- - - テキスト - - -

教科書の指定はありません。講義ではレジメを配布します。

- - - 参考書 - - -

必要に応じて、講義時に紹介する。

- - - 履修上の留意点 - - -

配布資料を毎回持参すること。

- - - 授業計画 - - -

1. 法とは
2. 法の目的
3. 法の分類
4. 実体法と手続法
5. 手続法～刑事手続を例として～
6. 医療と法 臓器移植法、人の死期
7. 医療と法 脳死臓器移植
8. 医療と法 安楽死
9. 医療と法 尊厳死、治療行為の中止
10. 第1回～第9回の振り返り：中間フォローアップ授業(動画配信)
11. 医療と法 生殖医療と親子関係概論
12. 医療と法 代理母、死後生殖
13. 医療と法 精神障害と責任能力
14. 医療と法 精神障害と処遇
15. まとめ

牧 真理子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・1時限 試験時間割：2022/01/18 3時限

- - - 概要 - - -

本講義は、私法の基礎について理解することを目的としています。私法分野の専門科目の知識習得を補助するために、初学者に向けて民法と会社法を概論的に講義します。

民法の部分については、教科書の内容に沿って、わかりやすく説明します。

- - - 到達目標 - - -

民法を中心とする法律学の基礎知識とリーガルマインド(法的思考力)を身につけ、社会において生起する法的諸問題について理解し、説明することができる(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義前に、講義レジュメや資料等を読んで予習してください(30分)。

講義後は、レジュメをもとに、六法を引きながら教科書の該当頁を読み、復習してください(90分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験70%、小テスト30%で評価する予定です。

講義中、複数回小テストを行い、基礎知識の定着と講義内容の理解度を見ます。

定期試験では、講義全体を通して私法分野についておおまかに把握できているか、筆記試験を行い、評価します。

- - - テキスト - - -

木俣由美『ゼロからはじめる法学入門〔第2版〕』（法律文化社、2018年）2,400円（税別）

【ISBN978-4-589-03993-4】

- - - 履修上の留意点 - - -

最新の六法を持参してください。

- - - 授業計画 - - -

1. 私法の基礎（スタートアップ授業）
2. 権利能力と行為能力
3. 代理
4. 契約の分類
5. 契約の成立
6. 意思表示
7. 債権・債務の消滅
8. 債務不履行、不法行為
9. 物権の性質
10. 担保物権
11. 商法概論
12. 株式会社の仕組み
13. 機関構成 株主総会
14. 機関構成 取締役会
15. コーポレート・ガバナンス

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/io3syd5tg027u655yo70skwg4wv1tde>)

城野 一憲

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：有り 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・二部 1 時限 試験時間割：2022/01/24 夜 1 限

- - - 概要 - - -

この講義では、日本国憲法の統治機構について学ぶことを通じて、現代社会における憲法や法律の機能についての皆さんの理解を深めてもらいたいと思います。大学での憲法の学習は、一般的に、私たちの権利や平等を保障する「人権」についての学習と、権力分立や国の政治の仕組みを定めた「統治（機構）」についての学習とに分かれています。この講義では、主に、統治に関わる論点を扱います。

国家や政府があるところには、必ずそうした組織や制度の仕組みを定めたルールがあります。国家権力が全く分立されておらず、選挙や議会制度、裁判所を持たない国は、現在ではほぼ存在しないと言ってよいでしょう。その一方で、議院内閣制と大統領制、君主制と共和制、中央集権国家と連邦国家など、国ごとに異なる部分が多いことも、憲法の統治の規定の特徴の一つです。現代の立憲主義の国家では、統治機構は人権保障を確実にするための道具としての役割が強調されますが、その具体的な方法も実際には多様です。ニュースや報道を見ることを通じて、現実の政治の動きや関連する憲法問題にも関心を持ってほしいと思います。また、統治機構の現実の機能を理解する上では、国や地方の政治過程について知る必要もあります。この点については、講義担当者の中央省庁での法制執務の経験もふまえて解説します。

授業では、日本国憲法が定めている統治機構について、その内容や関連する法制度、諸外国の制度との比較、関連する憲法訴訟などもふまえて講義します。

- - - 到達目標 - - -

日本国憲法の統治機構の意義や内容について理解し、説明することができる。(知識・理解)

憲法の統治機構と関連する現代社会の諸問題について自己の意見を述べ、文章で表現することができる。(技能)

憲法の統治機構論の観点から、現代社会の諸問題を解決しようとする姿勢を持っている。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：テキストのあらかじめ指定された範囲を読み、理解できないところや疑問があるところがあればノートなどに書き出す(60分)

復習：授業中に記入したレジュメやノートを、授業後に担当教員がアップロードする講義資料と照らし合わせながら授業内容を確認する(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験100%

定期試験では、憲法の基礎的な用語について問う選択式の問題と、統治機構に関する理論や実際の制度について論じる記述式の問題を出題する。

- - - テキスト - - -

斎藤一久・堀口悟郎編『図録 日本国憲法』(弘文堂、2018年)
ISBN:9784335357619

- - - 参考書 - - -

吉田仁美・渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』(ナカニシヤ出版、2016年) ISBN 9784779509704

- - - 履修上の留意点 - - -

私語やスマートフォンの通話など、授業の妨害行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

- 1 ガイダンス、憲法と近代立憲主義とは何か(スタートアップ授業)
- 2 日本の憲法の歴史
- 3 天皇制
- 4 平和主義と自衛隊
- 5 参政権と国務請求権
- 6 立法(1)国会の地位と権能
- 7 立法(2)選挙制度と議院制度
- 8 行政(1)内閣
- 9 行政(2)行政組織
- 10 司法(1)司法権の独立
- 11 司法(2)裁判所制度
- 12 地方自治
- 13 財政
- 14 憲法を保障するための仕組み
- 15 憲法の改正

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/i2cjsqnrn3srpbvmjgq920rhwrwd0o4>)

守谷 賢輔

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

このゼミでは、憲法学に関する基本的な論点を、判例を素材に検討することを目的としています。専門科目の憲法でも共通教育科目の法学や憲法でも、同様の論点が扱われますが、時間の制約などから詳細に解説することは困難であり、受講生においても一つの判例をじっくり検討する機会はあまりありません。

そこで、この授業ではゼミという特質を活かし、主として人権各論と統治機構に関する諸問題を詳しく検討し、憲法学の論点をより深く理解する機会とします。第1回目の授業(スタートアップ授業)で、扱う判例のリスト、事前に読んでおくべき文献やレジユメの作成の仕方を提示します。課題文献を読んだうえで、報告の候補とする判例を複数考えておいてください。

2人または3人を1つのグループとし、1つの判例を報告してもらいます。担当者は判例の原文を読むことはもちろん、当該判例に関係する資料を丁寧に読み、グループ内で報告の内容や方法などを検討したうえで、レジユメを作成してください。レジユメは授業実施日の3日前までに提出してください。報告担当者以外の人は授業実施日までにレジユメを読み、最低限1つの質問を出来るように準備してください。

資料を読み、内容をまとめ、他の人に分かりやすく報告をし、質疑応答をする作業は、報告内容の理解を深め、今まで気づけなかった問題を発見できる非常に貴重な機会です。

皆の前で話すことが得意な人も苦手な人も、それぞれの個性を活かしながら積極的に参加し、チャレンジしてください。

- - - 到達目標 - - -

憲法に関する基本的知識を習得していること。(知識・理解)

Wordを用いて分かりやすいレジユメを作成できること。(技能)

質疑・討論に積極的に参加すること。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

報告を担当する人は、最低1週間かけて報告準備をしてください。分かりやすいレジユメを作成し、論点を明確に報告できるようにしてください。

報告を担当しない人は、報告テーマに関係する資料を読み、事前に質問したいことを考えておいてください(30分)。

授業後は報告の質疑応答を踏まえ、より深く理解するために新たに資料を読んでください(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

担当した報告の内容、質疑・討論での発言、建設的な議論への貢献等を総合的に判断して評価します(70点)。出席は単位取得の前提であるので、欠席の回数により減点および不可の対象となります。

担当した判例を解説したレポートを学期末に提出してもらいます。報告した内容より水準の高いレポートを提出することを最低限の基準とし、成績評価します(30点)。

- - - テキスト - - -

大久保卓治ほか編『憲法入門! 市民講座』(法律文化社、2020年)

ISBN-10: 4589040689

価格: 2,420円

- - - 参考書 - - -

憲法判例プラクティス〔増補版〕 ISBN 4797226366

憲法判例百選〔第7版〕 ISBN 4641115451

憲法判例百選〔第7版〕 ISBN 464111546X

- - - 履修上の留意点 - - -

出席さえしていれば単位を取得できるだろう、という安易で勉強意欲のない人は、履修を遠慮してください。履修をしても単位を修得できないでしょう。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション(スタートアップ授業): 判例報告に必要な知識を提供します。

2~14. 報告と討論

15. 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/](https://fukuoka-u.box.com/s/10si6keelox775puttkfn6yawmu7cc9)

[s/10si6keelox775puttkfn6yawmu7cc9](https://fukuoka-u.box.com/s/10si6keelox775puttkfn6yawmu7cc9))

生田 敏康

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・5時限 試験時間割：2021/07/23 3時限

- - - 概要 - - -

人が生活するために、あるいは個人や企業が経済活動をしていく上で必要な契約と、人が事故や事件に遭遇した場合における被害者の救済制度としての不法行為法を学習する。

前半は契約法を対象とし、契約の成立、契約の不履行に対する救済（債務不履行による損害賠償・契約の解除）などを学んだ後、売買や賃貸借などの主要な契約類型について検討する。

後半は不法行為法を対象とし、不法行為が成立するにはどのような要件が必要か、誰がどれだけ損害賠償を請求することができるかなどについて学ぶ。このほか、事務管理および不当利得についてもその概要を学ぶ。

- - - 到達目標 - - -

契約および不法行為の概要を理解することができる。(知識・理解)

契約および不法行為に関する知識をもとに日常生活で生ずる問題について法的観点から説明し、それに対する解決策または自己の見解を述べることができる。(技能)

日常生活、取引、地域社会で生起する諸問題について積極的に取り組む姿勢を持っている。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

- ・テキストで次回の内容を予習しておくこと(60分)。
- ・授業で習ったことをテキストで確認し、ノートで整理しておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

1. 成績評価基準

契約と不法行為に関する基礎知識を習得できているか、その知識に基づいて様々な法的問題について解決策を提示できるか、それらに取り組む積極性を有しているかを基準に評価する。

2. 評価方法、評価割合およびフィードバック

定期試験50%、ミニテスト(授業期間中に10回程度実施)50%の割合で評価する。ミニテスト実施後、その解説を行う。

- - - テキスト - - -

生田敏康『債権法入門』(法律文化社、2021年)2,500円+税、ISBN978-4-589-04121-0

六法(最新版) *ポケット六法またはデイリー六法を推奨する。

- - - 授業計画 - - -

1. 契約と不法行為の意義(スタートアップ授業)
2. 契約の成立
3. 契約の不履行
4. 同時履行の抗弁・危険負担
5. 契約の解除
6. 売買
7. 贈与・消費貸借・使用貸借
8. 賃貸借
9. 雇用・請負・委任
10. 不法行為の要件(1)故意・過失・権利侵害
11. 不法行為の要件(2)因果関係・阻却事由
12. 不法行為の効果(1)損害賠償の範囲・賠償額の算定
13. 不法行為の効果(2)賠償請求権の主体・消滅時効
14. 特殊な不法行為
15. 事務管理・不当利得

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/c5tn0ft6kerk4spoox1jwq5by3reg5s5>)

井手 靖子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・1時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

本講義においては、社会におけるいくつかの主要なトピックを取り上げ、それらのテーマに対して社会学的な視点を教授することで、社会に対してこれまでとは違った考え方を獲得出来ることを主眼としています。

授業内容としては、工業化・脱工業化や都市化、家族の変容、恋愛の変容など、いくつかのトピックを取り上げていきます。それらのテーマが時代の変遷をどのように辿ってきたかといった歴史的な変容を踏まえた上で、そこで何が問題とされているのか、それらの問題に対してどのように向き合うべきかを示唆します。また、必要に応じてビデオの鑑賞も行い、社会問題に対する多面的なアプローチの方法も提示することで、「社会」をより身近に、より柔軟に受け止められるよう、講義をすすめていきます。

- - - 到達目標 - - -

ニュース等で社会問題に接した際に、独自の視点で捉え直すことができるようになる(知識・理解)

社会変動の過程で、技術の革新が社会の変容、ひいては私たちの生活や価値意識に深く連関していることを理解し、説明できるようになる(態度・志向性)

限られた時間の中で、論理的に思考し、自分の考えをまとめられるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎日ニュースを見て、日本や世界の変動について知識を得ておくこと(30分)。

講義に際して配布する資料を熟読し、疑問点や自らの考えをまとめて下さい(予習30分程度)。また、講義で取り扱うテーマ以外でも質問や話したいことがあれば、遠慮なく聞きに来て下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：学期末の定期試験を80%、平常点として講義中での積極的発言および小レポート等で20%、その総合で評価を行います。

評価基準：身近な出来事を既存の枠組みにとらわれることなく、論理的かつ社会学な視点で論じることができるか、常に社会に対する問題意識を持ち、積極的に自らの意見を「自分のことば」で論じることができるか、で評価します。

- - - テキスト - - -

図書の指定はありません。

- - - 参考書 - - -

講義中において適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

常に社会問題に関心を持ち、積極的に授業に参加してください。また、固定概念や一般常識にとらわれず、自由な発想と柔軟な姿勢を心がけてください。質問や要望については随時受け付けます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 本講義の説明と社会学的思考について(スタートアップ授業)
- 2~5 社会学の始まりとその変容
- 6~9 工業化・脱工業化
- 10 映画鑑賞
- 11~13 都市の変容
- 14~15 社会の変容とその視座

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/z671ri1j6stvsqgtzcutg6wanwk800ej1>

井手 靖子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・2時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

本講義においては、社会におけるいくつかの主要なトピックを取り上げ、それらのテーマに対して社会学的な視点を教授することで、社会に対してこれまでとは違った考え方を獲得出来ることを主眼としています。

授業内容としては、工業化・脱工業化や都市化、家族の変容、恋愛の変容など、いくつかのトピックを取り上げていきます。それらのテーマが時代の変遷をどのように辿ってきたかといった歴史的な変容を踏まえた上で、そこで何が問題とされているのか、それらの問題に対してどのように向き合うべきかを示唆します。また、必要に応じてビデオの鑑賞も行い、社会問題に対する多面的なアプローチの方法も提示することで、「社会」をより身近に、より柔軟に受け止められるよう、講義をすすめていきます。

- - - 到達目標 - - -

ニュース等で社会問題に接した際に、独自の視点で捉え直すことができるようになる(知識・理解)

社会変動の過程で、技術の革新が社会の変容、ひいては私たちの生活や価値意識に深く連関していることを理解し、説明できるようになる(態度・志向性)

限られた時間の中で、論理的に思考し、自分の考えをまとめられるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎日ニュースを見て、日本や世界の変動について知識を得ておくこと(30分)。

講義に際して配布する資料を熟読し、疑問点や自らの考えをまとめて下さい(予習30分程度)。また、講義で取り扱うテーマ以外でも質問や話したいことがあれば、遠慮なく聞きに来て下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：学期末の定期試験を80%、平常点として講義中での積極的発言および小レポート等で20%、その総合で評価を行います。

評価基準：身近な出来事を既存の枠組みにとらわれることなく、論理的かつ社会学な視点で論じることができるか、常に社会に対する問題意識を持ち、積極的に自らの意見を「自分のことば」で論じることができるか、で評価します。

- - - テキスト - - -

図書の指定はありません。

- - - 参考書 - - -

講義中において適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

常に社会問題に関心を持ち、積極的に授業に参加してください。また、固定概念や一般常識にとらわれず、自由な発想と柔軟な姿勢を心がけてください。質問や要望については随時受け付けます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 本講義の説明と社会学的思考について(スタートアップ授業)
- 2~5 社会学の始まりとその変容
- 6~9 工業化・脱工業化
- 10 映画鑑賞
- 11~13 都市の変容
- 14~15 社会の変容とその視座

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/sez0e1f5g41b8m42o7ay45cv48mml94w>)

高岡 弘幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・2時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

「幽霊」や「妖怪」は、人間が自然環境との関係や社会関係の中から生み出してきた文化的な創造物である。これを逆に述べるならば、幽霊や妖怪の資料の分析を通じて、人びとの自然との関係や人間関係の特徴が浮かび上がってくることになるだろう。特に「幽霊」は、江戸時代以降、「まち」や「都市」に出現することが一般的であった。

そこで、この講義では「幽霊」の資料の分析を中心に、前近代（平安～江戸時代）、近代を経て現代に至る都市社会のそれぞれの時代の特徴を把握し、変容の様子を明らかにすることを目的としている。

言うまでもなく、現代の日本は「都市」の時代である。つまり、「都市」を考えるとということは、現代の私たちの価値観や社会（人間）関係、生活がどのように変化してきたのか、そして、今後、どのように変化していくのかを考えることでもあるわけである。

履修にあたり、都市社会学の他、宗教社会学や歴史社会学、関連分野として民俗学や文化人類学、歴史学など、幅広く読書をすすめて欲しい。とりわけ、受講生自身の生活環境を理解することこそ、現代社会の怪異の特徴を理解することにつながることを覚えておいて欲しい。

- - - 到達目標 - - -

主に日本の怪異や妖怪、呪術、宗教、都市といった具体的な事例をもとに、社会学の考え方や基礎的な専門用語を説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回受講後、授業で説明したキーワード(専門用語)を具体的な事例をもとに意味内容を理解しておくこと。(30分)

また、各自の問題関心にしたがって、社会学だけではなく、歴史学、民俗学、宗教学、文化人類学の専門書を幅広く読み、次回の講義にそなえること。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末テスト(100%)で、上記「授業の到達目標等」の項目に従って採点する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。講義中に適宜資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

場所を消費する ISBN 4-588-00769-6
 幽霊 近世都市が生み出した化物 ISBN 10-4642058338
 妖怪学新考 ISBN 978-4-86248-180-1
 事前に購入する必要はない。

- - - 履修上の留意点 - - -

必要に応じてビデオやDVD教材を使用する予定である。

- - - 授業計画 - - -

スタートアップ授業(動画配信)
 集合表象としての怪異・妖怪：社会学の基礎
 アニメ『もののけ姫』の解読(1)：アニミズムと呪術
 同上(2)：日本の神と妖怪
 シャーマニズム
 古代都市(平安京)：官僚制社会と怨霊
 「鬼」と「天狗」：空間認識と怪異
 高知と富山の「異界マップ」：妖怪と幽霊の差異 怖い
 幽霊の誕生(1)：近世都市の構造
 同上(2)：ジェンダーと幽霊
 近代的都市伝説：「口裂け女」
 学校と病院の怪談：「場所性」の怪異
 幽霊が語る都市の現在：「非・場所性」の怪異 「ケータイ」する異界
 妖怪ウォッチブームと異界の変容
 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/
 wv31vyy73q4i8kgxhna9fd6x2dgd0soa)

高岡 弘幸

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：月・3時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

「幽霊」や「妖怪」は、人間が自然環境との関係や社会関係の中から生み出してきた文化的な創造物である。これを逆に述べるならば、幽霊や妖怪の資料の分析を通じて、人びとの自然との関係や人間関係の特徴が浮かび上がってくることになるだろう。特に「幽霊」は、江戸時代以降、「まち」や「都市」に出現することが一般的であった。

そこで、この講義では「幽霊」の資料の分析を中心に、前近代(平安～江戸時代)、近代を経て現代に至る都市社会のそれぞれの時代の特徴を把握し、変容の様子を明らかにすることを目的としている。

言うまでもなく、現代の日本は「都市」の時代である。つまり、「都市」を考えるとということは、現代の私たちの価値観や社会(人間)関係、生活がどのように変化してきたのか、そして、今後、どのように変化していくのかを考えることでもあるわけである。

履修にあたり、都市社会学の他、宗教社会学や歴史社会学、関連分野として民俗学や文化人類学、歴史学など、幅広く読書をすすめて欲しい。とりわけ、受講生自身の生活環境を理解することこそ、現代社会の怪異の特徴を理解することにつながることを覚えておいて欲しい。

- - - 到達目標 - - -

主に日本の怪異や妖怪、呪術、宗教、都市といった具体的な事例をもとに、社会学の考え方や基礎的な専門用語を説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回受講後、授業で説明したキーワード(専門用語)を具体的な事例をもとに意味内容を確認しておくこと。(30分)
 また、各自の問題関心にしながら、社会学だけではなく、歴史学、民俗学、宗教学、文化人類学の専門書を幅広く読み、次回の講義にそなえること。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末テスト(100%)で、上記「授業の到達目標等」の項目に従って採点する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。講義中に適宜資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

場所を消費する ISBN 4-588-00769-6
 幽霊 近世都市が生み出した化物 ISBN 10-4642058338
 妖怪学新考 ISBN 978-4-86248-180-1
 事前に購入する必要はない。

- - - 履修上の留意点 - - -

必要に応じてビデオやDVD教材を使用する予定である。

- - - 授業計画 - - -

スタートアップ授業(動画配信)
 集合表象としての怪異・妖怪：社会学の基礎
 アニメ『もののけ姫』の解読(1)：アニミズムと呪術
 同上(2)：日本の神と妖怪
 シャーマニズム
 古代都市(平安京)：官僚制社会と怨霊
 「鬼」と「天狗」：空間認識と怪異
 高知と富山の「異界マップ」：妖怪と幽霊の差異 怖い
 幽霊の誕生(1)：近世都市の構造
 同上(2)：ジェンダーと幽霊
 近代的都市伝説：「口裂け女」
 学校と病院の怪談：「場所性」の怪異
 幽霊が語る都市の現在：「非・場所性」の怪異 「ケータイ」する異界
 妖怪ウォッチブームと異界の変容
 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/fq41um9pzozunt26hk519o2wg4mqb3ge>)

花野 裕康

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・3時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

この講義は、社会学A、Bにおける前半の科目で、社会学の入門(「わたし」から集団まで)を学ぶものです(Aだけでの受講でももちろん構いません)。具体的には、

社会の中の「わたし」(みなさん一人一人のことです)を出発点に考察していきます。

社会学の基礎概念である「行為」「コミュニケーション」「集団」について、この順序で学びます。つまり「わたし」から徐々に考察範囲を広げていきます。

の考察は単に抽象的な概念学習にとどまらず、常に具体的な社会現象を題材とします。その事で「わたし」から集団までの基礎概念を他の具体的な社会現象にも適用できる応用力を培います。

最終的に、社会学のミクロからマクロまでの視点とその考え方の基礎を習得する事を目標とします。

- - - 到達目標 - - -

社会的動物としての「わたし」について、自身の言葉で説明することができる(知識・理解)

「行為」「コミュニケーション」「集団」について、自身の言葉で説明することができる(知識・理解)

身近な社会現象について、社会学的見解を小論文として記述できる(技能)

身近な社会事象について、社会学的視点に基づく独自の見解を提起することができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：毎回の講義終了時に指示した課題(次回講義テーマに関わるもの)について、関連書籍およびインターネット上の情報に当たって知識を得ておいてください(90分)。

復習：毎回の講義後に当該講義テーマについて要点を整理した上で、自身の考えを文章化しておいてください(90分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：社会学の学問的特徴と基礎概念を理解しそれを自身の言葉で説明できるか、および身近な社会現象を社会学的に解説できるか、の2点を評価基準とします。

評価方法：定期試験のみによります。他の評価方法は用いません。なお、社会状況から学内の教室で定期試験ができない場合は期末レポート(1回)に代えるものとします。

- - - テキスト - - -

使用しません。

- - - 参考書 - - -

使用しません。

- - - 履修上の留意点 - - -

きちんと出席していないと単位取得はおぼつかないので特別な理由がない限り休まずに出席するようにしてください。こちらからの問いかけには答えるなど、積極的に授業に参加してください。居眠り・私語・許可された場合以外でのスマホ使用等、授業に無関係な事は行わず授業に集中するようにお願いします。

- - - 授業計画 - - -

第1回 ガイダンス(スタートアップ授業(動画配信))

第2回 「わたし」(1)：「わたし」とは何か

第3回 「わたし」(2)：「わたし」と社会

第4回 行為(1)：行為と行動

第5回 行為(2)：行為類型

第6回 行為(3)：社会化とルール

第7回 コミュニケーション(1)：コミュニケーション理論

第8回 コミュニケーション(2)：地位と役割

第9回 コミュニケーション(3)：役割理論

第10回 コミュニケーション(4)：コミュニケーションと「意味」

第11回 集団(1)：人の集まり方5種類

第12回 集団(2)：集団成立の条件

第13回 集団(3)：集団類型

第14回 集団(4)：集団と組織

第15回 「私」から「集団」へ：総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/c9rv8r32ond9qyltc717unz00sq1j3zj>

花野 裕康

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・4時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

この講義は、社会学A、Bにおける前半の科目で、社会学の入門（「わたし」から集団まで）を学ぶものです（Aだけでの受講でももちろん構いません）。具体的には、

社会の中の「わたし」（みなさん一人一人のことです）を出発点に考察していきます。

社会学の基礎概念である「行為」「コミュニケーション」「集団」について、この順序で学びます。つまり「わたし」から徐々に考察範囲を広げていきます。

の考察は単に抽象的な概念学習にとどまらず、常に具体的な社会現象を題材とします。その事で「わたし」から集団までの基礎概念を他の具体的な社会現象にも適用できる応用力を培います。

最終的に、社会学のミクロからマクロまでの視点とその考え方の基礎を習得する事を目標とします。

- - - 到達目標 - - -

社会的動物としての「わたし」について、自身の言葉で説明することができる(知識・理解)

「行為」「コミュニケーション」「集団」について、自身の言葉で説明することができる(知識・理解)

身近な社会現象について、社会学的見解を小論文として記述できる(技能)

身近な社会事象について、社会学的視点に基づく独自の見解を提起することができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：毎回の講義終了時に指示した課題（次回講義テーマに関わるもの）について、関連書籍およびインターネット上の情報に当たって知識を得ておいてください（90分）。

復習：毎回の講義後に当該講義テーマについて要点を整理した上で、自身の考えを文章化しておいてください（90分）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：社会学の学問的特徴と基礎概念を理解しそれを自身の言葉で説明できるか、および身近な社会現象を社会学的に解説できるか、の2点を評価基準とします。

評価方法：定期試験のみによります。他の評価方法は使いません。なお、社会状況から学内の教室で定期試験ができない場合は期末レポート（1回）に代えるものとします。

- - - テキスト - - -

使用しません。

- - - 参考書 - - -

使用しません。

- - - 履修上の留意点 - - -

きちんと出席していないと単位取得はおぼつかないので特別な理由がない限り休まずに出席するようにしてください。こちらからの問いかけには答えるなど、積極的に授業に参加してください。居眠り・私語・許可された場合以外でのスマホ使用等、授業に無関係な事は行わず授業に集中するようにお願いします。

- - - 授業計画 - - -

第1回 ガイダンス（スタートアップ授業（動画配信））

第2回 「わたし」(1)：「わたし」とは何か

第3回 「わたし」(2)：「わたし」と社会

第4回 行為(1)：行為と行動

第5回 行為(2)：行為類型

第6回 行為(3)：社会化とルール

第7回 コミュニケーション(1)：コミュニケーション理論

第8回 コミュニケーション(2)：地位と役割

第9回 コミュニケーション(3)：役割理論

第10回 コミュニケーション(4)：コミュニケーションと「意味」

第11回 集団(1)：人の集まり方5種類

第12回 集団(2)：集団成立の条件

第13回 集団(3)：集団類型

第14回 集団(4)：集団と組織

第15回 「私」から「集団」へ：総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/k1wrju1wz7fh1baa0jvu9h7ulpjedg6y>)

平田 暢

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・1時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

現実に行っている現象や趨勢の分析を通して現代社会を考察していく。「趨勢」とは、「時代の趨勢」という言葉が使われるように、現状から読み取ることのできる傾向や動向、成り行きを意味する。

まず、身近なものとして家族の変容や少子化、最近話題の格差や社会的不平等といった個々の趨勢や現象の分析を行っていく。それらの作業を通して、現代社会をもっとも根底的な部分で動かしている趨勢は何なのか、またその中心原理がどのようなものであるか考察する。あわせて、戦後の日本社会がたどってきた道筋と直面する問題、解決すべき課題等も明らかにしていきたい。

- - - 到達目標 - - -

現代社会の趨勢に関する基本的な知識と理解が身につく、説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習

資料は早めに配布するので、事前に内容に目を通し、理解できない点や疑問点を自分の課題として明らかにしておくこと。また、「STOP & THINK」の問いを考えておくこと(60分)。

復習

講義後は、事前の課題が解決できたか否かの確認を中心に復習しておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

現代社会の趨勢に関する基本的な知識と理解が身につく、説明できることを評価の基準とする。

評価方法

定期試験の成績のみで評価する(100%)。

- - - テキスト - - -

使用しない。講義中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

原純輔・盛山和夫(著),1999,『社会階層 豊かさの中の不平等』,東京大学出版会.

ISBN-13: 978-4130530125

真木悠介(著),2003,『時間の比較社会学』,岩波現代文庫.

ISBN-13: 978-4006001087

山田昌弘(著),2007,『希望格差社会 「負け組」の絶望感が日本を引き裂く』,ちくま文庫.

ISBN-13: 978-4480423085

篠原清夫・栗田真樹(編著),2016,『大学生のための社会学入門』,晃洋書房.

ISBN-13: 978-4771027176

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 社会学とはどのような学問か
- 3 家族の変容(1)
- 4 家族の変容(2)
- 5 少子化の進展(1)
- 6 少子化の進展(2)
- 7 社会的不平等と格差(1)
- 8 社会的不平等と格差(2)
- 9 社会の情報化と監視(1)
- 10 社会の情報化と監視(2)
- 11 社会的ジレンマと環境問題(1)
- 12 社会的ジレンマと環境問題(2)
- 13 地域社会の変容(1)
- 14 地域社会の変容(2)
- 15 全体のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/xg92ghdlzk5e00wvjyn5j1kgl14fsf18>)

xg92ghdlzk5e00wvjyn5j1kgl14fsf18)

平田 暢

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・4 時限 試験時間割：2021/07/24 4 時限

- - - 概要 - - -

現実に行っている現象や趨勢の分析を通して現代社会を考察していく。「趨勢」とは、「時代の趨勢」という言葉が使われるように、現状から読み取ることのできる傾向や動向、成り行きを意味する。

まず、身近なものとして家族の変容や少子化、最近話題の格差や社会的不平等といった個々の趨勢や現象の分析を行っていく。それらの作業を通して、現代社会をもっとも根底的な部分で動かしている趨勢は何なのか、またその中心原理がどのようなものであるか考察する。あわせて、戦後の日本社会がたどってきた道筋と直面する問題、解決すべき課題等も明らかにしていきたい。

- - - 到達目標 - - -

現代社会の趨勢に関する基本的な知識と理解が身につく、説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習

資料は早めに配布するので、事前に内容に目を通し、理解できない点や疑問点を自分の課題として明らかにしておくこと。また、「STOP & THINK」の問いを考えておくこと(60分)。

復習

講義後は、事前の課題が解決できたか否かの確認を中心に復習しておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

現代社会の趨勢に関する基本的な知識と理解が身につく、説明できることを評価の基準とする。

評価方法

定期試験の成績のみで評価する(100%)。

- - - テキスト - - -

使用しない。講義中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

原純輔・盛山和夫(著),1999,『社会階層 豊かさの中の不平等』,東京大学出版会.

ISBN-13: 978-4130530125

真木悠介(著),2003,『時間の比較社会学』,岩波現代文庫.

ISBN-13: 978-4006001087

山田昌弘(著),2007,『希望格差社会 「負け組」の絶望感が日本を引き裂く』,ちくま文庫.

ISBN-13: 978-4480423085

篠原清夫・栗田真樹(編著),2016,『大学生のための社会学入門』,晃洋書房.

ISBN-13: 978-4771027176

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 社会学とはどのような学問か
- 3 家族の変容(1)
- 4 家族の変容(2)
- 5 少子化の進展(1)
- 6 少子化の進展(2)
- 7 社会的不平等と格差(1)
- 8 社会的不平等と格差(2)
- 9 社会の情報化と監視(1)
- 10 社会の情報化と監視(2)
- 11 社会的ジレンマと環境問題(1)
- 12 社会的ジレンマと環境問題(2)
- 13 地域社会の変容(1)
- 14 地域社会の変容(2)
- 15 全体のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/5af7fubcfgefjet3untxn66z3zdt711v>)

本多 康生

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・4時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人間が集散的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、家族・宗教・労働・地域社会・医療・障害・教育・メディア・現代文化・環境問題・ジェンダーなどのテーマに即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。特に、身近な問題からグローバルな社会事象までを総合的に分析する社会学の問題把握の特性を、重点的に教授していく。講義では、視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。

- - - 到達目標 - - -

社会的な物の見方を理解し、現代の様々な社会事象について多角的な視野から考察できる。(知識・理解)

自身の見解や立場を相対化し、問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

ノートや配付レジュメを見直したり、授業中に紹介した参考書に目を通すなど、各講義の後に復習をすることが望ましい。(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

各回の授業の最後に提出するリアクションペーパー(30%)、中間レポート(20%)、定期試験の成績(50%)。

リアクションペーパー：各回の授業内容を理解した上で、当該テーマについて独自の見解を述べられるかどうかを評価基準とする。

中間レポート・定期試験：社会学の基礎的概念と物の見方を理解した上で、現代の様々な社会事象について、多角的な視野から独自の見解を論理的に述べられるかどうかを評価基準とする。

- - - テキスト - - -

講義毎にレジュメを配布する。各講義では、テーマに対応した視聴覚資料を的確な問題意識を持って使用する。

- - - 履修上の留意点 - - -

受講にあたって特別な知識は必要としないが、テレビや新聞報道の記事などを通じて、時事問題に関心を持ってほしい。

毎回のリアクションペーパーや中間レポートの提出など、相当の負担があることを十分に理解した上で受講してもらいたい。

- - - 授業計画 - - -

講義内容や順序は、受講者の理解度に応じて変更される可能性がある。

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 社会学のパラドクス
- 3 家族を社会学する
- 4 宗教を社会学する
- 5 産業・労働を社会学する
- 6 地域社会を社会学する
- 7 医療を社会学する
- 8 障害を社会学する
- 9 教育を社会学する
- 10 メディアを社会学する
- 11 現代文化を社会学する
- 12 環境問題を社会学する
- 13 ジェンダーを社会学する
- 14 フィールドワーク入門
- 15 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/98nms97yc2wd8tem3wue6st4w29it2fa>)

本多 康生

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人間が集散的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、家族・宗教・労働・地域社会・医療・障害・教育・メディア・現代文化・環境問題・ジェンダーなどのテーマに即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。特に、身近な問題からグローバルな社会事象までを総合的に分析する社会学の問題把握の特性を、重点的に教授していく。講義では、視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。

- - - 到達目標 - - -

社会的な物の見方を理解し、現代の様々な社会事象について多角的な視野から考察できる。(知識・理解)

自身の見解や立場を相対化し、問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

ノートや配付レジюмеを見直したり、授業中に紹介した参考書に目を通すなど、各講義の後に復習をすることが望ましい。(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

各回の授業の最後に提出するリアクションペーパー(30%)、中間レポート(20%)、定期試験の成績(50%)。

リアクションペーパー：各回の授業内容を理解した上で、当該テーマについて独自の見解を述べられるかどうかを評価基準とする。

中間レポート・定期試験：社会学の基礎的概念と物の見方を理解した上で、現代の様々な社会事象について、多角的な視野から独自の見解を論理的に述べられるかどうかを評価基準とする。

- - - テキスト - - -

講義毎にレジюмеを配布する。各講義では、テーマに対応した視聴覚資料を的確な問題意識を持って使用する。

- - - 履修上の留意点 - - -

受講にあたって特別な知識は必要としないが、テレビや新聞報道の記事などを通じて、時事問題に関心を持ってほしい。

毎回のリアクションペーパーの提出など、非常に大きな負担があることを理解した上で受講してもらいたい。

- - - 授業計画 - - -

講義内容や順序は、受講者の理解度に応じて変更される可能性がある。

- 1 イントロダクション(スタートアップ授業)
- 2 社会学のパラドクス
- 3 家族を社会学する
- 4 宗教を社会学する
- 5 産業・労働を社会学する
- 6 地域社会を社会学する
- 7 医療を社会学する
- 8 障害を社会学する
- 9 教育を社会学する
- 10 メディアを社会学する
- 11 現代文化を社会学する
- 12 環境問題を社会学する
- 13 ジェンダーを社会学する
- 14 フィールドワーク入門
- 15 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/1f80vuz2ajj3eyr73zmpv16nuxn8hk5i>)

開田 奈穂美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5時限 試験時間割：2021/07/24 4時限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人と人との関係によって作り出されている人間社会を研究対象とするものである。社会学はきわめて多様なテーマを問うことができる学問である。現代社会に生じるさまざまな問題を社会学はどのように解明できるのだろうか。

この講義の前半では、社会学がこれまで積み上げてきた現代社会を理解するための概念や枠組みについて学ぶ。後半では、いくつかの個別領域について検討し、現代社会をとりまく問題に対する社会学的アプローチを身につけていく。

- - - 到達目標 - - -

社会を理解し、問題意識をもってかかわる力を身につける(知識・理解)

論理的に物事を考え、表現する力を身につける(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義終了後、次回の講義テーマについて述べるので、次回講義までにそのテーマについて知りたいこと、わからないことについて考えておくこと。(60分)
 講義終了後、配布物を再読し、興味関心を抱いた内容、その理由について考えておくこと。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、授業への参加度20%。期末試験では授業の基本的な内容を理解し、その内容を説明できるかどうかを評価する。授業への参加度については、授業終了後(毎回ではない、いつ提出かは事前に告知しない)に提出するレスポンスシートの内容から授業への理解度を評価する。

- - - テキスト - - -

特に使用しない、授業中に資料等を配布する。

- - - 参考書 - - -

社会福祉士養成講座編集委員会編、2014『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム【第3版】』中央法規出版 ISBN 9784805839300
 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019『社会学(新版)』有斐閣 ISBN 9784641053892

- - - 履修上の留意点 - - -

グループでのディスカッション等も交えながら進行しますので、他の学生と一緒に議論し、考えたいという学生の履修を歓迎します。ディスカッション以外での私語など、他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 社会学の方法論
3. 社会指標と社会移動
4. 社会階層と日本型格差社会
5. 経済・労働市場と階層
6. 社会変動と近代化
7. 人口と福祉国家
8. 生活の理解・消費社会論
9. 生活の質を測る
10. 家族という社会現象
11. 家族の機能
12. 現代日本の家族変容
13. 地域とコミュニティ
14. 都市化と地域社会
15. コミュニケーションとメディア

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/susu48rn3596m3wdunb495s5v5g4wvel>)

開田 奈穂美

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・二部2時限 試験時間割：2021/07/28 夜2限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人と人との関係によって作り出されている人間社会を研究対象とするものである。社会学はきわめて多様なテーマを問うことができる学問である。現代社会に生じるさまざまな問題を社会学はどのように解明できるのだろうか。

この講義の前半では、社会学がこれまで積み上げてきた現代社会を理解するための概念や枠組みについて学ぶ。後半では、いくつかの個別領域について検討し、現代社会をとりまく問題に対する社会学的アプローチを身につけていく。

- - - 到達目標 - - -

社会を理解し、問題意識をもってかかわる力を身につける(知識・理解)

論理的に物事を考え、表現する力を身につける(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義終了後、次回の講義テーマについて述べるので、次回講義までにそのテーマについて知りたいこと、わからないことについて考えておくこと。(60分)
 講義終了後、配布物を再読し、興味関心を抱いた内容、その理由について考えておくこと。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、授業への参加度20%。期末試験では授業の基本的な内容を理解し、その内容を説明できるかどうかを評価する。授業への参加度については、授業終了後(毎回ではない、いつ提出かは事前に告知しない)に提出するレスポンスシートの内容から授業への理解度を評価する。

- - - テキスト - - -

特に使用しない、授業中に資料等を配布する。

- - - 参考書 - - -

社会福祉士養成講座編集委員会編、2014『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム【第3版】』中央法規出版 ISBN 9784805839300
 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019『社会学(新版)』有斐閣 ISBN 9784641053892

- - - 履修上の留意点 - - -

グループでのディスカッション等も交えながら進行しますので、他の学生と一緒に議論し、考えたいという学生の履修を歓迎します。ディスカッション以外での私語など、他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 社会学の方法論
3. 社会指標と社会移動
4. 社会階層と日本型格差社会
5. 経済・労働市場と階層
6. 社会変動と近代化
7. 人口と福祉国家
8. 生活の理解・消費社会論
9. 生活の質を測る
10. 家族という社会現象
11. 家族の機能
12. 現代日本の家族変容
13. 地域とコミュニティ
14. 都市化と地域社会
15. コミュニケーションとメディア

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/6t0y3fcs13y7x6c4xosikkhssty4pd9>)

井手 靖子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・1時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

今日の社会問題をどのように考えるべきか、そもそも、社会問題とは何か、社会問題に対して社会がどのように捉えているのか、情報化社会といわれる今日、その情報をどのように受け止めるべきなのか。

本講義では、身の回りの出来事だけではなく、現代社会への関心を深め、社会学的なものの方や説明の仕方を学ぶ方法を提供します。現代社会への関心を深めるために、日本社会が直面している重要な社会問題のいくつかを取り上げ、社会学の概念や理論を用いて説明を行っていきます。私たちが社会にいかに関与しているかということ、つまり社会的存在であることを丁寧に考えいく中で、社会を生きること、社会と向き合うことについて考えを深めてもらいたいと思います。また、講義の中でビデオの鑑賞を行い、映像から自由な発想を獲得してもらいたいと考えます。

- - - 到達目標 - - -

氾濫する情報の中から必要な情報を取捨選択し、得られた情報に基づいて、社会の発展に対して独自の視点から考察することができるようになる(知識・理解)

常に社会の中で起こっている事柄に対して、強い関心をもって接する姿勢を身につけることができるようになる(態度・志向性)

様々な言説に対して常に疑問を持ち、積極的に疑問を解決するための発想力と姿勢をもつことができるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

テーマごとに配布する資料を熟読し、疑問点や自らの考えをまとめてください。(30分)
 また、講義で取り扱うテーマ以外でも質問や話したいことがあれば、遠慮なく聞きに来て下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：学期末の定期試験を80%、平常点として講義中での積極的発言および小レポート等で20%、その総合で評価を行います。

評価基準：身近な出来事を既存の枠組みにとらわれることなく、論理的かつ社会学な視点で論じることができるか、常に社会に対する問題意識を持ち、積極的に自らの意見を「自分のことば」で論じることができるか、で評価します。

- - - テキスト - - -

図書の指定は特にありません。

- - - 参考書 - - -

講義中において適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

常に社会問題に関心を持ち、積極的に授業に参加してください。また、固定概念や一般常識にとらわれず、自由な発想と柔軟な姿勢を心がけてください。質問や要望については随時受け付けます。

- - - 授業計画 - - -

1 講義の概要と現代社会の諸問題(スタートアップ授業)

2~5 家族の変容とジェンダー論

6 映画鑑賞

7~9 女性天皇制論

10~12 恋愛の社会学

13~14 若者の現状

15 身近な社会問題をどう捉えるか

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/e8kni2pumu8bhrau431796icw5s6o4kb>)

井手 靖子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

今日の社会問題をどのように考えるべきか、そもそも、社会問題とは何か、社会問題に対して社会がどのように捉えているのか、情報化社会といわれる今日、その情報をどのように受け止めるべきなのか。

本講義では、身の回りの出来事だけではなく、現代社会への関心を深め、社会学的なものの方や説明の仕方を学ぶ方法を提供します。現代社会への関心を深めるために、日本社会が直面している重要な社会問題のいくつかを取り上げ、社会学の概念や理論を用いて説明を行っていきます。私たちが社会にいかに関与しているかということ、つまり社会的存在であることを丁寧に考えいく中で、社会を生きること、社会と向き合うことについて考えを深めてもらいたいと思います。また、講義の中でビデオの鑑賞を行い、映像から自由な発想を獲得してもらいたいと考えます。

- - - 到達目標 - - -

氾濫する情報の中から必要な情報を取捨選択し、得られた情報に基づいて、社会の発展に対して独自の視点から考察することができるようになる(知識・理解)

常に社会の中で起こっている事柄に対して、強い関心をもって接する姿勢を身につけることができるようになる(態度・志向性)

様々な言説に対して常に疑問を持ち、積極的に疑問を解決するための発想力と姿勢をもつことができるようになる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

テーマごとに配布する資料を熟読し、疑問点や自らの考えをまとめてください。(30分)
 また、講義で取り扱うテーマ以外でも質問や話したいことがあれば、遠慮なく聞きに来て下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価方法：学期末の定期試験を80%、平常点として講義中での積極的発言および小レポート等で20%、その総合で評価を行います。

評価基準：身近な出来事を既存の枠組みにとらわれることなく、論理的かつ社会学な視点で論じることができるか、常に社会に対する問題意識を持ち、積極的に自らの意見を「自分のことば」で論じることができるか、で評価します。

- - - テキスト - - -

図書の指定は特にありません。

- - - 参考書 - - -

講義中において適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

常に社会問題に関心を持ち、積極的に授業に参加してください。また、固定概念や一般常識にとらわれず、自由な発想と柔軟な姿勢を心がけてください。質問や要望については随時受け付けます。

- - - 授業計画 - - -

1 講義の概要と現代社会の諸問題(スタートアップ授業)

2~5 家族の変容とジェンダー論

6 映画鑑賞

7~9 女性天皇制論

10~12 恋愛の社会学

13~14 若者の現状

15 身近な社会問題をどう捉えるか

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/a1ybwa8og9ak3fdre1uw5vmwg1vcz2to>)

高岡 弘幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・2時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

人間は一人きりで生きていくことはできない。生まれたときから家族・親戚、学校、会社あるいは友人・知人関係、サークル、インターネットの輪といった、何らかの集団や組織に所属することになる。では、そうした集団・組織の内部での人間関係はどのように決められているのだろうか。

つまり、この授業では、日本人が、まったく疑問を抱くことなく、当たり前のように結ぶ人間関係の具体的な事例の紹介と分析をとおして、社会学の考え方や基礎知識、分析方法を学ぶことを目的としている。

また、こうした課題は、日常生活と切り離された、教室の内側だけでおさまるものではない。受講生自身の、トラブルも含む、さまざまな人間関係の経験と記憶、さらには、新聞、テレビ、インターネットなど各種メディアに、授業と関連する出来事や事件があふれ返っている。この授業を履修するにあたり、日頃から、「人間関係」「集団・組織」をキーワードとして、さまざまな情報を収集するよう心掛けてもらいたい。

- - - 到達目標 - - -

主に日本人の人間関係のあり方といった具体的な事例をもとに、社会学の考え方や基礎的な専門用語、分析方法を説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回受講後、授業で説明したキーワード(専門用語)を具体的な事例をもとに意味内容を確認しておくこと。(30分)
 また、各自の問題関心にしたがって、社会学だけではなく、歴史学、民俗学、宗教学、文化人類学の専門書を幅広く読み、次回の講義にそなえること。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末テスト(100%)で、上記「授業の到達目標等」の項目に従って採点する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。講義中に適宜資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

希望格差社会 ISBN 978-4-480-42308-5
 下流社会 ISBN 4-334-03321-0
 無縁社会 ISBN 978-4-16-373380-7
 事前に購入する必要はない。

- - - 履修上の留意点 - - -

必要に応じてビデオ、DVD教材を使用する予定である。

- - - 授業計画 - - -

スタートアップ授業(動画配信)
 「社会学」とは何か? : 社会と集合表象
 アニメ『となりのトトロ』の解説(1) : 本家・分家関係、文化資本、家格
 同上(2) : 村人を行動に駆り立てるものとは?
 日本的社会 : 世間と贈与・互酬性、タテ社会
 西欧の市民社会と都市 : 日本の世間との比較
 日本的人間関係を規定する力 : 空気
 社会の構造を探る : 異人(stranger)
 村八分再考(1) : 犯人探し・確定の方法
 同上(2) : 何が罪の重さを決めるのか?
 同上(3) : 連座と縁座(罪をかぶる範囲)・ケガレ
 日本の近代化(1) : 社会の変化
 同上(2) : 学歴社会の誕生と変容
 同上(3) : 一億総中流社会・消費社会
 同上(4) : 下流社会・格差社会・ネット依存症
 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/
 di4co3yd8tfe32thz0kyyfppww091xj4g)

高岡 弘幸

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：月・3時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

人間は一人きりで生きていくことはできない。生まれたときから家族・親戚、学校、会社あるいは友人・知人関係、サークル、インターネットの輪といった、何らかの集団や組織に所属することになる。では、そうした集団・組織の内部での人間関係はどのように決められているのだろうか。

つまり、この授業では、日本人が、まったく疑問を抱くことなく、当たり前のように結ぶ人間関係の具体的な事例の紹介と分析をとおして、社会学の考え方と基礎知識、分析方法を学ぶことを目的としている。

また、こうした課題は、日常生活と切り離された、教室の内側だけでおさまるものではない。受講生自身の、トラブルも含む、さまざまな人間関係の経験と記憶、さらには、新聞、テレビ、インターネットなど各種メディアに、授業と関連する出来事や事件があふれ返っている。この授業を履修するにあたり、日頃から、「人間関係」「集団・組織」をキーワードとして、さまざまな情報を収集するよう心掛けてもらいたい。

- - - 到達目標 - - -

主に日本人の人間関係のあり方といった具体的な事例をもとに、社会学の考え方や基礎的な専門用語、分析方法を説明することができる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

各回受講後、授業で説明したキーワード(専門用語)を具体的な事例をもとに意味内容を確認しておくこと。(30分)
 また、各自の問題関心にしたがって、社会学だけではなく、歴史学、民俗学、宗教学、文化人類学の専門書を幅広く読み、次回の講義にそなえること。(60分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末テスト(100%)で、上記「授業の到達目標等」の項目に従って採点する。

- - - テキスト - - -

特に指定しない。講義中に適宜資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

希望格差社会 ISBN 978-4-480-42308-5
 下流社会 ISBN 4-334-03321-0
 無縁社会 ISBN 978-4-16-373380-7
 事前に購入する必要はない。

- - - 履修上の留意点 - - -

必要に応じてビデオ、DVD教材を使用する予定である。

- - - 授業計画 - - -

スタートアップ授業(動画配信)
 「社会学」とは何か? : 社会と集合表象
 アニメ『となりのトトロ』の解説(1) : 本家・分家関係、文化資本、家格
 同上(2) : 村人を行動に駆り立てるものとは?
 日本的社会 : 世間と贈与・互酬性、タテ社会
 西欧の市民社会と都市 : 日本の世間との比較
 日本的人間関係を規定する力 : 空気
 社会の構造を探る : 異人(stranger)
 村八分再考(1) : 犯人探し・確定の方法
 同上(2) : 何が罪の重さを決めるのか?
 同上(3) : 連座と縁座(罪をかぶる範囲)・ケガレ
 日本の近代化(1) : 社会の変化
 同上(2) : 学歴社会の誕生と変容
 同上(3) : 一億総中流社会・消費社会
 同上(4) : 下流社会・格差社会・ネット依存症
 まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/kedy7nlw52hhdxm05vwnkm5kbfnwabjx>)

花野 裕康

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

この講義は、社会学A、Bにおける後半の科目で、社会学の実践を学ぶものです（Bだけでの受講でも十分理解できるように授業するので問題ありません）。具体的には、社会学Aで学んだ事柄の簡単な復習を経て、

社会の構造と機能、つまり「社会のしくみ」について学びます。

の応用として、全体社会のありさまを様々な角度（産業・大衆・文化・国家/民族/世界）から具体的に考察します。

同様に の応用として、時系列で見た社会の変化（社会変動）を具体例を通して考察します。

最終的に、現代社会のありさまを時間的空間的な広さと深みをもったものとして理解し、なおかつ他の社会現象に対してもその理解を応用できるようになることを目標とします。

- - - 到達目標 - - -

社会構造について自分の言葉で説明する事ができる(知識・理解)

全体社会の様々な様相および社会変動について、自分の言葉で説明する事ができる(知識・理解)

身近な社会現象について、その全体社会的および時系列的視点を含めた社会学的見解を小論文として記述できる(技能)

身近な社会事象について、その全体社会的および時系列的視点を含めた社会学的視点に基づき独自の見解を提起することができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：毎回の講義終了時に指示した課題（次回講義テーマに関わるもの）について、関連書籍およびインターネット上の情報に当たって知識を得ておいてください（90分）。

復習：毎回の講義後に当該講義テーマについて要点を整理した上で、自身の考えを文章化しておいてください（90分）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：全体社会の社会構造を理解しそれを自分の言葉で説明できるか、および社会変動について社会構造の変化という点から自分の言葉で説明できるか、の2点を評価基準とします。

評価方法：定期試験のみによります。他の評価方法は使いません。なお社会状況から学内の教室で定期試験ができない場合は期末レポート（1回）に代えるものとします。

- - - テキスト - - -

使用しません。

- - - 参考書 - - -

使用しません。

- - - 履修上の留意点 - - -

きちんと出席していないと単位取得はおぼつかないので特別な理由がない限り休まずに出席するようにしてください。こちらからの問いかけには答えるなど、積極的に授業に参加してください。居眠り・私語・許可された場合以外でのスマホ使用等、授業に無関係な事は行わず授業に集中するようにお願いします。

- - - 授業計画 - - -

第1回 ガイダンス（スタートアップ授業（動画配信））

第2回 社会構造(1)：社会の「構造」

第3回 社会構造(2)：社会の「機能」

第4回 社会構造(3)：社会機能の諸類型

第5回 社会構造(4)：階層・階級・社会移動

第6回 全体社会(1)：「全体」社会とは何か

第7回 全体社会(2)：産業社会

第8回 全体社会(3)：大衆社会

第9回 全体社会(4)：文化社会

第10回 全体社会(5)：国家・民族・世界

第11回 社会変動(1)：社会的分業

第12回 社会変動(2)：合理化する社会

第13回 社会変動(3)：情報化する社会

第14回 社会変動(4)：グローバル化する社会

第15回 社会の構造・全体・変動：総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/54jpwhbzu25erwgs1bd01uaikuasliu)

花野 裕康

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・4時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

この講義は、社会学A、Bにおける後半の科目で、社会学の実践を学ぶものです（Bだけでの受講でも十分理解できるように授業するので問題ありません）。具体的には、社会学Aで学んだ事柄の簡単な復習を経て、

社会の構造と機能、つまり「社会のしくみ」について学びます。

の応用として、全体社会のありさまを様々な角度（産業・大衆・文化・国家/民族/世界）から具体的に考察します。

同様に の応用として、時系列で見た社会の変化（社会変動）を具体例を通して考察します。

最終的に、現代社会のありさまを時間的空間的な広さと深みをもったものとして理解し、なおかつ他の社会現象に対してもその理解を応用できるようになることを目標とします。

- - - 到達目標 - - -

社会構造について自分の言葉で説明する事ができる(知識・理解)

全体社会の様々な様相および社会変動について、自分の言葉で説明する事ができる(知識・理解)

身近な社会現象について、その全体社会的および時系列的視点を含めた社会的見解を小論文として記述できる(技能)

身近な社会事象について、その全体社会的および時系列的視点を含めた社会的視点に基づき独自の見解を提起することができる(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：毎回の講義終了時に指示した課題（次回講義テーマに関わるもの）について、関連書籍およびインターネット上の情報に当たって知識を得ておいてください（90分）。

復習：毎回の講義後に当該講義テーマについて要点を整理した上で、自身の考えを文章化しておいてください（90分）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準：全体社会の社会構造を理解しそれを自分の言葉で説明できるか、および社会変動について社会構造の変化という点から自分の言葉で説明できるか、の2点を評価基準とします。

評価方法：定期試験のみによります。他の評価方法は使いません。なお社会状況から学内の教室で定期試験ができない場合は期末レポート（1回）に代えるものとします。

- - - テキスト - - -

使用しません。

- - - 参考書 - - -

使用しません。

- - - 履修上の留意点 - - -

きちんと出席していないと単位取得はおぼつかないので特別な理由がない限り休まずに出席するようにしてください。こちらからの問いかけには答えるなど、積極的に授業に参加してください。居眠り・私語・許可された場合以外でのスマホ使用等、授業に無関係な事は行わず授業に集中するようにお願いします。

- - - 授業計画 - - -

第1回 ガイダンス（スタートアップ授業（動画配信））

第2回 社会構造(1)：社会の「構造」

第3回 社会構造(2)：社会の「機能」

第4回 社会構造(3)：社会機能の諸類型

第5回 社会構造(4)：階層・階級・社会移動

第6回 全体社会(1)：「全体」社会とは何か

第7回 全体社会(2)：産業社会

第8回 全体社会(3)：大衆社会

第9回 全体社会(4)：文化社会

第10回 全体社会(5)：国家・民族・世界

第11回 社会変動(1)：社会的分業

第12回 社会変動(2)：合理化する社会

第13回 社会変動(3)：情報化する社会

第14回 社会変動(4)：グローバル化する社会

第15回 社会の構造・全体・変動：総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/hi0808c0x8o9i5cila48vdlsgupz3m8>

平田 暢

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・1時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

概念とは理論に関連した、物や行動、認識結果、現象などの正確な定義である。命題とは概念間の関係についての言明であり、判断を言葉で表したものである。多くの社会学者が、現代社会を説明するために概念や命題を提案してきた。

本講義では、大きく分けて、社会(的なもの)が個人を拘束する側面と、個々人の行動が集積されて社会現象が起こる側面の2つに注目し、それらにかかわる概念や命題に解説を加えていく。前者の文脈では、「与えられた役割が、普通の人を残酷行為に駆り立てる凶器となりうる」現象などを、後者の文脈では「ある状況が起こりそうだと考えて人々が行動すると、そう思わなければ起こらなかったはずの状況が実現してしまう」現象などを紹介する。

- - - 到達目標 - - -

社会学を中心とした複数の概念や命題に関する知識と理解が身につく、説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習

資料は早めに配布するので、事前に内容に目を通し、理解できない点や疑問点を自分の課題として明らかにしておくこと。また、「STOP & THINK」の問いを考えておくこと(60分)。

復習

講義後は、事前の課題が解決できたか否かの確認を中心に復習しておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

社会学を中心とした複数の概念や命題に関する知識と理解が身につく、説明できることを評価の基準とする。

評価方法

定期試験の成績のみで評価する(100%)。

- - - テキスト - - -

使用しない。講義中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

作田啓一・井上俊(編著),1986,『命題コレクション社会学』,筑摩書房。

ISBN-13: 978-4480852922

E.デュルケム(著),宮島喬(訳),1985,『自殺論』,中公文庫。

ISBN-13: 978-4122012561

M.ウェーバー(著),大塚久雄(訳),1989,『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』,岩波文庫。

ISBN-13: 978-4003420935

篠原清夫・栗田真樹(編著),2016,『大学生のための社会学入門』,晃洋書房。

ISBN-13: 978-4771027176

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 自殺論(Durkheim)
- 3 犯罪の潜在的な正機能(Durkheim)
- 4 役割の功罪(Milgram/Zimbardo)
- 5 自由からの逃走(Fromm)
- 6 合理化と官僚制(1)(Weber)
- 7 合理化と官僚制(2)(Weber)
- 8 社会のリスク化(Beck)
- 9 予言の自己成就と中範囲の理論(1)(Merton)
- 10 予言の自己成就と中範囲の理論(2)(Merton)
- 11 囚人のジレンマとナッシュ均衡(1)
- 12 囚人のジレンマとナッシュ均衡(2)
- 13 社会的決定のパラドックス(1)
- 14 社会的決定のパラドックス(2)
- 15 全体のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/97xi6c65ys4ts6udgv81ild1s0jgdrf6>)

平田 暢

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・4時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

概念とは理論に関連した、物や行動、認識結果、現象などの正確な定義である。命題とは概念間の関係についての言明であり、判断を言葉で表したものである。多くの社会学者が、現代社会を説明するために概念や命題を提案してきた。

本講義では、大きく分けて、社会(的なもの)が個人を拘束する側面と、個々人の行動が集積されて社会現象が起こる側面の2つに注目し、それらにかかわる概念や命題に解説を加えていく。前者の文脈では、「与えられた役割が、普通の人を残酷行為に駆り立てる凶器となりうる」現象などを、後者の文脈では「ある状況が起こりそうだと考えて人々が行動すると、そう思わなければ起こらなかったはずの状況が実現してしまう」現象などを紹介する。

- - - 到達目標 - - -

社会学を中心とした複数の概念や命題に関する知識と理解が身につく、説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習

資料は早めに配布するので、事前に内容に目を通し、理解できない点や疑問点を自分の課題として明らかにしておくこと。また、「STOP & THINK」の問いを考えておくこと(60分)。

復習

講義後は、事前の課題が解決できたか否かの確認を中心に復習しておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

評価基準

社会学を中心とした複数の概念や命題に関する知識と理解が身につく、説明できることを評価の基準とする。

評価方法

定期試験の成績のみで評価する(100%)。

- - - テキスト - - -

使用しない。講義中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

作田啓一・井上俊(編著),1986,『命題コレクション社会学』,筑摩書房。

ISBN-13: 978-4480852922

E.デュルケム(著),宮島喬(訳),1985,『自殺論』,中公文庫。

ISBN-13: 978-4122012561

M.ウェーバー(著),大塚久雄(訳),1989,『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』,岩波文庫。

ISBN-13: 978-4003420935

篠原清夫・栗田真樹(編著),2016,『大学生のための社会学入門』,晃洋書房。

ISBN-13: 978-4771027176

- - - 授業計画 - - -

- 1 イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
- 2 自殺論(Durkheim)
- 3 犯罪の潜在的な正機能(Durkheim)
- 4 役割の功罪(Milgram/Zimbardo)
- 5 自由からの逃走(Fromm)
- 6 合理化と官僚制(1)(Weber)
- 7 合理化と官僚制(2)(Weber)
- 8 社会のリスク化(Beck)
- 9 予言の自己成就と中範囲の理論(1)(Merton)
- 10 予言の自己成就と中範囲の理論(2)(Merton)
- 11 囚人のジレンマとナッシュ均衡(1)
- 12 囚人のジレンマとナッシュ均衡(2)
- 13 社会的決定のパラドックス(1)
- 14 社会的決定のパラドックス(2)
- 15 全体のまとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

([https://fukuoka-u.box.com/s/](https://fukuoka-u.box.com/s/j05v3zjiuwlvb63y24qjz79911lzeafw)

[j05v3zjiuwlvb63y24qjz79911lzeafw](https://fukuoka-u.box.com/s/j05v3zjiuwlvb63y24qjz79911lzeafw))

本多 康生

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・4時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人間が集合的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、具体的な社会問題・社会病理現象に即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。特に、身近な問題からグローバルな社会事象までを総合的に分析する社会学の問題把握の特性を、重点的に教授していく。講義では、ドキュメンタリー・映画などの視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。

- - - 到達目標 - - -

社会的な物の見方を理解し、現代の様々な社会事象について多角的な視野から考察できる。(知識・理解)

自身の見解や立場を相対化し、問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

ノートや配付レジュメを見直したり、授業中に紹介した参考書に目を通すなど、各講義の後に復習をすることが望ましい。(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

各回の授業の最後に提出するリアクションペーパー(30%)、定期試験の成績(70%)。

リアクションペーパー：各回の授業内容を理解した上で、当該テーマについて独自の見解を述べられるかどうかを評価基準とする。

中間レポート・定期試験：社会学の基礎的概念と物の見方を理解した上で、現代の様々な社会事象について、多角的な視野から独自の見解を論理的に述べられるかどうかを評価基準とする。

- - - テキスト - - -

講義毎にレジュメを配布する。各講義では、テーマに対応した視聴覚資料を的確な問題意識を持って使用する。

- - - 履修上の留意点 - - -

毎回のリアクションペーパーや中間レポートの提出など、相当の負担があることを十分に理解した上で受講してもらいたい。

- - - 授業計画 - - -

講義内容や順序は、受講者の理解度に応じて変更する可能性がある。

- 1 インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
- 2 児童虐待
- 3 社会的孤立
- 4 メリトクラシー(能力主義)
- 5 未婚社会
- 6 監視社会
- 7 高度消費社会
- 8 都市問題
- 9 災害
- 10 性の多様性
- 11 ハンセン病問題
- 12 高齢者介護
- 13 変容する福祉国家
- 14 グローバリゼーション
- 15 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/11dy5cdotvrznpp7tbb4u1x8k5lnffdz>

本多 康生

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

社会学とは、人間が集合的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、具体的な社会問題・社会病理現象に即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。特に、身近な問題からグローバルな社会事象までを総合的に分析する社会学の問題把握の特性を、重点的に教授していく。講義では、ドキュメンタリー・映画などの視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。

- - - 到達目標 - - -

社会的な物の見方を理解し、現代の様々な社会事象について多角的な視野から考察できる。(知識・理解)

自身の見解や立場を相対化し、問い直す姿勢を持つ。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

ノートや配付レジュメを見直したり、授業中に紹介した参考書に目を通すなど、各講義の後に復習をすることが望ましい。(60分程度)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

各回の授業の最後に提出するリアクションペーパー(30%)、定期試験の成績(70%)。

リアクションペーパー：各回の授業内容を理解した上で、当該テーマについて独自の見解を述べられるかどうかを評価基準とする。

中間レポート・定期試験：社会学の基礎的概念と物の見方を理解した上で、現代の様々な社会事象について、多角的な視野から独自の見解を論理的に述べられるかどうかを評価基準とする。

- - - テキスト - - -

講義毎にレジュメを配布する。各講義では、テーマに対応した視聴覚資料を的確な問題意識を持って使用する。

- - - 履修上の留意点 - - -

毎回のリアクションペーパーや中間レポートの提出など、相当の負担があることを十分に理解した上で受講してもらいたい。

- - - 授業計画 - - -

講義内容や順序は、受講者の理解度に応じて変更する可能性がある。

- 1 インTRODクシヨン(スタートアップ授業)
- 2 児童虐待
- 3 社会的孤立
- 4 メリトクラシー(能力主義)
- 5 未婚社会
- 6 監視社会
- 7 高度消費社会
- 8 都市問題
- 9 災害
- 10 性の多様性
- 11 ハンセン病問題
- 12 高齢者介護
- 13 変容する福祉国家
- 14 グローバリゼーション
- 15 総括

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
<https://fukuoka-u.box.com/s/k7egox3tb5apow2xugzaxb6pyhco0ob>

開田 奈穂美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5時限 試験時間割：2022/01/19 4時限

- - - 概要 - - -

この講義では、社会学の基本的な概念や思考方法を紹介しながら、現代社会を把握する視点を獲得することを目的としている。社会学とかかわりのある法や経済といった近接領域との関係にも触れながら、地域や社会集団といった、社会のまとまりについて学ぶ。講義の後半では、具体的な社会問題に触れながら、「社会」のなりたちと現在生きている人々が抱える問題との関係について考えたい。

- - - 到達目標 - - -

現代の社会問題を理解し、問題意識を持ちかかわる力を身につける(知識・理解)

論理的に物事を考え、表現する力を身につける(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義終了後、次回の講義テーマについて述べるので、そのテーマについて知りたいこと、わからないことについて考えておくこと（60分）。
 講義終了後、配布物を再読し、興味関心を抱いた内容、その理由について考えておくこと（60分）。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、授業への参加度20%。期末試験では授業の基本的な内容を理解し、その内容を説明できるかどうかを評価する。授業への参加度については、授業終了後（毎回ではない、いつ提出かは事前に告知しない）に提出するレスポンスシートの内容から授業への理解度を評価する。

- - - テキスト - - -

特に使用しない、授業中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

社会福祉士養成講座編集委員会編、2014『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム【第3版】』中央法規出版 ISBN 9784805839300
 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019『社会学（新版）』有斐閣 ISBN 9784641053892

- - - 履修上の留意点 - - -

グループでのディスカッション等も交えながら進行しますので、他の学生と一緒に議論し、考えたいという学生の履修を歓迎します。ディスカッション以外での私語など、他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

- 1．イントロダクション：スタートアップ授業（動画配信）
- 2．社会的行為と秩序
- 3．社会的役割と自己
- 4．社会的役割と地位
- 5．法と社会システム
- 6．法と社会システム
- 7．社会的ジレンマ
- 8．社会的ジレンマの解消
- 9．社会関係資本
- 10．具体的な社会問題 不登校・ひきこもり
- 11．具体的な社会問題 差別、社会的排除
- 12．具体的な社会問題 犯罪、非行
- 13．具体的な社会問題 日本の貧困問題
- 14．具体的な社会問題 親密圏の社会問題
- 15．共生社会と権利

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/yyo0w3ce8d61v0r20b1m1yv2260h8nt8>)

開田 奈穂美

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・二部2時限 試験時間割：2022/01/26 夜2限

- - - 概要 - - -

この講義では、社会学の基本的な概念や思考方法を紹介しながら、現代社会を把握する視点を獲得することを目的としている。社会学とかかわりのある法や経済といった近接領域との関係にも触れながら、地域や社会集団といった、社会のまとまりについて学ぶ。講義の後半では、具体的な社会問題に触れながら、「社会」のなりたちと現在生きている人々が抱える問題との関係について考えたい。

- - - 到達目標 - - -

現代の社会問題を理解し、問題意識を持ちかかわる力を身につける(知識・理解)

論理的に物事を考え、表現する力を身につける(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

毎回の講義終了後、次回の講義テーマについて述べるので、そのテーマについて知りたいこと、わからないことについて考えておくこと(60分)。
 講義終了後、配布物を再読し、興味関心を抱いた内容、その理由について考えておくこと(60分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

期末試験80%、授業への参加度20%。期末試験では授業の基本的な内容を理解し、その内容を説明できるかどうかを評価する。授業への参加度については、授業終了後(毎回ではない、いつ提出かは事前に告知しない)に提出するレスポンスシートの内容から授業への理解度を評価する。

- - - テキスト - - -

特に使用しない、授業中に資料を配布する。

- - - 参考書 - - -

社会福祉士養成講座編集委員会編、2014『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム【第3版】』中央法規出版 ISBN 9784805839300
 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019『社会学(新版)』有斐閣 ISBN 9784641053892

- - - 履修上の留意点 - - -

グループでのディスカッション等も交えながら進行しますので、他の学生と一緒に議論し、考えたいという学生の履修を歓迎します。ディスカッション以外での私語など、他の受講生の迷惑となる行為は禁止します。

- - - 授業計画 - - -

1. イントロダクション：スタートアップ授業(動画配信)
2. 社会的行為と秩序
3. 社会的役割と自己
4. 社会的役割と地位
5. 法と社会システム
6. 法と社会システム
7. 社会的ジレンマ
8. 社会的ジレンマの解消
9. 社会関係資本
10. 具体的な社会問題 不登校・ひきこもり
11. 具体的な社会問題 差別、社会的排除
12. 具体的な社会問題 犯罪、非行
13. 具体的な社会問題 日本の貧困問題
14. 具体的な社会問題 親密圏の社会問題
15. 共生社会と権利

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/gy3bmzo7rx0ezpcw7t9f8jl7z7oazjm0>)

入江 雅仁

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・5 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

--- 概要 ---

本講義では、ミクロ経済学の土台となっている市場の理論と生産者の理論を簡単な数学や図表を織り交ぜながら解説するとともに、理解度を確かめるために、公務員試験などの過去問に基づく問題などを取り上げながら、講義を進めていきます。

なお、この講義で解説する基礎的な論旨の理解と実践的な問題を解く力を確実に習得するためには、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組む事が不可欠ですが、こうした自発的に取り組んだ経験は将来に生かされるので、予習・復習をしっかりと行ってください。

講義はOHCを利用して、計算や作図の過程などを解説しますが、解法だけでなく講義メモも作成するよう心がけて下さい。そのような講義メモの作成などを通じて、問題や解法などを視覚的・多面的に捉える力や基礎的な数学の知識を養ってください。なお、グラフを描くときには、必ず軸があらわす意味を明記するとともに各軸の関係を把握すると、理解がより深まります。

また、自力で正解にたどりつく過程を体感してもらうために、講義の復習を兼ねた簡単な小テストを実施しますので、自らの手で計算や図解をするように努めてください。この経験を活かして、いろいろな問題に対する解決策・処方箋を自らの力で見出す能力や応用力を磨いてください。

以上のように、数学や作図を用いて講義を進めますが、数学関連の知識は講義中にも解説しますので、講義に出席して講義メモを必ず作成するようにしてください。

--- 到達目標 ---

市場の要素および市場均衡について説明できる。(知識・理解)

市場均衡や比較静学を使った応用分析を考えるようになる。(態度・志向性)

費用に関する知識を身につけ、それらを図表で説明できる。(技能)

企業の利潤最大化問題を理解し、最適解を図表や計算で求める事ができる。(技能)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習(各回1~2時間程度)として、参考書やインターネットなどで専門用語の意味などを理解し、事後学習(各回2~3時間程度)で、講義中に解説した計算問題を再度解きなおしたり、作図を行ったりして、復習を重ねてください。なお、復習には、FUポータルに公開する資料や課題を利用したり、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組むなどしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

評価基準

市場均衡に関する基本的な事を図表や計算などで求めたり、現実の問題などを定量的に考察・再現できるかどうかを評価の基準とします。また、利潤最大条件の意味を理解し、その解を図表などで求められる事を評価の基準となります。

評価方法と評価の割合

基本的には、期末試験の成績:80%と平常点(小テストと課題):20%の合計100%で評価します。

その他

小テストは、復習を兼ねた問題や応用問題などを講義中に提出してもらいます。他方、課題は各自で取り組み、講義後に提出してください。

--- テキスト ---

テキストは使用せずに資料を配布予定。

--- 参考書 ---

石川秀樹(著),『経済学入門塾 ミクロ編』,中央経済社;
 石川秀樹(著),『新・経済学入門塾 計算マスター編』,中央経済社;
 茂木喜久雄(著),『らくらくミクロ・マクロ経済学入門 計算問題編』,週間住宅新聞社;
 西村和雄(著),『入門・経済学ゼミナール』,実務教育出版;
 白浜堤津耶・森脇翔太(著),『例題で学ぶ初歩からの経済学』,日本評論社;
 このほか、必要に応じて、授業中に指示します。

--- 履修上の留意点 ---

参考書などを参考にしたプリント(FUポータルを通じて印刷できるようにする予定)とOHCを利用して、講義を進める予定です。なお、OHCのメモを見落としした場合や記入漏れなどがある場合は、講義の前後などに資料を公開するので、各自でノートを書き写すように心がけてください。

また、講義の復習や応用などを兼ねた簡単な小テストなどを講義中に実施するので、必ず、講義ノートを作成してください。なお、評価対象の小テストなどは、講義ノートを作成すれば解ける問題などを予定しているので、必ず、指定時間までに提出してください。

携帯・スマートフォンを机の上などに置いたり、それらを講義中に使用するなどの行為は厳禁とします。また、配布プリントの余りなどを置く場所に指定した座席には座らないでください。

--- 授業計画 ---

授業は以下の内容を進む予定です。なお、必要に応じて、一部を変更することがあります。

- 1 市場の要素
- 2 需要と供給の法則および市場均衡
- 3 需要・供給曲線のシフトと市場均衡
- 4 比較静学の応用分析
- 5 市場均衡と連立方程式の解法
- 6 需要と供給の価格弾力性
- 7 価格弾力性と曲線の関係
- 8 需要の価格弾力性と収入の関係
- 9 需要の価格弾力性の応用分析
- 10 いろいろな費用関数
- 11 逆S字型総費用関数に関する各費用関数の関係
- 12 利潤最大化問題
- 13 損益分岐点・操業停止点
- 14 利潤最大化問題の応用分析
- 15 前期のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/xalecbbb3t69apj51ggt1x3ndks5syzf>)

藤本 浩明

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・5 時限 試験時間割：2022/01/27 3 時限

--- 概要 ---

本講義では、マクロ経済学の土台となっているマクロモデルを簡単な数学や図表を織り交ぜながら解説するとともに、理解度を確かめるために、公務員試験などの過去問に基づく問題などを取り上げながら、講義を進めていきます。

なお、この講義で解説する基礎的な論旨の理解と実践的な問題を解く力を確実に習得するためには、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組む事が不可欠ですが、こうした自発的に取り組んだ経験は将来に生かされるので、予習・復習をしっかりと行ってください。

講義はOHCを利用して、計算や作図の過程などを解説しますが、解法だけでなく講義メモも作成するよう心がけて下さい。そのような講義メモの作成などを通じて、問題や解法などを視覚的・多面的に捉える力や基礎的な数学の知識を養ってください。なお、グラフを描くときには、必ず軸があらわす意味を明記するとともに各軸の関係を把握すると、理解がより深まります。

また、自力で正解にたどりつく過程を体感してもらうために、講義の復習を兼ねた簡単な小テストを実施しますので、自らの手で計算や図解をするように努めてください。この経験を活かして、いろいろな問題に対する解決策・処方箋を自らの力で見出す能力や応用力を磨いてください。

以上のように、本講義では、数学や作図を用いて講義を進めますが、学問関連の知識は講義中にも解説しますので、講義に出席して講義メモを必ず作成するようにしてください。

--- 到達目標 ---

経済循環と産業連関表を理解し、それらを用いて経済(お金)の流れについて考えるようになる。(態度・志向性)

産業連関分析や45度線分析からGDP等の国内所得を求める事が出来る。(知識・理解)

乗数分析を通じて、経済環境の変化などが及ぼす影響について説明できる。(知識・理解)

インフレギャップ・デフレギャップについて理解したうえで、それらが生じた場合の経済状況について考えるようになる。(態度・志向性)

開放経済体系における45度線分析を理解し、その場合の国内所得を求めることができる。(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習(各回1~2時間程度)として、参考書やインターネットなどで専門用語の意味などを理解し、事後学習(各回2~3時間程度)で、講義中に解説した計算問題を再度解きなおしたり、作図を行ったりして、復習を重ねてください。つまり、合計して、毎週少なくとも3時間は予習・復習に時間を割いてください。

なお、復習には、FUポータルに公開する資料や課題を利用したり、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組むなどしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

評価基準

産業連関分析・45度線分析に関する基本的な事を図表や計算などで求めたり、現実の問題などを定量的に考察・再現できるかどうかを評価の基準とします。

評価方法と評価の割合

基本的には、期末試験の成績:80%と平常点(小テストと課題):20%の合計100%で評価します。

その他

小テストは、復習を兼ねた問題や応用問題などを講義中に提出してもらいます。他方、課題は各自で取り組み、講義後に提出してください。

--- テキスト ---

テキストは使用せずに資料を配布予定。

--- 参考書 ---

平澤典男(著),『マクロ経済学基礎理論講義』,有斐閣;
 石川秀樹(著),『経済学入門塾 マクロ編』,中央経済社;

石川秀樹(著),『新・経済学入門塾 計算マスター編』,中央経済社;

茂木喜久雄(著),『らくらくミクロ・マクロ経済学入門計算問題編』,週間住宅新聞社;

西村和雄(著),『入門・経済学ゼミナール』,実務教育出版;

白浜堤津耶・森脇翔太(著),『例題で学ぶ初歩からの経済学』,日本評論社

このほか、必要に応じて、授業中に指示します。

--- 履修上の留意点 ---

参考書などを参考にしたプリント(FUポータルを通じて印刷できるようにする予定)とOHCを利用して、講義を進める予定です。なお、OHCのメモを見落とした場合や記入漏れなどがある場合は、講義の前後などに資料を公開するので、各自でノートを書き写すように心がけてください。

また、講義の復習や応用などを兼ねた簡単な小テストなどを講義中に実施するので、必ず、講義ノートを作成してください。なお、評価対象の小テストなどは、講義ノートを作成すれば解ける問題などを予定しているので、必ず、指定時間までに提出してください。

携帯・スマートフォンを机の上などに置いたり、それらを講義中に使用するなどの行為は厳禁とします。また、配布プリントの余りなどを置く場所に指定した座席には座らないでください。

--- 授業計画 ---

授業は以下の内容を進む予定です。なお、必要に応じて、一部を変更することがあります。

- 1 スタートアップ授業:この授業について、
- 2 ミクロ経済学とマクロ経済学:経済循環とその表現
- 3 産業連関表とGDPの三面等価の法則
- 4 産業連関分析の概要
- 5 オープンモデルとレオンチェフモデルの導出
- 6 産業連関分析の行列解法
- 7 経済環境の変化と産業連関表の変化
- 8 産業連関分析の演習
- 9 マクロ消費関数に起因する産業連関モデルと45度線モデルの違い
- 10 45度線モデルの均衡国民所得と乗数分析
- 11 産業連関表モデルと45度線モデルの比較演習
- 12 インフレギャップ・デフレギャップ
- 13 開放経済と閉鎖経済体系の違い
- 14 開放経済体系における45度線分析
- 15 後期のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/0upjaf2nu3ofvfwte51r26vrme61r0ifj>)

村松 怜

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・2 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

この講義では、日本の税制問題について学びます。私たちは日々、様々な形で税を支払っていますが、そもそも「租税」とは何なのでしょう。日本の税負担は重いのでしょうか。日本の税制の特徴は何なのでしょう。近年における税制に関わる政策的課題は何なのでしょう。この講義では以上のような税制に関する基本的な内容について学び、日本税制に関する理解を深めるとともに、税制に関する近年の政策的な課題について考えることを目的とします。個別の税制の問題としては、特に所得税と消費税について学びます。また、税制問題の前提として知っておく必要がある日本財政の現状などについても学びます。

- - - 到達目標 - - -

租税に関する基本的な概念を理解している(知識・理解)

日本財政・税制の現状、特徴について理解し、説明することができる(技能)

日本税制に関する政策的な問題について批判的に検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：参考書として挙げた文献などをもとに、財政・税制の基本的な制度を理解しておく(60分)
 復習：講義で配布した資料をもとに、講義で扱った概念や制度の理解について確認する(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

<評価基準>

講義で扱った内容に沿って、財政・税制に関する基本的な概念・制度、日本の財政・税制の現状、および政策的な課題について理解し、説明できているかどうかを評価の基準とします。

<評価方法>

講義の際に出される課題(40%)、定期試験(60%)

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。配付する講義資料をもとに講義を進めます。

- - - 参考書 - - -

植松利夫(2020)『図説 日本の税制 令和元年度版』、財経詳報社 ISBN 4881774654
 その他、財務省ウェブサイトの税制関係の資料

- - - 履修上の留意点 - - -

このシラバスの内容は全面的な対面授業を前提とした場合のものであり、全部あるいは一部オンライン授業に切り替わる状況の場合には授業の方法、内容、成績評価の方法などについて変更がある可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1. 授業のガイダンス(スタートアップ授業)
 2. 財政と民主主義
 3. 財政規模の国際比較(1)
 4. 財政規模の国際比較(2)
 5. 日本財政の推移
 6. 日本の国債制度
 7. 日本の税収の構成、「租税」とは何か
 8. 税収の構成の国際比較
 9. 日本の所得税(1)
 10. 日本の所得税(2)
 11. 日本の社会保険と社会保険料(1)
 12. 日本の社会保険と社会保険料(2)
 13. 日本の消費税(1)
 14. 日本の消費税(2)
 15. 税制と政府への信頼
- 進捗、履修者の理解度によって内容の前後や修正がある場合があります

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/ejszyp0hlw8kxxd0hlvic96r65fydhhc>)

山崎 好裕

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：火・5時限 試験時間割：2021/07/31 3時限

- - - 概要 - - -

この講義を受講しようかな、と考えている皆さんは、いろいろな学部の学生さんで、大学に入学してすぐの人が多くと思います。現代の社会では経済が重要だから、社会に出る前にどうしても勉強しておきたい。だけど、経済学は数学も使うから難しそうだし、金融と為替とかややこしいことが多そうだなあ...。こんなふうに考えていませんか。そんな皆さんに、私の担当している教養経済学の講義はうってつけです。面白く分かりやすい講義を聞いているうちに、自然と経済学の基本が身についていることに気が付くでしょう。しかも、それだけではなく、ここで勉強することは、世の中で生きて働いていることばかりですから、すぐに役に立つはずですよ。

経済学は、ミクロとマクロという2つの分野から成っています。ミクロ経済学が人々の暮らし方や働き方の原理を考える分野であるのに対して、マクロ経済学は国民全体が織り成す経済の動向や政府の経済政策の原理を考える分野です。こう考えるとミクロ（ちっちゃい）とか、マクロ（でっかい）と名付けられている意味もよく分かりますよね。ですから、どっちが身近で分かりやすいかと質問されても、それは微妙です。両方の分野が相俟って経済学の全体を構成しているわけです。「経済学A」の講義では、そのなかのミクロ経済学を学びます。

- - - 到達目標 - - -

ミクロ経済学の基本的な考え方について知識が身に付いている。(知識・理解)

経済生活のなかで合理的に判断し行動する技能がある。(技能)

仕事やビジネスの現場で常に効率的な解決策を探す志向性を獲得している。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業はテキストに従って進みます。授業の前にはテキストを事前に読んでください(30分)。授業の後にはテキストとノートを読み、Moodleの課題に解答してください(30分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

ミクロ経済学の基礎的な知識を身に着けたかどうかで評価します。

評価は定期試験の点数で100%出します。試験問題は、文章の穴埋め問題が6問30点、×式問題が8問40点、計算問題が30点となります。穴埋め問題では語群を与えますので、そこから選んでください。計算問題はテキストにある問題から、そのままのかたちで出題されます。

なお、質問や相談については電子メール(yamazaki@cis.fukuoka-u.ac.jp)を使っていただければお互いに便利です。

- - - テキスト - - -

山崎好裕『おもしろ経済数学』2006年、ミネルヴァ書房。ISBN 978-4-623-04526-6

- - - 参考書 - - -

必要があれば、授業中に随時紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

私の担当している「経済学B」とあわせて履修すると、経済学の全体像を分かりやすく理解することができます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 消費生活の数学(1)
- 3 消費生活の数学(2)
- 4 売上増大の数学(1)
- 5 売上増大の数学(2)
- 6 企業経営の数学(1)
- 7 企業経営の数学(2)
- 8 勢力均衡の数学(1)
- 9 勢力均衡の数学(2)
- 10 資産運用の数学(1)
- 11 資産運用の数学(2)
- 12 景気循環の数学(1)
- 13 景気循環の数学(2)
- 14 数学コラムのまとめ
- 15 おわりに

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/4qbspwh9ghsqvj4bbtblqq2873s8srwq)

主計 浩

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：水・3 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

--- 概要 ---

現代のわれわれの経済は、私的所有権制度を基本的な所有形態としながら、市場という機構に人々の活動の調整をゆだねる「資本主義」を根幹とする経済体制である。またそこでは、資本主義が生み出す様々な歪みを修正するための政府の政策的な介入や計画をも容認しており、しばしば「混合経済」という名称によって特徴づけられている。本講義の目的は、混合経済としてのわれわれの経済を理解するための1つの分析道具である「近代経済学」を解説することにある。近代経済学には消費者・生産者・政府といった個々の経済主体に注目し、各主体の相互作用の場・交換の場である市場を主要な分析対象とするミクロ経済学と、一国の経済全体を物価水準・GDP・失業率・インフレ率などの集計量によって捉えるマクロ経済学がある。本講義では、ミクロ経済学の基本的な枠組みと主要概念・分析手法をやさしく解説する。具体的にはミクロ経済学の課題、消費者理論、生産者理論、市場均衡、不完全競争(独占、寡占)、市場の失敗について説明する予定である。

受講した皆さんは、少なくとも新聞の経済面を問題なく読めるようになるだろう。特に公務員希望の方はぜひ受講してほしい。

--- 到達目標 ---

経済学に関する基本的な知識を習得する(知識・理解)

現実に起こっている経済問題を自分の言葉で説明できる(知識・理解)

経済学の専門的な知識を活用して、経済問題に対して積極かつ柔軟に解決する能力を身に着ける(技能)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

講義では学習した内容から現実に起こっている経済問題について考えていく。したがって、予めどのような経済問題が起こっているのかを知るために、普段から新聞や雑誌、テレビのニュース等に目を通すこと。(30分) 授業後は新たに出てきた経済用語や経済学的な考え方をしっかり見直すこと。さらに復習のために練習問題を適宜配布するので、授業で学習した内容がどのように問われているのかを確認すること。(90分)

--- 成績評価基準および方法 ---

定期試験(80%)、レポート(20%)によって評価する。

評価基準は、定期試験・レポートともに、

1. 授業に出てきた経済用語をきちんと理解していること、
2. 授業に出てきた経済政策や経済の出来事を説明できること、である。

--- テキスト ---

試験攻略入門塾 速習!ミクロ経済学2nd edition
 石川秀樹(著) 中央経済社 2860円
 ISBN:978-4502290411

--- 参考書 ---

西村和雄「ミクロ経済学入門」 岩波書店 ISBN 978-4000021937

武隈慎一「ミクロ経済学(新経済学ライブラリ)」 新世社 ISBN 978-4883842391

今泉博国・須賀晃一・渡邊淳一「ミクロ経済学 基礎と演習」東洋経済新報社 ISBN 978-4492312810

--- 履修上の留意点 ---

経済学の講義は前回の授業内容を踏まえて先に進んでいくので、特に復習には力を注ぐこと。

また上記のような理由から、欠席には注意すること。他の受講生の迷惑になるような行為(私語など)は厳禁。

--- 授業計画 ---

1. ミクロ経済学の考え方(スタートアップ授業)
2. 消費者理論(効用)
3. 消費者理論(無差別曲線)
4. 消費者理論(効用最大化)
5. 需要の価格弾力性
6. 代替効果と所得効果
7. 生産者理論(費用関数)
8. 生産者理論(限界費用、平均費用、平均可変費用)
9. 生産者理論(生産の決定)
10. 市場均衡(ワルラス、マーシャル、クモの巣調整過程)
11. 不完全競争(独占)
12. 不完全競争(クールノー)
13. 不完全競争(ゲームの理論)
14. 市場の失敗((外部性)
15. 市場の失敗(公共財)

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/csuy3opvgvee4rlefhvo1zmj60f4mcmz>)

菊池 裕子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・3 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

わが国の経済が抱える問題の一つに人口構造の高齡化があります。わが国の高齡化は、割合もスピードも他の国々とは比較になりません。なぜこのような状況になったのでしょうか。このような疑問を財政学の観点から明らかにしましょう。今回のコロナ禍によって若年世代の負担はさらに重くなるかもしれません。このことも踏まえて、人口構造の高齡化によって生じる問題とその対策を考えましょう。

前半はプリントによって、後半は参考書を紹介しながら、授業を進めます。経済学や財政学の知識は特に必要ありませんが、高齡化や社会の動向に関心を持って授業に出席して下さい。

- - - 到達目標 - - -

人口構造の高齡化の原因が説明できる。(知識・理解)

高齡社会と租税制度、公債制度、年金制度の関係について説明できる。(知識・理解)

人口構造の高齡化がわが国の将来に及ぼす影響を説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は可能な限りシラバスの通りに進めます。テキストを使用せずに、プリントを配布して授業を進めます。ほとんどの資料は財務省や総務省のホームページから入手可能ですので、課題あるいは予習に代えて各自でプリントするように求めるかもしれません。また、小テスト(アナウンスなし)を数回行いますので、授業後は毎回復習をして下さい。詳細はスタートアップ授業で説明します。予習・復習にはそれぞれ30分~60分を充てて下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

人口構造の高齡化に関する知識を身につけ、その問題点を理解することを目的とします。人口構造の高齡化に関する理解度を定期試験と小テスト・課題等の授業時の得点によって評価します。具体的には定期試験(40%)と小テスト・課題を含めた授業時の得点(60%)の合計点です。詳細はスタートアップ授業で説明します。

- - - テキスト - - -

特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

図説 日本の財政(令和2年度版) ISBN 978-4-88177-474-8
 必要に応じて参考文献を紹介し、新聞を読む習慣を身につけて下さい。

- - - 履修上の留意点 - - -

特に経済学の知識は必要としませんが、社会の動向や出来事に興味を持って下さい。そして、新聞を読むように心掛けて下さい。

テキストがありませんので、授業を休んだ場合は必ず出席した学生のノートを書き写して下さい。小テストは配布資料とノート等は持込みです。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(授業の進め方、内容紹介)
2. 高齡化の進展と現状
3. 高齡化の要因 長寿化
4. 高齡化の要因 少子化
5. 高齡化の要因 少子化
6. 国民経済における政府の役割
7. 財政(政府の経済活動)の目的
8. 財政(政府の経済活動)の目的
9. わが国の財政の概況
10. 高齡社会の問題点
11. 高齡社会の問題点
12. 高齡社会における租税制度
13. 高齡社会における公債制度
14. 高齡社会における年金制度
15. まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/5b1yo5ifjhg1ilw0x6jhcraxxuvt0vmf>)

菊池 裕子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・4 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

わが国の経済が抱える問題の一つに人口構造の高齢化があります。わが国の高齢化は、割合もスピードも他の国々とは比較になりません。なぜこのような状況になったのでしょうか。このような疑問を財政学の観点から明らかにしましょう。今回のコロナ禍によって若年世代の負担はさらに重くなるかもしれません。このことも踏まえて、人口構造の高齢化によって生じる問題とその対策を考えましょう。

前半はプリントによって、後半は参考書を紹介しながら、授業を進めます。経済学や財政学の知識は特に必要ありませんが、高齢化や社会の動向に関心を持って授業に出席して下さい。

- - - 到達目標 - - -

人口構造の高齢化の原因が説明できる。(知識・理解)

高齢社会と租税制度、公債制度、年金制度の関係について説明できる。(知識・理解)

人口構造の高齢化がわが国の将来に及ぼす影響を説明できる。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業は可能な限りシラバスの通りに進めます。テキストを使用せずに、プリントを配布して授業を進めます。ほとんどの資料は財務省や総務省のホームページから入手可能ですので、課題あるいは予習に代えて各自でプリントするように求めるかもしれません。また、小テスト(アナウンスなし)を数回行いますので、授業後は毎回復習をして下さい。詳細はスタートアップ授業で説明します。予習・復習にはそれぞれ30分~60分を充てて下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

人口構造の高齢化に関する知識を身につけ、その問題点を理解することを目的とします。人口構造の高齢化に関する理解度を定期試験と小テスト・課題等の授業時の得点によって評価します。具体的には定期試験(40%)と小テスト・課題を含めた授業時の得点(60%)の合計点です。詳細はスタートアップ授業で説明します。

- - - テキスト - - -

特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

図説 日本の財政(令和2年度版) ISBN 978-4-88177-478-4

必要に応じて参考文献を紹介します。新聞を読む習慣を身につけて下さい。

- - - 履修上の留意点 - - -

特に経済学の知識は必要としませんが、社会の動向や出来事に興味を持って下さい。そして、新聞を読むように心掛けて下さい。

テキストがありませんので、授業を休んだ場合は必ず出席した学生のノートを書して下さい。小テストは配布資料とノート等は持込みです。

- - - 授業計画 - - -

1. スタートアップ授業(授業の進め方、内容紹介)
2. 高齢化の進展と現状
3. 高齢化の要因 長寿化
4. 高齢化の要因 少子化
5. 高齢化の要因 少子化
6. 国民経済における政府の役割
7. 財政(政府の経済活動)の目的
8. 財政(政府の経済活動)の目的
9. わが国の財政の概況
10. 高齢社会の問題点
11. 高齢社会の問題点
12. 高齢社会における租税制度
13. 高齢社会における公債制度
14. 高齢社会における年金制度
15. まとめ

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/1yk1siaqlhgzta8xdes9h65rsshjpluk)

楊 光洙

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・3 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

第1回目の授業は、スタートアップ授業（動画配信と課題提供によるオンデマンド型遠隔授業）とし、本授業の狙い、講義内容、成績評価方法等全般について解説します。

この授業は、経済学をはじめて学ぶ学生のための基礎理論をベースに、ミクロ経済学・マクロ経済学の視点から日本経済の動向について議論します。

講義では、まず社会科学の経済系である経済学、商学、経営学という学問についてそれぞれの研究分野と相互の関連性を理解した上で、経済学の位置づけや研究対象ごとに身近なトピックを通じて考えていきます。

経済理論については、日常生活からよく使われている経済関連の日常用語と専門用語を区別し、わかりやすく解説します。また、現実経済を的確に理解するために必要な経済理論と事例を関連付けて実践的な内容を議論します。

* 授業内容は受講生の理解次第で変更されることもあります。

- - - 到達目標 - - -

経済学の基本概念や原理について理解し、他者に説明できる (知識・理解) (知識・理解)

経済時事問題について専門用語を用いて自分の言葉で説明できる (機能) (技能)

日常生活でTVニュースや新聞記事等に関心を持ち、主体的に考える態度を持つ (態度・志向性) (態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業計画の毎回の講義テーマに沿って、事前に関連の専門用語の概念や現実経済事情を調査し予習 (60分) して下さい。また、毎回の講義ポイントを自分なりに整理し、自分のものになるように復習 (60分) して下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

経済の基礎理論と現実の経済現象を自分の言葉で説明できるかを、評価の基準とします。期末レポート (100%) で評価を行います。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、理論だけではなく、実際経済の内容が多く含まれていますので、常に国内外の政治・経済の動向について関心をもって関連情報を入手し、整理して参加して下さい。

授業は、一方的な座学ではなく、皆で議論するディスカッション方式も導入しているため、人に自らの考えを伝える能力や主体的な学修の姿勢が望ましいです。

また、社会に出たときに必要な能力を身につける、ということ意識して授業に臨んでください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 講義方法、成績評価方法等 (スタートアップ授業)
- 2 経済の仕組みと循環 (経済学の体系)
- 3 日本経済の動向 (1)
- 4 日本経済の動向 (2)
- 5 日本経済の動向 (3)
- 6 需要と供給 (市場、価格)
- 7 消費者行動 (効用、消費関数)
- 8 生産者行動 (利潤最大化、生産関数)
- 9 通貨と金融 (貨幣、利子率、為替レート)
- 10 物価と景気 (インフレ、デフレ、景気変動)
- 11 雇用と失業 (雇用形態、失業対策、働き方)
- 12 租税と財政支出 (税制、予算、公債)
- 13 経済成長 (産業革命、ソサイエティ5.0)
- 14 IS-LMモデル (財政金融政策の効果分析)
- 15 総括 (授業内容のポイント)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/i4dbno3sbm7l68fywbxotisnjoilup5g>)

楊 光洙

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：金・4 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

- - - 概要 - - -

第1回目の授業は、スタートアップ授業（動画配信と課題提供によるオンデマンド型遠隔授業）とし、本授業の狙い、講義内容、成績評価方法等全般について解説します。

この授業は、経済学をはじめて学ぶ学生のための基礎理論をベースに、ミクロ経済学・マクロ経済学の視点から日本経済の動向について議論します。

講義では、まず社会科学の経済系である経済学、商学、経営学という学問についてそれぞれの研究分野と相互の関連性を理解した上で、経済学の位置づけや研究対象ごとに身近なトピックを通じて考えていきます。

経済理論については、日常生活からよく使われている経済関連の日常用語と専門用語を区別し、わかりやすく解説します。また、現実経済を的確に理解するために必要な経済理論と事例を関連付けて実践的な内容を議論します。

* 授業内容は受講生の理解次第で変更されることもあります。

- - - 到達目標 - - -

経済学の基本概念や原理について理解し、他者に説明できる (知識・理解) (知識・理解)

経済時事問題について専門用語を用いて自分の言葉で説明できる (機能) (技能)

日常生活でTVニュースや新聞記事等に関心を持ち、主体的に考える態度を持つ (態度・志向性) (態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業計画の毎回の講義テーマに沿って、事前に関連の専門用語の概念や現実経済事情を調査し予習 (60分) して下さい。また、毎回の講義ポイントを自分なりに整理し、自分のものになるように復習 (60分) して下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

経済の基礎理論と現実の経済事情を自分の言葉で説明できるかを評価の基準とします。期末レポート (100%) で評価を行います。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、理論だけではなく、実際経済の内容が多く含まれていますので、常に国内外の政治・経済の動向について関心をもって関連情報を入手し、整理して参加して下さい。

授業は、一方的な座学ではなく、皆で議論するディスカッション方式も導入しているので、人に自らの考えを伝える能力や主体的な学修の姿勢が望ましいです。

また、社会に出たときに必要な能力を身につける、ということ意識して授業に臨んでください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 講義方法、成績評価方法等 (スタートアップ授業)
- 2 経済の仕組みと循環 (経済学の体系)
- 3 日本経済の動向 (1)
- 4 日本経済の動向 (2)
- 5 日本経済の動向 (3)
- 6 需要と供給 (市場、価格)
- 7 消費者行動 (効用、消費関数)
- 8 生産者行動 (利潤最大化、生産関数)
- 9 通貨と金融 (貨幣、利子率、為替レート)
- 10 物価と景気 (インフレ、デフレ、景気変動)
- 11 雇用と失業 (雇用形態、失業対策、働き方)
- 12 租税と財政支出 (税制、予算、公債)
- 13 経済成長 (産業革命、ソサイエティ5.0)
- 14 IS-LMモデル (財政金融政策の効果分析)
- 15 総括 (授業内容のポイント)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/vzgvq7p1jllq9gw0x0a45pqvgeqmija5>)

玉田 桂子

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：前期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

このゼミでは、経済学の初心者を対象にマクロ経済学を学びます。マクロ経済学は経済学を学ぶ上で欠かすことのできない分野の一つで、主に一国全体の経済の動きを学びます。マクロ経済学を理解することによって経済政策のみならず日常の人々の行動が明らかになるので、ぜひ積極的に勉強してほしいと思います。このゼミを受講して現在日本が抱えている年金の問題や財政問題について自分なりの考えを持てるようになるはずで、公務員を志望している人達にも試験に対応できるようなゼミにする予定です。

ゼミは、テキストの担当箇所を報告者が報告する形をとります。報告に際しては、担当教官や報告者以外の人達からの質問に答えられるようにテキストを読み込み、どのような質問がくるのかについてあらかじめ想定して報告に臨むことが望ましいです。報告に当たっていない人達は、基本的なことであっても、臆せずどんどん質問してほしいと思います。経済学は積み重ねの学問なので、自分の担当箇所だけ理解することはできません。自分の担当以外の箇所もしっかり理解し、わからなかったら遠慮せずに質問してください。

- - - 到達目標 - - -

マクロ経済学の修得を通して、自ら考えた結果を他のゼミ生にもわかりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につけている。(技能)

マクロ経済学や日本経済についての知識・技能に好奇心をもち、その知識や技能を実社会において役立たせようとする姿勢を身につけている。(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：テキストを用いた予習(90分)
 事後学習：ゼミの中で提起された問題を自分の言葉でまとめる(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業への貢献度(報告や報告者への質問など)60%、報告点(報告内容がどの程度詳細に調べられているかによる)40%による。無断の欠席、遅刻は低評価の要因となる。

- - - テキスト - - -

『マクロ経済学の第一歩』2013年 柴田章久, 宇南山卓著
 有斐閣 1900円+税 ISBN978-4641150065

- - - 参考書 - - -

マクロ経済学の第一歩 ISBN 978-4641150065

- - - 履修上の留意点 - - -

出席しているだけでは単位はとれません。テキストを読み、分かりやすいようにまとめ、報告することを心がけてください。

- - - 授業計画 - - -

- 1) シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業)
- 2) マクロ経済学とは
- 3) GDPについて
- 4) 経済成長と技術
- 5) 消費の決定
- 6) 投資の決定
- 7) 労働市場とマクロ経済
- 8) 労働市場の特殊性
- 9) 所得分配と格差
- 10) 再分配政策
- 11) 政府支出の役割
- 12) リカードの中立命題
- 13) 少子高齢化
- 14) 開放経済
- 15) まとめ

受講者の理解度により内容を変更することがある。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/6kuag6jpvv7gh73ogdfgpuuyz92z5u67)

李 錦東

期別：前期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：前期：木・2 時限 試験時間割：2021/07/31 3 時限

--- 概要 ---

このクラスは、経済学の基本的思考方法を身につけることを目指したクラスです。

経済学を初めて学ぶ学生にとって、経済学の教科書は「分かったような、分からないような」と言う気分させられることもあります。また、経済学で学ぶ内容は、「現実の世の中とは、違うんじゃないか」と思う人もいるでしょう。本クラスは、受講生がもつ「経済学」と「現実の世のなか」に関わる疑問点などを、講師と受講生との間で質疑応答やディスカッションを通じて理解していきます。また、それぞれの疑問点に関する事項をどう深く理解すればよいのかなどを考えて行きます。

このクラスで元気に議論することによって、日々の暮らしを豊かにすることへのヒントを得ながら、経済学に関するしっかりとした基盤を作って行きましょう。

--- 到達目標 ---

経済学の基本的な発想を身につけることができる。(知識・理解)

経済学に関する主要キーワード(100個程度)を理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)

新聞の経済面や社会面の記事などに関心を持ち、経済に関する記事を少々楽しく読めるようになる。(態度・志向性)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

復習をとくに重視してください(60分)。授業で学んだ事項を確実に自分のものにしてください。勉強には、丸暗記も必要ですが、本クラスでは、自分で論理的な筋を立てながら、理解できるようにしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

- 50% 定期試験
- 20% 中間ミニテスト(2回程度)
- 30% 授業中の発言回数などの積極的な授業参加態度

定期試験及びミニテストで、本シラバスが提示している到達目標をどの程度達成されているかを確認し、積極的な参加態度などを総合して評定します。

--- テキスト ---

1. 授業の進行は、『マンキュー経済学(ミクロ編)』をベースに作成したスライド(PPT)を利用します。
2. 必要に応じて、スライドの一部、著作権に抵触しない必要最小限の量を参考資料として配布します。
3. 可能なら主要参考図書(ミクロ編)を手に入れましょう(無理する必要はありません)。

--- 参考書 ---

主要参考図書：

1. N. Gregory Mankiw 『マンキュー経済学 I ミクロ編(第4版)』東洋経済新報社、2019年、4,400円、ISBN:9784492315194
2. N. Gregory Mankiw 『マンキュー経済学 マクロ編(第4版)』東洋経済新報社、2019年、4,400円、ISBN:9784492315200

マンキュー経済学は、第4版が最新版ですが、その以前の版も核心内容は基本的に同じですので、3版などを利用しても差支えはありません。

必要に応じて、スライドの一部を参考資料として配布する場合がありますが、なるべく経済学の本を手にして、じっくり読みましょう。

--- 履修上の留意点 ---

復習をしっかりとやりましょう。また、経済面や社会面の記事やニュースをちゃんと聞く・読む習慣をつけましょう。

--- 授業計画 ---

1. 第1回*イントロダクションは、スタートアップ授業(動画配信)です。第2回以降の授業は対面授業で行います(予定、授業の総回数は15回)。

2. 授業は、基本的に授業計画に沿って進めますが、限界的变化は必至であり、受講生の理解度やその他の状況変化にあわせフレキシブルに調整していきます。

- 1*イントロダクション(授業の進め方・社会科学の考え方・経済学の考え方など)
- 2 経済学の考え方(経済学の十大原理)
- 3 経済学者らしく考える
- 4 相互依存と貿易
- 5 需要と供給の作用
- 6 弾力性
- 7 政府の政策と需要・供給
- 8 市場の効率性(消費者余剰)
- 9 課税の費用
- 10 国際貿易で得るのは?
- 11 外部性
- 12 財の分類
- 13 生産の費用
- 14 競争市場における企業
- 15 まとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/6j74aarst5f8c004854cl3ut1iqk01o4)

入江 雅仁

期別:前期 単位数:2 開講年次:1 授業の種類:対面授業科目 授業形態:講義 実務経験:無し 科目水準:入門 試験実施:有り
 授業時間割:前期:木・二部2時限 試験時間割:2021/07/29 夜2限

--- 概要 ---

本講義では、ミクロ経済学の土台となっている市場の理論と生産者の理論を簡単な数学や図表を織り交ぜながら解説するとともに、理解度を確かめるために、公務員試験などの過去問に基づく問題などを取り上げながら、講義を進めていきます。

なお、この講義で解説する基礎的な論旨の理解と実践的な問題を解く力を確実に習得するためには、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組む事が不可欠ですが、こうした自発的に取り組んだ経験は将来に生かされるので、予習・復習をしっかりと行ってください。

講義はOHCを利用して、計算や作図の過程などを解説しますが、解法だけでなく講義メモも作成するよう心がけて下さい。そのような講義メモの作成などを通じて、問題や解法などを視覚的・多面的に捉える力や基礎的な数学の知識を養ってください。なお、グラフを描くときには、必ず軸があらわす意味を明記するとともに各軸の関係を把握すると、理解がより深まります。

また、自力で正解にたどりつく過程を体感してもらうために、講義の復習を兼ねた簡単な小テストを実施しますので、自らの手で計算や図解をするように努めてください。この経験を活かして、いろいろな問題に対する解決策・処方箋を自らの力で見出す能力や応用力を磨いてください。

以上のように、数学や作図を用いて講義を進めますが、数学関連の知識は講義中にも解説しますので、講義に出席して講義メモを必ず作成するようにしてください。

--- 到達目標 ---

市場の要素および市場均衡について説明できる。(知識・理解)

市場均衡や比較静学を使った応用分析を考えるようになる。(態度・志向性)

費用に関する知識を身につけ、それらを図表で説明できる。(技能)

企業の利潤最大化問題を理解し、最適解を図表や計算で求める事ができる。(技能)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習(各回1~2時間程度)として、参考書やインターネットなどで専門用語の意味などを理解し、事後学習(各回2~3時間程度)で、講義中に解説した計算問題を再度解きなおしたり、作図を行ったりして、復習を重ねてください。なお、復習には、FUポータルに公開する資料や課題を利用したり、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組むなどしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

評価基準

市場均衡に関する基本的な事を図表や計算などで求めたり、現実の問題などを定量的に考察・再現できるかどうかを評価の基準とします。また、利潤最大条件の意味を理解し、その解を図表などで求められる事を評価の基準となります。

評価方法と評価の割合

基本的には、期末試験の成績:80%と平常点(小テストと課題):20%の合計100%で評価します。

その他

小テストは、復習を兼ねた問題や応用問題などを講義中に提出してもらいます。他方、課題は各自で取り組み、講義後に提出してください。

--- テキスト ---

テキストは使用せずに資料を配布予定。

--- 参考書 ---

石川秀樹(著),『経済学入門塾 ミクロ編』,中央経済社;
 石川秀樹(著),『新・経済学入門塾 計算マスター編』中央経済社;
 茂木喜久雄(著),『らくらくミクロ・マクロ経済学入門 計算問題編』,週間住宅新聞社;
 西村和雄(著),『入門・経済学ゼミナール』,実務教育出版;
 白浜堤津耶・森脇翔太(著),『例題で学ぶ初歩からの経済学』,日本評論社;
 このほか、必要に応じて、授業中に指示します。

--- 履修上の留意点 ---

参考書などを参考にしたプリント(FUポータルを通じて印刷できるようにする予定)とOHCを利用して、講義を進める予定です。なお、OHCのメモを見落としした場合や記入漏れなどがある場合は、講義の前後などに資料を公開するので、各自でノートを書き写すように心がけてください。

また、講義の復習や応用などを兼ねた簡単な小テストなどを講義中に実施するので、必ず、講義ノートを作成してください。なお、評価対象の小テストなどは、講義ノートを作成すれば解ける問題などを予定しているので、必ず、指定時間までに提出してください。

携帯・スマートフォンを机の上などに置いたり、それらを講義中に使用するなどの行為は厳禁とします。また、配布プリントの余りなどを置く場所に指定した座席には座らないでください。

--- 授業計画 ---

授業は以下の内容を進む予定です。なお、必要に応じて、一部を変更することがあります。

- 1 市場の要素
- 2 需要と供給の法則および市場均衡
- 3 需要・供給曲線のシフトと市場均衡
- 4 比較静学の応用分析
- 5 市場均衡と連立方程式の解法
- 6 需要と供給の価格弾力性
- 7 価格弾力性と曲線の関係
- 8 需要の価格弾力性と収入の関係
- 9 需要の価格弾力性の応用分析
- 10 いろいろな費用関数
- 11 逆S字型総費用関数に関する各費用関数の関係
- 12 利潤最大化問題
- 13 損益分岐点・操業停止点
- 14 利潤最大化問題の応用分析
- 15 前期のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/oj9zi7oafftv19rcjoip11bki8tm72er>)

村松 怜

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・2 時間 試験時間割：2022/01/27 3 時間

- - - 概要 - - -

この講義では、日本の所得格差・貧困問題について学びます。所得格差や貧困の問題は今日では国際的に大きな政策的トピックとなっています。しかし、そもそも「格差」や「貧困」はどのように定義され、どのように計測されているのでしょうか。所得格差は拡大してきているのでしょうか。そもそも先進国に「貧困」の問題は存在すると言えるのでしょうか。格差の拡大や貧困の増大にはどのような要因があるのでしょうか。この講義では以上のような格差や貧困に関する基本的な内容について学ぶとともに、格差・貧困に関する近年の政策的な課題について理解を深めることを目的とします。

- - - 到達目標 - - -

格差・貧困に関する基本的な概念を理解している(知識・理解)

日本の所得格差、貧困の現状、特徴について理解し、説明することができる(技能)

日本の所得格差、貧困に関する政策的な問題について批判的に検討することができる(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

予習：参考書として挙げた文献などをもとに予習する(60分)
 復習：講義で配布した資料をもとに、講義で扱った概念や制度の理解について確認する(120分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

< 評価基準 >

講義で扱った内容に沿って、格差・貧困に関する基本的な概念、日本の現状、および政策的な課題について理解し、説明できているかどうかを評価の基準とします。

< 評価方法 >

講義の際に出される課題(40%)、定期試験(60%)

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。配付する講義資料をもとに講義を進めます。

- - - 参考書 - - -

駒村康平編(2018)『貧困(福祉+)』、ミネルヴァ書房 ISBN 4623081591
 駒村康平ほか(2015)『社会政策：福祉と労働の経済学』、有斐閣 ISBN 4641220581
 橋木俊詔編(2012)『格差社会(福祉+)』、ミネルヴァ書房 ISBN 4623063747

- - - 履修上の留意点 - - -

このシラバスの内容は全面的な対面授業を前提とした場合のものであり、全部あるいは一部オンライン授業に切り替わる状況の場合には授業の方法、内容、成績評価の方法などについて変更がある可能性があります。

- - - 授業計画 - - -

1. 授業のガイダンス(スタートアップ授業)
2. 格差・貧困の指標(1)
3. 格差・貧困の指標(2)
4. 格差・貧困の指標(3)
5. 「相対的貧困」は問題なのか
6. 先進国における格差拡大の一般的な要因
7. 日本における「格差問題」の出現
8. 日本における所得格差・貧困問題(1)
9. 日本における所得格差・貧困問題(2)
10. 日本における所得格差・貧困問題(3)
11. 日本における所得格差・貧困問題(4)
12. 日本における所得格差・貧困問題(5)
13. 日本における全体的な低所得化
14. 格差・貧困と政府の役割
15. まとめ

進度、履修者の理解度によって内容の前後や修正がある場合があります

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/040s5neolni5hj7a7199yo92bnbogwit)

山崎 好裕

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：火・5時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

この講義を受講しようかな、と考えている皆さんは、いろいろな学部の学生さんで、大学に入学してすぐの人が多いいと思います。現代の社会では経済が重要だから、社会に出る前にどうしても勉強しておきたい。だけど、経済学は数学も使うから難しそうだし、金融と為替とかややこしいことが多そうだなあ...。こんなふうに考えていませんか。そんな皆さんに、私の担当している教養経済学の講義はうってつけです。面白く分かりやすい講義を聞いているうちに、自然と経済学の基本が身についていることに気が付くでしょう。しかも、それだけではなく、ここで勉強することは、世の中で生きて働いていることばかりですから、すぐに役に立つはずですよ。

経済学は、ミクロとマクロという2つの分野から成っています。ミクロ経済学が人々の暮らし方や働き方の原理を考える分野であるのに対して、マクロ経済学は国民全体が織り成す経済の動向や政府の経済政策の原理を考える分野です。こう考えるとミクロ(ちっちゃい)とか、マクロ(でっかい)と名付けられている意味もよく分かりますよね。ですから、どっちが身近で分かりやすいかと質問されても、それは微妙です。両方の分野が相俟って経済学の理論体系を構成しているわけです。「経済学B」の講義では、そのなかのマクロ経済学を学びます。

- - - 到達目標 - - -

マクロ経済学の基本的な考え方について知識が身に付いている。(知識・理解)

経済報道や簡単なデータから経済情勢を判断する技能を有している。(技能)

常に経済情報に目を配り、生活や仕事において活用しようとする態度を獲得している。(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業はテキストに従って進みます。授業の前はテキストの指示された箇所を読んでおきましょう(30分)。授業の後にはテキストとノートをまとめて、Moodleの課題に解答してください。(30分)。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

マクロ経済学の基礎的な知識を身に着けたかどうかで評価します。

評価は定期試験の点数で100%出します。試験問題は、文章の穴埋め問題が6問30点、×式問題が8問40点、計算問題が30点となります。穴埋め問題では語群を与えますので、そこから選んでください。計算問題はテキストにある問題から、そのままのかたちで出題されます。

なお、質問や相談については電子メール(yamazaki@cis.fukuoka-u.ac.jp)を使っていただければお互いに便利です。

- - - テキスト - - -

山崎好裕『目からウロコの経済学入門』2004年、ミネルヴァ書房。ISBN 978-4-623-04251-7

- - - 参考書 - - -

必要があれば、授業中に随時紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

私の担当している「経済学A」とあわせて履修すると、経済学の全体像を分かりやすく理解することができます。

- - - 授業計画 - - -

- 1 はじめに(スタートアップ授業)
- 2 経済の大きさは? - 産業と所得
- 3 所得の分配と社会保障
- 4 家計は経済の増幅器 - 家計の消費と貯蓄
- 5 働けど働けど... - 所得階層と失業
- 6 企業は誰のもの - 企業の収益
- 7 投資は経済の原動機
- 8 政府の役目と税金の仕組み
- 9 政府のお金の使い方
- 10 お金は経済の血液
- 11 金融の仕組みをのぞいてみれば
- 12 金利はどうやって決まる?
- 13 国のつきあいと国際収支
- 14 為替レートの決まり方
- 15 物価は経済の体温

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/w61ao0z52ycjg6j6adgn2tn1h1rzqt61)

主計 浩

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：水・3時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

現代のわれわれの経済は、私的所有権制度を基本的な所有形態としながら、市場という機構に人々の活動の調整をゆだねる「資本主義」を根幹とする経済体制である。またそこでは、資本主義が生み出す様々な歪みを修正するための政府の政策的な介入や計画をも容認しており、しばしば「混合経済」という名称によって特徴づけられている。本講義の目的は、混合経済としてのわれわれの経済を理解するための1つの分析道具である「近代経済学」を解説することにある。近代経済学には消費者・生産者・政府といった個々の経済主体に注目し、各主体の相互作用の場・交換の場である市場を主要な分析対象とするミクロ経済学と、一国の経済全体を物価水準・GDP・失業率・インフレ率などの集計量によって捉えるマクロ経済学がある。本講義では、マクロ経済学の基本的な枠組みと主要概念・分析手法をやさしく解説する。具体的にはマクロ経済学の課題、国民所得の諸概念、国民所得の決定、IS-LM分析、財政金融政策、総需要と総供給、国際マクロ経済を説明する予定である。
 受講した皆さんは、少なくとも新聞の経済面を問題なく読めるようになるだろう。特に公務員希望の方はぜひ受講してほしい。

- - - 到達目標 - - -

経済学の基本的な知識を習得する(知識・理解)

現実に起こっている経済問題を自分の言葉で説明できる(知識・理解)

経済学の専門的な知識を活用して、経済問題に対して積極かつ柔軟に解決する能力を身に着ける(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義では学習した内容から現実に起こっている経済問題について考えていく。したがって、予めどのような経済問題が起こっているのかを知るために、普段から新聞や雑誌、テレビのニュース等に目を通すこと。(30分) 授業後は新たに出てきた経済用語や経済学的な考え方をしっかり見直すこと。さらに復習のために練習問題を適宜配布するので、授業で学習した内容がどのように問われているのかを確認すること。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(80%)、レポート(20%)によって評価する。

評価基準は、定期試験・レポートともに、

1. 授業に出てきた経済用語をきちんと理解していること、
2. 授業に出てきた経済政策や経済の出来事を説明できること、である。

- - - テキスト - - -

試験攻略入門塾 速習!マクロ経済学2nd edition 石川秀樹(著) 中央経済社 2640円 ISBN:978-4502290312

- - - 参考書 - - -

中谷巖「入門マクロ経済学」 日本評論社 ISBN 978-4535555136

- - - 履修上の留意点 - - -

経済学の講義は前回の授業内容を踏まえて先に進んでいくので、特に復習には力を注ぐこと。また上記のような理由から、欠席には注意すること。他の受講生の迷惑になるような行為(私語など)は厳禁。

- - - 授業計画 - - -

1. マクロ経済学の考え方(スタートアップ授業)
2. GDPの決定(1) GDPとは、有効需要の原理
3. GDPの決定(2) : 45度線分析その1
4. GDPの決定(3) : 45度線分析その2
5. GDPの決定(4) : 45度線分析その3
6. IS-LM分析(1) : IS曲線の導出
7. IS-LM分析(2) : LM曲線の導出(その1)
8. IS-LM分析(3) : LM曲線の導出(その2)
9. IS-LM分析(4) : 財市場と貨幣市場の同時均衡
10. IS-LM分析(5) : 財政政策・金融政策
11. 総需要と総供給(1) : 総需要曲線(AD曲線)
12. 総需要と総供給(2) : 総供給曲線(AS曲線)
13. 総需要と総供給(3) : AD・ASによるマクロ均衡
14. 国際マクロ経済(1)
15. 国際マクロ経済(2)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (<https://fukuoka-u.box.com/s/pv7uyi05zv91hwga527vut856gknhne4>)

主計 浩

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・3時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

現代のわれわれの経済は、私的所有権制度を基本的な所有形態としながら、市場という機構に人々の活動の調整をゆだねる「資本主義」を根幹とする経済体制である。またそこでは、資本主義が生み出す様々な歪みを修正するための政府の政策的な介入や計画をも容認しており、しばしば「混合経済」という名称によって特徴づけられている。本講義の目的は、混合経済としてのわれわれの経済を理解するための1つの分析道具である「近代経済学」を解説することにある。近代経済学には消費者・生産者・政府といった個々の経済主体に注目し、各主体の相互作用の場・交換の場である市場を主要な分析対象とするミクロ経済学と、一国の経済全体を物価水準・GDP・失業率・インフレ率などの集計量によって捉えるマクロ経済学がある。本講義では、マクロ経済学の基本的な枠組みと主要概念・分析手法をやさしく解説する。具体的にはマクロ経済学の課題、国民所得の諸概念、国民所得の決定、IS-LM分析、財政金融政策、総需要と総供給、国際マクロ経済を説明する予定である。

受講した皆さんは、少なくとも新聞の経済面を問題なく読めるようになるだろう。特に公務員希望の方はぜひ受講してほしい。

- - - 到達目標 - - -

経済学に関する基本的な知識を習得する(知識・理解)

現実に起こっている経済問題を自分の言葉で説明できる(知識・理解)

経済学の専門的な知識を活用して、経済問題に対して積極かつ柔軟に解決する能力を身に着ける(技能)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

講義では学習した内容から現実に起こっている経済問題について考えていく。したがって、予めどのような経済問題が起こっているのかを知るために、普段から新聞や雑誌、テレビのニュース等に目を通すこと。(30分) 授業後は新たに出てきた経済用語や経済学的な考え方をしっかり見直すこと。さらに復習のために練習問題を適宜配布するので、授業で学習した内容がどのように問われているのかを確認すること。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

定期試験(80%)、レポート(20%)によって評価する。

評価基準は、定期試験・レポートともに、

1. 授業に出てきた経済用語をきちんと理解していること、
2. 授業に出てきた経済政策や経済の出来事を説明できること、である。

- - - テキスト - - -

試験攻略入門塾 速習!マクロ経済学2nd edition 石川秀樹(著) 中央経済社 2640円 ISBN:978-4502290312

- - - 参考書 - - -

中谷巖「入門マクロ経済学」 日本評論社 ISBN 978-4535555136

- - - 履修上の留意点 - - -

経済学の講義は前回の授業内容を踏まえて先に進んでいくので、特に復習には力を注ぐこと。また上記のような理由から、欠席には注意すること。他の受講生の迷惑になるような行為(私語など)は厳禁。

- - - 授業計画 - - -

1. マクロ経済学の考え方(スタートアップ授業)
2. GDPの決定(1) GDPとは、有効需要の原理
3. GDPの決定(2) : 45度線分析その1
4. GDPの決定(3) : 45度線分析その2
5. GDPの決定(4) : 45度線分析その3
6. IS-LM分析(1) : IS曲線の導出
7. IS-LM分析(2) : LM曲線の導出(その1)
8. IS-LM分析(3) : LM曲線の導出(その2)
9. IS-LM分析(4) : 財市場と貨幣市場の同時均衡
10. IS-LM分析(5) : 財政政策・金融政策
11. 総需要と総供給(1) : 総需要曲線(AD曲線)
12. 総需要と総供給(2) : 総供給曲線(AS曲線)
13. 総需要と総供給(3) : AD・ASによるマクロ均衡
14. 国際マクロ経済(1)
15. 国際マクロ経済(2)

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/aq1udz57lt84r2ykyfxye041noy1b36g9)

楊 光洙

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：金・2時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

- - - 概要 - - -

第1回目の授業は、スタートアップ授業（動画配信と課題提供によるオンデマンド型遠隔授業）とし、本授業の狙い、講義内容、成績評価方法等全般について解説します。

この授業は、経済学をはじめて学ぶ学生のための基礎理論をベースに、国際経済学・政治経済学の視点から世界経済と日本経済との関係について議論します。

講義では、まず社会科学の経済系である経済学、商学、経営学という学問についてそれぞれの研究分野と相互の関連性を理解した上で、経済学の位置づけや研究対象ごとに身近なトピックを通じて考えていきます。

経済理論については、日常生活からよく使われている経済関連の日常用語と専門用語を区別し、わかりやすく解説します。また、現実経済を的確に理解するために必要な経済理論と事例を関連付けて実践的な内容を議論します。

* 授業内容は受講生の理解次第で変更されることもあります。

- - - 到達目標 - - -

経済学の基本概念や原理について理解し、他者に説明できる（知識・理解）(知識・理解)

経済時事問題について専門用語を用いて自分の言葉で説明できる（機能）(技能)

日常生活でTVニュースや新聞記事等に関心を持ち、主体的に考える態度を持つ（態度・志向性）(態度・志向性)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

授業計画の毎回の講義テーマに沿って、事前に関連の専門用語の概念や現実経済事情を調査し予習（60分）して下さい。また、毎回の講義ポイントを自分なりに整理し、自分のものになるように復習（60分）して下さい。

- - - 成績評価基準および方法 - - -

経済の基礎理論と現実の経済事情を自分の言葉で説明できるかを評価の基準とします。期末レポート（100％）で評価を行います。

- - - テキスト - - -

テキストは指定しません。必要に応じて資料を配布します。

- - - 参考書 - - -

講義中に適宜紹介します。

- - - 履修上の留意点 - - -

この授業では、理論だけではなく、実際経済の内容が多く含まれていますので、常に国内外の政治・経済の動向について関心をもって関連情報を入手し、整理して参加して下さい。

授業は、一方的な座学ではなく、皆で議論するディスカッション方式も導入しているため、人に自らの考えを伝える能力や主体的な学修の姿勢が望ましいです。

また、社会に出たときに必要な能力を身につける、ということ意識して授業に臨んでください。

- - - 授業計画 - - -

- 1 講義方法、成績評価方法等（スタートアップ授業）
- 2 経済の仕組みと循環（経済学の体系）
- 3 世界経済の動向（1）
- 4 世界経済の動向（2）
- 5 世界経済の動向（3）
- 6 世界貿易秩序（WTO、FTA等）
- 7 市場統合と地域経済（EU、NAFTA等）
- 8 東アジアと経済連携（ASEAN、TPP等）
- 9 国際金融（為替制度、為替レート）
- 10 アジア通貨危機（ヘッジファンド）
- 11 金融工学（サブプライムローン）
- 12 世界金融危機（リーマンショック）
- 13 世界経済の新潮流（第4次産業革命）
- 14 IS-LMモデル（財政金融政策の有効性）
- 15 総括（授業内容のポイント）

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/cs0fydahvz6cuvoifswuq570hxghz0w2)

李 錦東

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・2時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

--- 概要 ---

このクラスは、前期の経済学A (MIC 社会科学の思考法を経済学を通じて学ぶ) 続きですが、後期から初めて受講する人のために、前期の復習もざっと行います。

経済学を初めて学ぶ学生にとって、経済学の教科書は「分かったような、分からないような」と言う気分させられることもあります。また、経済学で学ぶ内容は、「現実の世の中とは、違うんじゃないか」と思う人もいるでしょう。本クラスは、受講生がもつ「経済学」と「現実の世のなか」に関わる疑問点などを、講師と受講生との間で質疑応答やディスカッションを通じて理解していきます。また、それぞれの疑問点に関する事項をどう深く理解すればよいのかなどを考えて行きます。

このクラスで元気に議論することによって、日々の暮らしを豊かにすることへのヒントを得ながら、経済学に関するしっかりとした基盤を作って行きましょう。

--- 到達目標 ---

- 1.ミクロ経済学及びマクロ経済学の基本的な発想をみにつけることができる。(知識・理解)
- 2.ミクロ経済学・マクロ経済の主要キーワード(100個程度)を理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)
- 3.新聞の経済面の記事に関心をもち、経済に関する記事を少々楽しく読めるようになる。(態度・志向性)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

復習をとくに重視してください(60分)。
 授業で学んだ事項を確実に自分のものにしてください。
 勉強には、丸暗記するのも必要ですが、
 本クラスでは、自分で論理的な筋を立て、経済学を自分の視角で理解できるようにしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

- 50% 定期試験
- 20% 中間ミニテスト(2回程度)
- 30% 授業中の発言回数などの積極的な授業参加態度

定期試験及びミニテストで、本シラバスが提示している到達目標をどの程度達成されているかを確認し、積極的な参加態度などを総合して評定します。

--- テキスト ---

- 1.授業の進行は、『マンキュー経済学(ミクロ編・マクロ編)』をベースに作成したスライド(PPT)を利用します。
- 2.必要に応じて、スライドの一部、著作権に抵触しない必要最小限の量を参考資料として配布します。
- 3.可能なら主要参考図書(マクロ編)を手に入れましょう(無理する必要はありません)。

--- 参考書 ---

主要参考図書：

1. N. Gregory Mankiw 『マンキュー経済学 マクロ編(第4版)』東洋経済新報社、2019年、4,400円、ISBN:9784492315200

マンキュー経済学は、第4版が最新版ですが、その以前の版も核心内容は基本的に同じですので、3版などを利用しても問題ありません。

必要に応じて、スライドの極一部を参考資料として配布する場合がありますが、なるべく経済学の本を手にして、じっくり読みましょう。

--- 履修上の留意点 ---

復習をしっかりやりましょう。また、経済面や社会面の記事やニュースをちゃんと聞く・読む習慣をつけましょう。授業中はノートをとってください。スライドに提示されたことだけでなく、講師が喋ったことに関してもメモすると、いいでしょう。

--- 授業計画 ---

- 1.第1回*イントロダクションは、スタートアップ授業(動画配信)です。第2回以降の授業は対面授業で行います(予定、授業の総回数は15回)。
2. 授業は、基本的に授業計画に沿って進めますが、限界的な変化は必至であり、受講生の理解度にあわせフレキシブルに調整していきます。

- 1*オリエンテーション及び前期の復習(授業の進め方・経済学の考え方など。)
- 2 経済学の考え方、需要と供給
- 3 生産費用・競争市場における企業の動き
- 4 独占(寡占)
- 5 生産要素市場・勤労所得と差別
- 6 所得不平等と貧困
- 7 予算制約と限界効用曲線
- 8 国民所得の測定
- 9 生計費の測定
- 10 経済成長
- 11 ファイナンス
- 12 失業
- 13 貨幣システム
- 14 総需要と総供給
- 15 まとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/fbiejlo0yiqfleceamns8b3ekt411f6)

李 錦東

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：講義 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：有り
 授業時間割：後期：木・3時限 試験時間割：2022/01/27 3時限

--- 概要 ---

経済学といえば、一部の学生には「分厚いテキスト」や「数学だらけ」のイメージが強いかもしれませんが。

経済学は、「経済」という対象を総合的に分析する社会科学の一つの分野です。本クラスでは、経済学の基本的な思考法を、経済学のキーワードをベースに、Compactに学んでいきます。

授業は、まずミクロ経済学とマクロ経済学の基礎概念や基礎理論を紹介した後、その概念に関連している図表や思考法を解説します。そして、類似した問題や事例を提示し、理解を深めます。さらに、経済学における多様な理論も紹介し、経済学の仕組みをコンパクトに把握できます。

--- 到達目標 ---

1. 経済学の基本的な理論を、言葉や図表や簡単な数学などを利用し、理解できる。(知識・理解)
2. 社会科学の思考法、とくに「経済学的な思考」をみにつけることが出来る。(知識・理解)
3. 本講義でとりあげた経済学の基礎知識に基づき、現代社会の経済の一部を理解できる。(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

授業中にとりあげられた主要概念をしっかりと復習してください(60分)。講義中に予告される次回の講義内容について、事前に調べておくと、効率よく勉強できます(30分)。

--- 成績評価基準および方法 ---

評価基準は、
 経済学の基礎知識を理解出来ているか、
 経済学の基礎知識に基づき、現代社会の経済(の一部)を理解できているかなどになります。

評価は、基本的に
 定期試験50%、
 中間ミニテスト(2回程度)20%、
 授業中の発言回数などの積極的な授業参加態度30%の割合で行います。

但し、ボーダーにいる学生に関しては、本科目の開設趣旨・到達目標などに沿って、長期にわたる教育的な観点から総合的に判断し、評価します。

--- テキスト ---

1. 授業の進行は、『マンキュー経済学(ミクロ編・マクロ編)』をベースに作成したスライド(PPT)を利用します。
2. 必要に応じて、スライドの一部、著作権に抵触しない必要最小限の量を参考資料として配布します。
3. 無理する必要はありませんが、より深く勉強したい人やちゃんと道具を揃えたいと思っている人は、主要参考図書を手に入れてじっくり読みましょう。

--- 参考書 ---

主要参考図書：

1. N. Gregory Mankiw 『マンキュー経済学 I ミクロ編(第4版)』東洋経済新報社、2019年、4,400円、ISBN:9784492315194
2. N. Gregory Mankiw 『マンキュー経済学 マクロ編(第4版)』東洋経済新報社、2019年、4,400円、ISBN:9784492315200

マンキュー経済学は、第4版が最新版ですが、その以前の版も核心内容は基本的に同じですので、3版などを利用して差支えはありません。

必要に応じて、スライドの一部を参考資料として配布する場合がありますが、なるべく経済学の本を手にして、じっくり読みましょう。

--- 履修上の留意点 ---

復習をしっかりとやりましょう。
 教科書をじっくり読む癖をつけながら、頑張りましょう。
 授業中はノートをとってください。スライドに提示されたことだけでなく、講師が喋ったことに関してもメモすると、いいでしょう。

--- 授業計画 ---

1. 第1回の*イントロダクションは、スタートアップ授業(動画配信)です。第2回以降の授業は対面授業で行います(予定、授業の総回数は15回)。
2. 授業は、基本的に授業計画に沿って進めますが、限界的な変化は必至であり、受講生の理解度にあわせフレキシブルに調整していきます。

1. *イントロダクション(経済学は「選択」に関する学問、機会費用など)
- 2 比較優位と国際貿易
- 3 需要と供給
- 4 弾力性と価格設定
- 5 消費者余剰(市場は効率的か)
- 6 税金と死荷重
- 7 生産の費用(利潤最大化、損益分岐点など)
- 8 予算制約と消費者選択、無差別曲線など
- 9 中間まとめ
- 10 GDP、GDPデフレーター、CPI、 $Y=C+I+G$
- 11 経済成長、コップ・ダグラス関数
- 12 失業はなぜ存在するのか
- 13 お金の仕組み(貨幣)と中央銀行の役割、インフレ
- 14 信用乗数、LS-IM曲線
- 15 まとめ(新古典派vsケインズ派)

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業
 (https://fukuoka-u.box.com/s/d22dj594occ4a3pdtbewno1xsvy0p1wa)

玉田 桂子

期別：後期 単位数：2 開講年次：1 授業の種類：対面授業科目 授業形態：演習 実務経験：無し 科目水準：入門 試験実施：無し
 授業時間割：後期：火・3時限 試験時間割：定期試験なし

- - - 概要 - - -

このゼミでは、労働経済学の観点から職業について読み解いていきます。経済学は難しそうに見えたり関係ないように感じたりする人もいるかもしれませんが、就職するにあたって、経済学の知識は役に立ちます。自分の就きたい職業での賃金が年齢とともにどう変化していくのか、またその職業を取り巻く環境、技術の発展とともにその職業はどのように変化していくのかを考えることは非常に重要であり、経済学の知識を使ってこれらのことを自分で考察することは可能です。まだ就職先について考えていない人もこのゼミを通して様々な職業についてイメージを持つことができます。

ゼミの進め方は、ゼミ生をグループに分け、それぞれ1つのテーマを担当してもらいます。1つの講義につき1つの担当箇所をグループ全員で報告してもらいます。報告に際しては、担当教官や報告者以外の人たちからの質問に答えられるように十分に統計や経済学の専門用語について調べて報告してください。必要に応じてグラフの作成も行ってもらいます。報告に当たっていない人たちは、基本的なことであっても、臆せずどんどん質問してください。

- - - 到達目標 - - -

経済学の観点から日本の労働市場についての理解を深める(知識・理解)

- - - 授業時間外の学習(予習・復習) - - -

事前学習：経済学用語や職業・産業に関する統計についてインターネット等で調べる。(90分)

事後学習：ゼミの中で提起された問題を自分の言葉でまとめる。(90分)

- - - 成績評価基準および方法 - - -

授業への貢献度(報告や報告者への質問など)60%、報告点(報告内容がどの程度詳細に調べられているかによる)40%による。無断の欠席、遅刻は低評価の要因となる。

- - - テキスト - - -

特に指定しません。

- - - 参考書 - - -

職業の経済学 ISBN 978-4502238215

『職業の経済学』中央経済社 阿部正浩・菅万理・勇上和史編著

- - - 履修上の留意点 - - -

出席しているだけでは単位はとれません。分かりやすいようにまとめ、報告することを心がけてください。

- - - 授業計画 - - -

1. シラバスの説明およびイントロダクション(スタートアップ授業)
2. グラフの書き方・公的統計の探し方
3. 会社の中の仕事
4. 製造業の仕事
5. 建設業の仕事
6. 情報通信技術の仕事
7. 卸売・小売業の仕事
8. 金融業の仕事
9. 教育・学習支援業の仕事
10. 医療・福祉の仕事
11. サービス業の仕事
12. 公務員の仕事
13. NPOの仕事
14. これからの職業構造について考える
15. まとめ

受講者の理解度により内容を変更することがある。

- - - スタートアップ授業 - - -

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/v3wava855t47oc369clcqdsyjeivdbxg>)

藤本 浩明

期別:後期 単位数:2 開講年次:1 授業の種類:対面授業科目 授業形態:講義 実務経験:無し 科目水準:入門 試験実施:有り
 授業時間割:後期:木・二部2時限 試験時間割:2022/01/20 夜2限

--- 概要 ---

本講義では、マクロ経済学の土台となっているマクロモデルを簡単な数学や図表を織り交ぜながら解説するとともに、理解度を確かめるために、公務員試験などの過去問に基づく問題などを取り上げながら、講義を進めていきます。

なお、この講義で解説する基礎的な論旨の理解と実践的な問題を解く力を確実に習得するためには、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組む事が不可欠ですが、こうした自発的に取り組んだ経験は将来に生かされるので、予習・復習をしっかりと行ってください。

講義はOHCを利用して、計算や作図の過程などを解説しますが、解法だけでなく講義メモも作成するよう心がけて下さい。そのような講義メモの作成などを通じて、問題や解法などを視覚的・多面的に捉える力や基礎的な数学の知識を養ってください。なお、グラフを描くときには、必ず軸があらわす意味を明記するとともに各軸の関係を把握すると、理解がより深まります。

また、自力で正解にたどりつく過程を体感してもらうために、講義の復習を兼ねた簡単な小テストを実施しますので、自らの手で計算や図解をするように努めてください。この経験を活かして、いろいろな問題に対する解決策・処方箋を自らの力で見出す能力や応用力を磨いてください。

以上のように、本講義では、数学や作図を用いて講義を進めますが、数学関連の知識は講義中にも解説しますので、講義に出席して講義メモを必ず作成するようにしてください。

--- 到達目標 ---

経済循環と産業連関表を理解し、それらを用いて経済(お金)の流れについて考えるようになる。(態度・志向性)

産業連関分析や45度線分析からGDP等の国内所得を求める事が出来る。(知識・理解)

乗数分析を通じて、経済環境の変化などが及ぼす影響について説明できる。(知識・理解)

インフレギャップ・デフレギャップについて理解したうえで、それらが生じた場合の経済状況について考えるようになる。(態度・志向性)

開放経済体系における45度線分析を理解し、その場合の国内所得を求めることができる。(知識・理解)

--- 授業時間外の学習(予習・復習) ---

事前学習(各回1~2時間程度)として、参考書やインターネットなどで専門用語の意味などを理解し、事後学習(各回2~3時間程度)で、講義中に解説した計算問題を再度解きなおしたり、作図を行ったりして、復習を重ねてください。つまり、合計して、毎週少なくとも3時間は予習・復習に時間を割いてください。

なお、復習には、FUポータルに公開する資料や課題を利用したり、参考書や図書館などで類似の問題などに取り組むなどしてください。

--- 成績評価基準および方法 ---

評価基準

産業連関分析・45度線分析に関する基本的な事を図表や計算などで求めたり、現実の問題などを定量的に考察・再現できるかどうかを評価の基準とします。

評価方法と評価の割合

基本的には、期末試験の成績:80%と平常点(小テストと課題):20%の合計100%で評価します。

その他

小テストは、復習を兼ねた問題や応用問題などを講義中に提出してもらいます。他方、課題は各自で取り組み、講義後に提出してください。

--- テキスト ---

テキストは使用せずに資料を配布予定。

--- 参考書 ---

平澤典男(著),『マクロ経済学基礎理論講義』,有斐閣;

石川秀樹(著),『経済学入門塾 マクロ編』,中央経済社;

石川秀樹(著),『新・経済学入門塾 計算マスター編』,中央経済社;

茂木喜久雄(著),『らくらくミクロ・マクロ経済学入門計算問題編』,週間住宅新聞社;

西村和雄(著),『入門・経済学ゼミナール』,実務教育出版;

白浜堤津耶・森脇翔太(著),『例題で学ぶ初歩からの経済学』,日本評論社

このほか、必要に応じて、授業中に指示します。

--- 履修上の留意点 ---

参考書などを参考にしたプリント(FUポータルを通じて印刷できるようにする予定)とOHCを利用して、講義を進める予定です。なお、OHCのメモを見落とした場合や記入漏れなどがある場合は、講義の前後などに資料を公開するので、各自でノートを書き写すように心がけてください。

また、講義の復習や応用などを兼ねた簡単な小テストなどを講義中に実施するので、必ず、講義ノートを作成してください。なお、評価対象の小テストなどは、講義ノートを作成すれば解ける問題などを予定しているので、必ず、指定時間までに提出してください。

携帯・スマートフォンを机の上などに置いたり、それらを講義中に使用するなどの行為は厳禁とします。また、配布プリントの余りなどを置く場所に指定した座席には座らないでください。

--- 授業計画 ---

授業は以下の内容を進む予定です。なお、必要に応じて、一部を変更することがあります。

- 1 スタートアップ授業:この授業について
- 2 ミクロ経済学とマクロ経済学:経済循環とその表現
- 3 産業連関表とGDPの三面等価の法則
- 4 産業連関分析の概要
- 5 オープンモデルとレオンチェフモデルの導出
- 6 産業連関分析の行列解法
- 7 経済環境の変化と産業連関表の変化
- 8 産業連関分析の演習
- 9 マクロ消費関数に起因する産業連関モデルと45度線モデルの違い
- 10 45度線モデルの均衡国民所得と乗数分析
- 11 産業連関表モデルと45度線モデルの比較演習
- 12 インフレギャップ・デフレギャップ
- 13 開放経済と閉鎖経済体系の違い
- 14 開放経済体系における45度線分析
- 15 後期のまとめ

--- スタートアップ授業 ---

スタートアップ授業

(<https://fukuoka-u.box.com/s/2wfxkqtxvt3labbg9yts0s4q01lul5li>)